

<注意>

- ① 「2019版1台ファイル」の各ファイルは、次のすべてのソフトで正常に作動します。

Microsoft Office Excel 2024 64ビット版

Microsoft Office Excel 2024 64ビット版

Microsoft Office Excel 2019 64ビット版

Microsoft Office Excel 2016 64ビット版

しかし、

Microsoft Office Excel 2024 32ビット版

Microsoft Office Excel 2024 32ビット版

Microsoft Office Excel 2019 32ビット版

Microsoft Office Excel 2016 32ビット版

では作動しません。

- ② 「2019版1台ファイル」の各ファイルは、Windows 版上での Excel で作成したもので Mac 版上での Excel では正常に作動することは保証しかねます。また、ssd 搭載のパソコンでは、パーティションをおこない C,D の2つのドライブを割り当てないと登録して使用することはできません。

- ③ 「2019版1台ファイル」の各ファイルで、ファイルに組み込まれたマクロ機能を用いて、データーを次々変更しながら、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信する処理を行う場合、お使いのパソコンには、必ず Microsoft の Outlook がインストールされている必要があります。

- ④ 「2019版1台セット製品」のファイルの登録・ファイル名書き換え処理が完了した後、各ファイルを立ち上げると、立ち上げ画面に

<注意>

著作権法に基づき、このシステムを著作権者に無断で使用すること及び複写すること並びに頒布することを禁止します。また、システムを無断で改変すること等も禁止します。

の注意書きが表示されますが、ファイルの登録・ファイル名書き換え処理が完了された方は、著作権者に使用が許可されたものとみなします。

<目次>

1. 2019版1台セット製品登録書き換え	
実行前に行うべきこと	P3
(1) ファイルのダウンロード	P3
(2) デ스플레이設定の詳細設定等	P4
①Windows11 の場合	P4
②Windows10 の場合	P9
(3) マクロのセキュリティ設定等	P14
① Exel2024 でおこなう場合	P14
② Exel2021 でおこなう場合	P16
③ Exel2019 でおこなう場合	P18
④ Exel2016 でおこなう場合	P20
2. 2019版1台セット製品登録書き換え実行手順	P22

3. 各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について	P26
(1) Winndows11 または Windows10 の場合	P26
(2) Windopws8.1 の場合	P32
4. 2019版1台セット製品登録書き換え実行後の	
「2019CV-DataBaseMonsterVer1 (コンピュータ1台リリース配布版)」のセットファイルの開き方	P39
(1) 4個のファイルを個々に開く方法	P39
(2) 4個のファイルを一括して開く方法	P58
5. 2019版1台セット製品登録書き換え後の	
「2019CV-DataBaseMonsterVer1 (コンピュータ1台リリース配布版)」の	
セットファイルのリンクの編集	P68
(1) Microsoft Office Excel 2024 64ビット版で開いて編集した場合のリンクの編集	P69
(2) Microsoft Office Excel 2021 64ビット版または Microsoft Office Excel 2019 64ビット版または	
Microsoft Office Excel 2016 64ビット版で開いて編集した場合のリンクの編集	P122
6. 2019版1台セット製品登録書き換え後の	
「2019CV-DataBaseMonsterVer1 (コンピュータ1台リリース配布版)」のセット	
ファイルのファイル名変更について	P136
(1) Microsoft Office Excel 2024 64ビット版のファイル名変更	P136
(2) Microsoft Office Excel 2021 64ビット版または Microsoft Office Excel 2019 64ビット版または	
Microsoft Office Excel 2016 64ビット版のファイル名変更	P145
7. 2019版1台セット製品登録書き換え後の	
「2019CV-DataBaseMonsterVer1 (コンピュータ1台リリース配布版)」のセット	
ファイルのファイル名変更後のファイルの保存について	P153

1. 2019版1台セット製品登録書き換え 実行前に行うべきこと

(1) ファイルのダウンロード

2019版1台セット製品登録書き換え実行前に、ダウンロードフォルダーを整理して空にしておき、私共のホームページのページ

「2019版1台ファイルダウンロード」

の

「Ⅱ 2019版1台ファイルの各ファイルのダウンロード」

から26個の全てのエクセルファイルをダウンロードフォルダーに保存してください。

そして、ページ

「使用マニュアルダウンロード」

へ行き、

「Ⅰ新しいマニュアルのダウンロード」

から、

「準備」

および次の1～17のアルファベット名のマニュアルをそれぞれダウンロードし、その下の1～17の日本語名にそれぞれファイル名を変更してダウンロードフォルダーに保存してください。ファイル名を変更して保存する方法は、それぞれのファイルをダウンロードする箇所に記載されていますのでそれをご覧ください。

(アルファベット名)

- 1.cvexceldatabasefilenosiyoukarainnsatmadenokihonntekinanagara.pdf
- 2.kihonntekinasheet.pdf
- 3.failmeinohennkoufailnouwakihozonnmanyual.pdf
- 4.sheetmeihennkoumacroyorimanyuaru.pdf
- 5.koumokuhyoujisakuseimanyual.pdf
- 6.nyuuryokusheetnogyouusuutikanikannsurumacroyorimanyual.pdf
- 7.innsatuhennsyusheetnohennsyuuryouikiironurikaesyorimakuromanyual.pdf
- 8.nyuuryokusheetdatanosheetinnsatuformsortdatatounohukusyamacromanyual.pdf
- 9.sheetfilesakuseikopyyounosheetnoinnsatuformtounohukusyamacromanyual.pdf
- 10.innsatuformsheettounoinnsatububunnnoyousikisekkeimanyual.pdf
- 11.innsatunailmacroreinyuuryokusheettirannhyoutukifailsakuseinyuuryokusetteinonyuuryokutomailsousinnmanyual.pdf
- 12.nyuuryokusheetkannnoretutannihukusyamacromanyual.pdf
- 13.tuikaworksheetmeisetteimacromanyual.pdf
- 14.hennsyusheetkaranyuuryokusheetenohyoudatadahukusyamacromanyual.pdf
- 15.systemnosyokikasheetnosakujyosyoutoumacromanyual.pdf
- 16.itirannhyoutukifilesakuseinyuuryokusetteinorenzokuinnsatunmanyual.pdf
- 17.sellnoataiworiyousitanailnosousinnsyagotononiyasuaihonbunnnosakuseinosikata.docx

(日本語名)

- 1.CV-excel database ファイルの使用から印刷までの基本的な流れ.pdf
- 2.基本的なシート.pdf
- 3.ファイル名の変更、ファイルの上書き保存マニュアル.pdf
- 4.シート名変更マクロ処理マニュアル.pdf
- 5.項目表示作成マニュアル.pdf
- 6.入力シートの行数追加に関するマクロ処理マニュアル.pdf
- 7.「印刷編集シート」の編集領域色塗り替え処理マクロマニュアル.pdf
- 8.入力シートデーターのシート「印刷フォームソートデーター」等への複写マクロマニュアル.pdf
- 9.シート「ファイル作成コピー用」のシート「印刷フォーム」等への複写マクロマニュアル.pdf
- 10.「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計マニュアル.pdf
- 11.印刷・メールマクロ命令入力シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信マニュアル.pdf
- 12.入力シート間の列単位複写マクロマニュアル.pdf

- 13.追加ワークシート名設定マクロマニュアル.pdf
- 14.編集シートから入力シートへの表データ複写マクロマニュアル.pdf
- 15.システムの初期化, シートデータの削除・消去等マクロマニュアル.pdf
- 16.一覧表付ファイル作成入力設定の連続印刷マニュアル.pdf
- 17.セルの値を利用したメールの送信者ごとの見やすいメール本文の作成の仕方

そしてまた、私共からメールで送信された3個の添付ファイル

CV-DataBaseHyperAdvanceVer1（1台2019インストールファイル複写無し）.xlsm

PC1台ナンバー登録及びシステム購入申込書2019（インストール用）.xlsm

2019版1台セット製品登録書き換えマニュアル.pdf

も一旦ダウンロードフォルダーに保存してください。

そして更に、上でダウンロードフォルダーに保存した全てのファイルを、Dドライブに適当なフォルダー（仮にこのフォルダーをフォルダーAと呼びましょう）を作成して呼びましょう）にコピーしてください。そしてもう1つDドライブに適当なフォルダー（仮にこのフォルダーをフォルダーBと呼びましょう）を作成してそこにもコピーしてください。ダウンロードフォルダーに保存した全てのファイルをのコピーした2つのフォルダーの1つのフォルダーAは、そのまま何もしないでおき、もう1つのフォルダーB内のファイルは2024版1台セット製品登録書き換えを実行するためのもので、フォルダー名を「登録・ファイル名書き換え用」とします。

登録書き換えを実行する場合、フォルダーB内には、下の

「**2. 2019版1台セット製品登録書き換え実行手順**」

における[図14]の表の26個の全てのファイルがないと、2019版1台セット製品登録書き換えは、登録書き換えを行う途中の過程でエラーが出てしまい、本体の2019版1台セットファイルの26個全てのファイルの登録書き換えが行われなくなります。したがって、まず、下の[図14]の表の26個のファイル全てがフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内に存在するかどうか必ず確認してください。もし、存在しないファイルがある場合には、存在しないファイルを改めて私共のホームページよりダウンロードしていただき、フォルダーA内に必ずコピーしておいてください。

また、何もしないフォルダーAの全てのファイルには、ホームページからダウンロードして保存したとき、全てのファイルをダウンロードしたつもりでも欠けてしまうことも考えられます。その場合、再度ホームページから欠けているファイルのみダウンロードして保存し、何もしないフォルダーAにコピーすれば、すべてのファイルをまたダウンロードして保存する手間が省けます。そして、ファイルの内欠けているファイルがあったため2019版1台セット製品登録書き換え実行に失敗した場合、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内の

「**CV-DataBaseHyperAdvanceVer1（1台2019インストールファイル複写無し）.xlsm**」

「**PC1台ナンバー登録及びシステム購入申込書2019（インストール用）.xlsm**」

「**2019版1台セット製品登録書き換えマニュアル.pdf**」

の3個のファイルを除き、すべて削除した後、改めてフォルダーA内の全てのファイルをフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内にコピーすれば、再度2019版1台セット製品登録書き換えを簡単に実行することができます。

(2) デ스플레이設定の詳細設定等

excel database vba | 本格的エクセルデータベース (excel database) である「CV-DataBaseAdvance 製品」の各エクセルファイルや「CV-DataBaseAdvance 試用版」の各エクセルファイルの書き換え操作を行なう場合、ユーザーフォームの表示を適正な表示にするために、OSがWindows11やWindows10のPCで行う場合には、事前にディスプレイ設定の詳細設定を次のようにしておこなってください。

ただし、OSがWindows8.1のPCを用いて行う場合にはこの設定は不要です。

①Windows11の場合

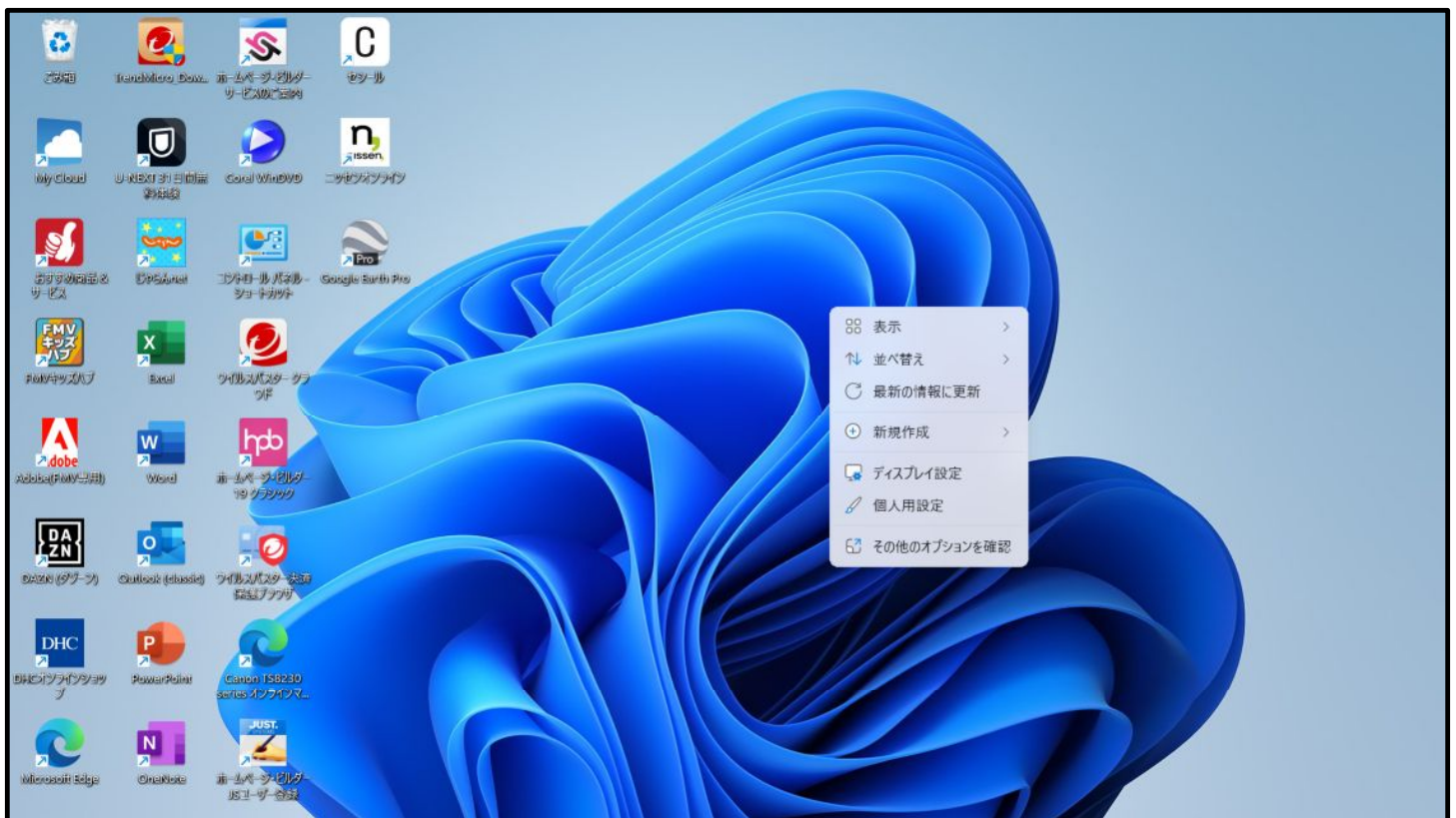
次の[図1]画面は私どもが使用している windows11 の OS が搭載された PC のデスクトップの画面です。

[図1]



上のデスクトップで右クリックすると次の[図2]の画面ようなメニューが表示されます。

[図2]



上のメニュー部分を拡大表示すると



 デ스플레이設定

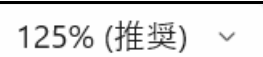
のようになっています。このメニューで  デ스플레이設定 をクリックすると次の[図3]画面が表示されます。

[図3]



上の[図3]の画面の



の部分の右側の  部分の  をクリックすると次の[図4]の画面になります。

[図4]



そして上の[図4]の画面における



の部分の右側の の部分を選択して と入力

してこの右側の ☐ をクリックすると次の[図5]の画面になります。

[図5]



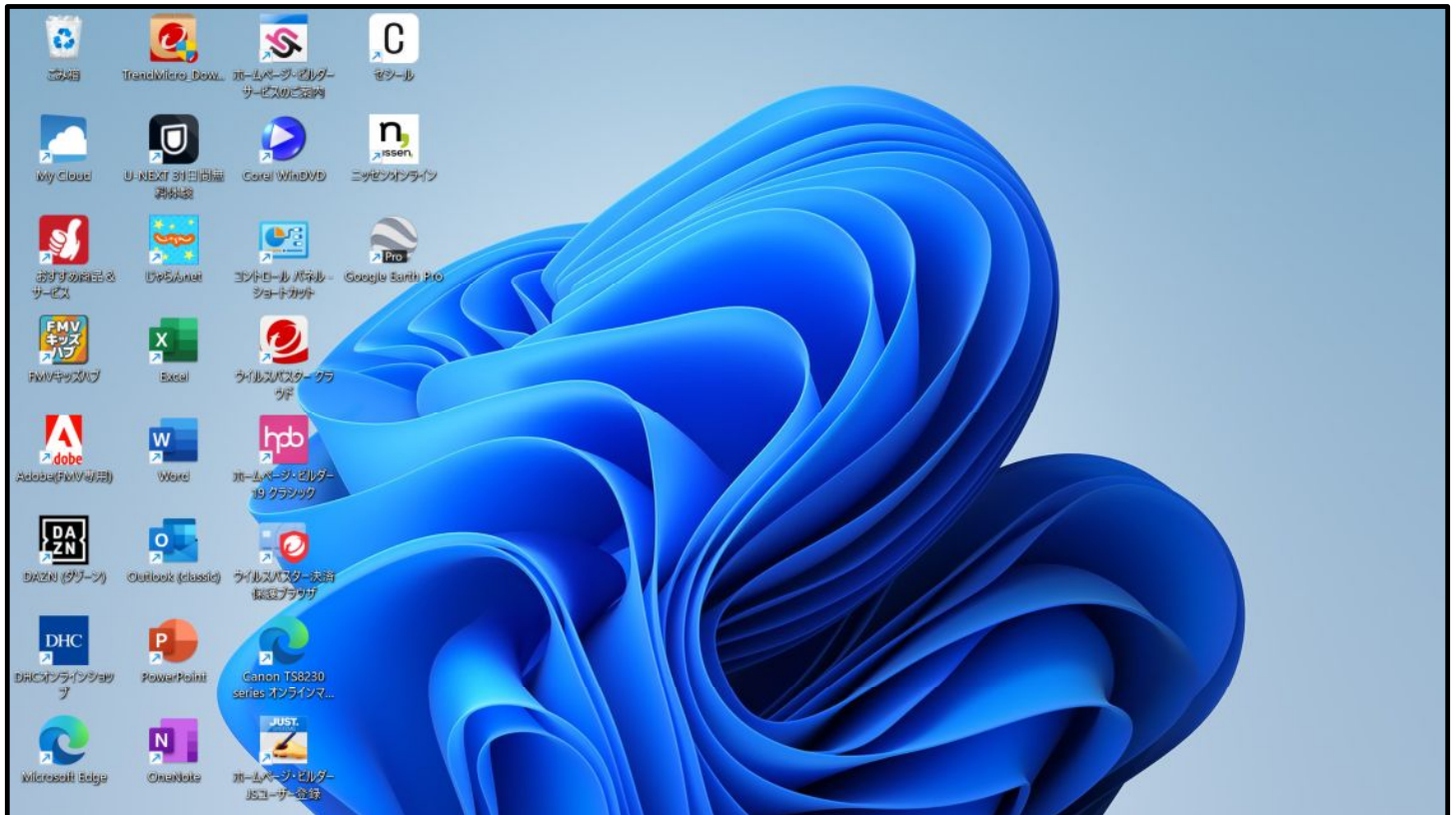
そして上の[図5]画面の



今すぐサインアウトする

の部分の右側のの部分文字をクリックするとサインアウトの画面が表示され、その画面で pin の値を入力すると次の[図6]のデスクトップの画面になります。

〔図6〕

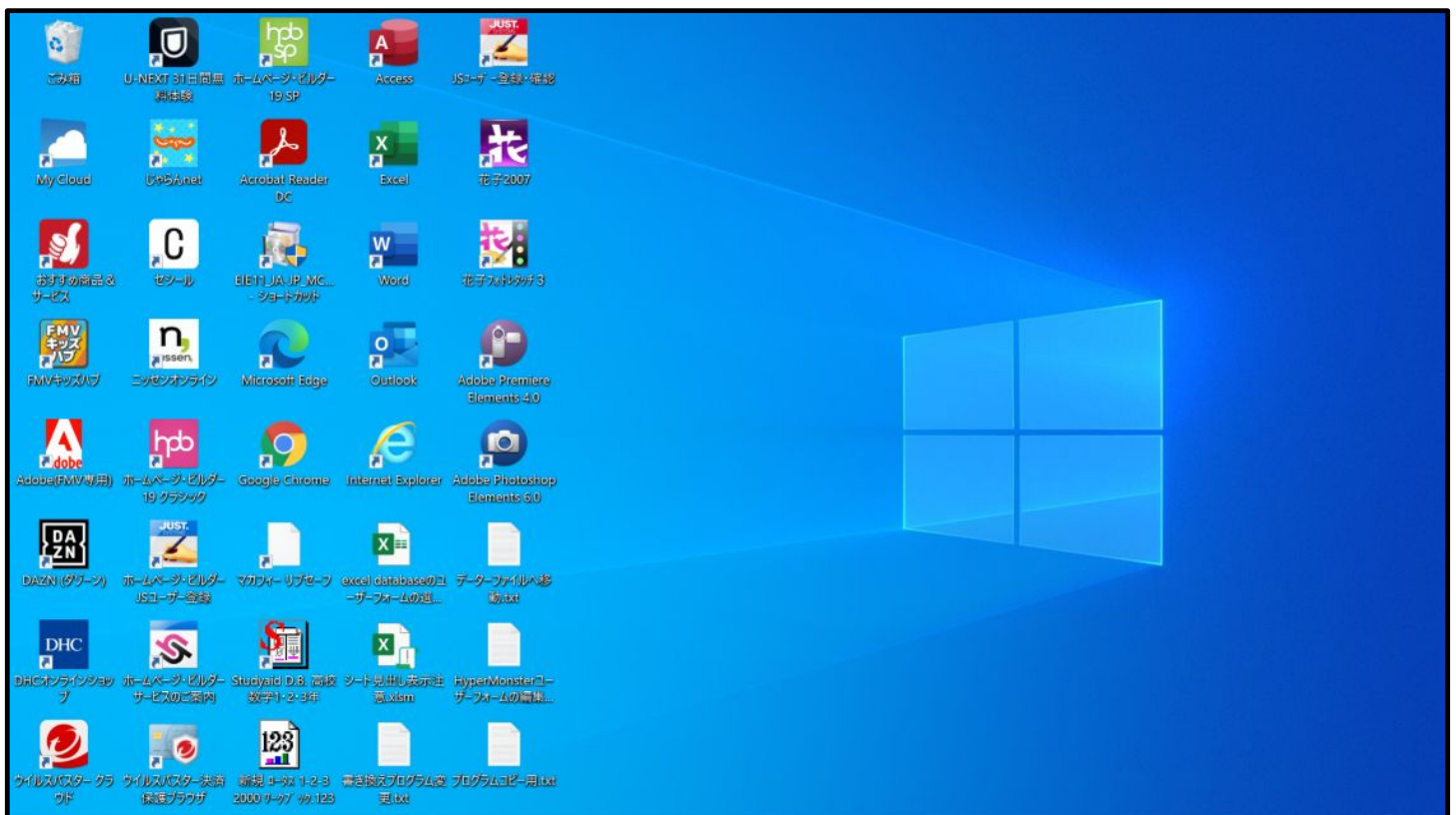


が表示されます。

②Windows10 の場合

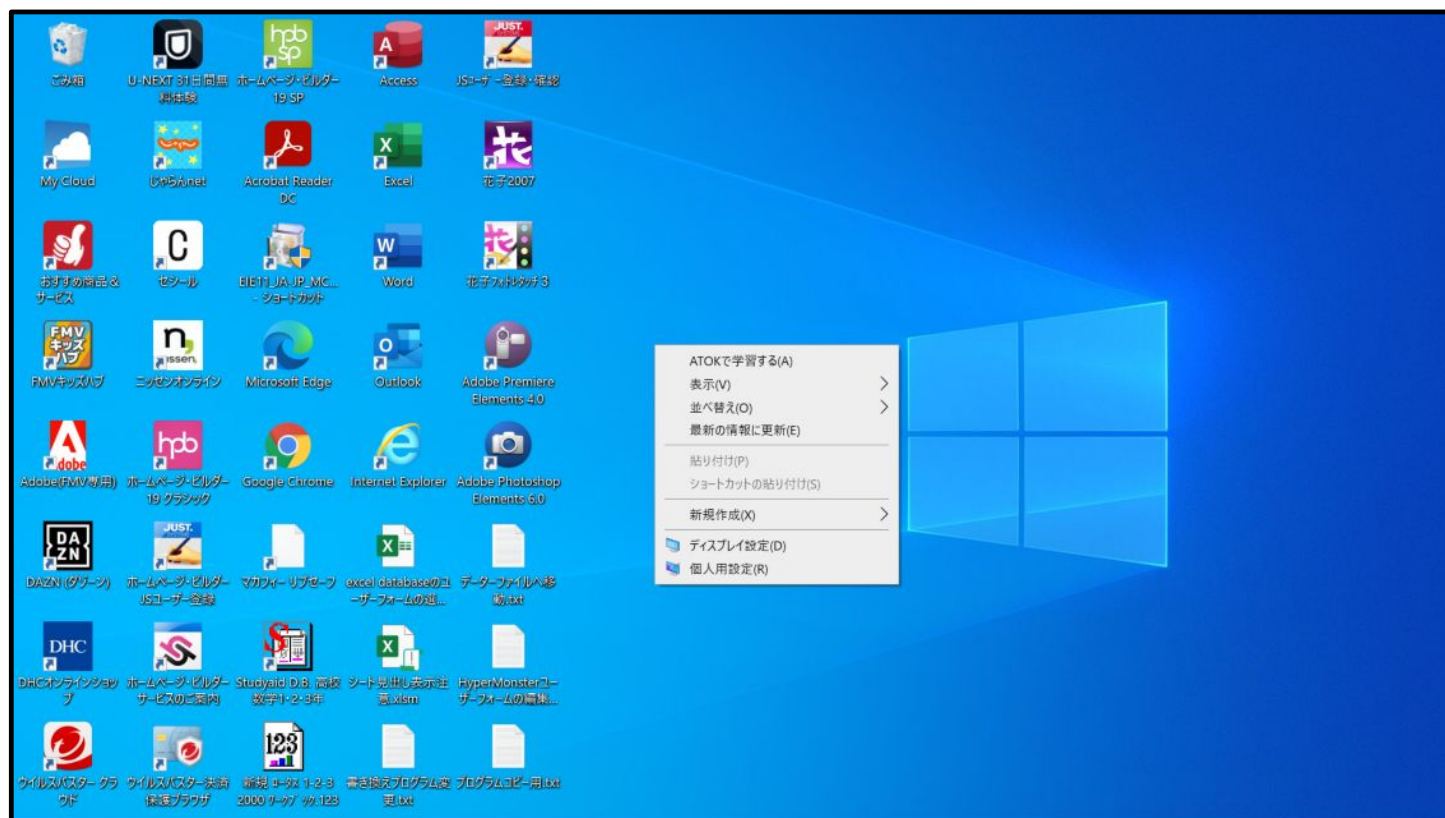
次の〔図7〕画面の私どもが使用している PC のデスクトップの画面だとします。

〔図7〕



デスクトップで右クリックすると次の[図8]画面のようなメニューが表示されます。

[図8]



上の[図8]画面のメニュー部分を拡大表示すると



のようになっています。このメニューで

ディスプレイ設定(D)

をクリックすると次の[図 9]画

面が表示されます。

[図 9]



上の[図 9]画面の

拡大縮小とレイアウト

テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する

125% (推奨)

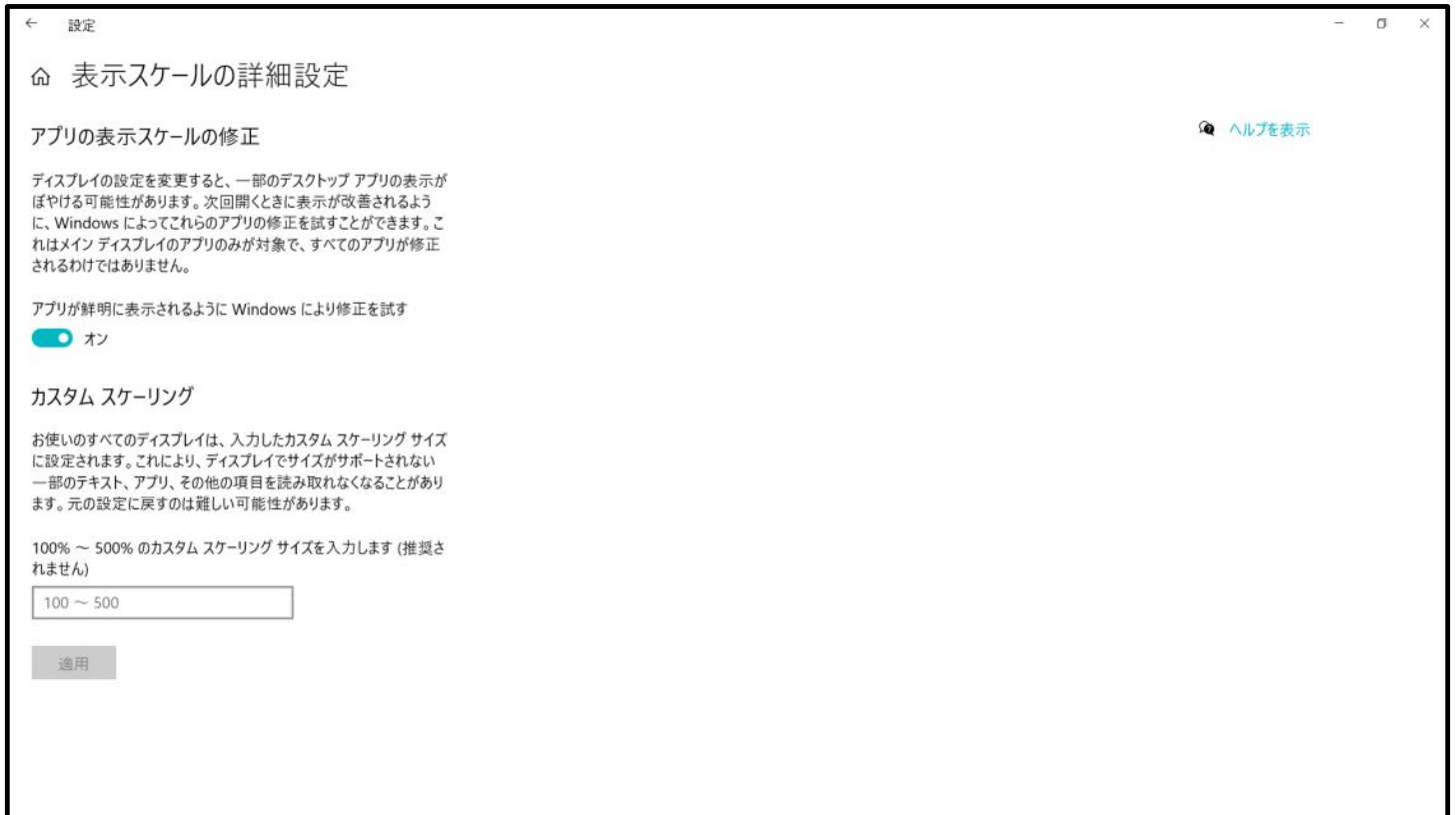
[表示スケールの詳細設定](#)

の部分の

[表示スケールの詳細設定](#)

をクリックすると次の[図 10]画面が表示されます。

[図 10]



上の[図 10]画面の

100 ~ 500

の部分で、

138

と入力して

適用

をクリックすると下の[図11]の画面になります。

[図11]



上の[図11]の画面の

カスタムの拡大/縮小率はサインアウトするまで適用されません。
今すぐサインアウトする

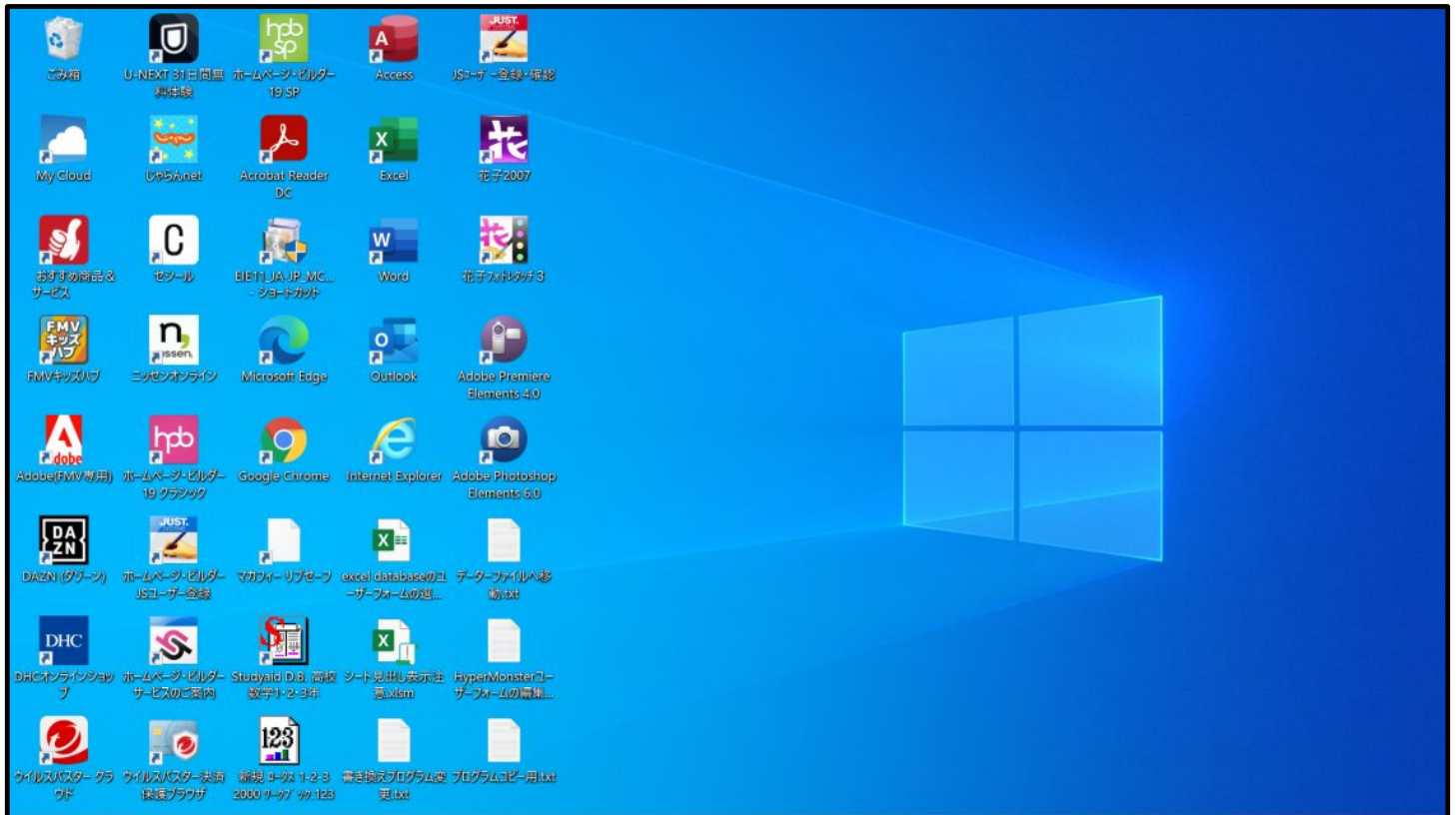
の部分の

今すぐサインアウトする

をクリックし

Pin の値もしくは Mikurosoft のアカウントのパスワードを入力してサインアウトするとデスクとトップの画面になります。私の場合のデスクトップの画面は次の[図 1 2]画面でこの画面に戻りました。

〔図 1 2〕



(3) マクロのセキュリティ設定等

必ず次のようにマクロのセキュリティ等を設定してください。このように設定しておかないと登録・ファイル名の書き換えが正常に実施できません。しかも登録・ファイル名書き換えを行なうファイル「CV-DataBaseHyperAdvanceVer1（1台 2019 インストールファイル複写無し）.xlsm」が破損されてしまい、2度とこの登録・ファイル名書き換えファイルは使えなくなります。セキュリティの設定を誤って登録・ファイル名書き換え処理を実行してしまうことも考えられますので、ファイル「CV-DataBaseHyperAdvanceVer1（1台 2019 インストールファイル複写無し）.xlsm」は、登録・ファイル名書き換え処理を実行するフォルダーB以外のフォルダーAにも登録・ファイル名書き換え処理を実行する前に必ずコピーして予備とし保存おいてください。

① Excel2024 でおこなう場合

まず、Excel2024 を起動し、**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**→**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブ**を表示させてください。そしたら、再度**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**全般**→**トラストセンター**→**トラストセンターの設定**を選択してそして、「トラストセンター」における**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、**外部コンテンツ**で次のように設定します。

ActiveX の設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定
マクロの設定	☐ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)
保護ビュー	☐ 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R)
メッセージ バー	☐ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)
外部コンテンツ	☒ 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E)
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	☐ セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)
フォームベースのサインイン	

マクロの設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	マクロの設定
保護ビュー	☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)
メッセージ バー	☐ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)
外部コンテンツ	☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)
ファイル制限機能の設定	☒ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	開発者向けのマクロ設定
	☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

保護ビュー

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	保護ビュー
メッセージ バー	保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。
外部コンテンツ	☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)
ファイル制限機能の設定	☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L) ^①
プライバシー オプション	☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q) ^①
フォームベースのサインイン	信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.syk) を開くためのセキュリティ設定
	☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、syk) を開く(I)
	信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定
	☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

メッセージバー

トラスト センター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー

すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定

メッセージ バーの表示

- ☐ ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S)
- ☒ ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N)

ポリシーのヒント

☐ ポリシー ヒントをメッセージ バーに表示します。これをオフにすると、組織で必要とされる場合を除いて、ポリシー ヒントはすべて無効になります。

外部コンテンツの設定

トラスト センター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー
外部コンテンツ
ファイル制限機能の設定
プライバシー オプション
フォームベースのサインイン

データ接続のセキュリティ設定

- ☒ すべてのデータ接続を有効にする (推奨しません)(E)
- ☐ データ接続について確認のメッセージを表示する(P)
- ☐ すべてのデータ接続を無効にする(D)

ブック リnkのセキュリティ設定

- ☒ すべてのブック リnkの自動更新を有効にする (推奨しません)(A)
- ☐ ブック リnkの自動更新時に確認のメッセージを表示する(R)
- ☐ ブック リnkの自動更新を無効にする(I)

リンクされたデータ型のセキュリティ設定

- ☒ リンクされたデータ型をすべて有効にする (推奨しません)(N)
- ☐ リンクされたデータ型について確認のメッセージを表示する(Q)
- ☐ リンクされたデータ型をすべて無効にする(S)

動的データ交換のセキュリティ設定

☐ 動的データ交換サーバーの検索を有効にする(Y)

☐ 動的データ交換の起動を有効にする (推奨しません)(M)

信頼できないソースからの Microsoft Query ファイル (.iqy、.oqy、.dqy、.rqq) を開くためのセキュリティ設定

☐ 信頼できない Microsoft クエリファイル (.iqy、.oqy、.dqy および .rqq) の接続を常にブロックする(Q)

② Excel2021 でおこなう場合

まず、Excel2021 を起動し、**ファイル**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**→

メインタブの「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。そしてら

タブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセン

ター」における **ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、**外部コンテンツ**

で次のように設定します。

ActiveX の設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	
メッセージ バー	
外部コンテンツ	
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	

すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定

- ☐ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)
- ☐ 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R)
- ☐ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)
- ☒ 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E)

☐ セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)

マクロの設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	
メッセージ バー	
外部コンテンツ	
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	

マクロの設定

- ☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)
- ☐ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)
- ☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)
- ☒ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)

開発者向けのマクロ設定

☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

保護ビュー

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	
メッセージ バー	
外部コンテンツ	
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	

保護ビュー

保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。

☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)

☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L)^①

☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q)^①

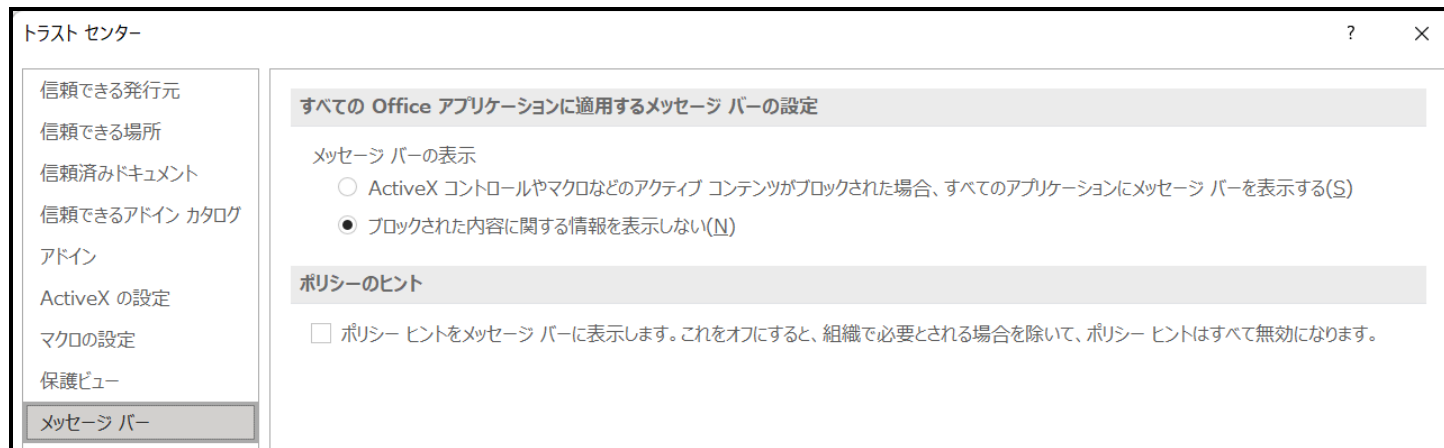
信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.syk) を開くためのセキュリティ設定

☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、syk) を開く(I)

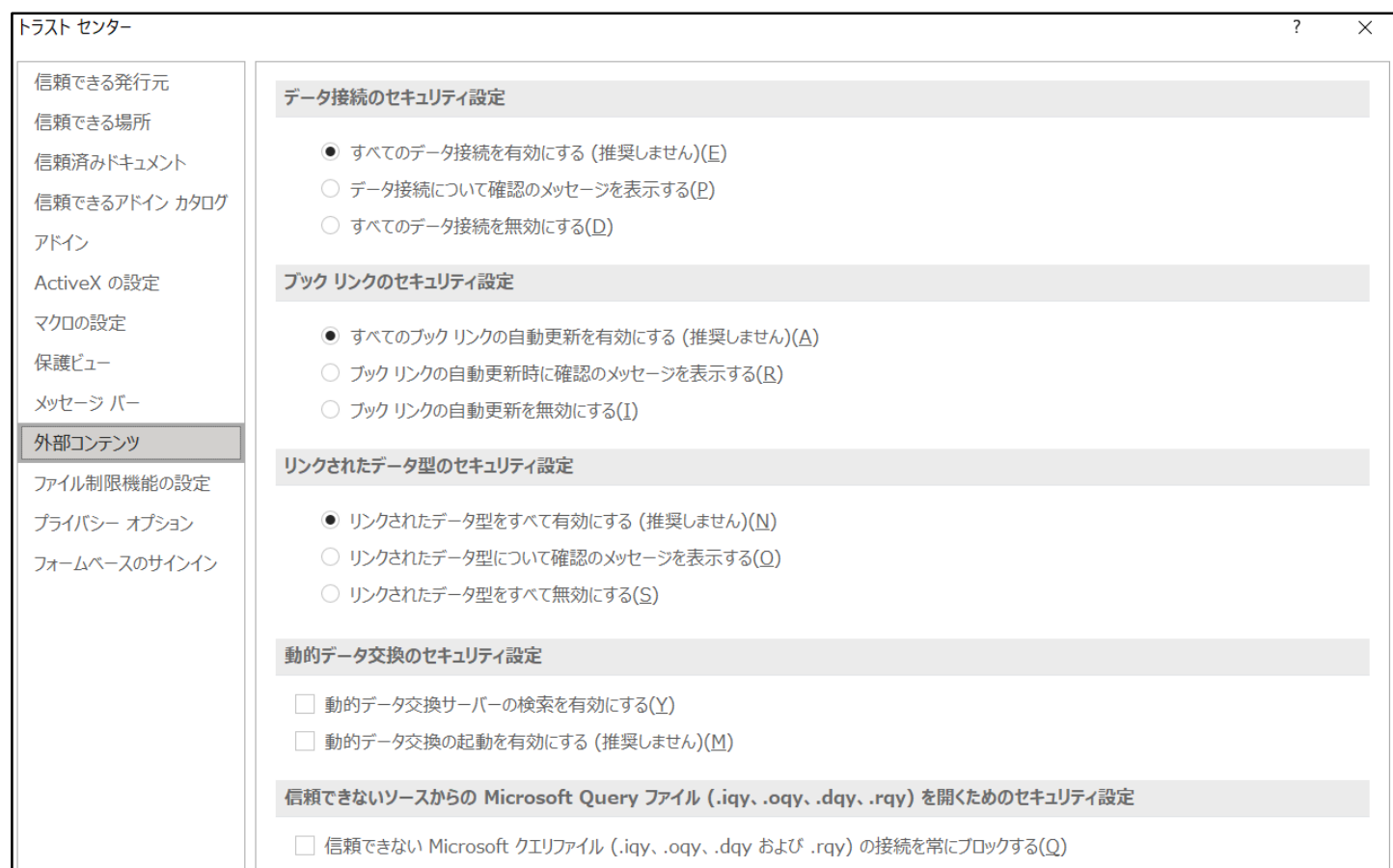
信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定

☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

メッセージバー



外部コンテンツの設定



③ Excel2019 でおこなう場合

まず、Excel2019 を起動し、**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**→**メインタブ**と選択して行き**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。

そしたらタブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、**外部コンテンツ**でそれぞれの設定を次のようにします。

ActiveX の設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定 ☐ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D) ☐ 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R) ☐ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P) ☒ 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E) ☐ セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	
メッセージ バー	
外部コンテンツ	
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	

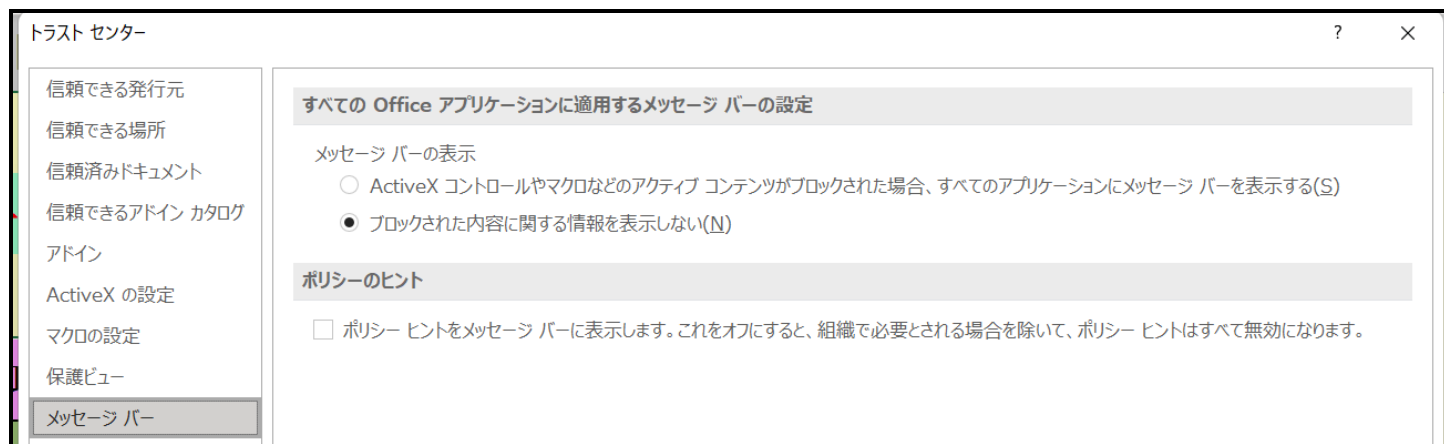
マクロの設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	マクロの設定 ☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L) ☐ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D) ☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G) ☒ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E) 開発者向けのマクロ設定 ☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	
メッセージ バー	
外部コンテンツ	
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	

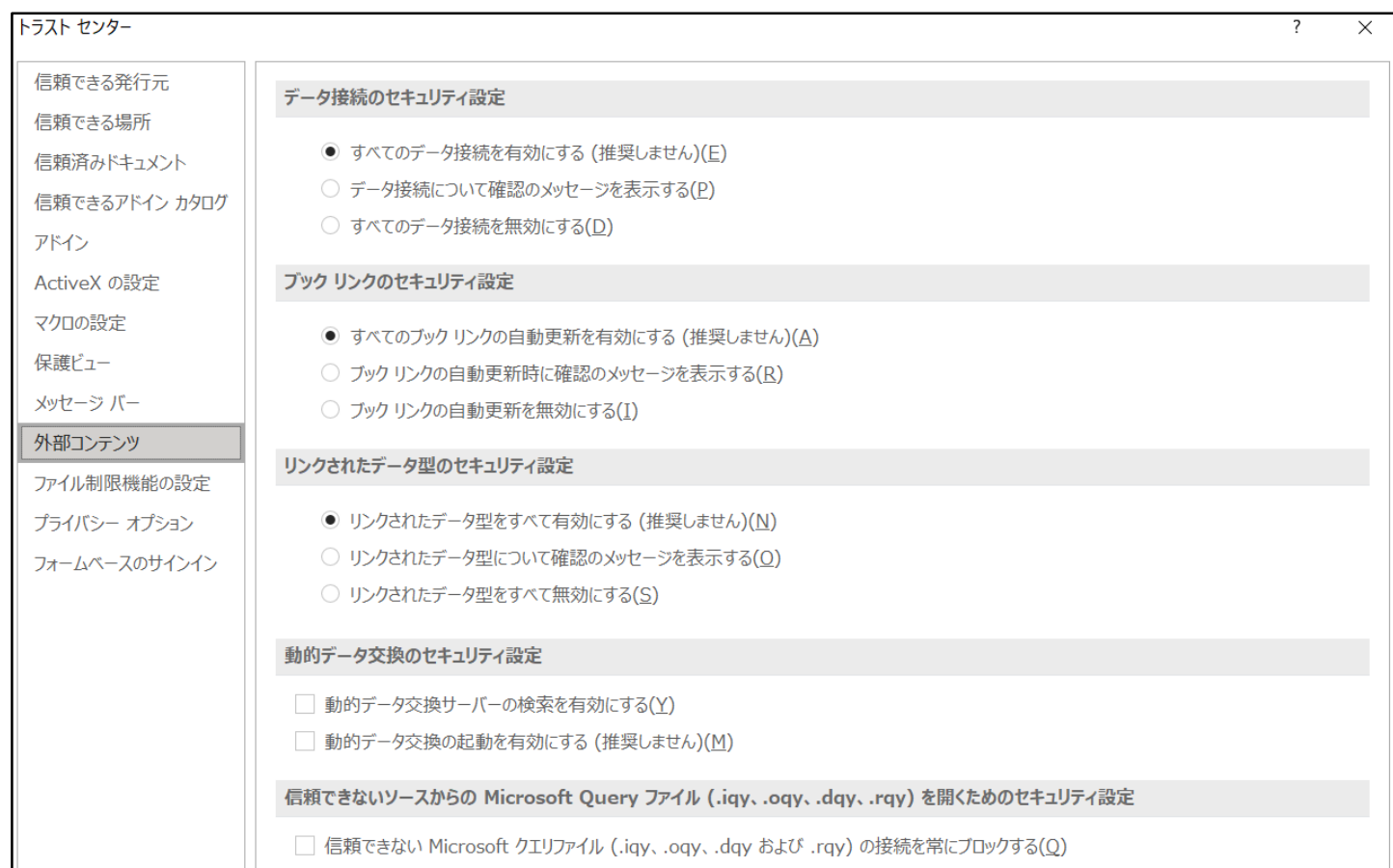
保護ビュー

トラスト センター	
信頼できる発行元	保護ビュー 保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。 ☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I) ☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L)^① ☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q)^① 信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.syk) を開くためのセキュリティ設定 ☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、syk) を開く(I) 信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定 ☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	
メッセージ バー	
外部コンテンツ	
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	

メッセージバー



外部コンテンツ



⑤ Excel2016 でおこなう場合

まず、Excel2016 起動し、**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**
→ **メインタブ**と選択して行き**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。

そしたらタブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、**外部コンテンツ**でそれぞれの設定を次のようにします。

ActiveX の設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	☐ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D) ☐ 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R) ☐ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P) ☒ 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E)
マクロの設定	☐ セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)
保護ビュー	

マクロの設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	マクロの設定
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	☐ 警告せずに VBA マクロを無効にする (M) ☐ 警告して、VBA マクロを無効にする (A) ☐ 電子署名されたマクロを除き、VBA マクロを無効にする (G) ☒ VBA マクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(N)
マクロの設定	☐ VBA マクロが有効な場合に Excel 4.0 のマクロを有効にする (X)
保護ビュー	開発者向けのマクロ設定
メッセージ バー	☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(Y)

保護ビュー

トラスト センター	
信頼できる発行元	保護ビュー
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。 ☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I) ☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L) ① ☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q) ①
マクロの設定	信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.sylk) を開くためのセキュリティ設定
保護ビュー	☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、sylk) を開く(I)
メッセージ バー	信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定
外部コンテンツ	☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)
ファイル制限機能の設定	

メッセージバー

トラスト センター	
信頼できる発行元 信頼できる場所 信頼済みドキュメント 信頼できるアドイン カタログ アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護ビュー メッセージ バー	すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定 メッセージ バーの表示 ☒ ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S) ☐ ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N) ポリシーのヒント ☐ ポリシー ヒント(P) をメッセージ バーに表示します。これをオフにすると、組織で必要とされる場合を除いて、ポリシー ヒントはすべて無効になります。

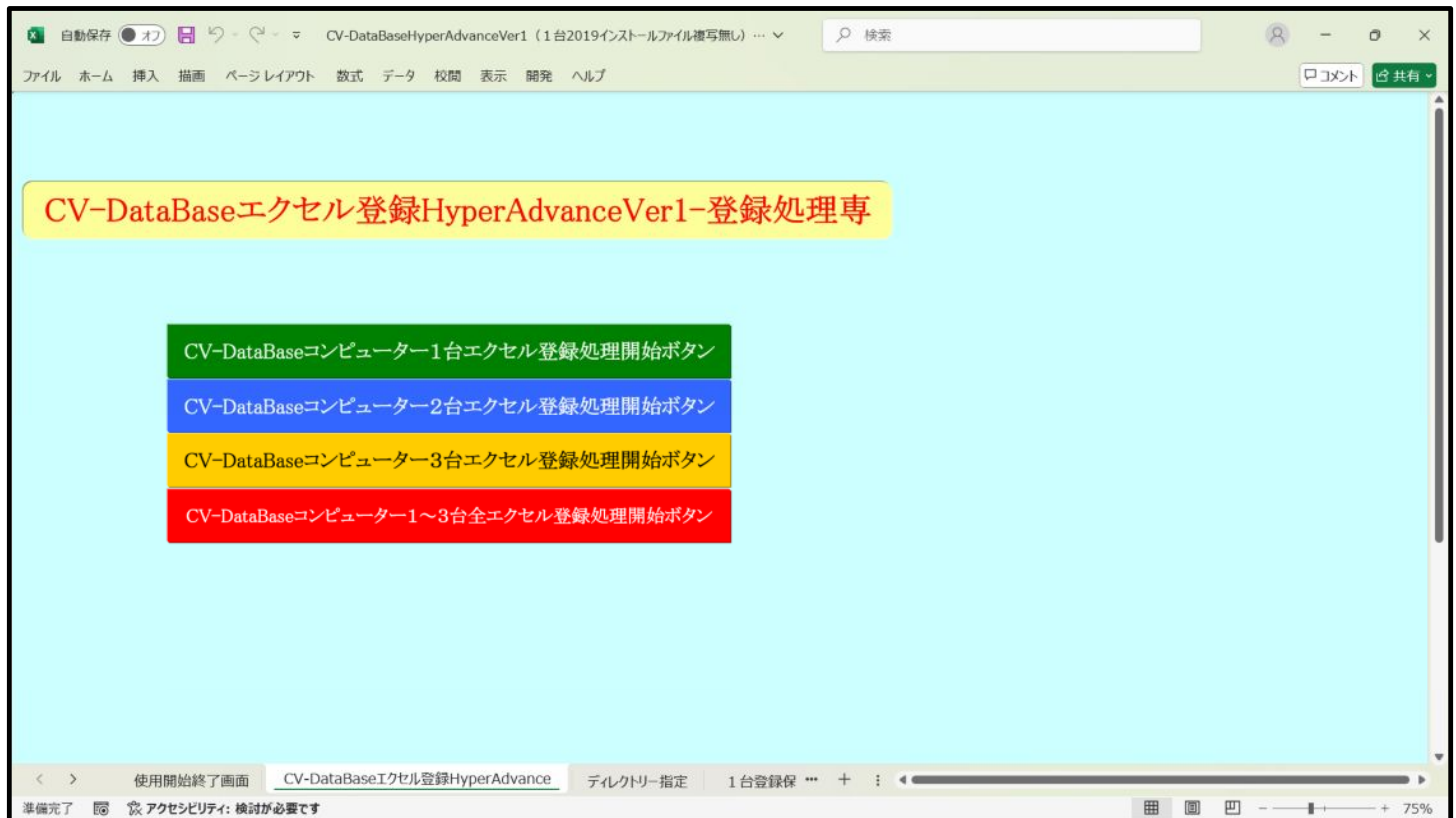
外部コンテンツ

トラスト センター	
信頼できる発行元 信頼できる場所 信頼済みドキュメント 信頼できるアドイン カタログ アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護ビュー メッセージ バー 外部コンテンツ ファイル制限機能の設定 プライバシー オプション フォームベースのサインイン	データ接続のセキュリティ設定 ☒ すべてのデータ接続を有効にする (推奨しません)(E) ☐ データ接続について確認のメッセージを表示する(P) ☐ すべてのデータ接続を無効にする(D) ブック リンクのセキュリティ設定 ☒ すべてのブック リンクの自動更新を有効にする (推奨しません)(A) ☐ ブック リンクの自動更新時に確認のメッセージを表示する(R) ☐ ブック リンクの自動更新を無効にする(I) リンクされたデータ型のセキュリティ設定 ☒ リンクされたデータ型をすべて有効にする (推奨しません)(N) ☐ リンクされたデータ型について確認のメッセージを表示する(Q) ☐ リンクされたデータ型をすべて無効にする(S) 動的データ交換のセキュリティ設定 ☒ 動的データ交換サーバーの検索を有効にする(Y) ☒ 動的データ交換の起動を有効にする (推奨しません)(M) 信頼できないソースからの Microsoft Query ファイル (.iqy、.oqy、.dqy、.rqy) を開くためのセキュリティ設定 ☐ 信頼できない Microsoft クエリファイル (.iqy、.oqy、.dqy および .rqy) の接続を常にブロックする(Q)

2. 2019版1台セット製品登録書き換え実行手順

上の1の(1)で保存したフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内のファイル
「CV-DataBaseHyperAdvanceVer1（1台2019インストールファイル複写無し）.xlsm」
を開くと次の[図13]の画面になります。

[図 1 3]



上の[図 1 3]の画面のコマンドボタン

CV-DataBaseコンピューター1台エクセル登録処理開始ボタン

をクリックするとマクロによって自動的に登録書き換え処理が次々実行されていきます。そして、再び上の[図 1 3]の画面が表示されたら書き換え処理は完了となります。書き換え処理が完了したらこの書き換え処理のためのファイル

「CV-DataBaseHyperAdvanceVer1 (1台 2019 インストールファイル複写無し) .xlsm」

を閉じてください。閉じる際、ファイルは保存してもしなくても結構です。書き換えの所要時間は、パソコンのスペックにもよりますが、10分～20分程度とお考えください。

この書き換え登録処理前のファイル名は下の[図 1 4]のようにアルファベットの小文字と数字混じりになっていますが、この登録書き換え処理後のファイル名は、各 NO に対応して、下の[図 1 5]のように漢字、かな、数字混じりとなります。

1	2019cvdatabaseadvance40ver1no2.xlsm
2	2019cvdatabaseadvance100ver1no2.xlsm
3	2019cvdatabaseadvance200ver1no2.xlsm
4	2019cvdatabaseadvance400ver1no2.xlsm
5	2019cvdatabaseadvance600ver1no2.xlsm
6	2019cvdatabaseadvance800ver1no2.xlsm
7	2019cvdatabaseadvance1000ver1no2.xlsm
8	2019cvdatabaseadvance2000ver1no2.xlsm
9	2019cvdatabaseadvance4000ver1no2.xlsm
10	2019cvdatabaseadvance8000ver1no2.xlsm
11	2019cvdatabaseadvance16000ver1no2.xlsm
12	2019cvdatabaseadvancekeisou40ver1no2.xlsm
13	2019cvdatabaseadvancekeisou100ver1no2.xlsm
14	2019cvdatabaseadvancekeisou200ver1no2.xlsm
15	2019cvdatabaseadvancekeisou400ver1no2.xlsm
16	2019cvdatabaseadvanceeyobidasiinnsatuver1no2.xlsm
17	2019cvdatabaseadvancesuupayobidasiinnsatuver1no2.xlsm
18	2019tyousasyosakuseisystemtouver1no2.xlsm
19	2019heisei28nenndokojinnbetukaikeihoukokugakunennbunnver1no2.xlsm
20	2019cvdatabaseadvance8000onnseitukiver1no2.xlsm
21	2019cvdatabaseadvance16000onnseitukiver1no2.xlsm
22	2019cvdatabasemonstervol1ver1no2.xlsm
23	2019cvdatabasemonstervol2ver1no2.xlsm
24	2019cvdatabasemonstervol3ver1no2.xlsm
25	2019cvdatabasemonstervol4ver1no2.xlsm
26	2019cvdataBasemonster2daicontrolfile.xlsm

NO	システム名
1	2019CV-DataBaseAdvance40Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
2	2019CV-DataBaseAdvance100Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
3	2019CV-DataBaseAdvance200Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
4	2019CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
5	2019CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
6	2019CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
7	2019CV-DataBaseAdvance1000Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
8	2019CV-DataBaseAdvance2000Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
9	2019CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
10	2019CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
11	2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
12	2019CV-DataBaseAdvance軽装版40Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
13	2019CV-DataBaseAdvance軽装版100Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
14	2019CV-DataBaseAdvance軽装版200Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
15	2019CV-DataBaseAdvance軽装版400Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
16	2019CV-DataBaseAdvance呼び出し印刷Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
17	2019CV-DataBaseAdvanceスーパー呼び出し印刷Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
18	2019調査書等各種証明書作成システムVer1 (CV-DataBase8000Ver1コンピュータ2台リリース版サンプル).xlsm
19	2019平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1コンピュータ2台リリース版).xlsm
20	2019CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
21	2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
22	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
23	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
24	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
25	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xlsm
26	2019CV-DataBaseMonster2台制御ファイル.xlsm

なお、登録書き換え処理が済んだ後は、下の

5. 登録書き換え後の「2019CV-DataBaseMonsterVer1（コンピュータ1台リリース配布版）」のセットファイルのリンクの編集

の部分をよく見ながら、更にフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）でおこなってください。
そして、必ず1の（1）で述べたフォルダーA内の全てのファイルとフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）内全てのファイルをDVDまたはBRD等にコピーして保存しておきましょう。パソコンにトラブルやファイルの編集作業でトラブルが発生した際、対処できるようにしておくためです。

また、登録書き換え処理が済み各ファイルを開く場合、登録書き換えを実行したフォルダーB内では開かないで、つねに更に別のフォルダーをDドライブに作成し、そこにコピーしてそこで開いてファイルの処理編集をおこなうようにしてください。お元となるフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）のファイルを守るためです。

3. 各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について

excel database vba | 本格的エクセルデータベース（excel database）である「CV-DataBaseAdvance 製品」の各エクセルファイルや試用版のファイルを開いたら、先ず、必ず次のように設定してください。

どのファイルを使用する場合についても同じですので、ファイル「2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」を用いて説明させていただきます

(1) Windows11 または Windows10 の場合

ファイルを立ち上げていくと次の[図 1 6]の画面「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」のタブ「シート選択、処理呼出1」が表示されます。但し、ファイルの種類によってはコマンドボタンの種類や大きさの表示が異なります。

[図 1 6]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択、処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BA,BB選択 | 入力シートCA、CB、DA、DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示
セルの広範囲選択呼出

全画面表示
キャンセル

シート見出し表示
システム終了

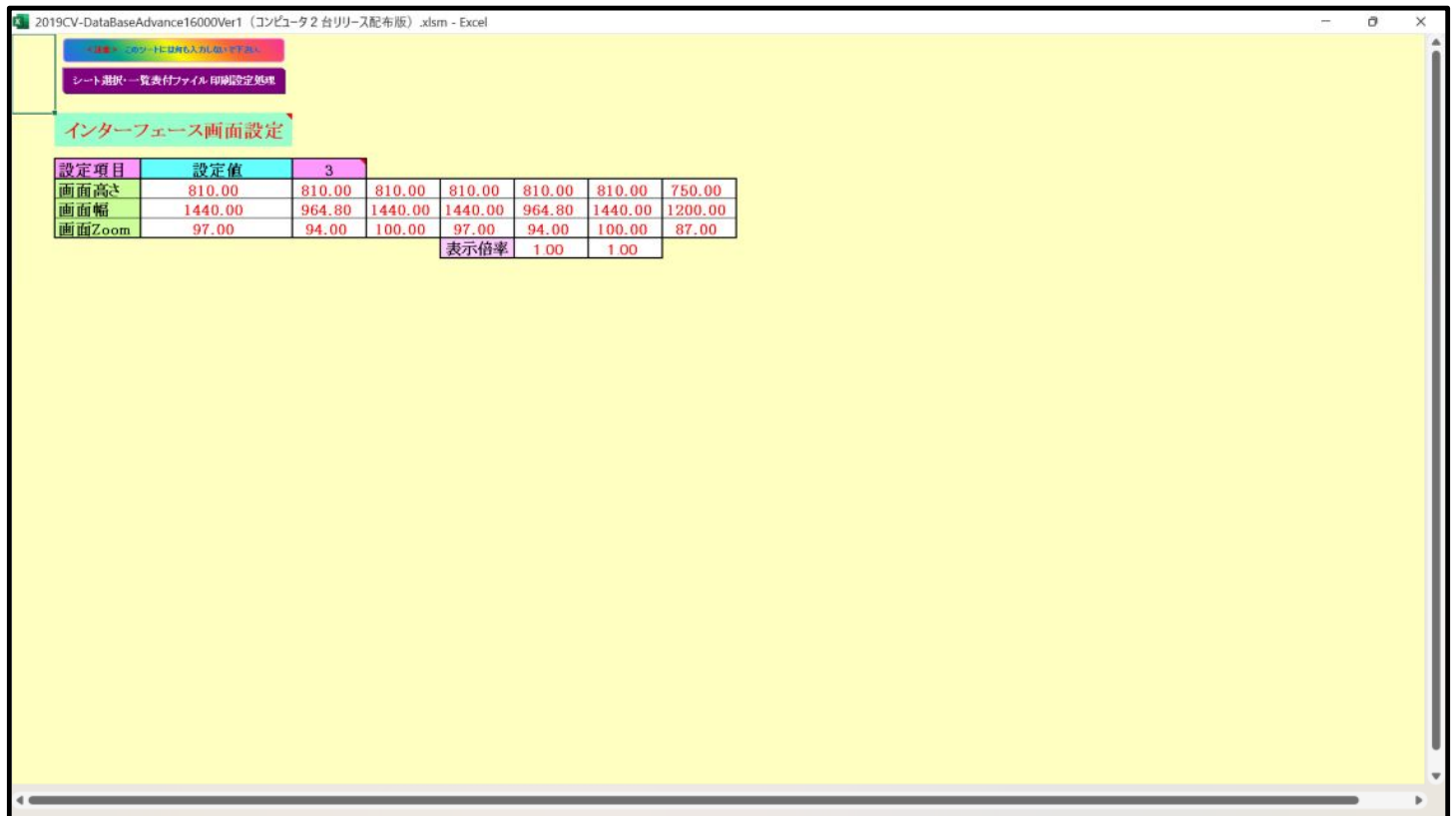
シート見出し非表示

上の [図 1 6]の画面において

インターフェース画面設定

をクリックするとシート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図 1 7]画面のようになります。

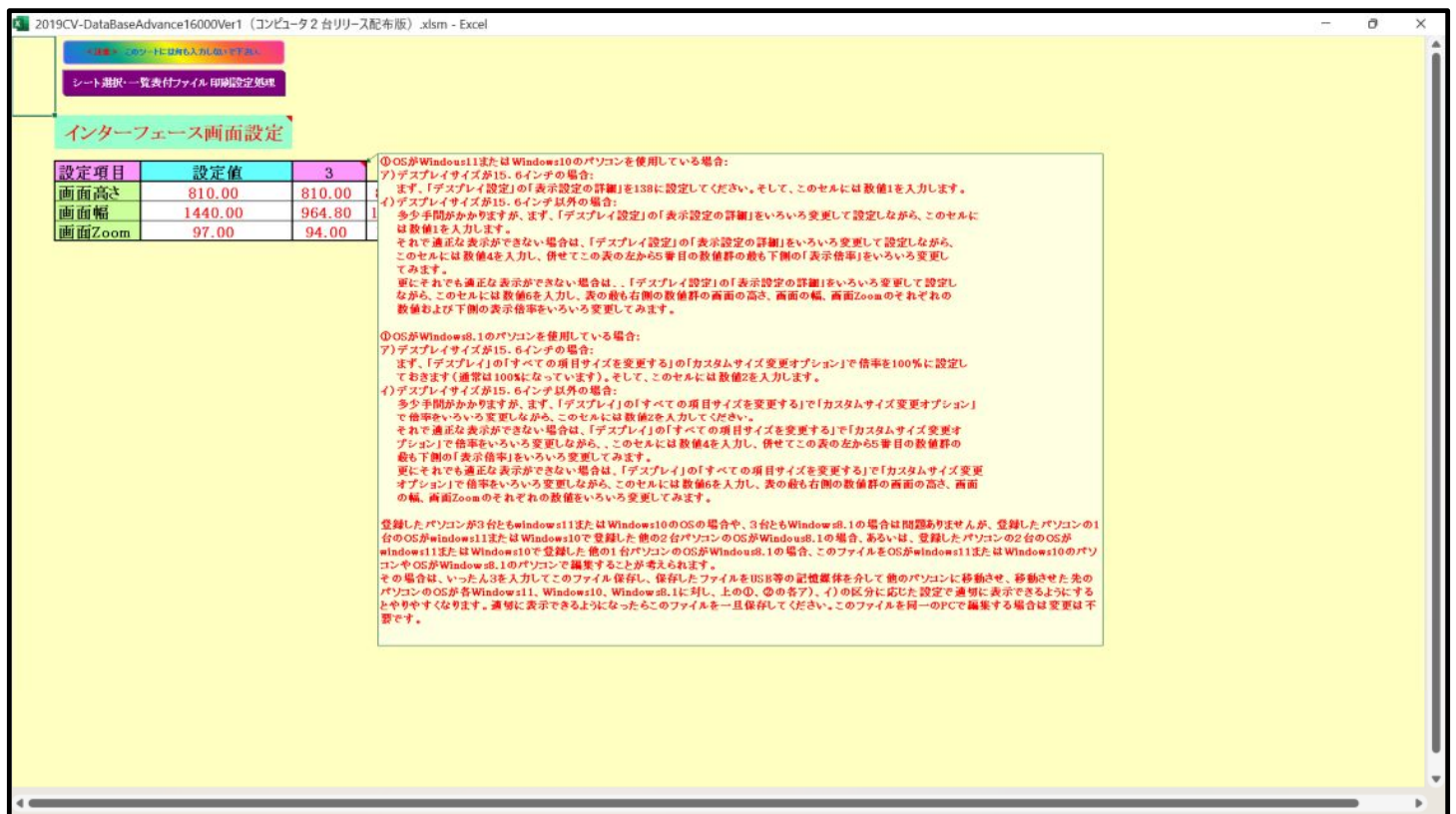
[図 1 7]



設定項目	設定値	3						
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00	
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00	
				表示倍率	1.00	1.00		

上の[図 1 7]画面のセル **3** にポインターを近づけると、次の[図 1 8]画面のようになります。

[図 1 8]



設定項目	設定値	3
画面高さ	810.00	810.00
画面幅	1440.00	964.80
画面Zoom	97.00	94.00

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:

ア)ディスプレイサイズが15.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。

イ)ディスプレイサイズが15.6インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

②OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:

ア)ディスプレイサイズが15.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(標準は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。

イ)ディスプレイサイズが15.6インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

登録したパソコンが3台ともWindows11またはWindows10のOSの場合や、3台ともWindows8.1の場合は問題ありませんが、登録したパソコンの1台のOSがWindows11またはWindows10で登録した他の2台パソコンのOSがWindows8.1の場合、あるいは、登録したパソコンの2台のOSがWindows11またはWindows10で登録した他の1台パソコンのOSがWindows8.1の場合、このファイルをOSがWindows11またはWindows10のパソコンやOSがWindows8.1のパソコンで編集することが考えられます。

その場合は、いったん3を入力してこのファイルの保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSがWindows11、Windows10、Windows8.1に対し、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするようやりやります。適切に表示できるようになったこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

となり、コメント

① OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:

ア) デ스플레이サイズが15.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。

イ) デ스플레이サイズが15.6インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

② OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:

ア) デ스플레이サイズが15.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます（通常は100%になっています）。そして、このセルには数値2を入力します。

イ) デ스플레이サイズが15.6インチ以外の場合:

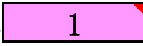
多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

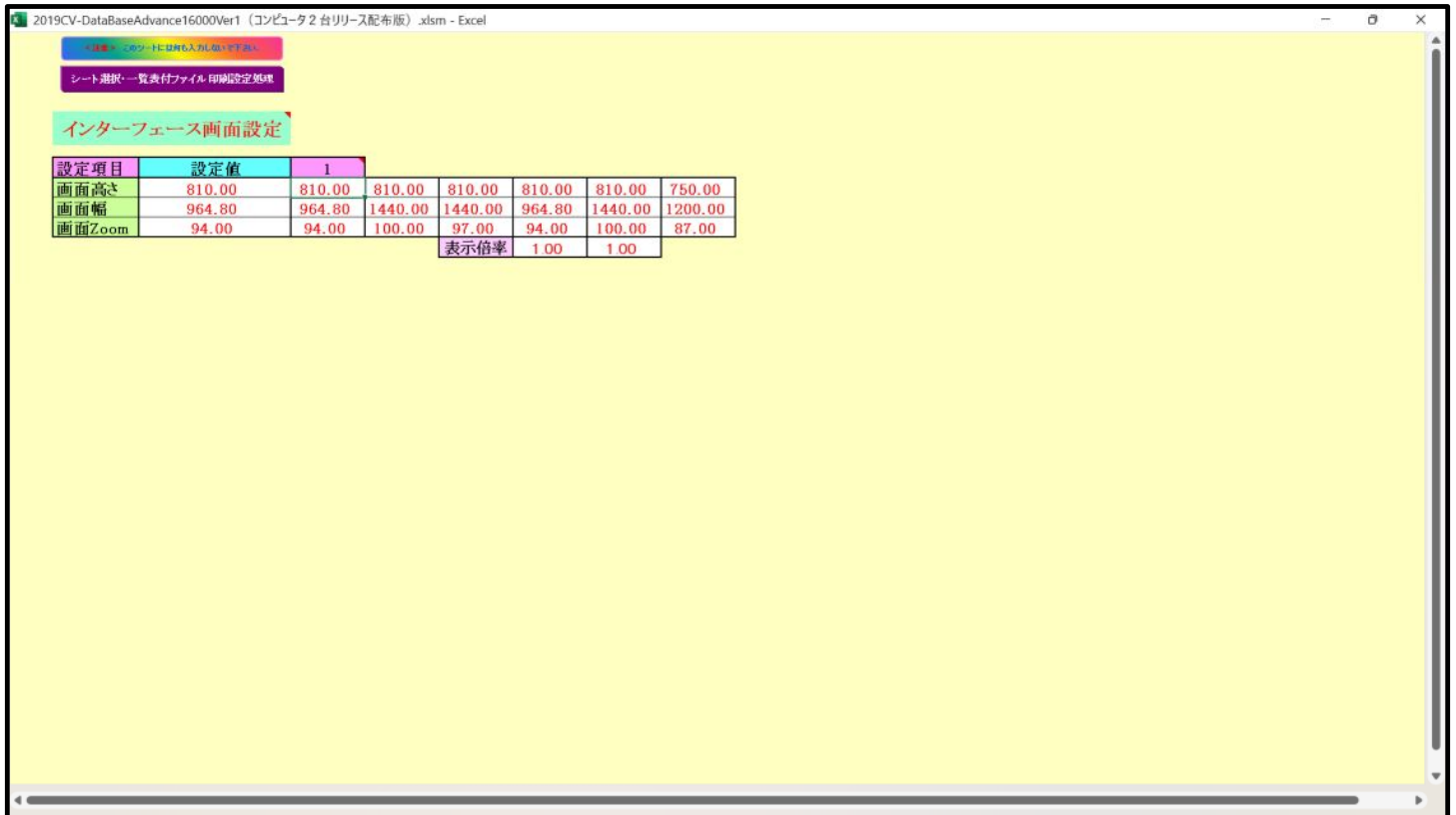
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

登録したパソコンが3台ともWindows11またはWindows10のOSの場合や、3台ともWindows8.1の場合は問題ありませんが、登録したパソコンの1台のOSがWindows11またはWindows10で登録した他の2台パソコンのOSがWindows8.1の場合、あるいは、登録したパソコンの2台のOSがWindows11またはWindows10で登録した他の1台パソコンのOSがWindows8.1の場合、このファイルをOSがWindows11またはWindows10のパソコンやOSがWindows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対し、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

上の図18]の画面でセル  の部分の値を  と入力すると次の[図19]の画面のようになります。

[図 1 9]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

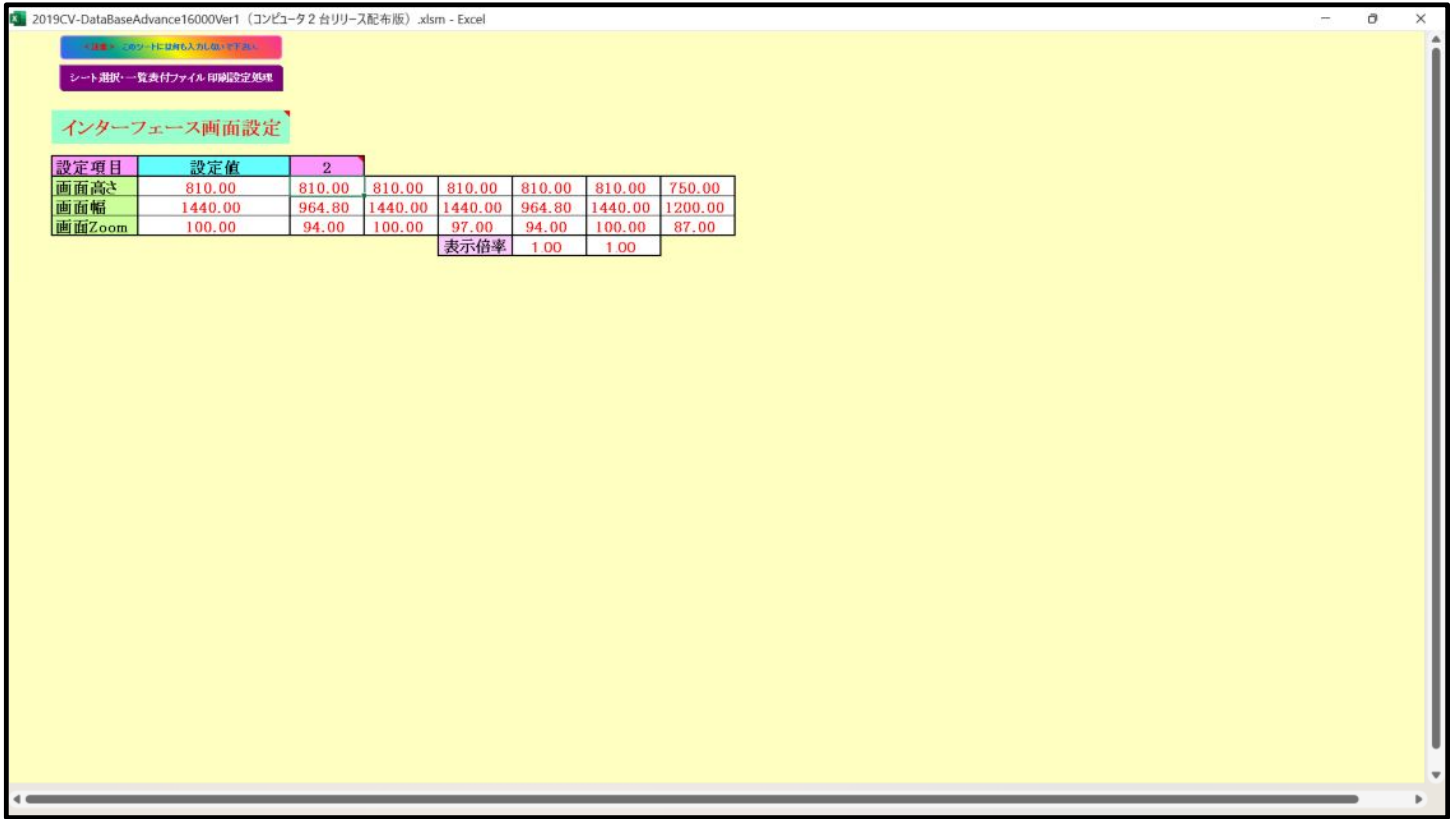
上の[図 1 9]の画面の状況でコマンドボタンをクリックすると次の[図 2 0]の画面ようになります、正常なユーザーフォームの表示となります。

[図 2 0]



更に上の[図 2 0]の画面セル **1** の値を **2** に変更し、次の[図 2 1]の画面のようになります。

[図 2 1]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の次の[図 2 1]の画面の状況でコマンドボタン **を** クリックする、次の[図 2 2]の画面のようになります。

[図 2 2]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図 2 2]の画面では正常なユーザーフォームの表示よりもかなり大きめの表示となってしまいます。

そして、次の上の[図 2 1]の画面のセル **2** の値を **3** に変更し、次の[図 2 3]の画面のようにしてみます。

[図 2 3]

2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版).xslm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 2 3]の画面の状況でコマンドボタンをクリックすると、次の[図 2 4]の画面のようになります。

[図 2 4]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

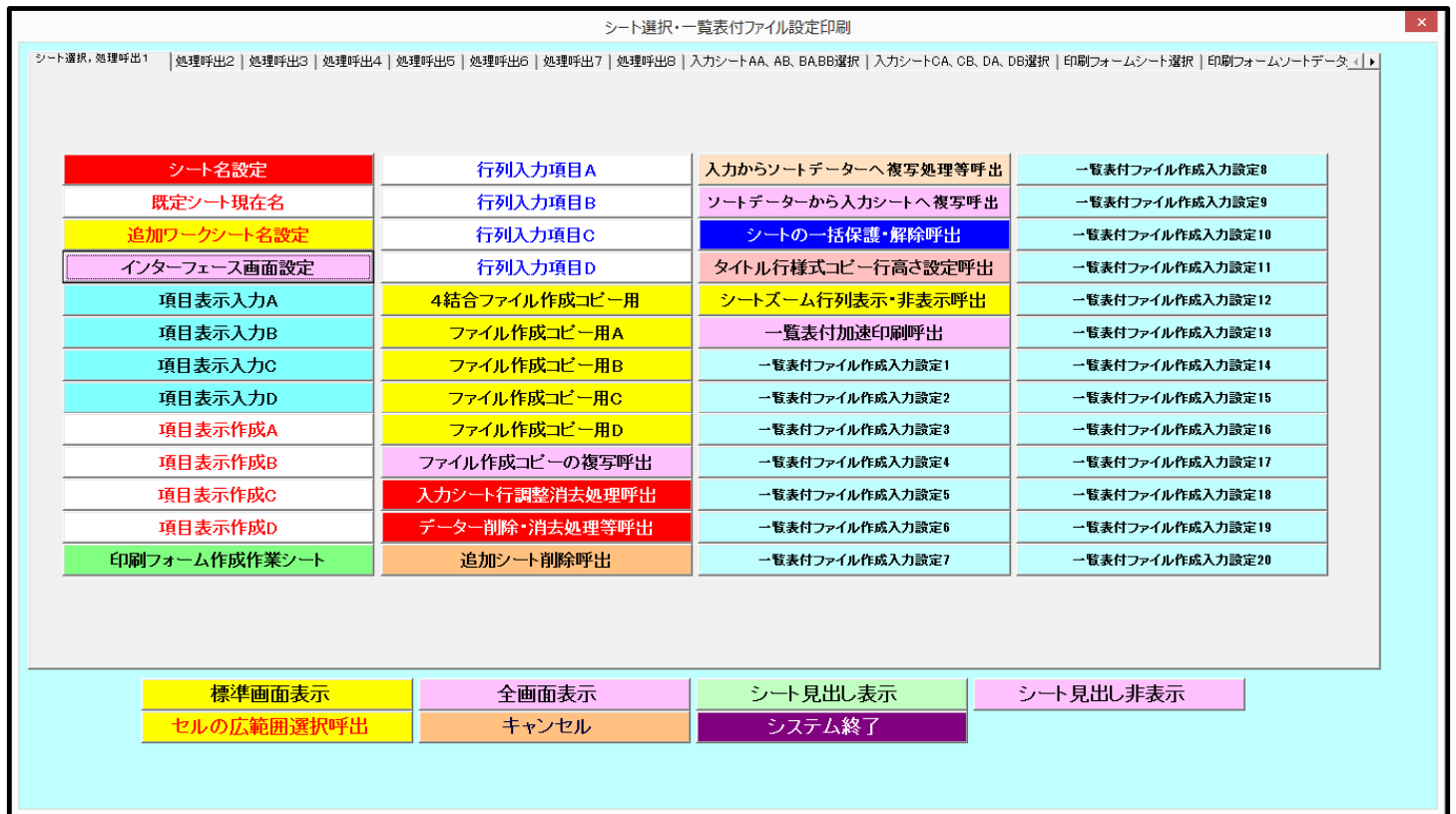
セルの広範囲選択呼出 | キャンセル | システム終了

上の[図 2 4]の画面は正常なユーザーフォームの表示よりもやや大きめの表示となりますが、正常なユーザーフォームの表示にかなり近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。

(2) Windopws8.1 の場合

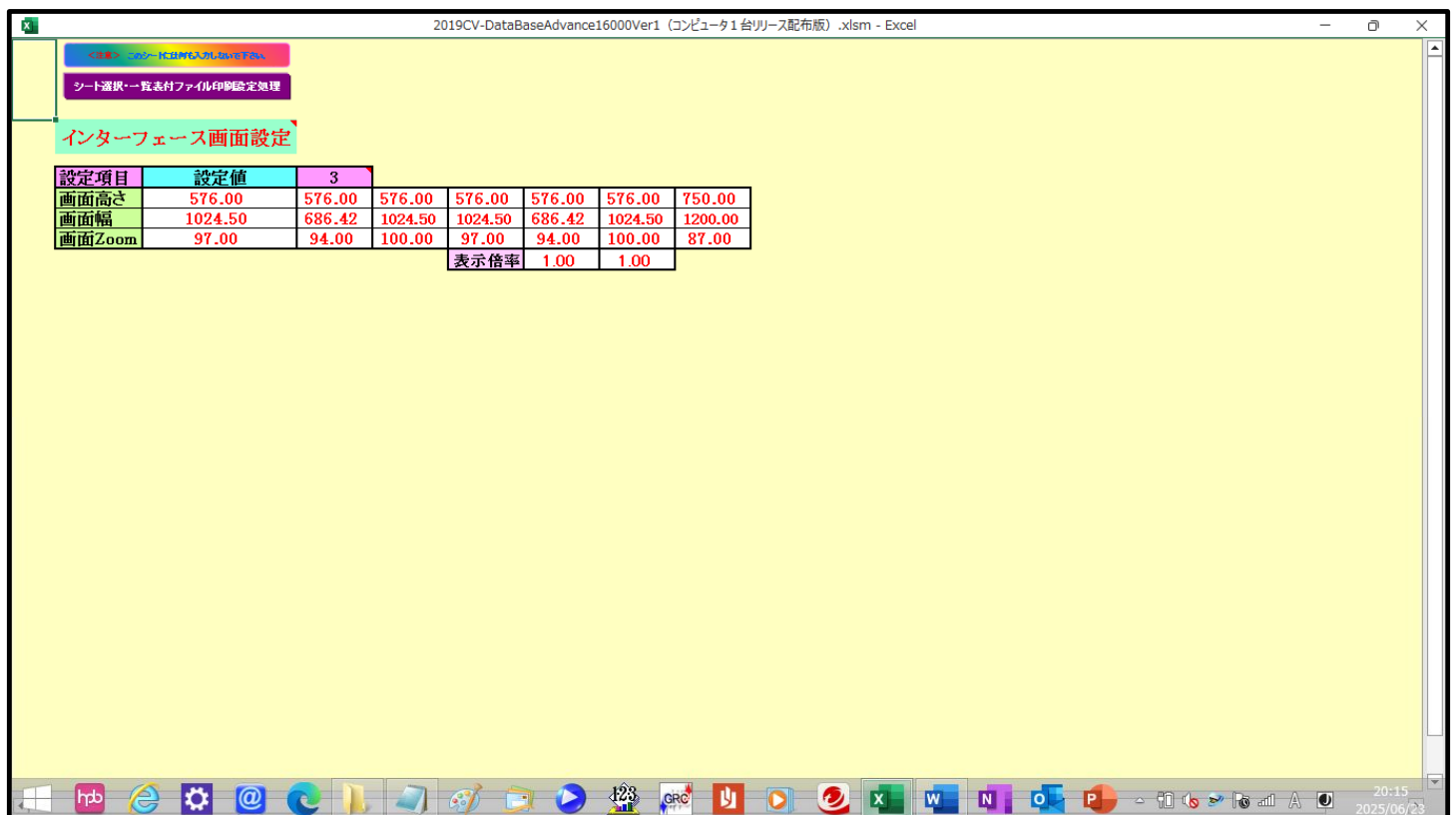
ファイルを立ち上げていくと、次の[図 2 5]の画面「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」のタブ「シート選択、処理呼出1」が表示されます。

[図 2 5]



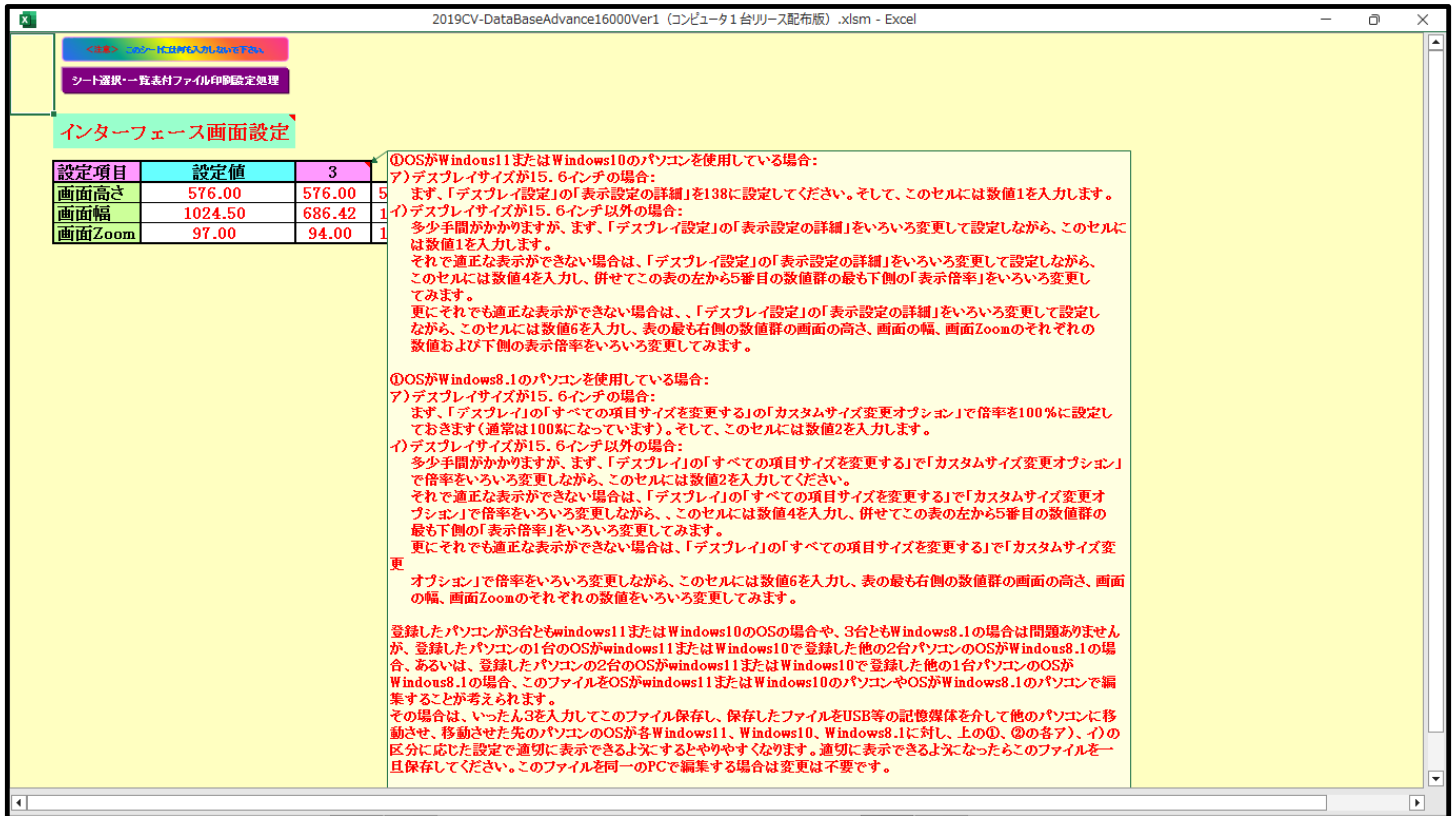
上の[図 2 5]画面において、コマンドボタン **インターフェース画面設定** をクリックすると、シート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図 2 6]画面のようになります。

[図 2 6]



上の[図 2 6]画面のセル **3** にポインターを近づけると、次の[図 2 7]画面のようになります。

【図 2 7】



となりコメント

① OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
 ア) デ스플레이サイズが15.6インチの場合:
 まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
 イ) デ스플레이サイズが15.6インチ以外の場合:
 多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。
 それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
 更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

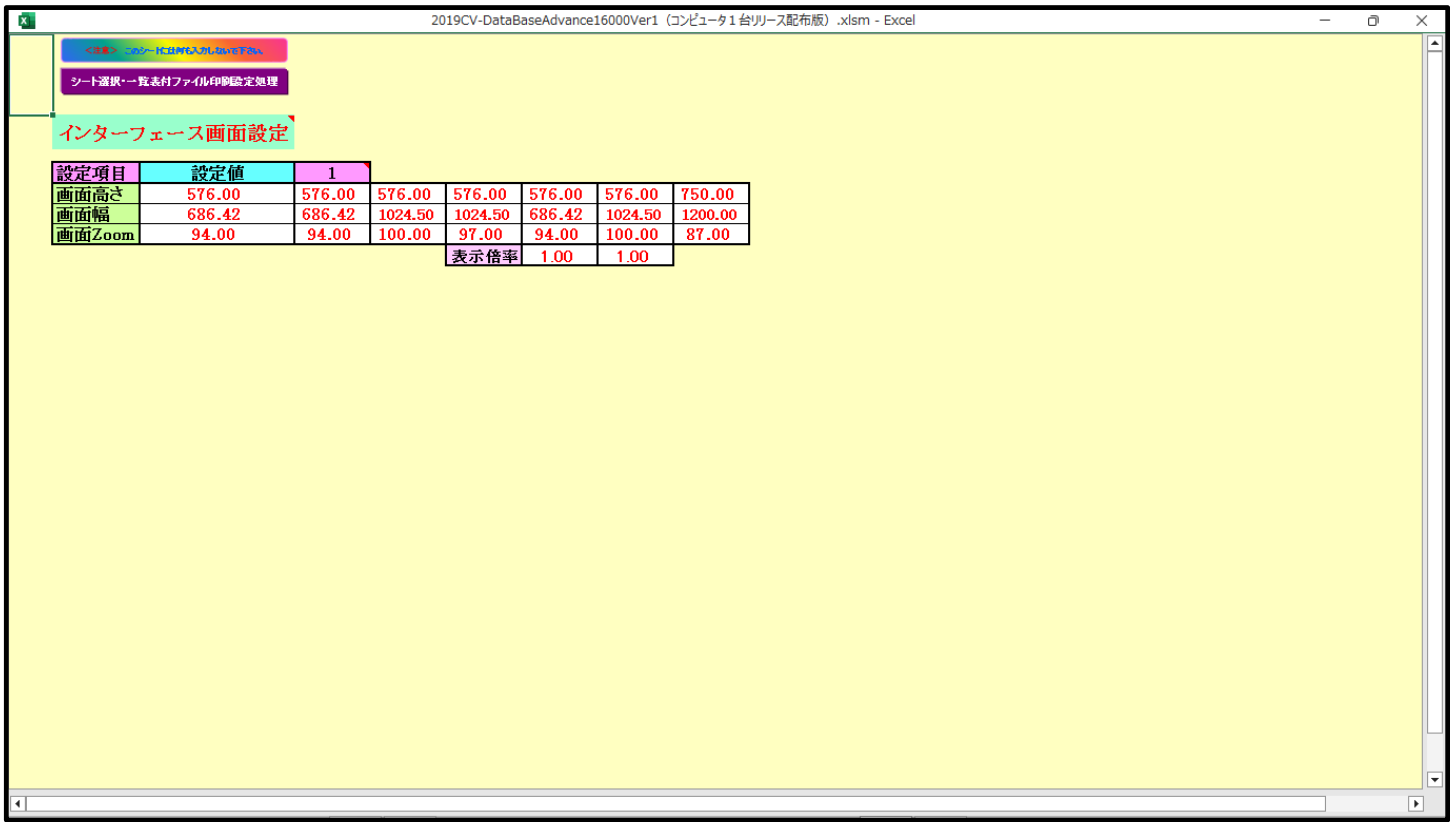
① OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
 ア) デ스플레이サイズが15.6インチの場合:
 まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。
 イ) デ스플레이サイズが15.6インチ以外の場合:
 多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
 それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
 更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

登録したパソコンが3台ともwindows11またはWindows10のOSの場合や、3台ともWindows8.1の場合は問題ありませんが、登録したパソコンの1台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の2台パソコンのOSがWindows8.1の場合、あるいは、登録したパソコンの2台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の1台パソコンのOSがWindows8.1の場合、このファイルをOSがwindows11またはWindows10のパソコンやOSがWindows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対し、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

次に上の[図 2 7]画面セル **3** の値を **1** に変更し、次の[図 2 8]画面ようにして
てみます。

[図 2 8]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 2 8]画面の状況でコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリッ
クすると、次の[図 2 9]画面のようになってしまいます。

[図 2 9]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, B, ABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示
セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図 2 9]画面ではユーザーフォームの横幅がかなり狭くなっており、編集しづらくなっています。

更に、[図 2 8]画面のセル 1 の値を 2 に変更し、次の[図 3 0]画面のようにします。

[図 3 0]

2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	2					
画面高さ	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	750.00
画面幅	1024.50	686.42	1024.50	1024.50	686.42	1024.50	1200.00
画面Zoom	100.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
			表示倍率	1.00	1.00		

上の[図 3 0]画面の状況で[図 3 0]画面のコマンドボタンをクリックすると、次の[図 3 1]画面のようになります。

[図 3 1]

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

全画面表示

シート見出し表示

シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出

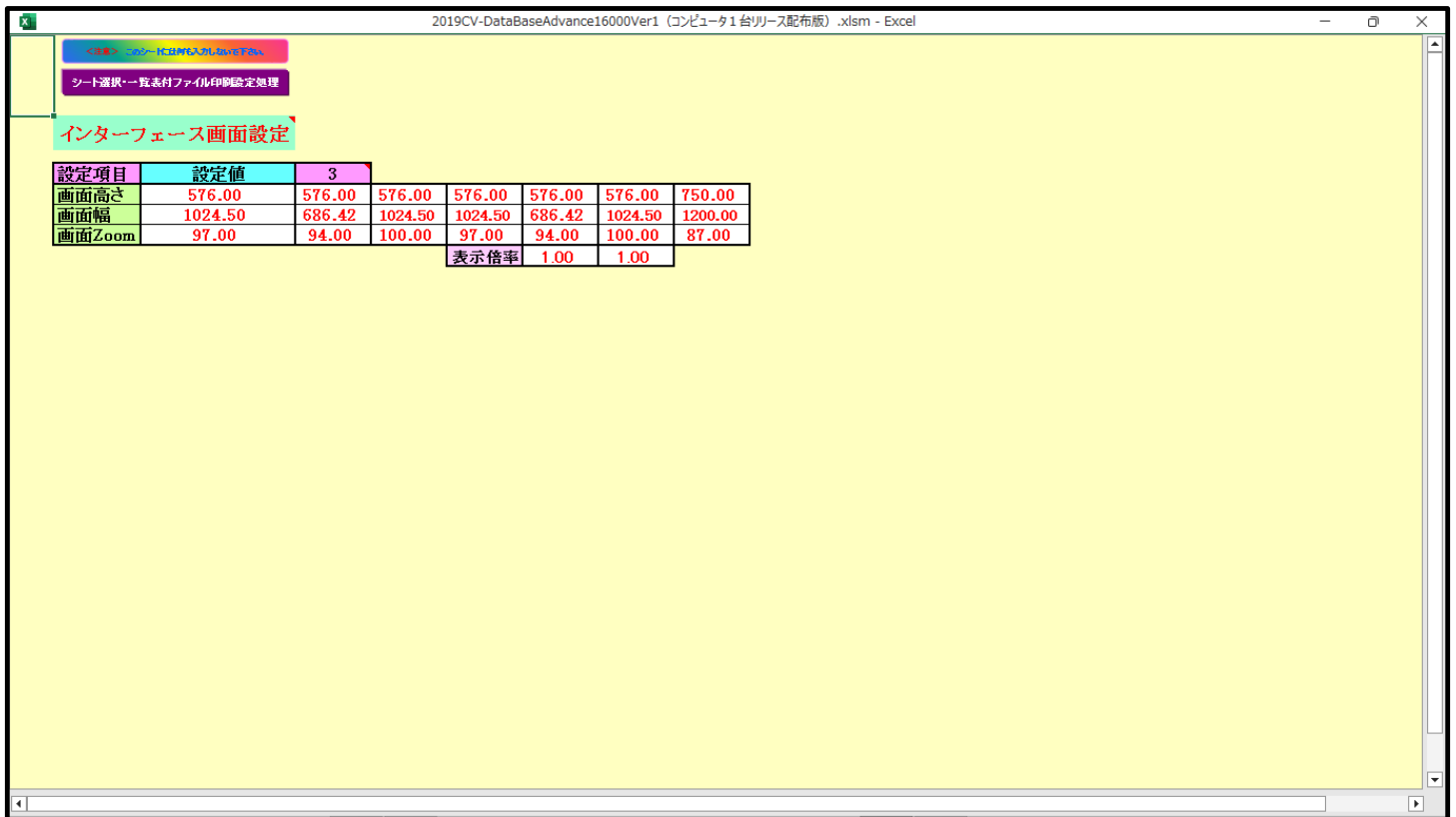
キャンセル

システム終了

上の[図 3 1]画面のユーザーフォームの表示は正常なります。

そして更に、上の[図 3 0]画面のセル 2 の値を 3 に変更し、次の[図 3 2]画面のようになります。

[図 3 2]



上の[図 3 2]の画面の状況で、[図 3 2]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると、次の[図 3 3]の画面のようになります。

[図 3 3]



上の[図 3 3]の画面のユーザーフォームの表示は、正常な表示よりもやや小さいですが、それでもかなり正常な表示に近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。

4. 2019版1台セット製品登録書き換え実行後の

「2019CV-DataBaseMonsterVer1（コンピュータ1台リリース配布版）」のセットファイルの開き方

上の2. 2019版1台セット製品登録書き換え実行後の5個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

「20192019CV-DataBaseMonster 1台制御ファイル.xslm.xslm」

はセットで使用するファイルで同じフォルダーにコピーして使用する必要があります。
とくに

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」

の4個のファイルは相互にワークシート関数でリンクされており、4個を同時に開いて編集・印刷等の処理をおこなって本来の威力発揮できるシステムです。そして、ファイル「2024CV-DataBaseMonster 1台制御ファイル.xslm」は上の相互にワークシート関数でリンクされた4個のファイルの開閉、選択等をおこなうためのファイルです。上の相互にワークシート関数でリンクされた4個のファイルは、個々に1つずつ開いて編集することもできますが、必ずファイル「20192019CV-DataBaseMonster 1台制御ファイル.xslm.xslm」を立ち上げ、

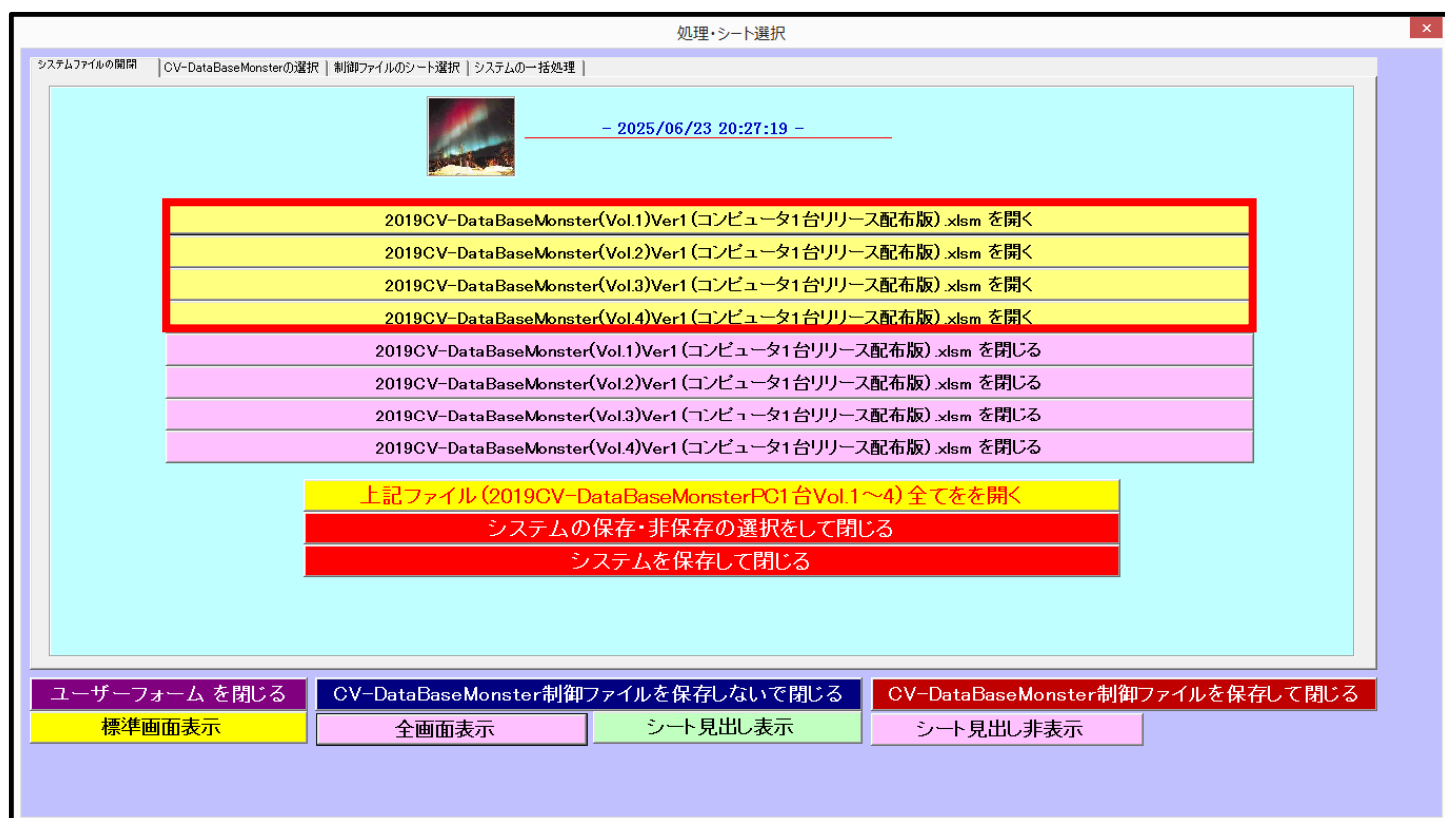
この

ファイルを介して開いて編集等の処理をおこなってください。

それでは、ファイルの開き方について説明してまいります。

まず、ファイル「20192019CV-DataBaseMonster 1台制御ファイル.xslm.xslm」を立ち上げると、次の[図34]の画面が表示されます。

[図34]



(1) 4個のファイルを個々に開く方法

上の[図34]の画面の で囲まれたコマンドボタンをクリックするとクリックしたコマンドボタンに表示されたファイルが開きます。

まず、コマンドボタン

クリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」

が呼び出され、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリッして立ち上げ操作を実施していくと、次の
[図 3 5]の画面が表示されます。

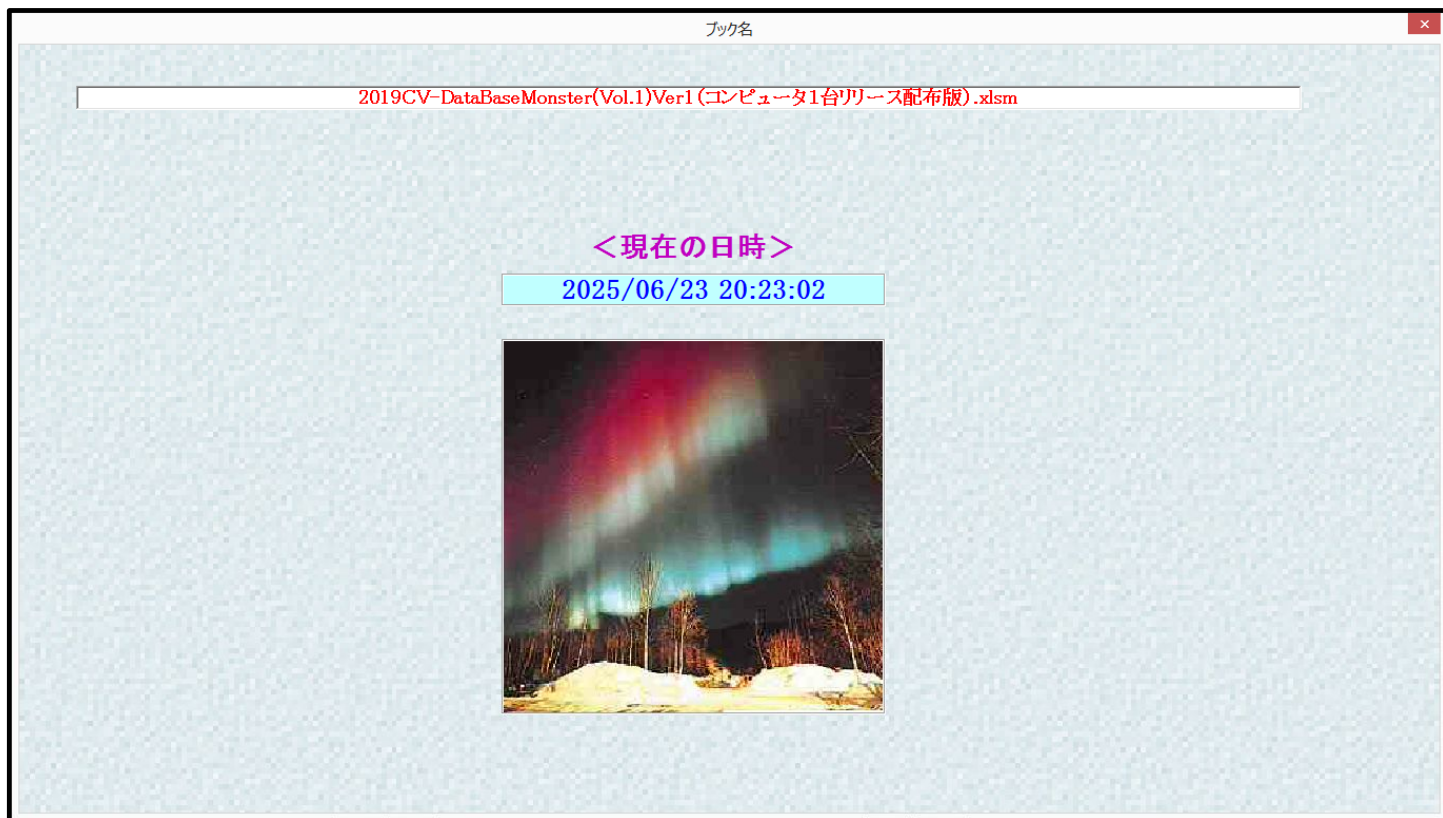
[図 3 5]



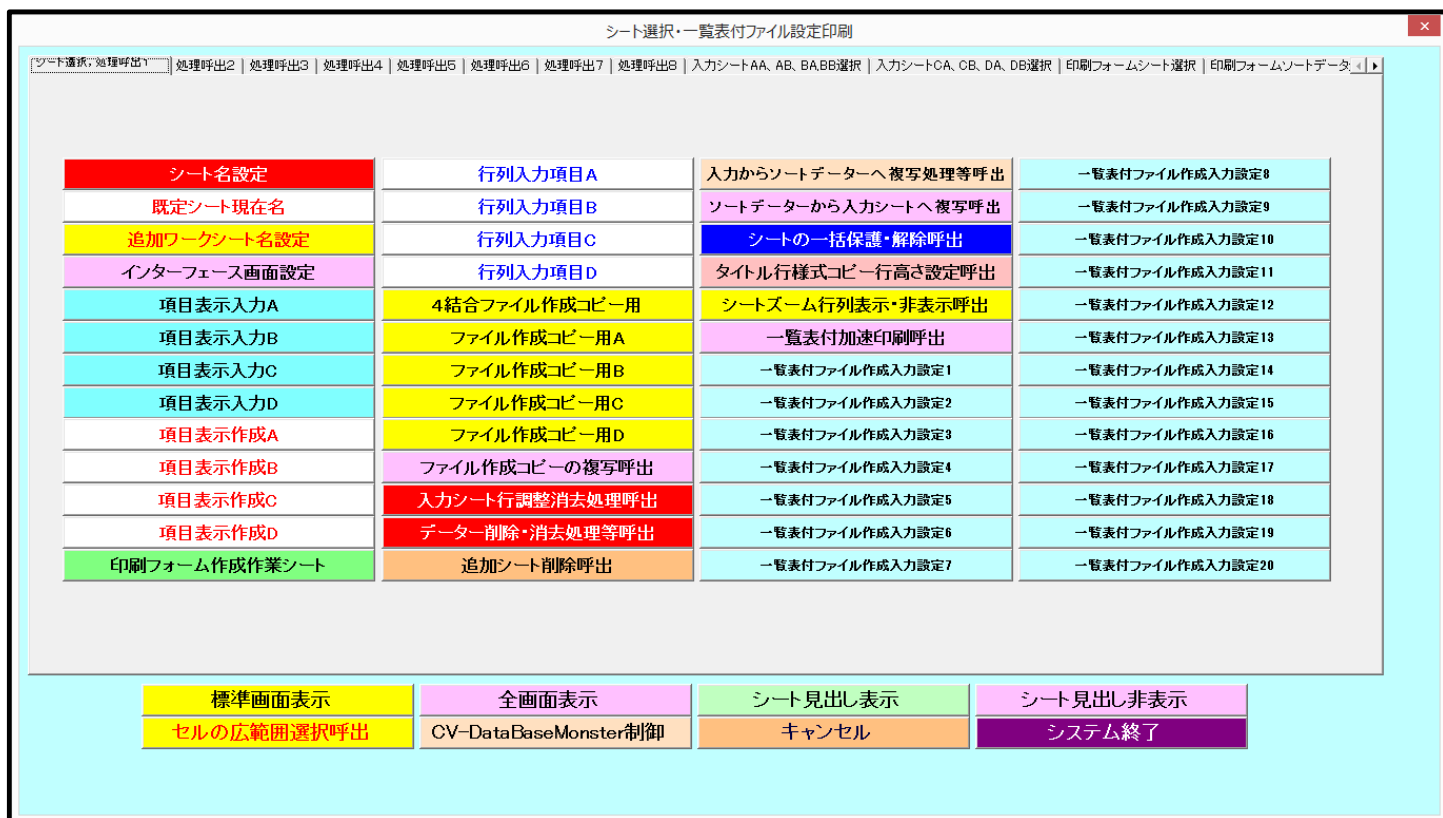
使用開始

上の[図 3 5]の画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックすると、引き続き下の
[図 3 6]の画面がしばらく表示された後、その下の[図 3 7]の画面が表示されます。

[図 3 6]



[図 3 7]



そして、上の[図 3 7]の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると、下の[図 3 8]の画面がしばらく表示された後、[図 3 9]の画面が表示され、さらに[図 4 0]の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版).xslm」を開く操作は完了します。

[図 3 8]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xism - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコメントボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知お下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12

[図 3 9]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xism - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3					
画面高さ	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	750.00
画面幅	1024.50	686.42	1024.50	1024.50	686.42	1024.50	1200.00
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

[図 4 0]

2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonsterPC1台	

次にファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」を開きますが、まず、上の

処理呼び出しボタン

[図 4 0]の Command ボタン をクリックすると再び次の[図 4 1]の画面が表示されます。

[図 4 1]



上の[図 4 1]の画面でコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm を開く

をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」

の呼出しが開始されます。途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施していく

と、次の[図 4 2]の画面が表示されます。

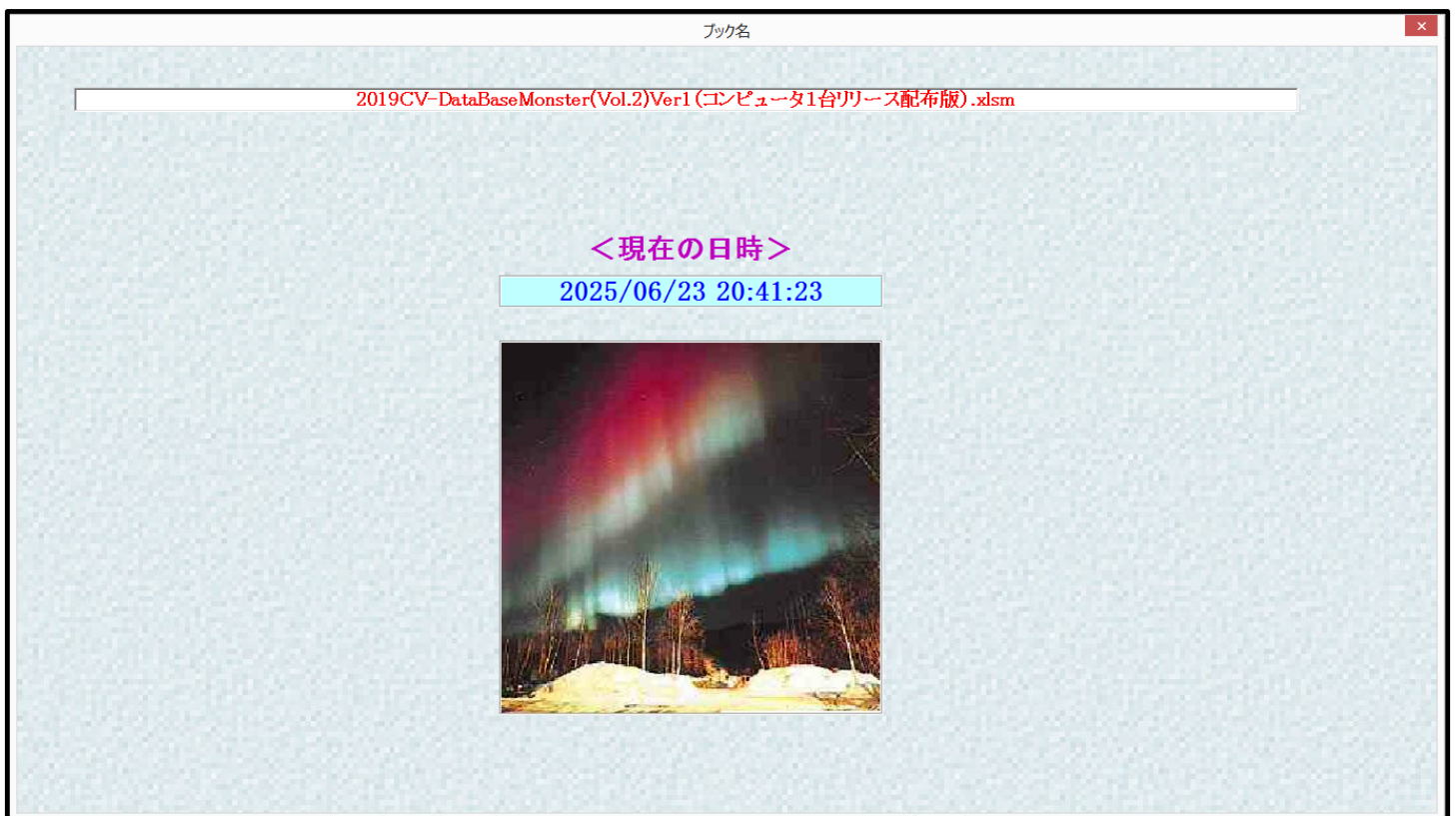
[図 4 2]



使用開始

上の[図 4 2]の画面の Command ボタン をクリックすると、引き続き下の [図 4 3]の画面 がしばらく表示された後、その下の[図 4 4]の画面が表示されます。

[図 4 3]



[図 4 4]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択・処理呼出1

処理呼出2

処理呼出3

処理呼出4

処理呼出5

処理呼出6

処理呼出7

処理呼出8

入力シートAA、AB、BABBB選択

入力シートCA、CB、DA、DB選択

印刷フォームシート選択

印刷フォームシートデータ1

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

全画面表示

シート見出し表示

シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出

CV-DataBaseMonster制御

キャンセル

システム終了

そして、上の[図 4 4]の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると、下の[図 4 5]の画面がしばらく表示された後、[図 4 6]の画面が表示され、さらに[図 4 7]の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xslm」を開く操作は完了します。

【図 4 5】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xism - Excel

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノート
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノート
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノート
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノート
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノート
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノート
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノート
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノート
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11ノート
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12ノート
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13ノート
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14ノート
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15ノート
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16ノート
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17ノート
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18ノート
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19ノート
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20ノート
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノート
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノート
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノート
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノート
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノート
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノート
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノート
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノート
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノート
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノート
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成

【図 4 6】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xism - Excel

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3						
画面高さ	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	750.00	
画面幅	1024.50	686.42	1024.50	1024.50	686.42	1024.50	1200.00	
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00	
				表示倍率	1.00	1.00		

[図 4 7]

呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版).xslm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版).xslm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版).xslm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版).xslm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xslm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonsterPC1台	

そして更にファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xslm」を開きますが、まず、上の[図 4 7]のボタン

処理呼び出しボタン

をクリックすると再び次の[図 4 8]の画面が表示されます。

[図 4 8]

処理・シート選択	
システムファイルの開閉 CV-DataBaseMonsterの選択 制御ファイルのシート選択 システムの一括処理	
 - 2025/06/23 20:43:18 -	
2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を閉じる 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を閉じる 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を閉じる 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm を閉じる	
上記ファイル (2019CV-DataBaseMonsterPC1台Vol.1～4) 全てを開く システムの保存・非保存の選択をして閉じる システムを保存して閉じる	
ユーザーフォーム を閉じる 標準画面表示	CV-DataBaseMonster制御ファイルを保存しないで閉じる 全画面表示
CV-DataBaseMonster制御ファイルを保存して閉じる シート見出し非表示	

上の[図 4 8]の画面でコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm を開く

をクリックするとファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版).xlsm」の呼出しが開始されます。途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図 4 9]の画面が表示されます。

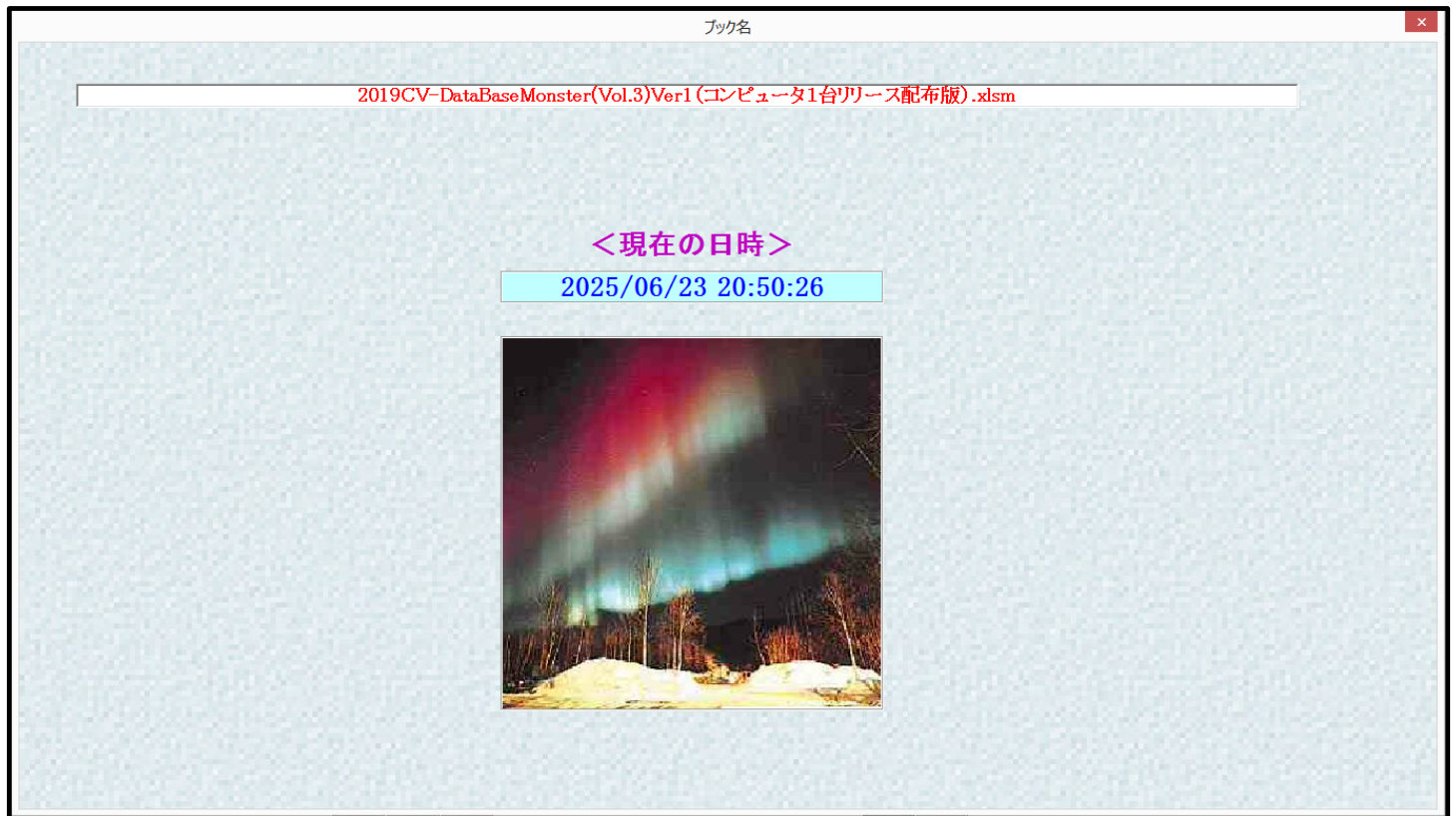
[図 4 9]



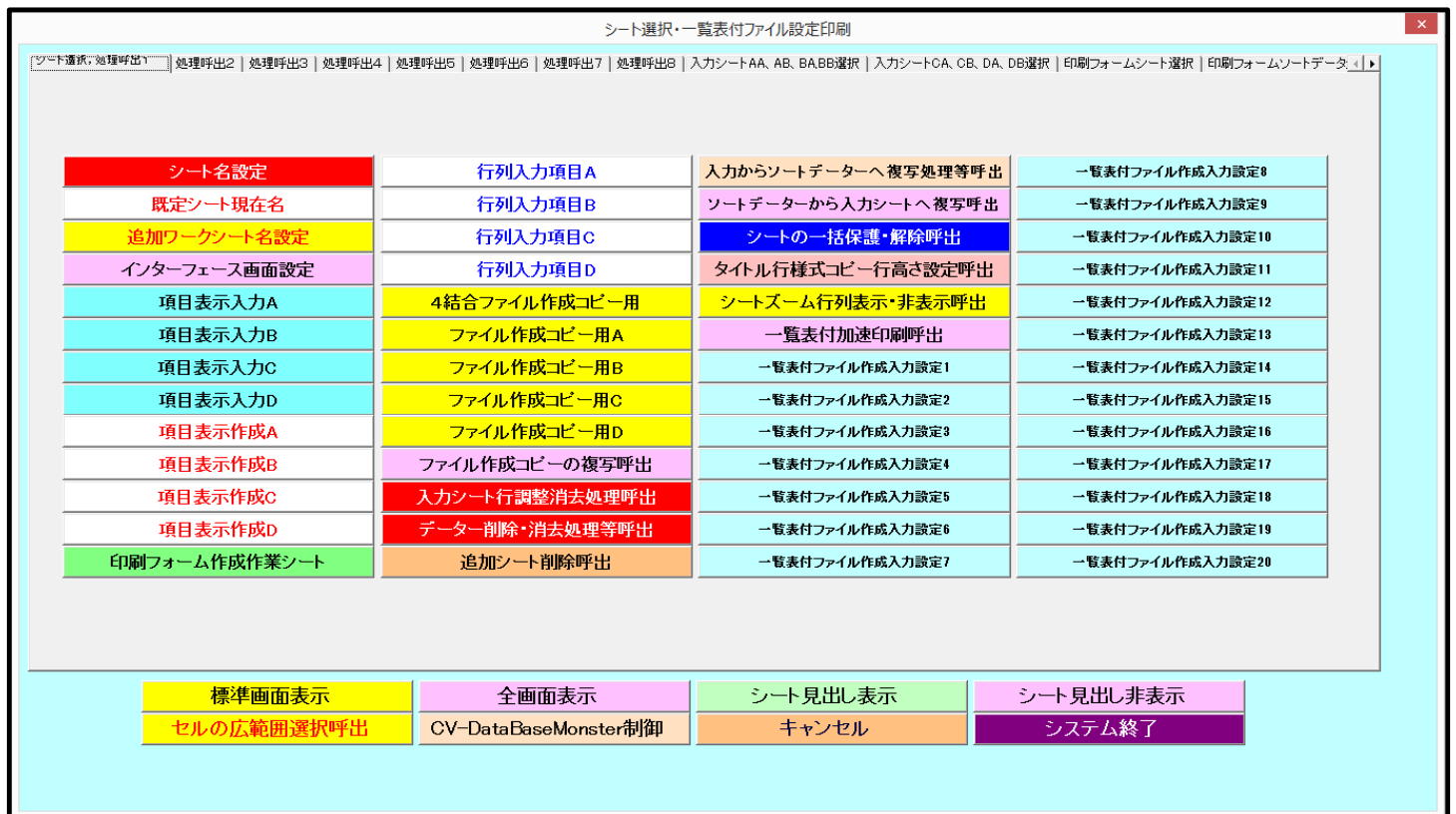
使用開始

上の[図 4 9]の画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックすると、引き続き下の[図 5 0]の画面「がしばらく表示された後、その下の[図 5 1]の画面が表示されます。

[図 5 0]



[図 5 1]



シート名設定

そして、上の[図 5 1]の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると、下の[図 5 2]の画面がしばらく表示された後、[図 5 3]の画面が表示され、さらに[図 5 4]の画面が表示されたら、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版).xslm」を開く操作は完了します。

【図 5 2】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノート
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノート
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノート
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノート
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノート
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノート
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノート
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノート
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11ノート
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12ノート
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13ノート
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14ノート
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15ノート
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16ノート
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17ノート
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18ノート
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19ノート
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20ノート
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノート
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノート
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノート
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノート
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノート
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノート
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノート
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノート
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノート
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノート
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成

【図 5 3】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3					
画面高さ	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	750.00
画面幅	1024.50	686.42	1024.50	1024.50	686.42	1024.50	1200.00
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
			表示倍率	1.00	1.00		

[図 5 4]

2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonsterPC1台	

そして最後にファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
を開きますが、まず、上の[図 5 4]の Command ボタン

処理呼び出しボタン

をクリックすると再び次の[図 5 5]の画面が表示
されます。

[図 5 5]



上の[図 5 5]の画面でコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm を開く

をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」

の呼出しが開始されます。途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施していく

と、次の[図 5 6]の画面が表示されます。

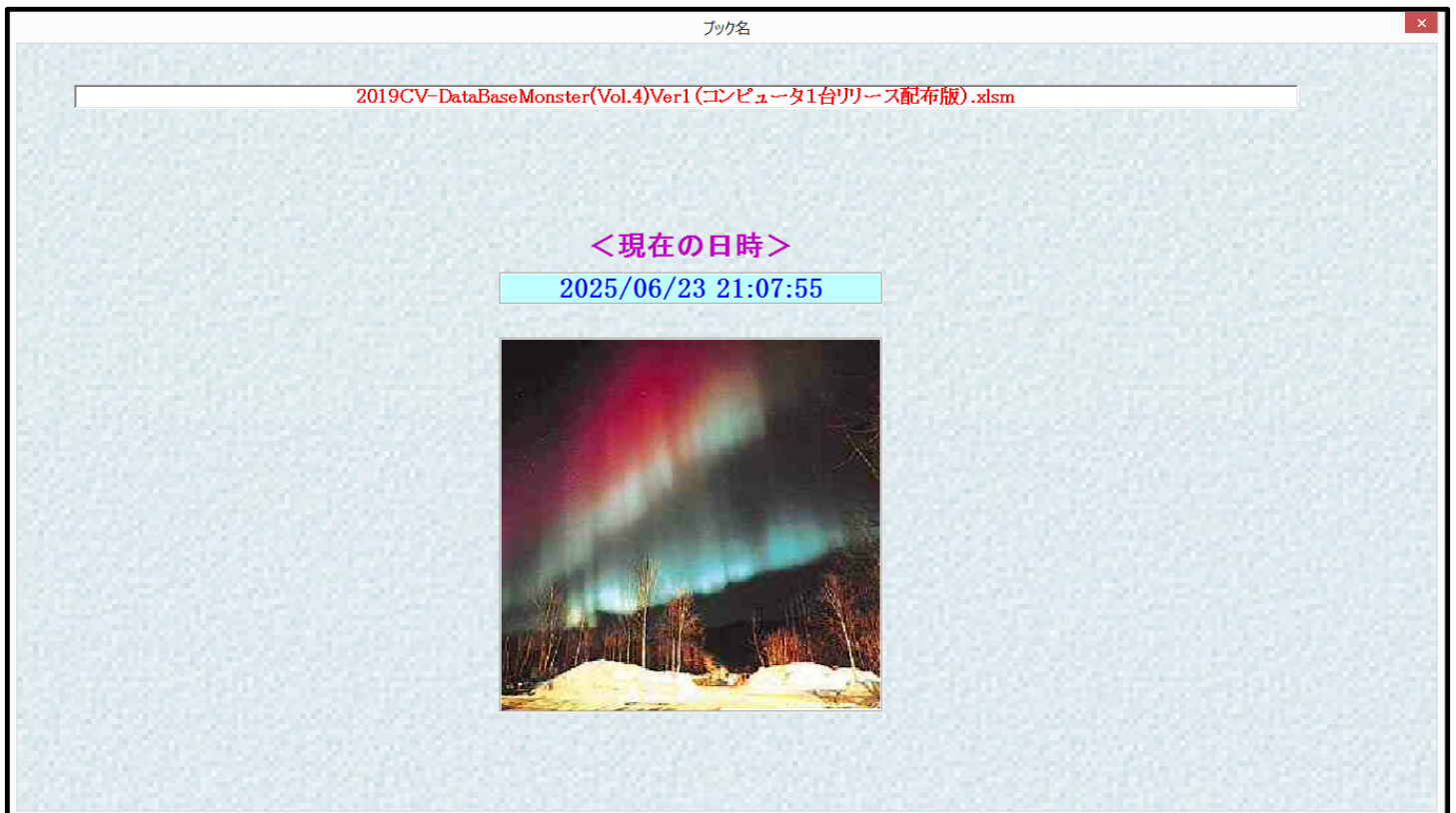
[図 5 6]



使用開始

上の[図 5 6]の画面のコマンドボタンをクリックすると、引き続き下の[図 5 7]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 5 8]の画面が表示されます。

[図 5 7]



[図 5 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択・処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BAB6選択 | 入力シートCA、CB、DA、DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | CV-DataBaseMonster制御 | キャンセル | システム終了

シート名設定

そして、上の[図 5 8]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図 5 9]の画面がしばらく表示された後、[図 6 0]の画面が表示され、さらに[図 6 1]の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」を開く操作は完了します。

[図 5 9]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm - Excel

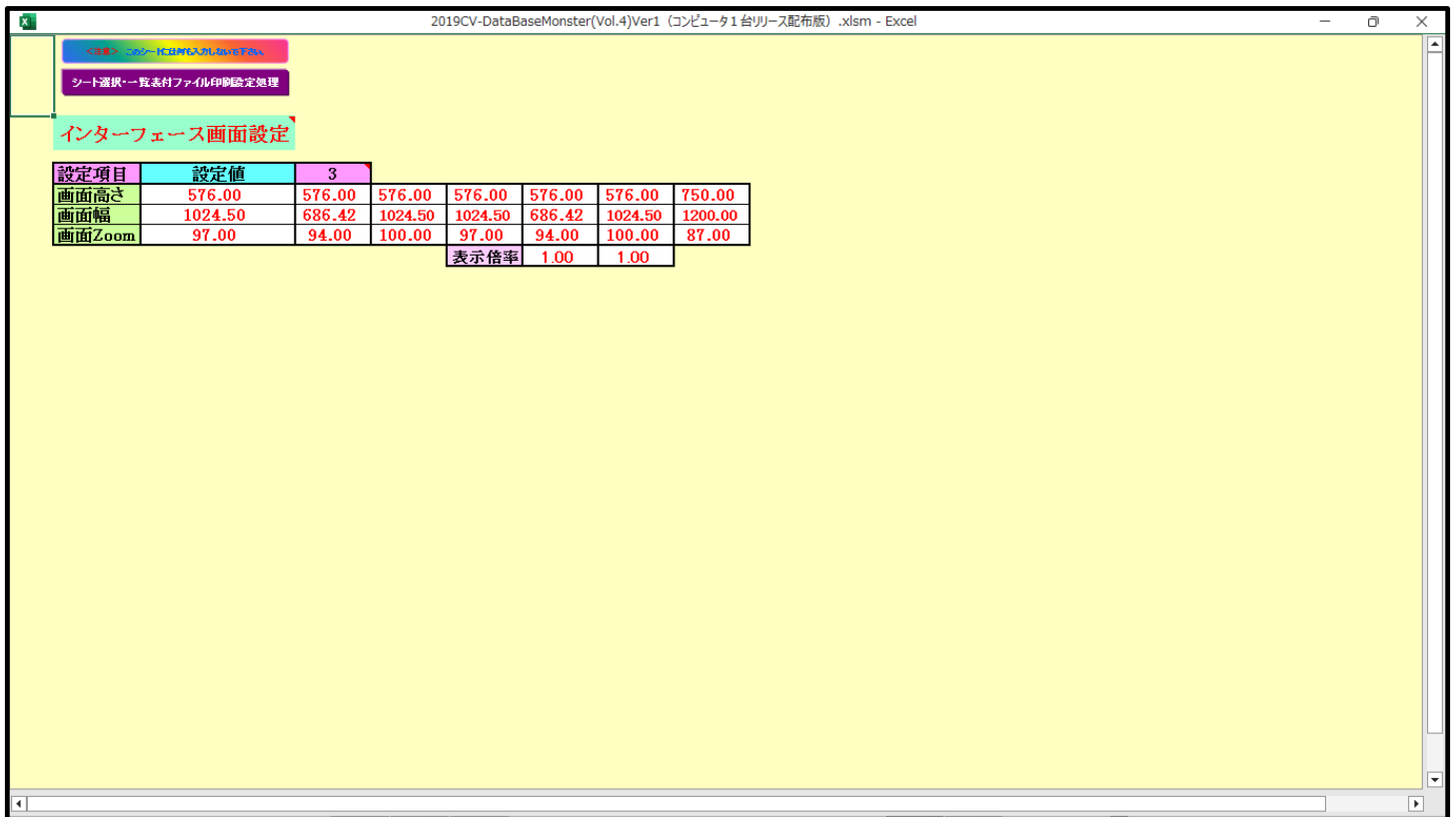
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 | シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知お下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シート
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シート
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シート
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シート
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シート
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シート
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シート
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シート
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11シート
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12シート
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13シート
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14シート
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15シート
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16シート
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17シート
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18シート
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19シート
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20シート
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シート
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シート
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シート
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シート
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シート
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シート
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シート
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シート
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シート
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シート
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成

[図 6 0]



[図 6 1]



以上のようにして4個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

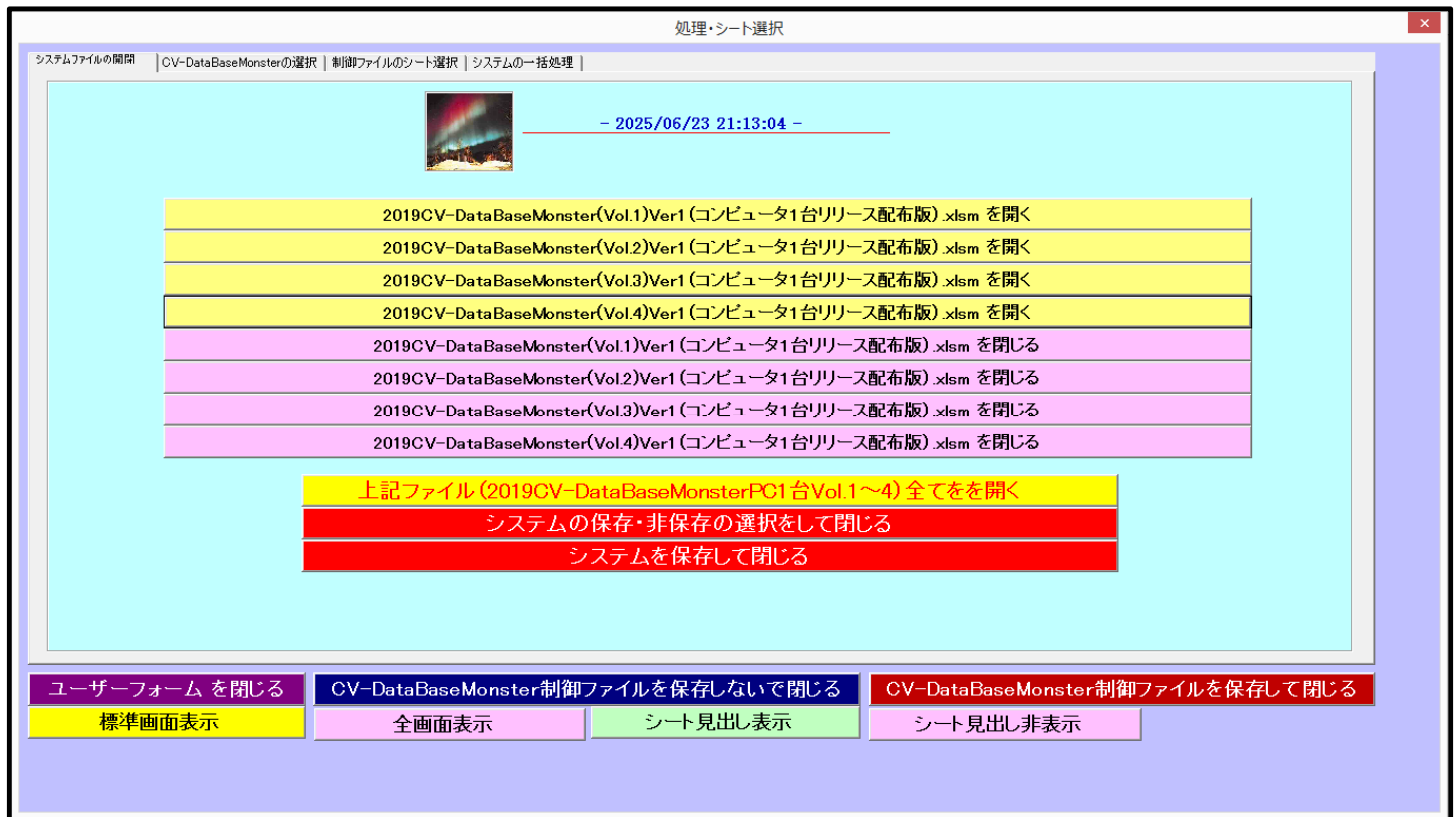
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

が全て開かれます。

処理呼び出しボタン

なお、[図 6 1]においてコマンドボタンをクリックすると、ユーザーフォーム「処理・シート選択」が起動し、次の[図 6 2]の画面になります。

[図 6 2]



上の[図 6 2]の画面でタブ「CV-DataBaseMonsterの選択」を選択すると、下の[図 6 3]の画面になります。

この[図 6 3]の画面で、開いた4個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

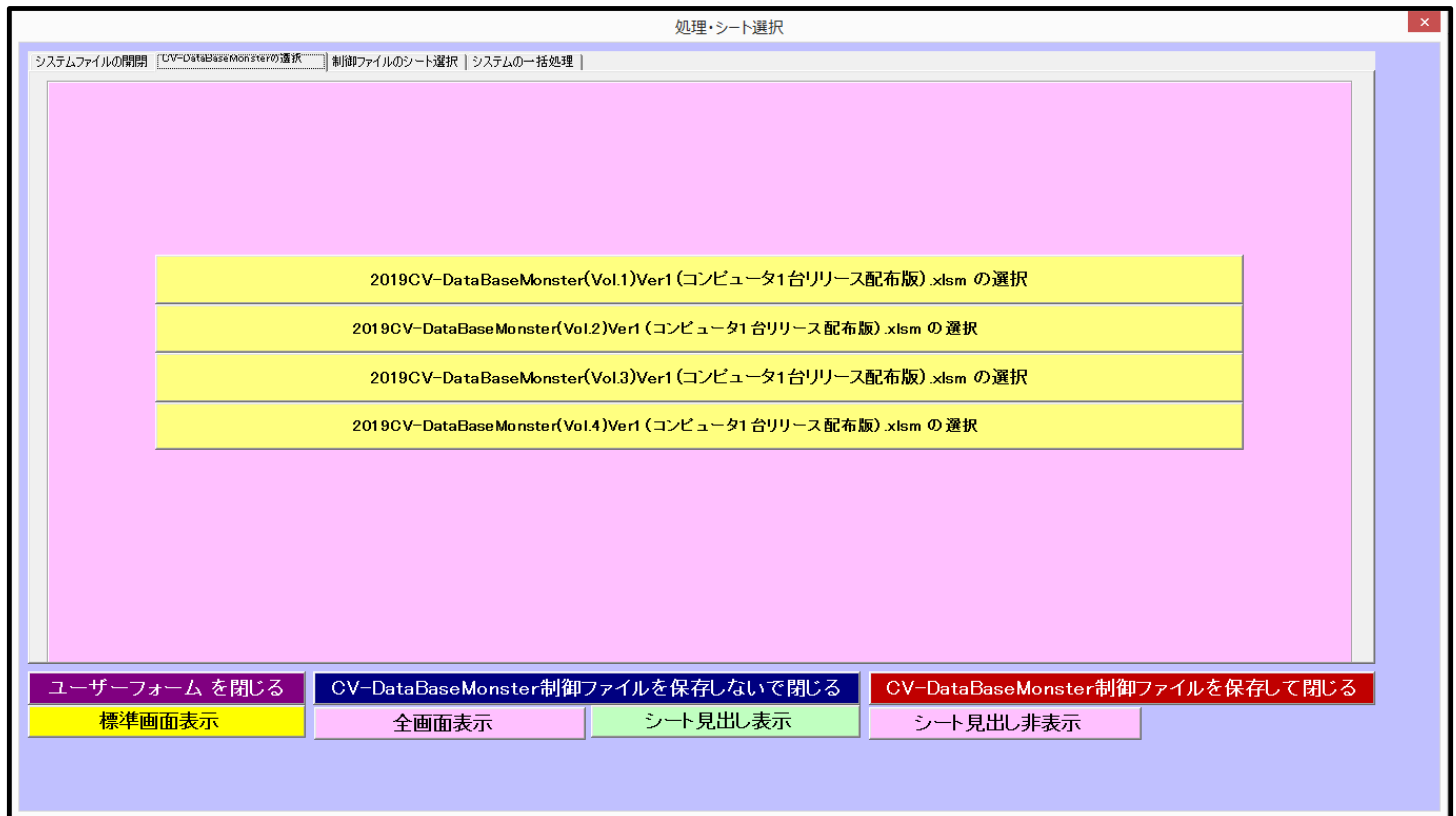
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

のうち、編集等をおこないたいファイルを、コマンドボタンをクリックして選択することができます。

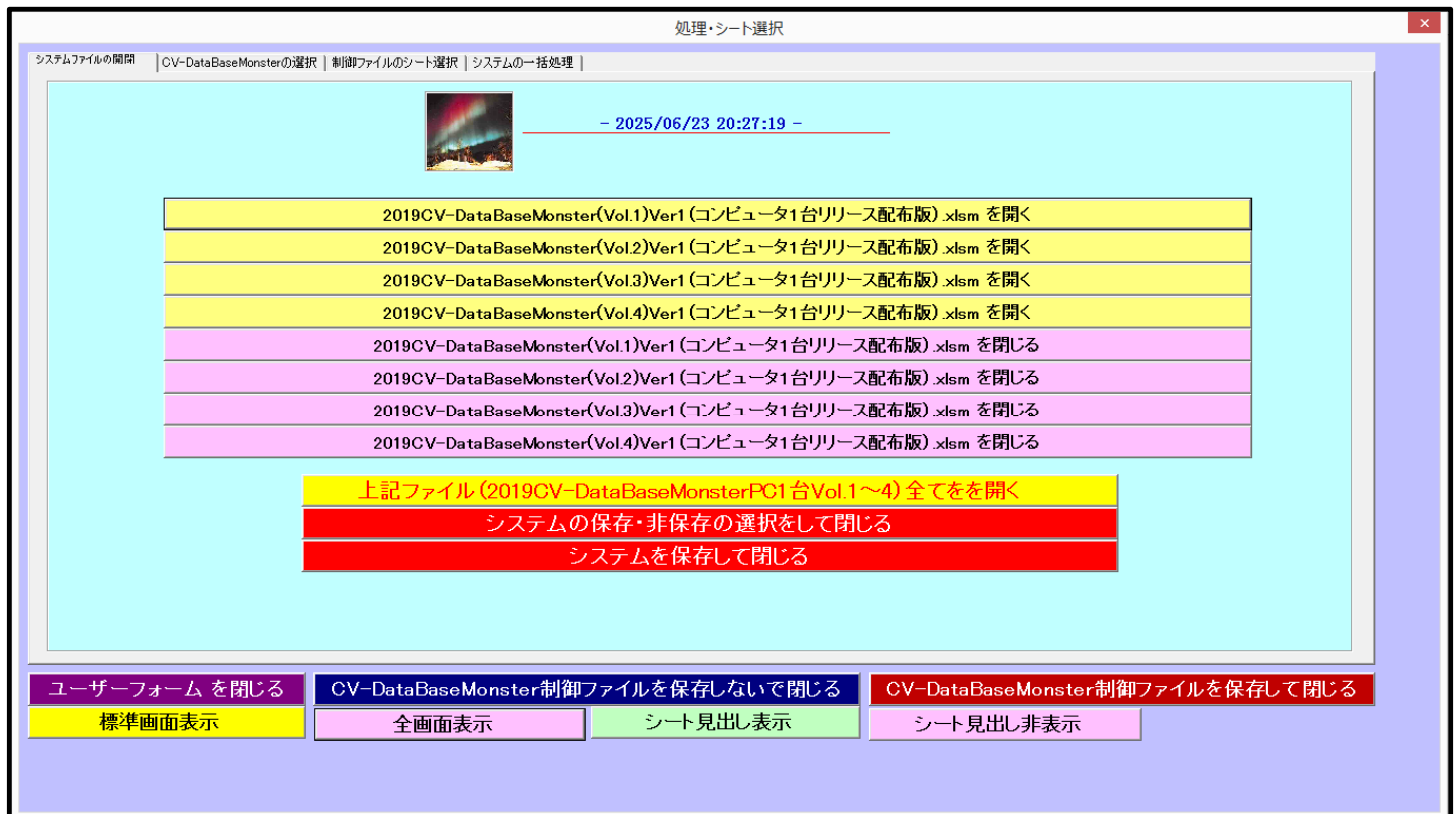
図 6 3]



(2) 4 個のファイルを一括して開く方法

ファイル「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xslm.xslm」をダブルクリックして立ち上げると、次の[図 6 4]の画面が表示されてまいります。

[図 6 4]



上の[図 6 4]の画面のコマンドボタン

上記ファイル(2019CV-DataBaseMonsterPC3台Vol.1～4)全てを開く

をクリックすると4個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsm」

が上から順に呼び出されます。実際コマンドボタンをクリックすると、途中、選択ボタンをクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図6 5]の画面が表示されます。

更新する(U)

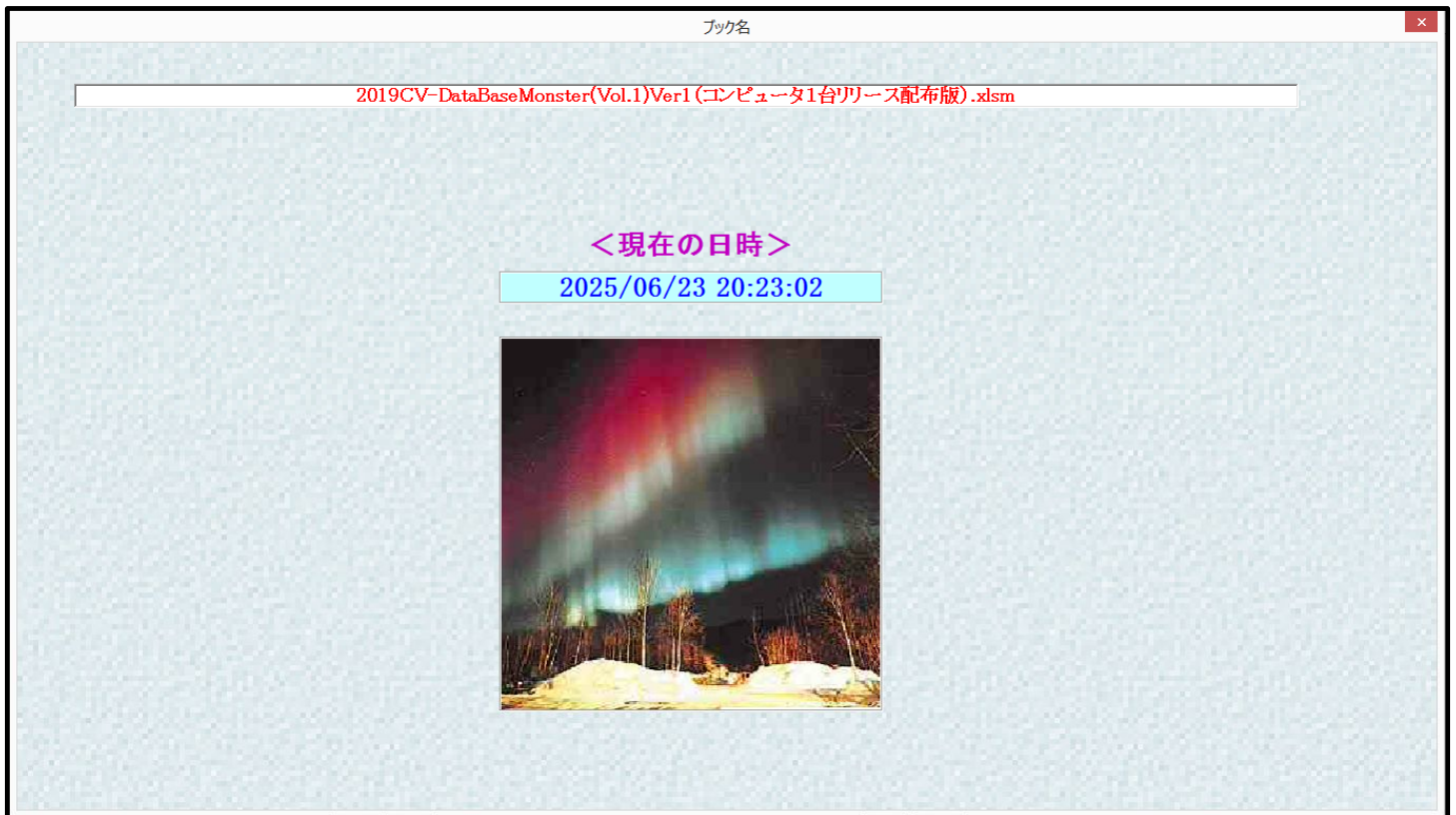
[図 6 5]



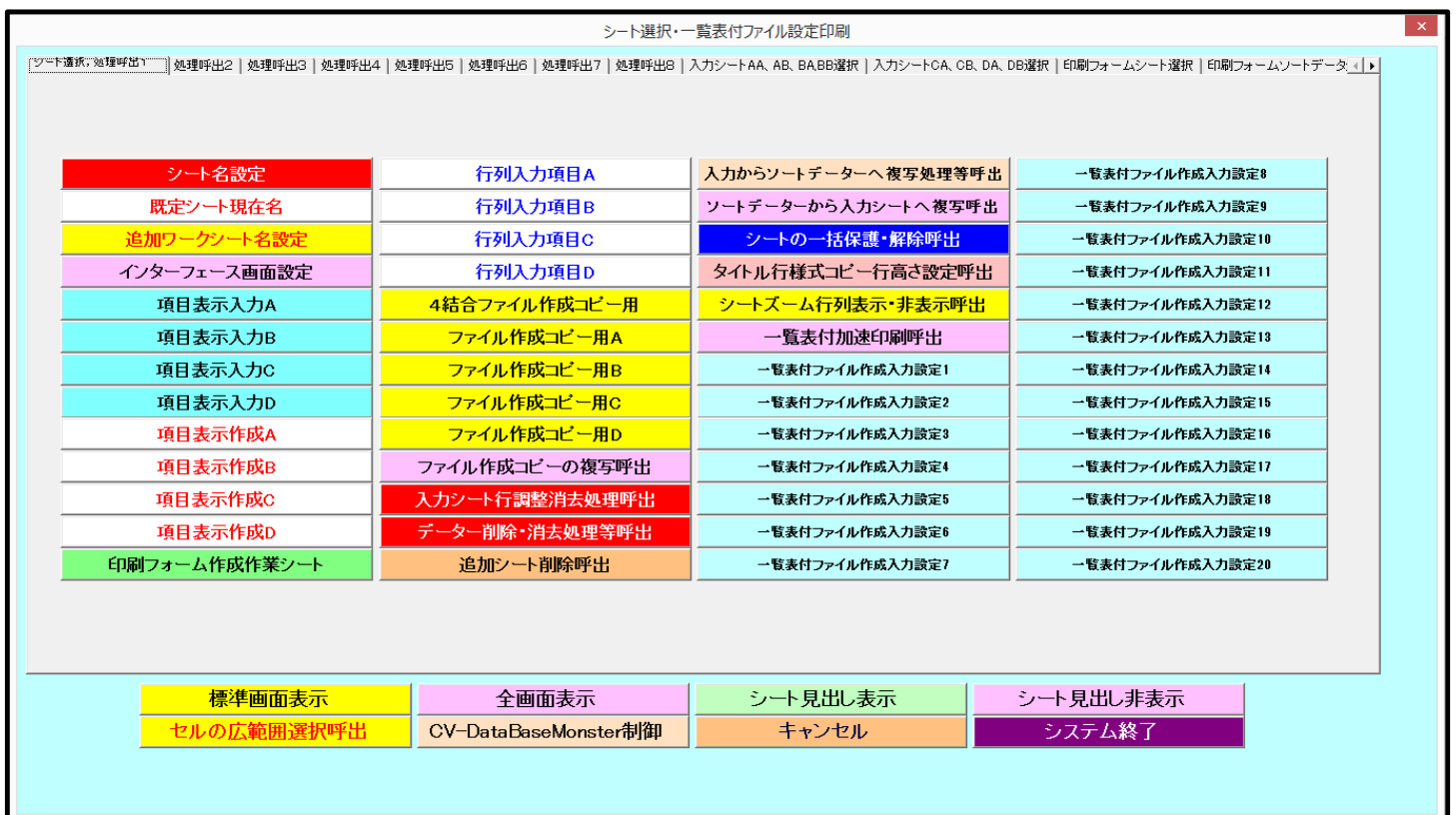
使用開始

ここで上の[図6 5]の画面でコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図6 6]の画面がしばらく表示された後、その下の[図6 7]の画面が表示されます。

[図 6 6]



[図 6 7]



シート名設定

そして、上の[図 6 7]の画面のコマンドボタン「シート名設定」をクリックすると、下の[図 6 8]の画面がしばらく表示された後、[図 6 9]の画面が表示され、さらに[図 7 0]の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版).xslm」を開く操作が完了し、すぐに次のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」を開く操作が開始されます。

[図 6 8]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコメントボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知お下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12

[図 6 9]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3
画面高さ	576.00	576.00
画面幅	1024.50	1024.50
画面Zoom	97.00	94.00
表示倍率	1.00	1.00

[図 7 0]

2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonsterPC1台	

ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

を開く操作が開始されて、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施して、
ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

が開くと、次の[図 7 1]の画面が表示された後、その下の[図 7 2]の画面が表示されて

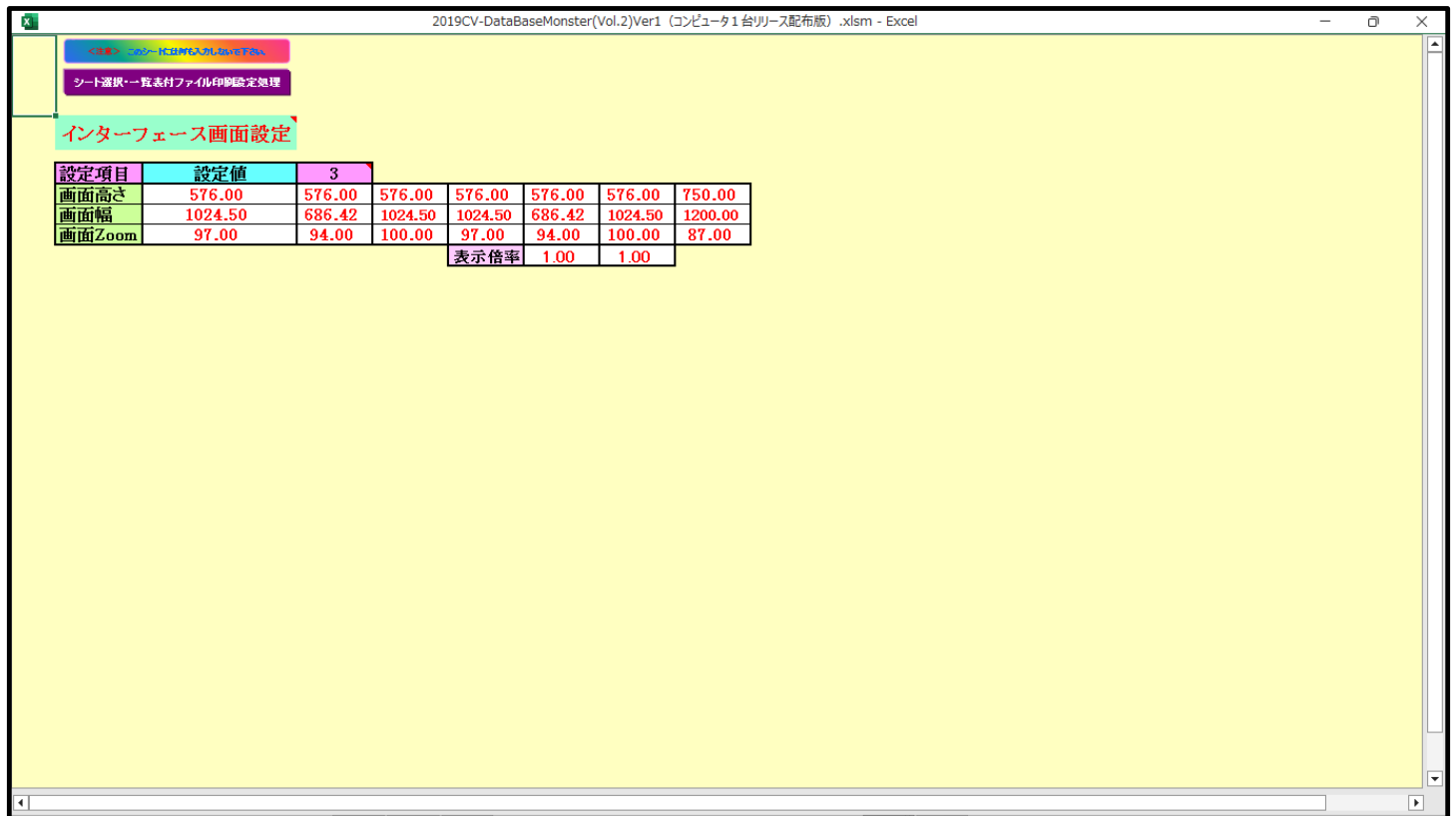
「2019V-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

を開く処理が完了し、次のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布) .xlsm」

を開く処理が開始されます。

[図 7 1]



[図 7 2]



ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布) .xslm」

を開く処理が開始されて、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施して、

ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」

が開き終わると、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xslm」
の立ち上がり画面である次の[図 7 3]面が表示されます。

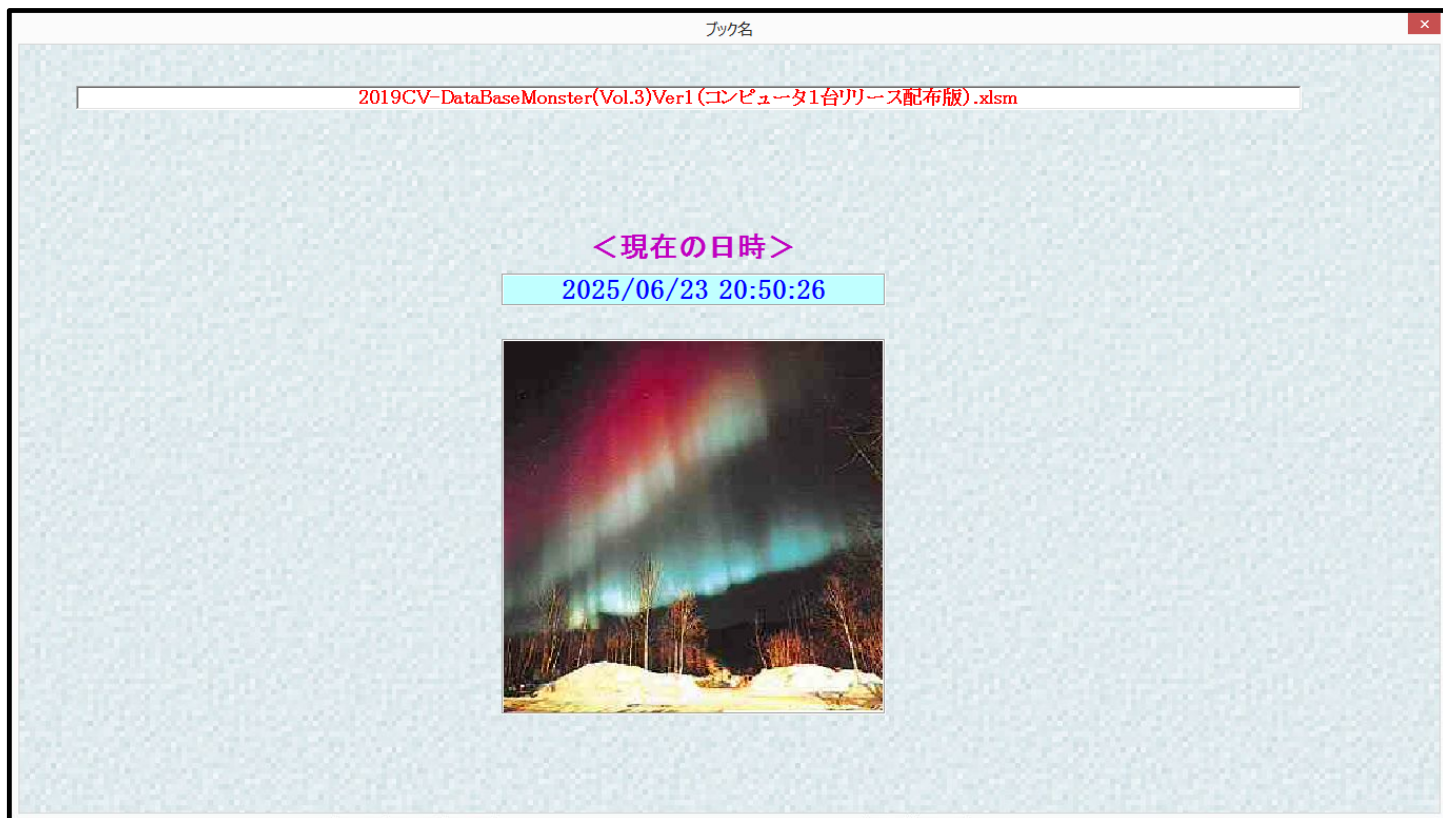
[図 7 3]



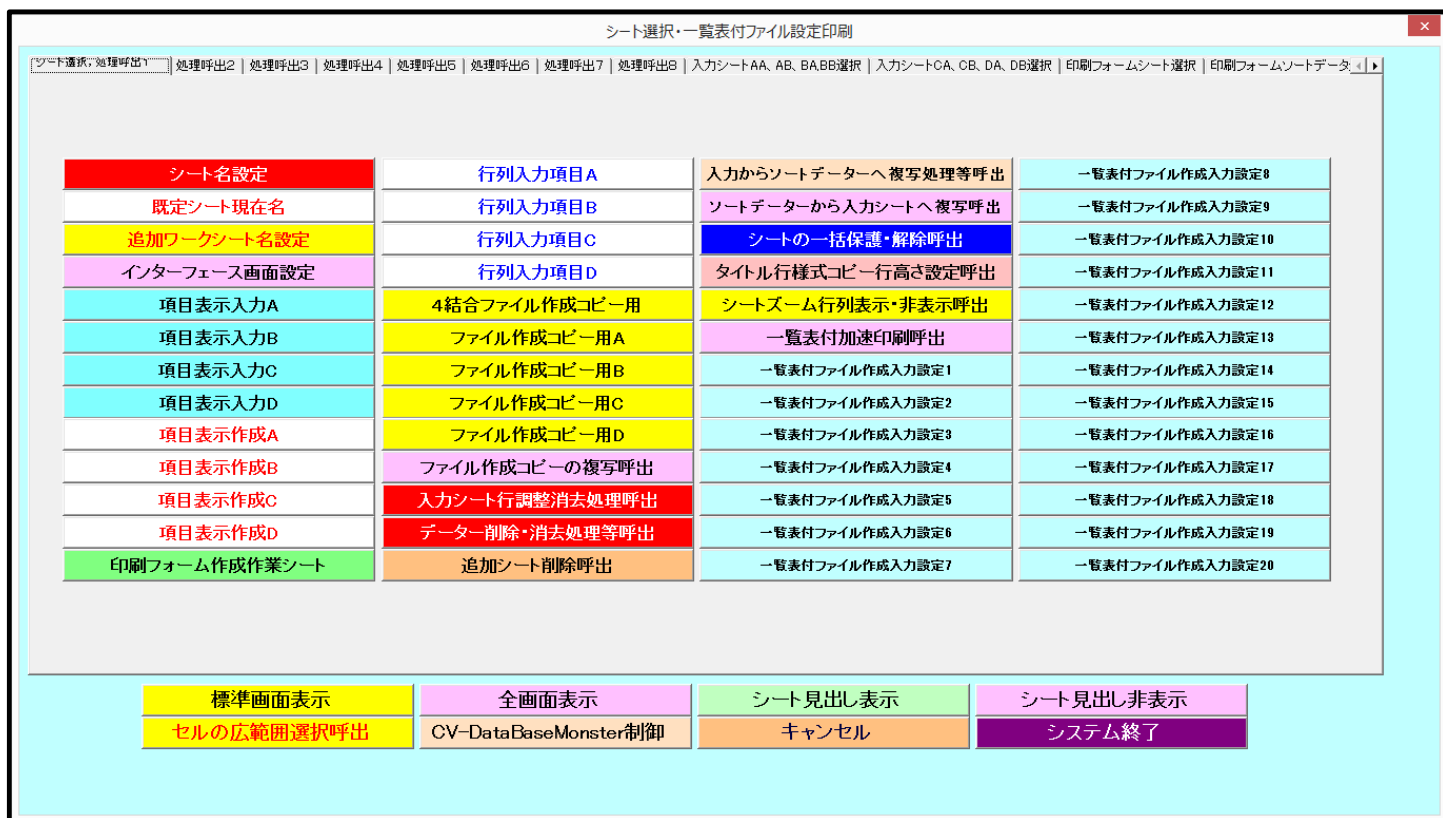
使用開始

ここで、上の[図 7 3]の画面でコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図 7 4]の画面がしばらく表示された後、その下の[図 7 5]の画面が表示されます。

[図 7 4]



[図 7 5]



シート名設定

そして、上の[図 7 5]の画面のコマンドボタン「シート名設定」をクリックすると、下の[図 7 6]の画面がしばらく表示された後、[図 7 7]の画面が表示され、さらに[図 7 8]の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版).xslm」を開く操作が完了し、すぐに次のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm」を開く操作が開始されます。

[図 7 6]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm - Excel

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれも注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シート
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シート
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シート
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シート
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シート
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シート
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シート
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シート
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11シート
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12シート
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13シート
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14シート
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15シート
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16シート
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17シート
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18シート
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19シート
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20シート
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シート
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シート
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シート
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シート
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シート
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シート
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シート
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シート
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シート
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シート
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成

[図 7 7]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xslm - Excel

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3						
画面高さ	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	750.00	
画面幅	1024.50	686.42	1024.50	1024.50	686.42	1024.50	1200.00	
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00	
			表示倍率	1.00	1.00			

[図 7 8]

2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonsterPC1台	

そして、

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
が開くと、下の[図 7 9]の画面が表示された後、[図 8 0]の画面が表示されら、ファイル
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
を開く処理が完了します。

[図 7 9]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm - Excel								
実行ファイルのパスを指定してください。 シート選択→一覧表付ファイル印刷設定処理 インターフェース画面設定								
設定項目	設定値	3						
画面高さ	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	576.00	750.00	
画面幅	1024.50	686.42	1024.50	1024.50	686.42	1024.50	1200.00	
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00	
				表示倍率	1.00	1.00		

[図 8 0]

2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1(コンピュータ1台)リリース配布版).xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5#コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonsterPC1台	

以上で 4 個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

を連続的に一括して開く操作が完了します。

5. 2019 版 1 台セット製品登録書き換え後の

「2019CV-DataBaseMonsterVer1 (コンピュータ 1 台リリース配布版)」の
セットファイルのリンクの編集

4 個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

は関数でリンクされています。これらのこれら 4 個の

「2019CV-DataBaseMonsterVer1 (コンピュータ 1 台リリース配布版)」

のセットファイルはファイル

「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」

を用いて全て開いて利用する際、初回開いた段階でリンクの編集をおこなう必要があります。

リンクの編集をおこなう場合、能率よく短時間でおこなうために、ファイル

「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」

を用いて上の 4 個のファイル全て開いたうえでおこなってください。上のファイルを個別に開いてリンクの編集をおこなうと、膨大な時間が必要となります。

とくにここでは、

4 個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

の関数のリンクの編集は、

Microsoft Office Excel 2024 64ビット版で開いて編集した場合と

Microsoft Office Excel 2021 64ビット版または

Microsoft Office Excel 2019 64ビット版または

Microsoft Office Excel 2016 64ビット版

で開いて編集した場合とでは、画面等の状況が異なります。

従いましてこれら2つ場合に分けて説明させていただきます。

なお、ブックのリンク画面でリンクの表示が

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

を選択してリンク元を変更し、

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

を選択し、

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

を選択し、

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

を選択して、それぞれリンク元を変更する必要があります。

なお、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

の4個のファイル全てのリンク元を全て変更して閉じた後、これら4個のファイルと

ファイル「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」

を一括して他の同じルダーにまとめてコピーしても、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のリンクは正常に保たれており、また新たにリンク元を変更することなく、そのまま使用することができます。

ただ、これら4個のファイルのいずれかのファイル名を変更した場合は、他のファイルのファイル名も全て変更した上で再度変更後の4個ファイルでリンクの編集を行ってください。

(1) Microsoft Office Excel 2024 64ビット版で開いて編集した場合のリンクの編集

次の[図8 1]はファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のシート「4結合ファイル作成コピー用」の画面で、シート「4結合ファイル作成コピー用」は3個のファイル

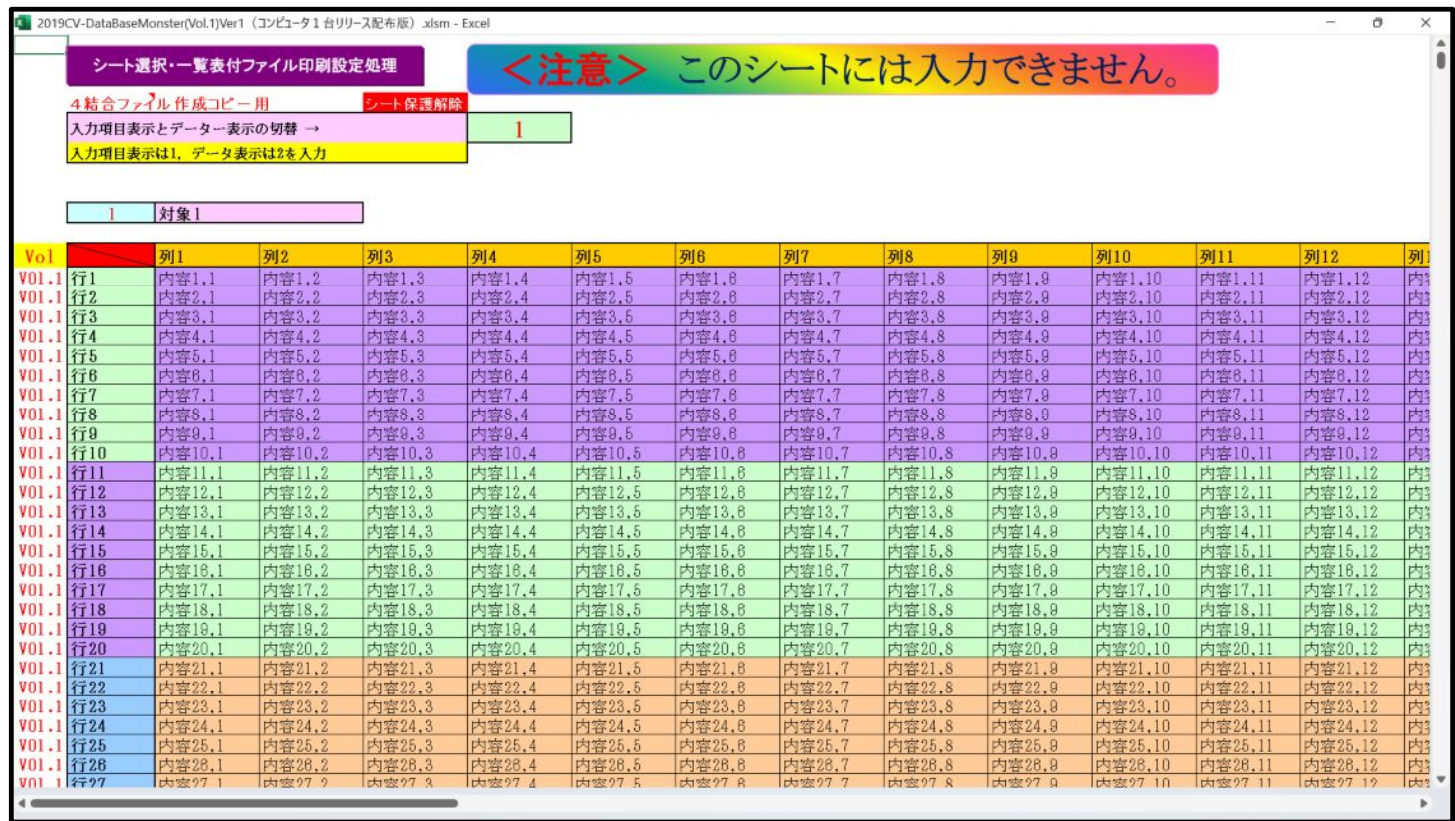
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

とシート関数によってリンクされています。

[図 8 1]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 8 1]の画面のシートでコマンドボタンをクリックすると次の[図 8 2]の画面が表示されますが、この画面でコマンドボタン

標準画面表示

をクリックすると、全画面が終了されシート「4結合ファイル作成コピー用」はその下の[図 8 3]の画面のようになります。

[図 8 2]

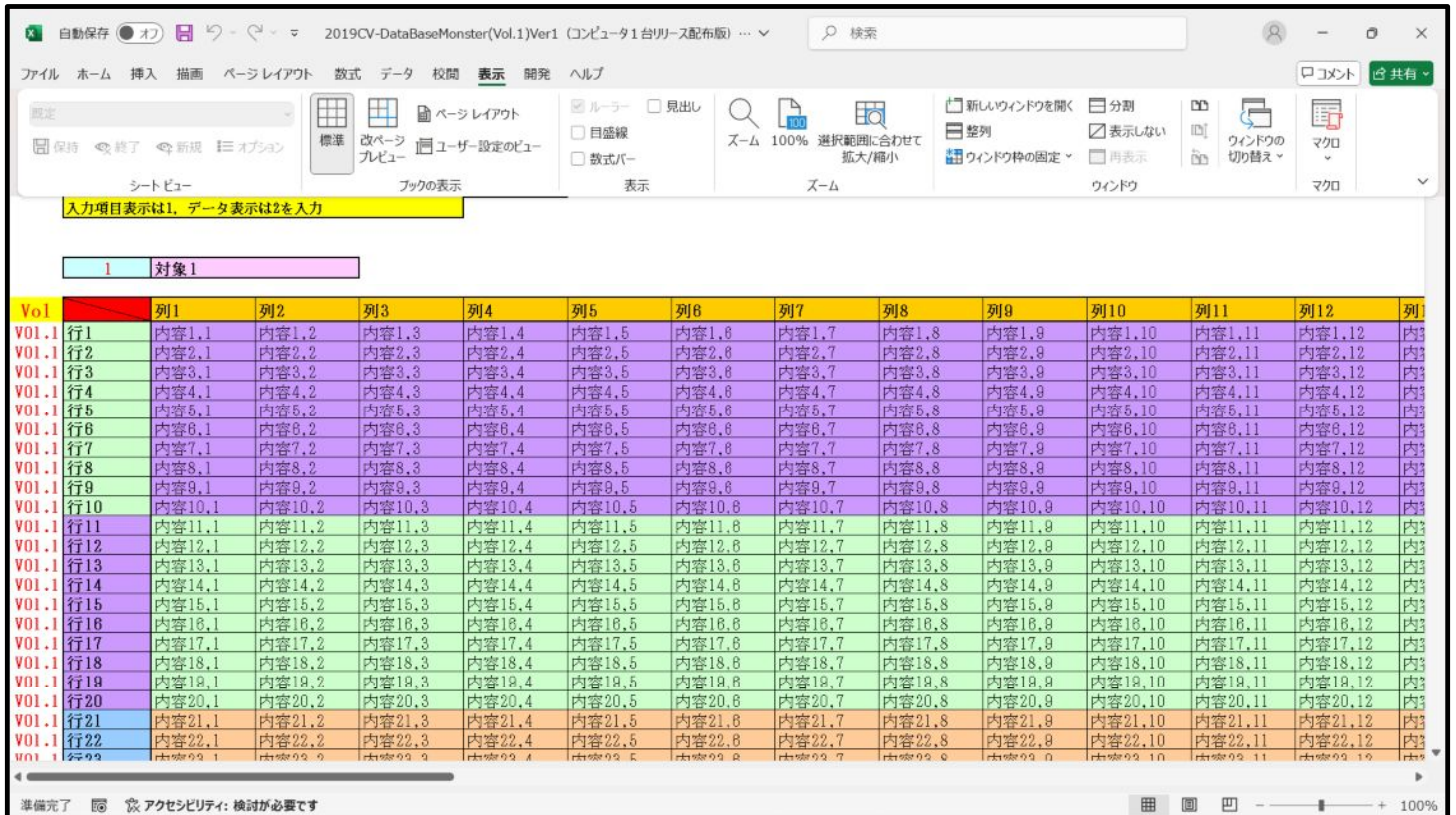
シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BABB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印刷フォームシート選択 印刷フォームシートデータ選択			
シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20
標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示			
セルの広範囲選択呼出 CV-DataBaseMonster制御 キャンセル システム終了			

[図 8 3]

自動保存 ● オフ 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) ...												
ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ												
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理												
<注意> このシートには入力できません。												
4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除												
入力項目表示とデータ表示の切替 → 1												
入力項目表示は1, データ表示は2を入力												
1	対象1											
Vol.1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12
Vol.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11
Vol.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11
Vol.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11
Vol.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11
Vol.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11
Vol.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11
Vol.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11
Vol.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11
Vol.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11
Vol.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11
Vol.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11
Vol.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11
Vol.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11
Vol.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11
Vol.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11
Vol.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11
Vol.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11
Vol.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11
Vol.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11
Vol.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11
Vol.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11
Vol.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11
Vol.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11
準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です												

シート「4結合ファイル作成コピー用」を上[図 8 3]の状態にし、タブ **表示** を選択し、☒ **数式バー** のようにチェックを入れ、**シート保護解除** のセルを選択しダブルクリックするとシート「4結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されてリンクの編集が可能となります。シート「4結合ファイル作成コピー用」をこのようにリンクの編集可能な状態にしたのが下の[図 8 4]です。

[図 8 4]



上の[図84]の画面で、A 列 12 行から A 列 1611 行のセルに「VOL.1」, 「VOL.2」, 「VOL.3」, 「VOL.4」がそれぞれ 400 個ずつ入力されています。そして、
「VOL.1」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm」の入力シートのデーターを参照する関数が入力されなければなりません。また、
「VOL.2」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm」をリンク元にする関数が、
「VOL.3」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm」をリンク元にする関数が、
「VOL.4」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm」をリンク元にする関数が、それぞれ入力されなければなりません。

上の[図84]の画面において **データ** を選択すると次の[図85]の画面のようになりますが、更に[図85]の画面で **ブックのリンク** の部分をクリックするとその下の[図86]の画面になり、リンクの編集が可能となります。

下の[図86] の画面は、あくまでもこのマニュアル編集者がマニュアル作成のためにおこなった場合のものであって、システムのユーザーがおこなう場合には、この画面と異なったものになる場合もあります。以下の説明では、リンク元の状況が下の[図86] の画面のようになっていることを仮定して話を進めてまいりますのでご了解ください。

【図 8 5】

The screenshot shows the main interface of the 2019CV-DataBaseMonster software. The top menu bar includes options like '自動保存' (Auto Save), 'ファイル' (File), 'ホーム' (Home), '挿入' (Insert), '描画' (Draw), 'ページレイアウト' (Page Layout), '数式' (Formulas), 'データ' (Data), '校閲' (Review), '表示' (View), '開発' (Developer), and 'ヘルプ' (Help). The 'データ' (Data) menu is currently selected, showing options like 'データの取得' (Data Acquisition), 'クエリと接続' (Query and Connection), '並べ替えとフィルター' (Sort and Filter), 'データツール' (Data Tools), '予測' (Prediction), and 'アウトライン' (Outline).

Below the menu bar, there are several toolbars and a central workspace. The workspace displays a data table with columns labeled 'Vol', '列1' through '列12', and '列'. The table contains data rows numbered 1 to 20. Above the table, there are several colored boxes and text labels, including '4 結合ファイル 作成コピー用' (4 Combined File Creation Copy Use), '入力項目表示とデータ表示の切替' (Switch Input Item Display and Data Display), and '入力項目表示は1, データ表示は2を入力' (Input Item Display is 1, Data Display is 2 Input).

The bottom status bar indicates '準備完了' (Ready) and 'アクセシビリティ: 検討が必要です' (Accessibility: Needs Review).

【図 8 6】

This screenshot shows the same software interface as Figure 8.5, but with the 'ブックスのリンク' (Book Links) panel open on the right side. The panel lists several links to different versions of the software: '2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1', '2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1', and '2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1'. The central workspace still displays the data table and the same colored boxes and text labels as in Figure 8.5.

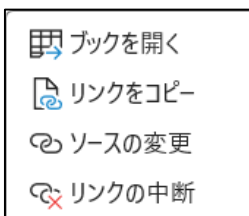
上の【図 8 6】の右側の「ブックスのリンク」の部分を見易くすると次のようになります。



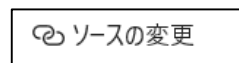
上の「ブックのリンク」の の部分の最も右側の



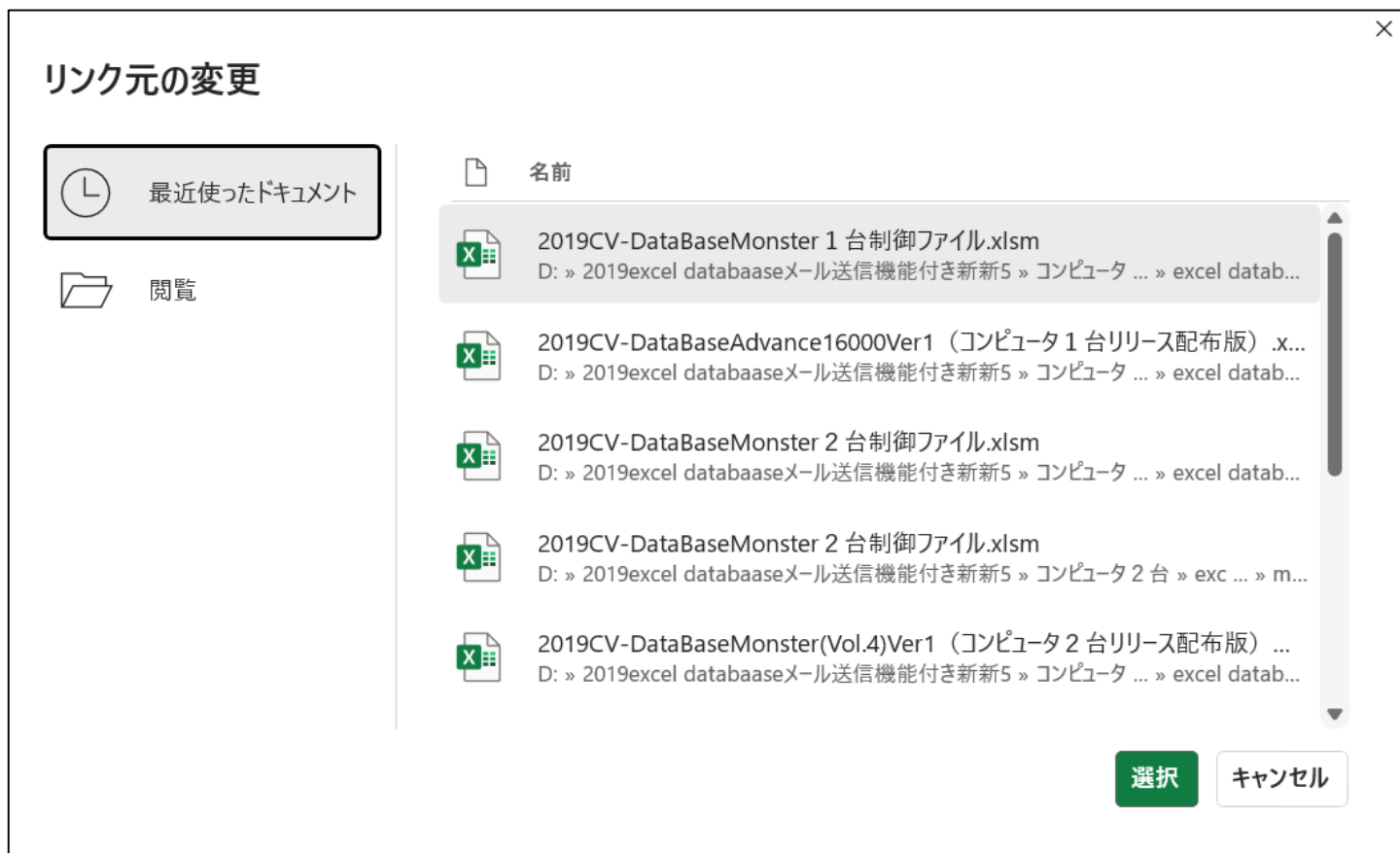
の部分を選択するとこの直ぐ下側に



と表示されますが、この表示メニューのうち



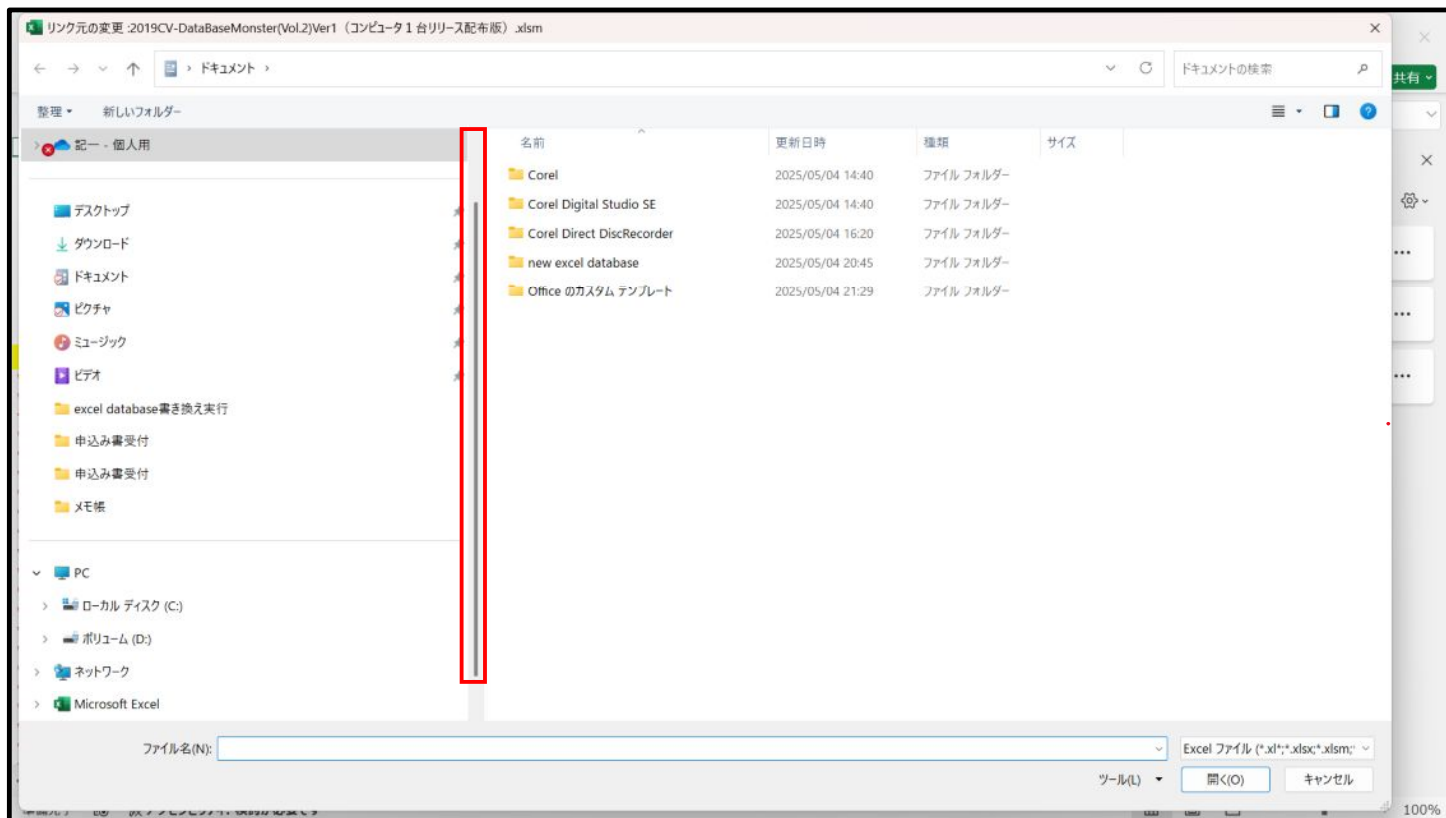
の部分をクリックすると



のように「リンク元変更」が表示されます。この表示で左下側の 閲覧 の部分をクリックすると

まず、次の[図 8 7]の画面が表示されてリンク元が変更できるようになります。

[図 8 7]



ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

が開かれているフォルダーは

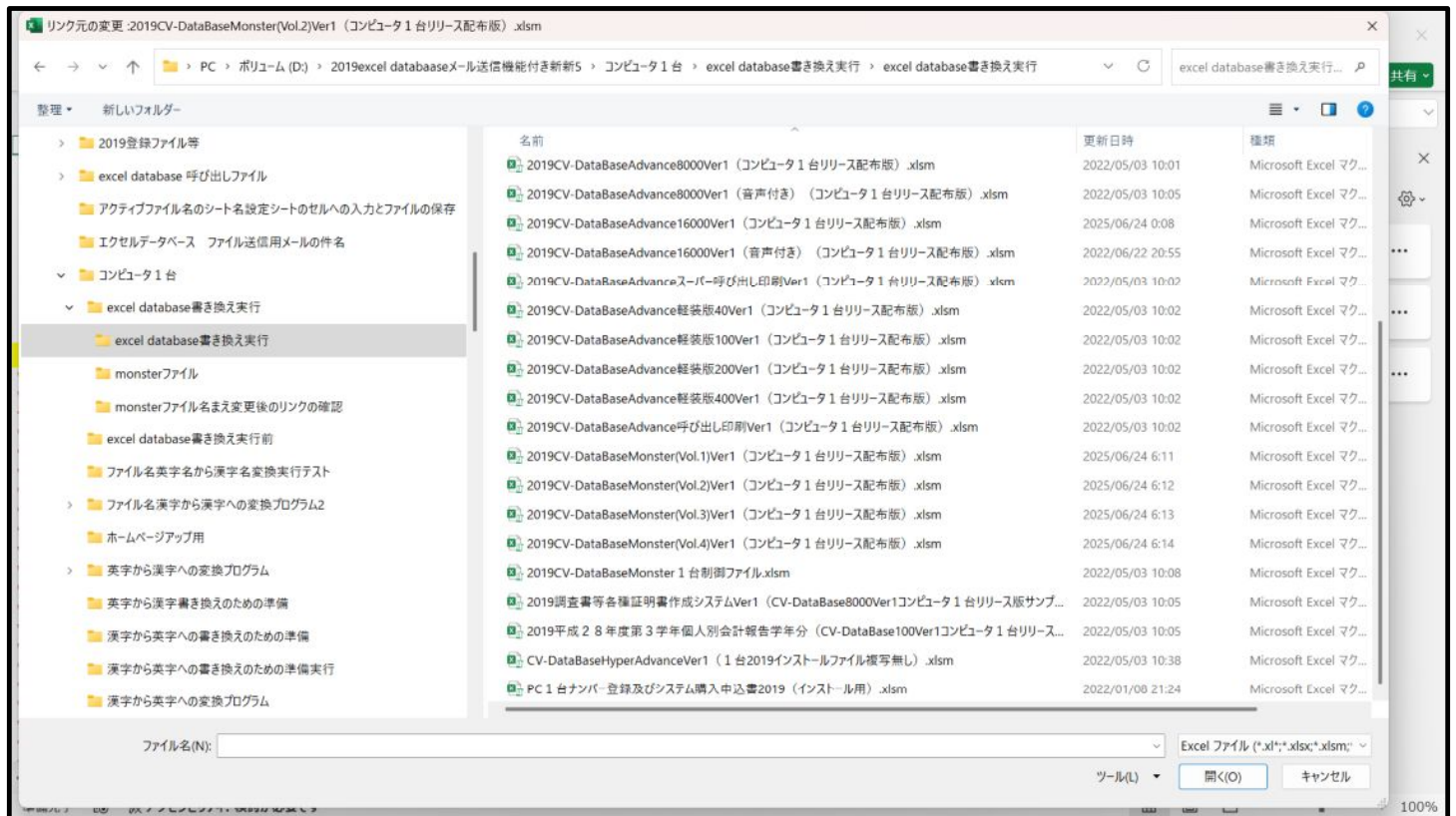
「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行 ¥excel database 書き換え実行」

で、上の[図 8 7]の画面の の部分を下側にスライドさせるなどして、フォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行 ¥excel database 書き換え実行」

を選択すると次の[図 8 8]の画面のようになります。

【図 8 8】



上の【図 8 8】の画面でファイル

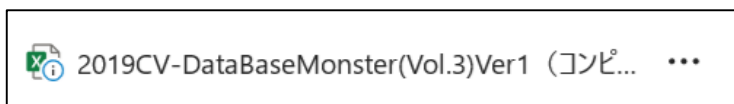
 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm

をダブルクリックするとブックのリンク



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

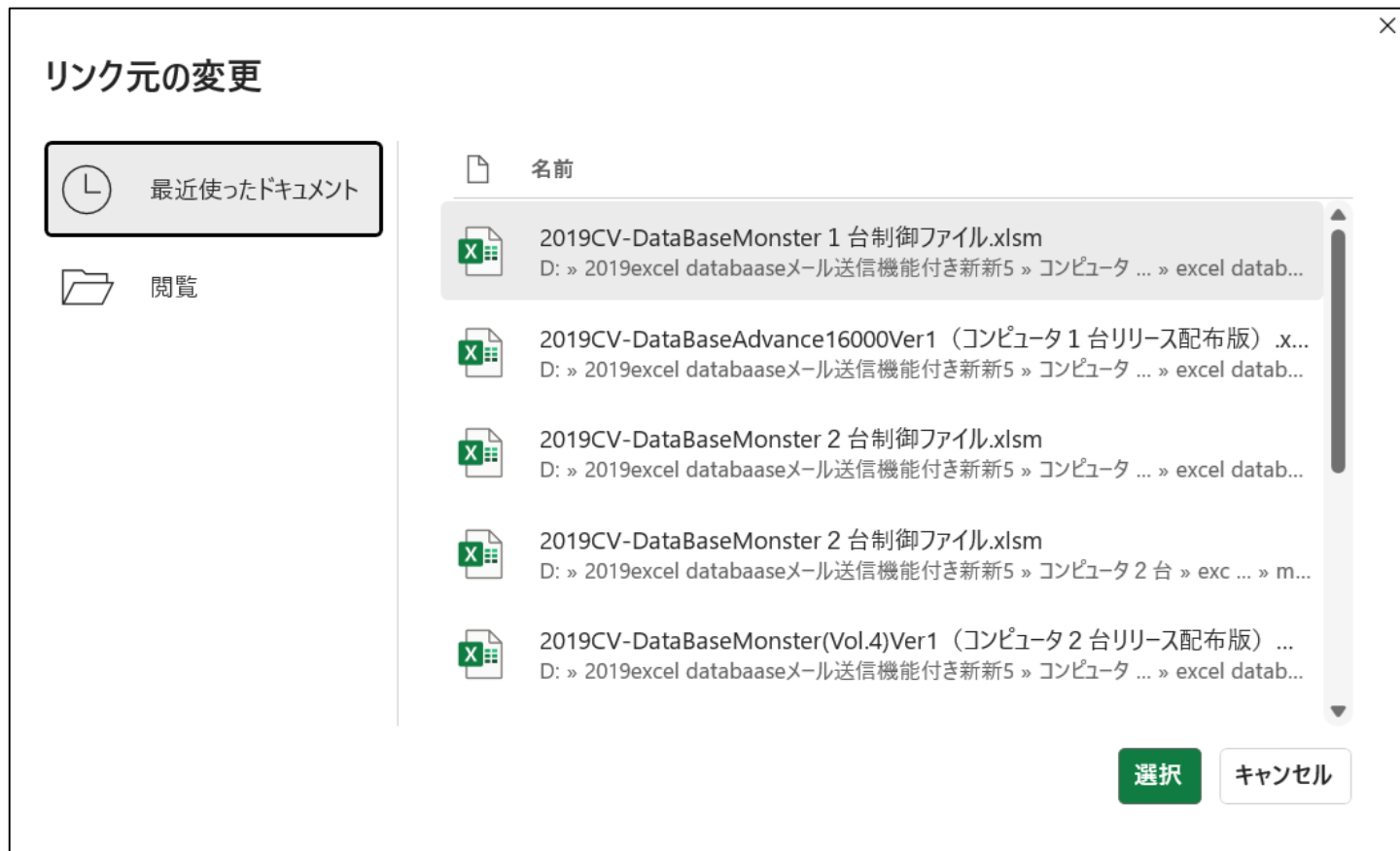
次に



の部分の側の...部分をクリックしてを

- ブックを開く
- リンクをコピー
- ソースの変更
- リンクの中断

メニュー ソースの変更 を表示させ、 ソースの変更 を選択すると再び

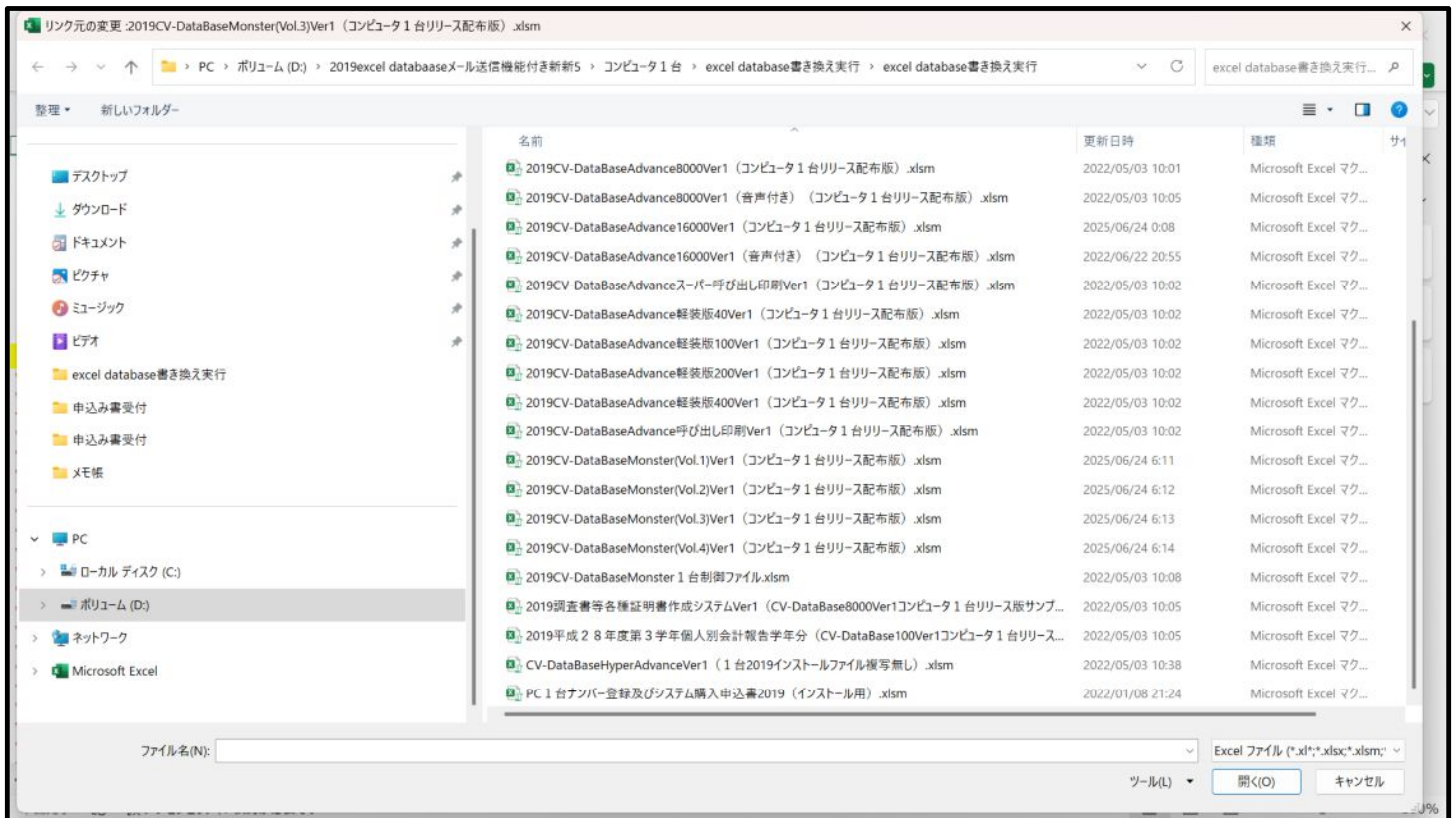


が表示されますが、 閲覧 の部分をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsxm」
が開かれているフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行
¥excel database 書き換え実行」
が表示され、次の[図 8 9]の画面のようになります。

〔図 8 9〕



上の〔図 8 9〕の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm

をダブルクリックするとブックのリンク



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

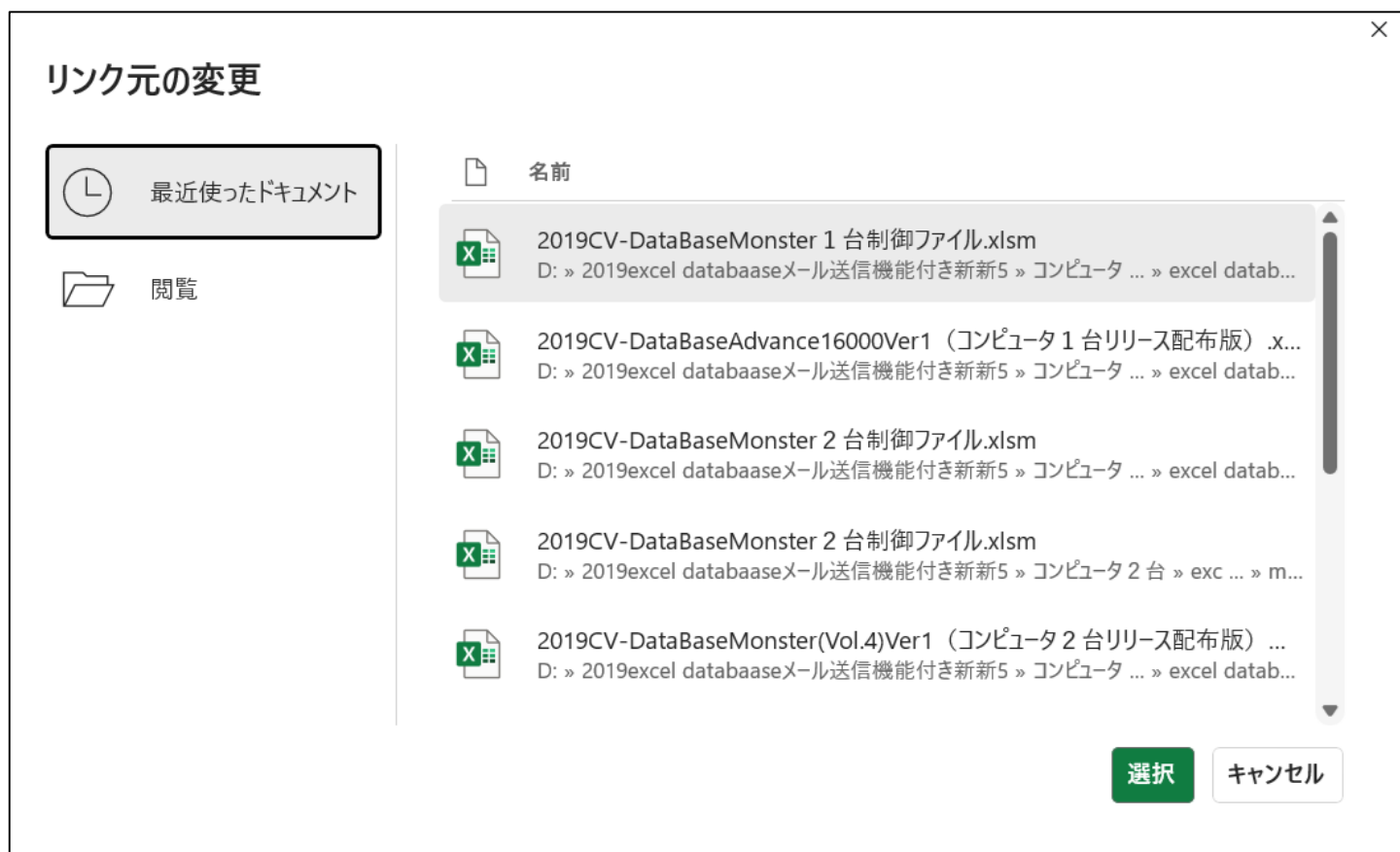
そして、最後に上の

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピ... ..

をクリックして右側の  をクリックし、メニュー

-  フックを開く
-  リンクをコピー
-  ソースの変更
-  リンクの中断

を表示し、  ソースの変更 を選択



と表示されますが、左下側の  閲覧 の部分をクリックすると

ファイル

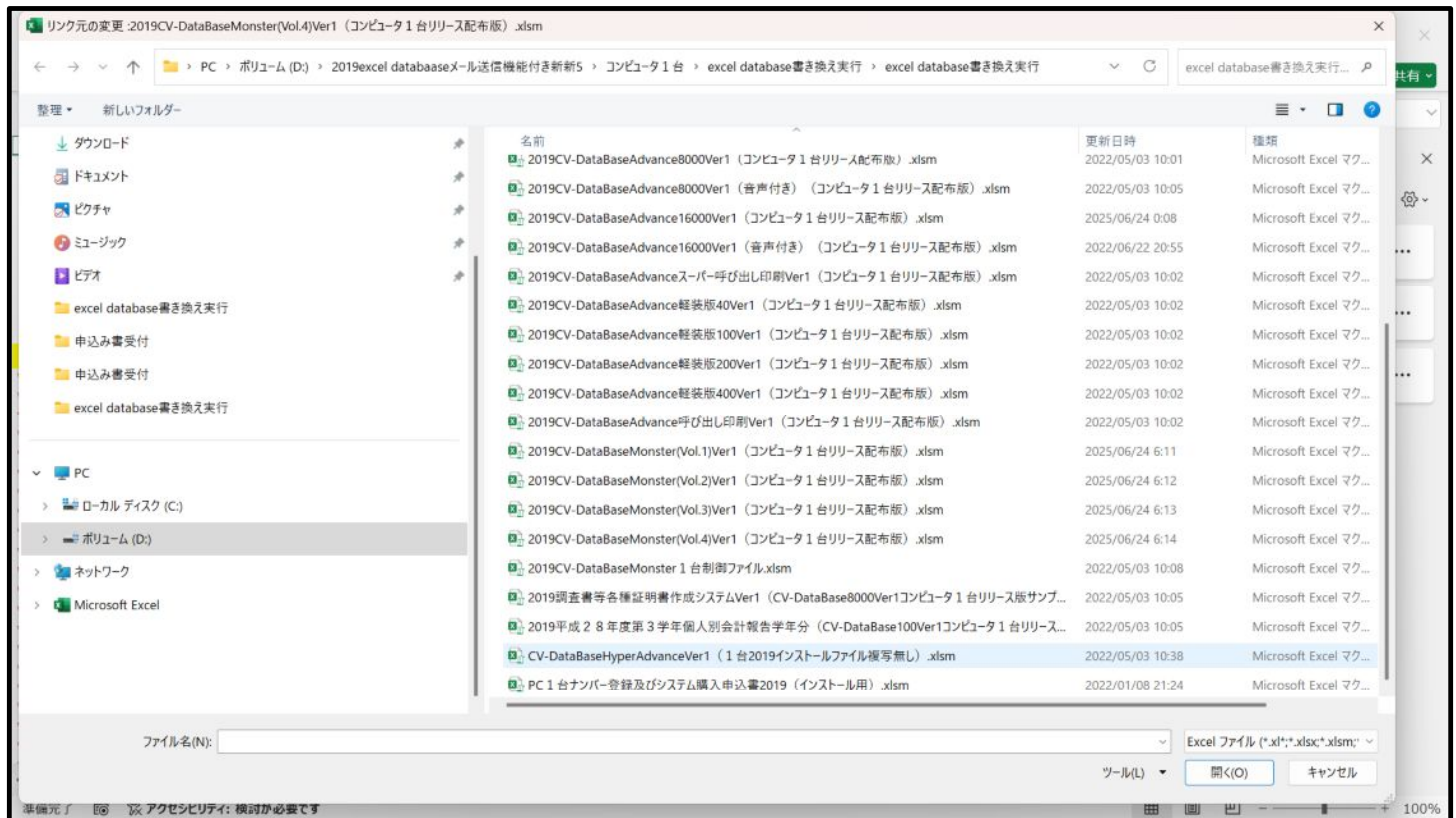
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

が開かれているフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行
¥excel database 書き換え実行」

が表示され次の[図 9 0]の画面のようになります。

[図 9 0]



上の[図 9 0]の画面でファイル

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm

をダブルクリックするとリンク



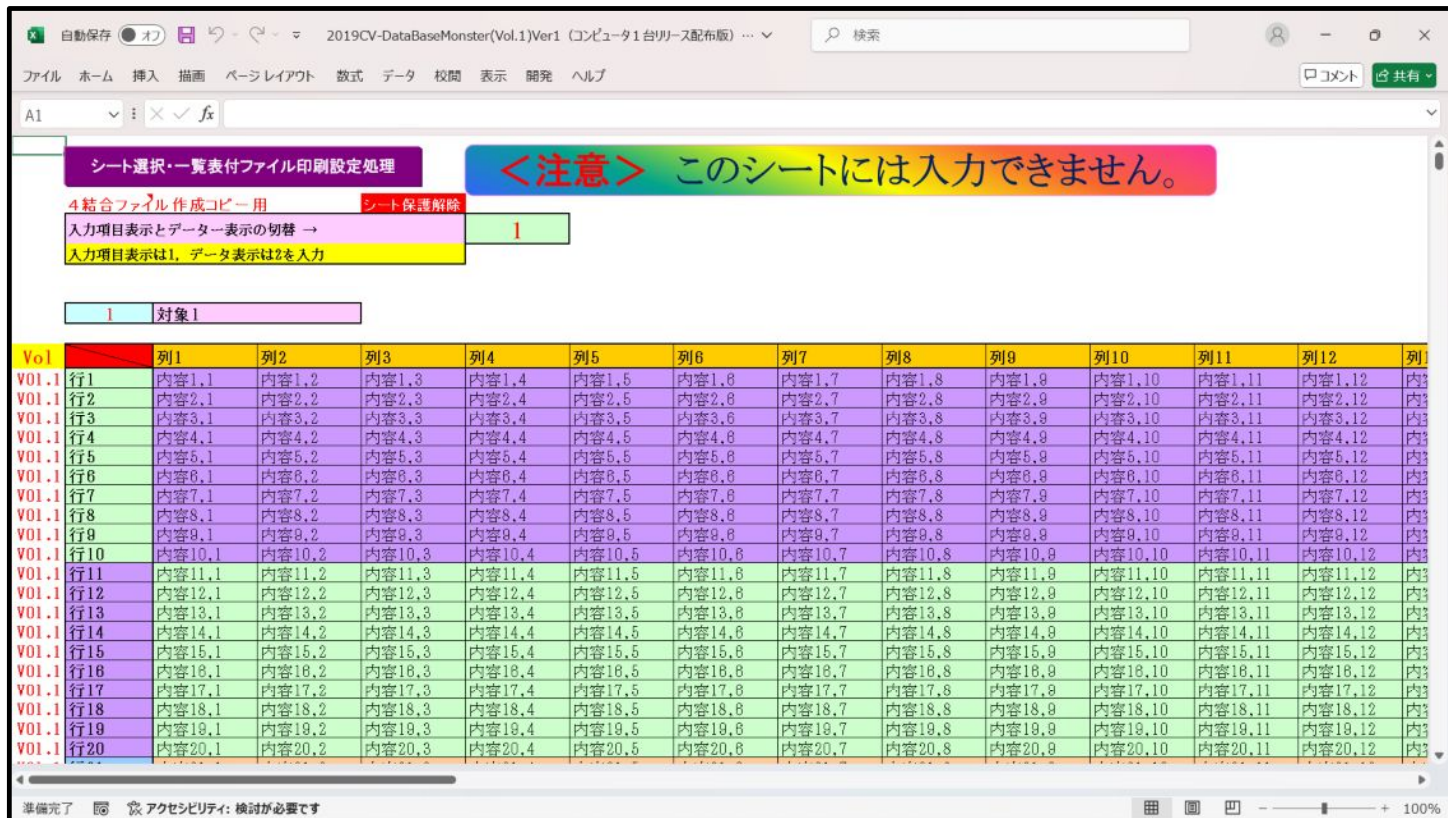
はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

以上でファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」のリンクの編集は完了となります。

ただし、このファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」の画面の[図 1 0 2]は次のようになっています。

【図 9 1】



シート「4 結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されたままですので、【図 9 1】の画面」でセル

4 結合ファイルの部分をダブルクリックしての保護をしておきましょう。

続いてファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(ピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」

におけるリンクの編集を行います。

ファイル「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xslm.xslm」のコマンドボタン

処理呼び出しボタン

をクリックしユーザーフォーム「処理・シート選択」を開きタブ **CV-DataBaseMonsterの選択** を選択すると次の【図 9 2】の画面になります。

[図 9 2]



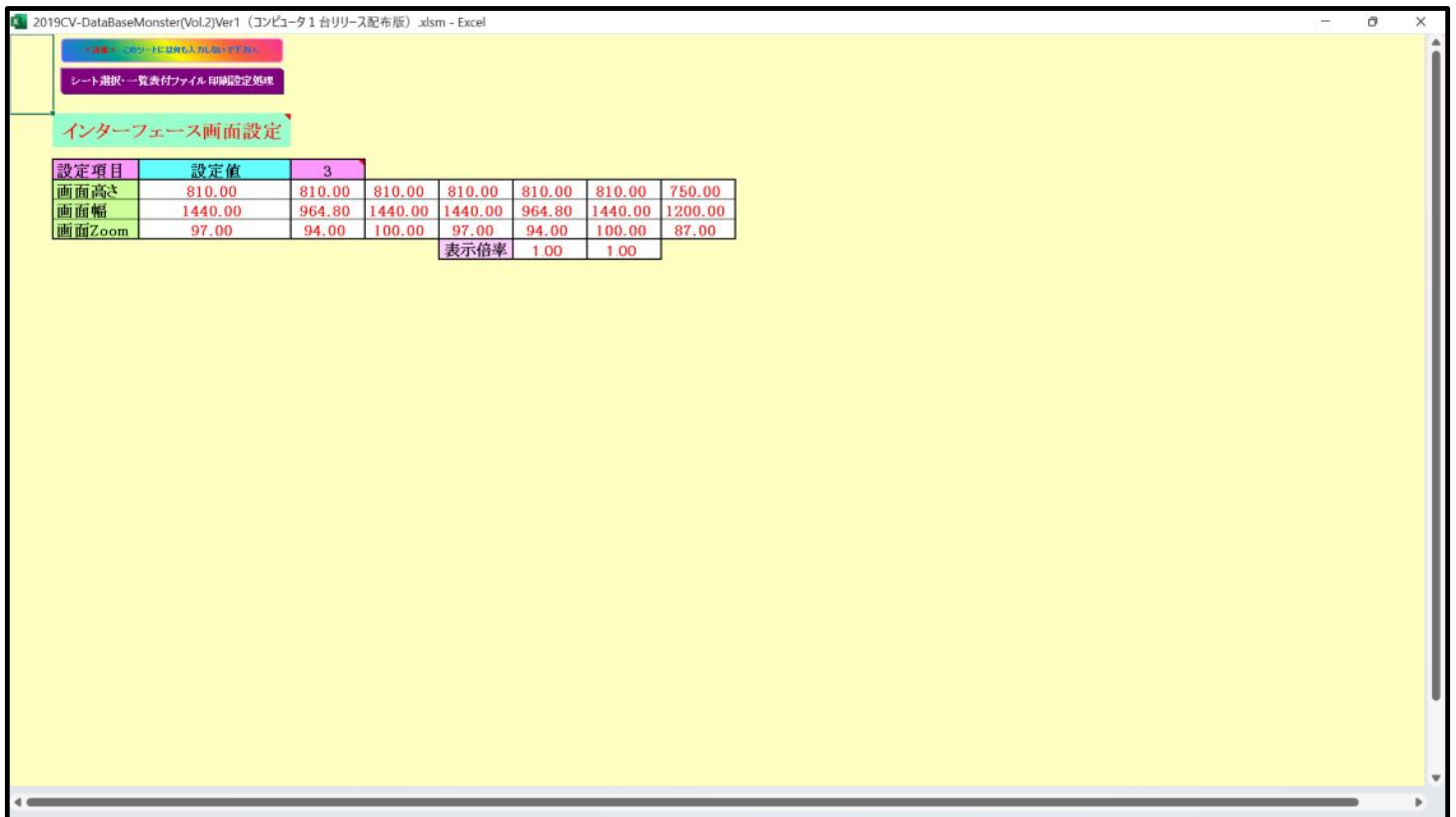
上の[図 9 2]の画面のコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm の選択

をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(ピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
が選択されて次の[図 9 3]の画面になります。

[図 9 3]



ここで上の[図 9 3]の画面のボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付きファイル設定印刷」が表示され次の[図 9 4]の画面になります。

[図 9 4]



4 結合ファイル 作成コピー 用

そして[図 9 4]の画面のコマンドボタンをクリックすると
シート「4 結合ファイル作成コピー用」が選択されて次の[図 9 5]の画面になります。

[図 9 5]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

4 結合ファイル 作成コピー 用 シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 → 1

入力項目表示は1、データ表示は2を入力

1 対象1

Vo1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
VO1.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
VO1.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
VO1.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
VO1.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
VO1.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
VO1.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
VO1.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
VO1.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
VO1.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
VO1.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
VO1.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
VO1.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
VO1.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
VO1.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
VO1.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
VO1.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
VO1.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
VO1.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
VO1.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
VO1.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
VO1.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
VO1.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
VO1.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
VO1.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
VO1.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
VO1.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12
VO1.1	行27	内容27.1	内容27.2	内容27.3	内容27.4	内容27.5	内容27.6	内容27.7	内容27.8	内容27.9	内容27.10	内容27.11	内容27.12

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 9 5]の画面のボタンをクリックすると、再び
次の[図 9 6]の画面になります。

[図 9 6]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

標準画面表示

上の[図 9 6]の画面のコマンドボタンをクリックすると、次の[図 9 7]の画面のように全画面表示から標準画面と変化します。

[図 9 7]

自動保存 ● オフ 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) ... 検索

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデーター表示の切替 → 1

入力項目表示は1, データー表示は2を入力

1	対象1
---	-----

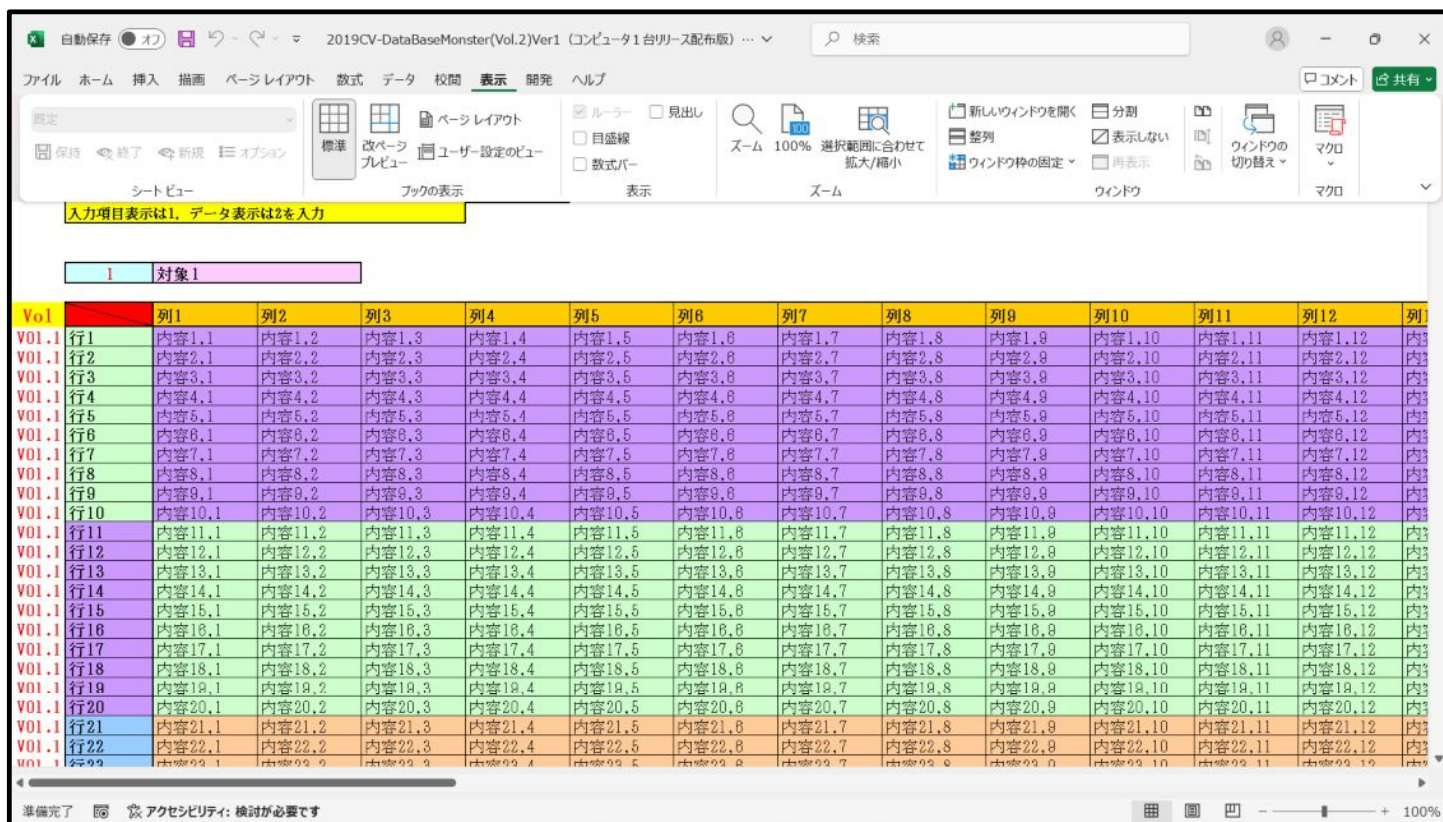
Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
Vol.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
Vol.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
Vol.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
Vol.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
Vol.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
Vol.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
Vol.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
Vol.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
Vol.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
Vol.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
Vol.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
Vol.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
Vol.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
Vol.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
Vol.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
Vol.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
Vol.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
Vol.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
Vol.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
Vol.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
Vol.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
Vol.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

上の[図 9 6]の画面のセル **シート保護解除** をダブルクリックしてシートの保護を解除し、 **表示** をクリック

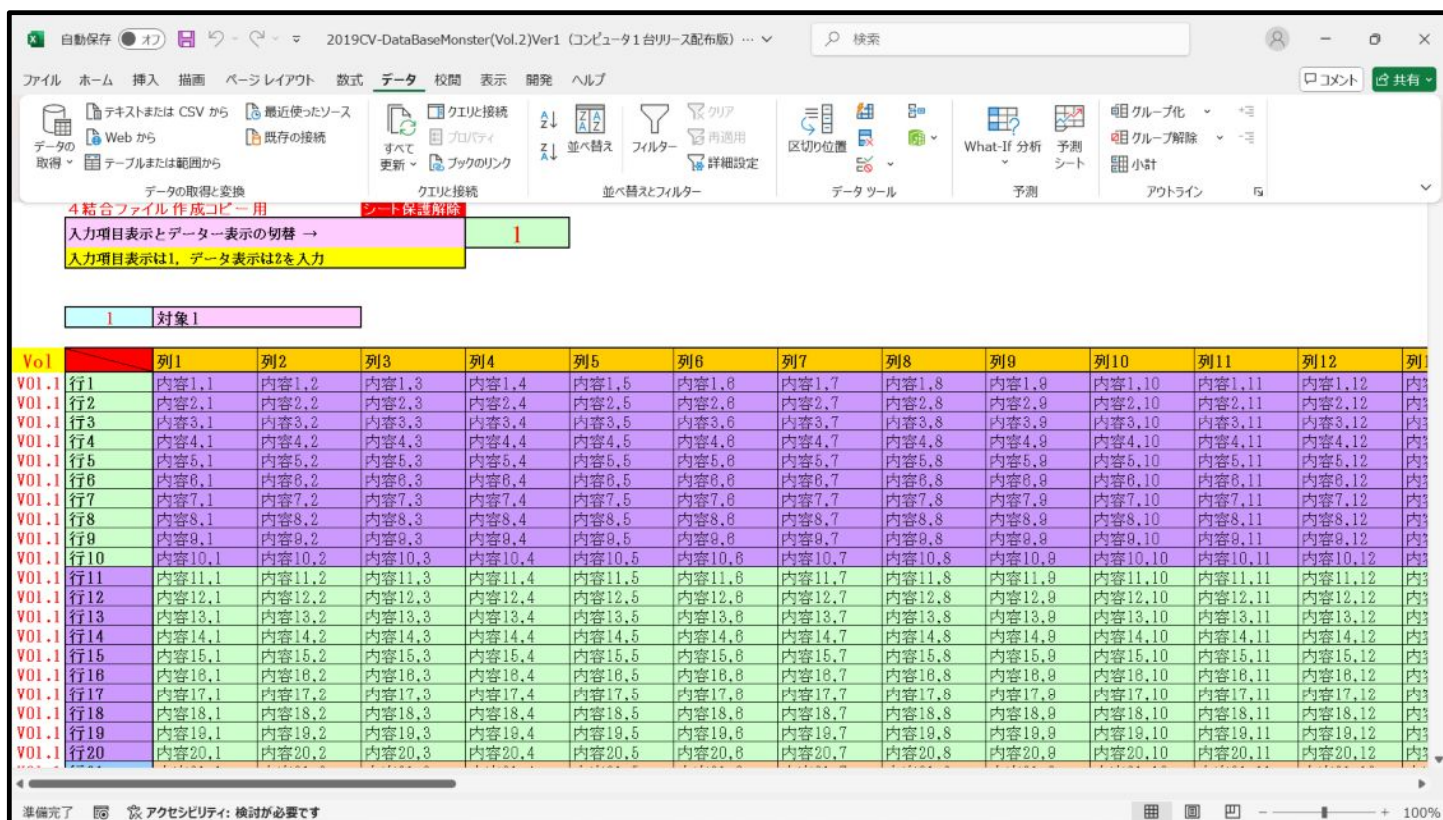
して次の[図 9 7]の画面の ☐ 数式バー にチェックを入れて ☒ 数式バー とします。

[図 9 7]



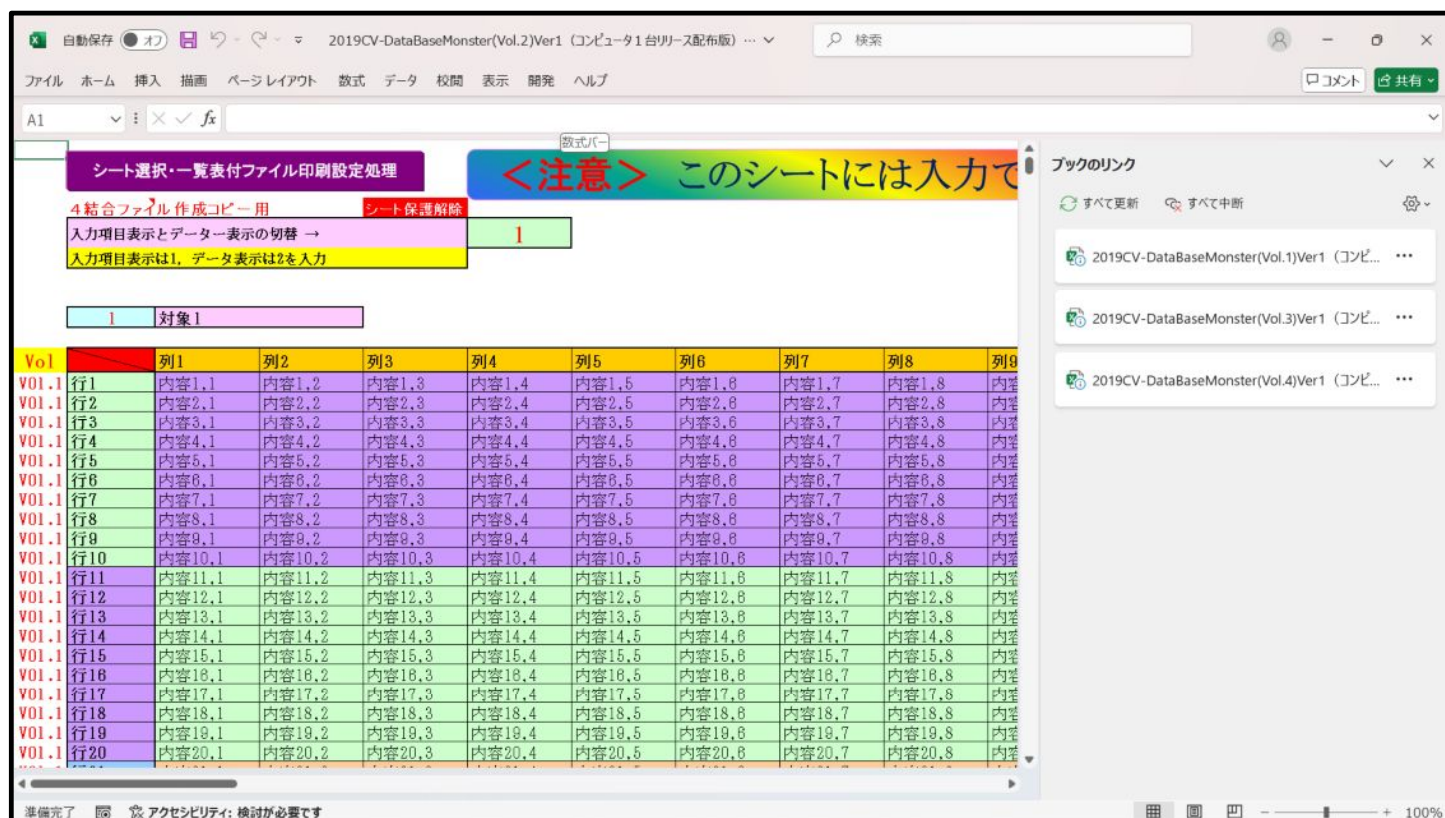
そして更に、上の[図 9 7]の画面の **データ** をクリックして次の[図 9 8]の画面のようにします。

[図 9 8]



そして上の画面の  **ブックのリンク** をクリックすると次の[図 9 9]の画面のようになり、ようやくブックのリンクの編集の準備が完了します。

[図 9 9]



上の[図 9 9]の画面の右側にブックのリンクが表示されていますが、この部分を拡大表示すると

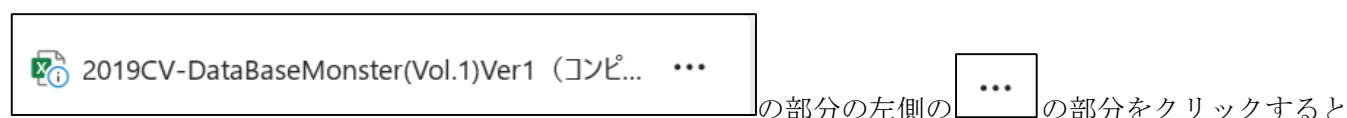


となります。

それではファイル

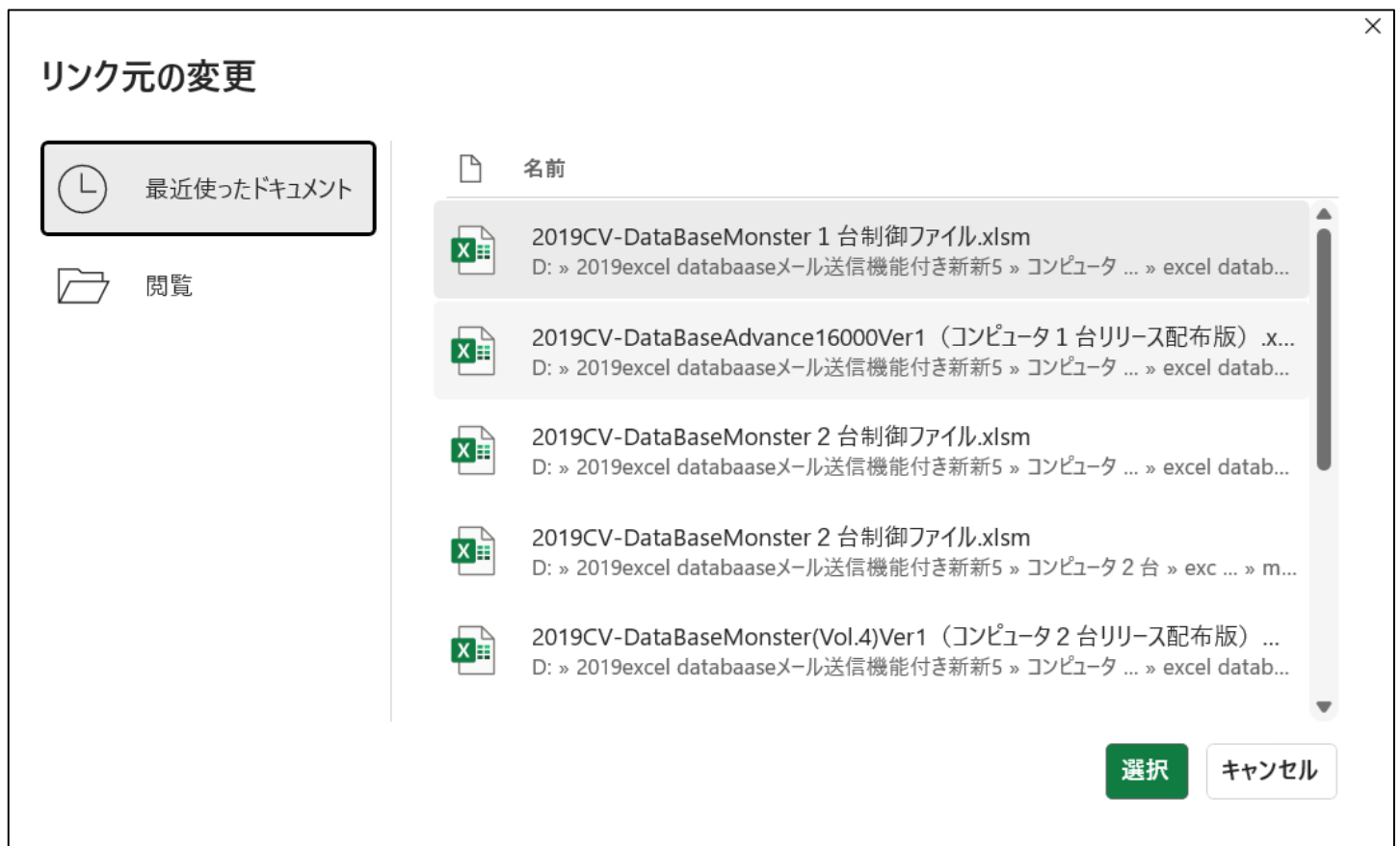
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」のリンクの編集を行います。

[図 9 9]の画面の右側のブックのリンクの



- ブックを開く
- リンクをコピー
- ソースの変更
- リンクの中断

メニューが表示されます。このメニューのうち「ソースの変更」を選択すると次の画面が表示されます。



上の画面の左下側の「閲覧」部分をクリックすると次の[図 1 0 0]の画面のようになり、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsxm」

とリンクする 3 個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsxm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsxm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsxm」

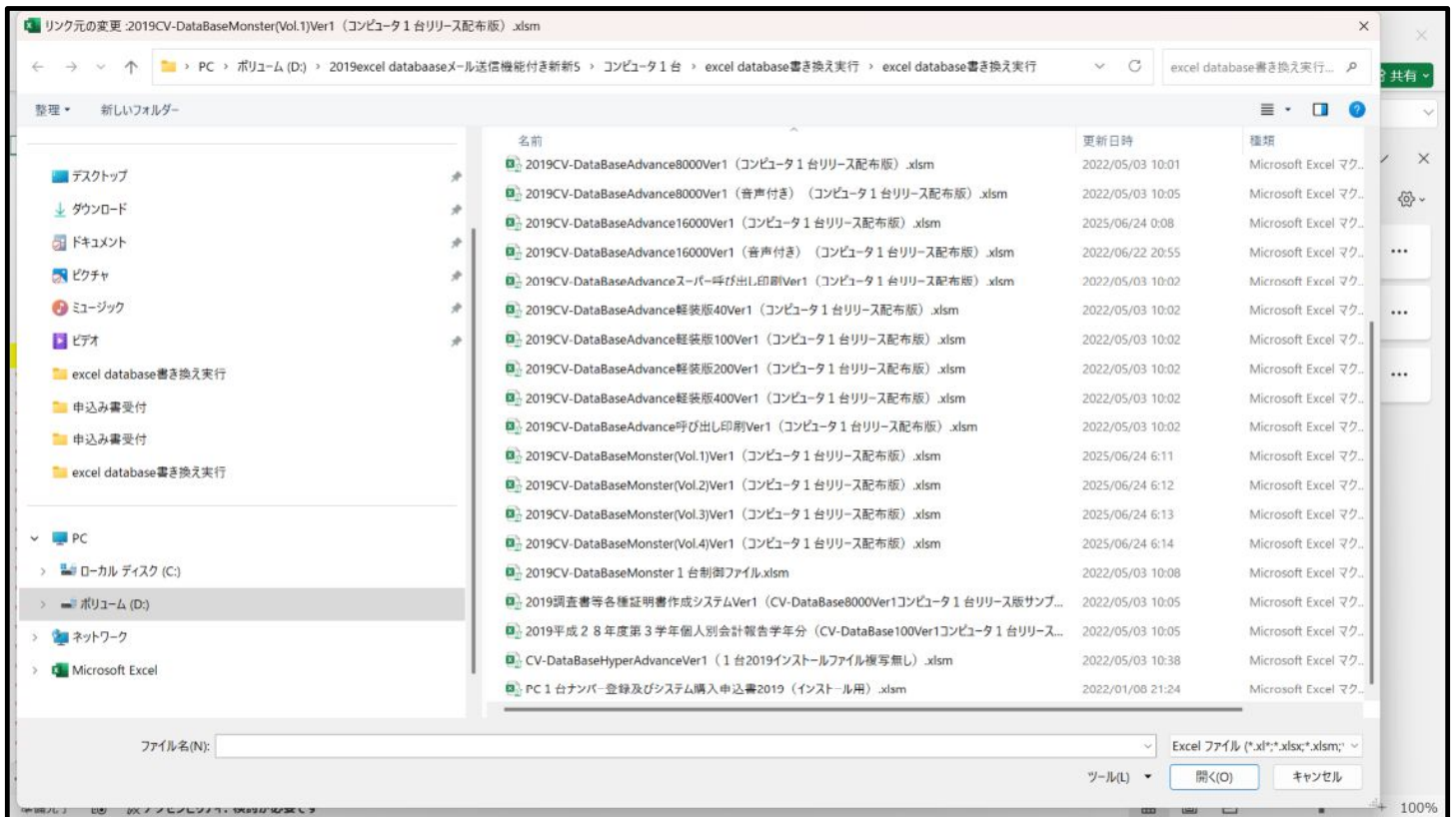
のフォルダーを選択してリンクが行えるようになります。これら 4 個のファイルはいずれもフォルダー

「D:\¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行

¥excel database 書き換え実行」

の中にあり、このフォルダーから呼び出して開いており、このフォルダーの中のファイルにリンクする必要があり、このフォルダーが表示されている状況です。

【図 1 0 0】



上の【図 9 9】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm

をダブルクリックするとリンク



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

次に

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピ... ..

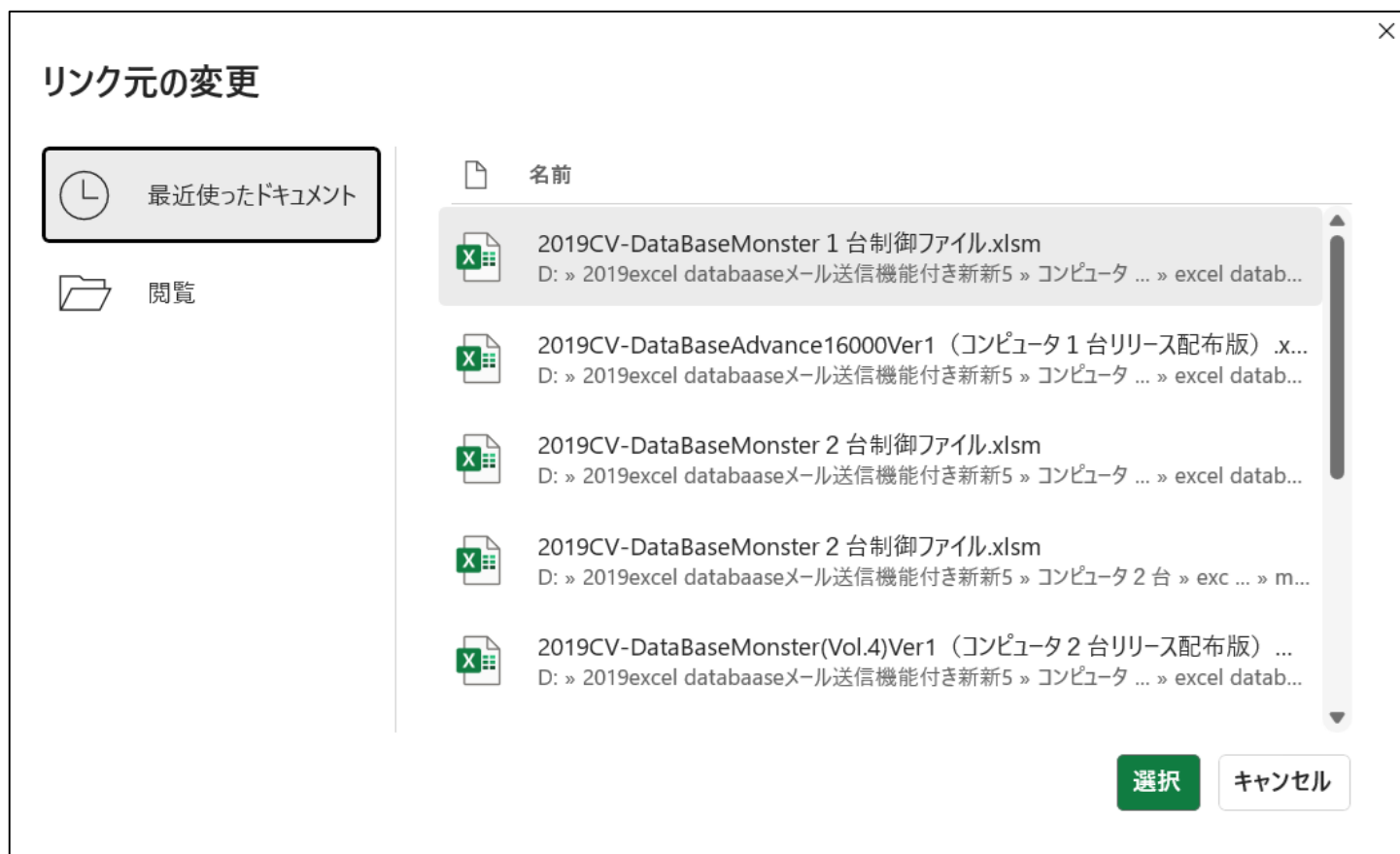
部分で  をクリックするとメニュー

-  ブックを開く
-  リンクをコピー
-  ソースの変更
-  リンクの中断

が表示され、このメニューで

 ソースの変更

を選択すると



が表示されます。そして上の画面の左下側の  閲覧 の部分をクリックすると

ファイル

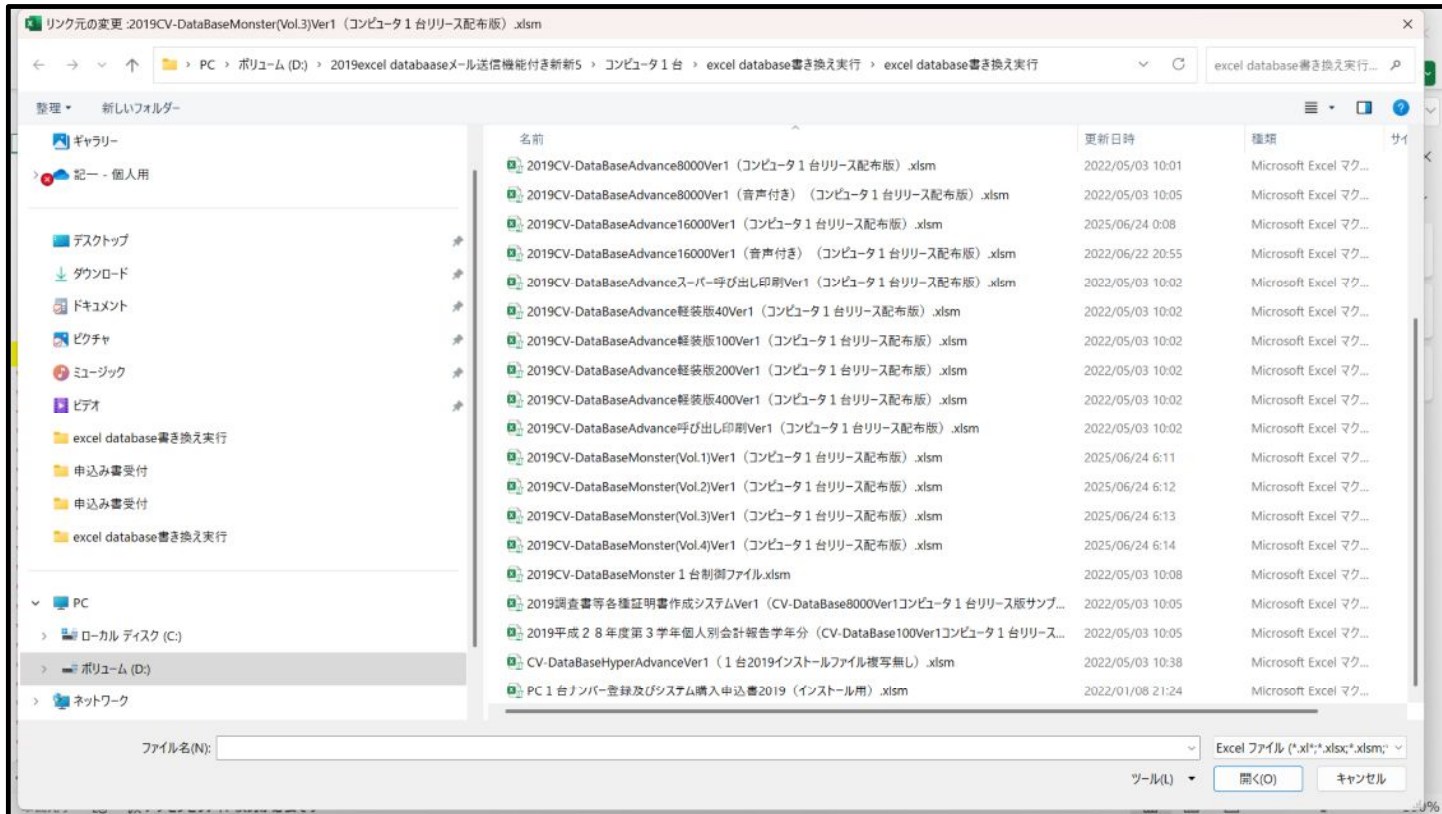
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

が開かれているフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行 ¥excel database 書き換え実行」

である[図 1 0 1]の画面が表示されます。

図 1 0 1



そして上の[図 1 0 1]の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xism

をダブルクリックするとリンク



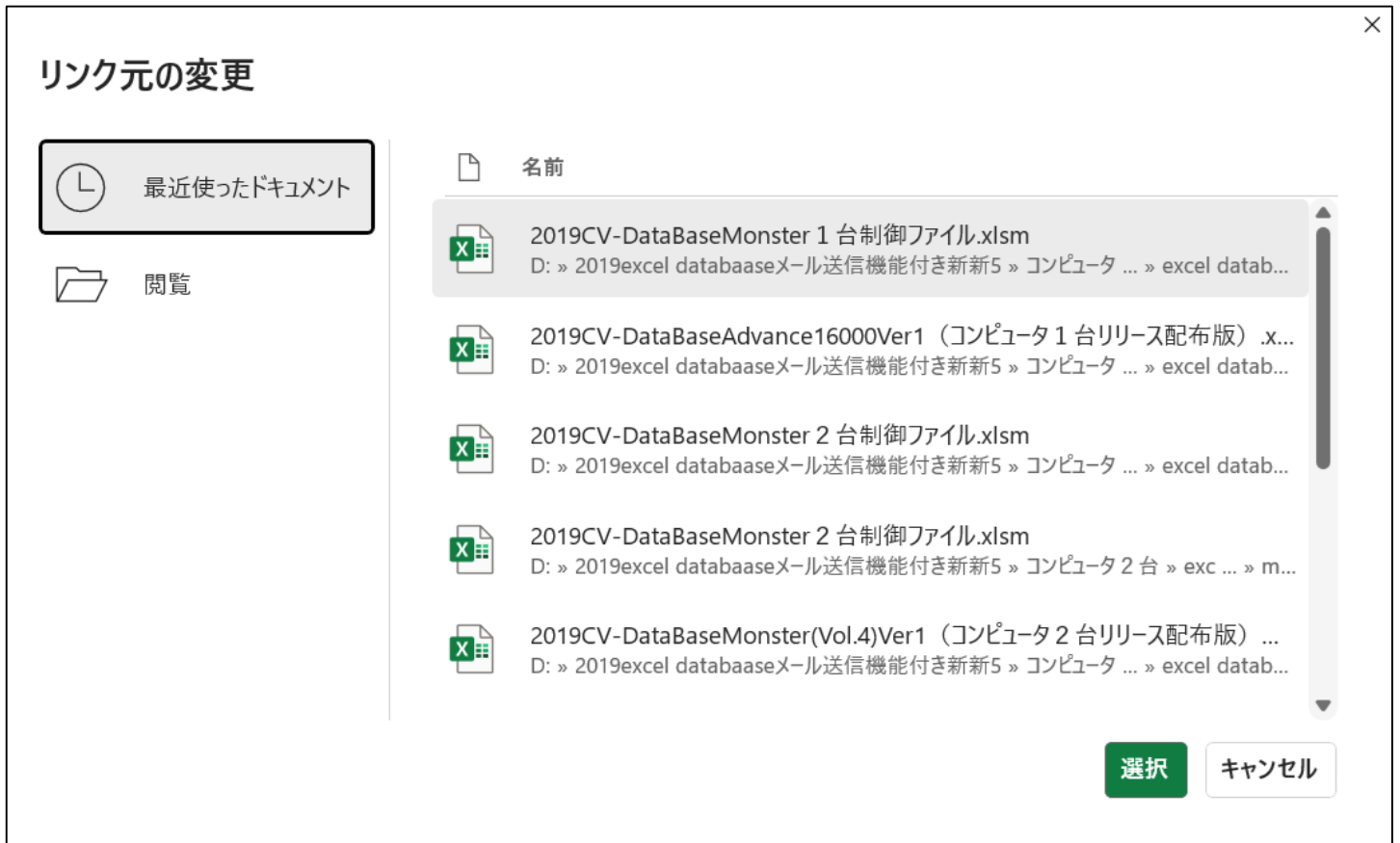
はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピ... ..

そして、最後に上の 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピ... ..をクリックしてメニュー

- ブックを開く
- リンクをコピー
- ソースの変更
- リンクの中断

を表示させ、このメニューの **ソースの変更** を選択し、

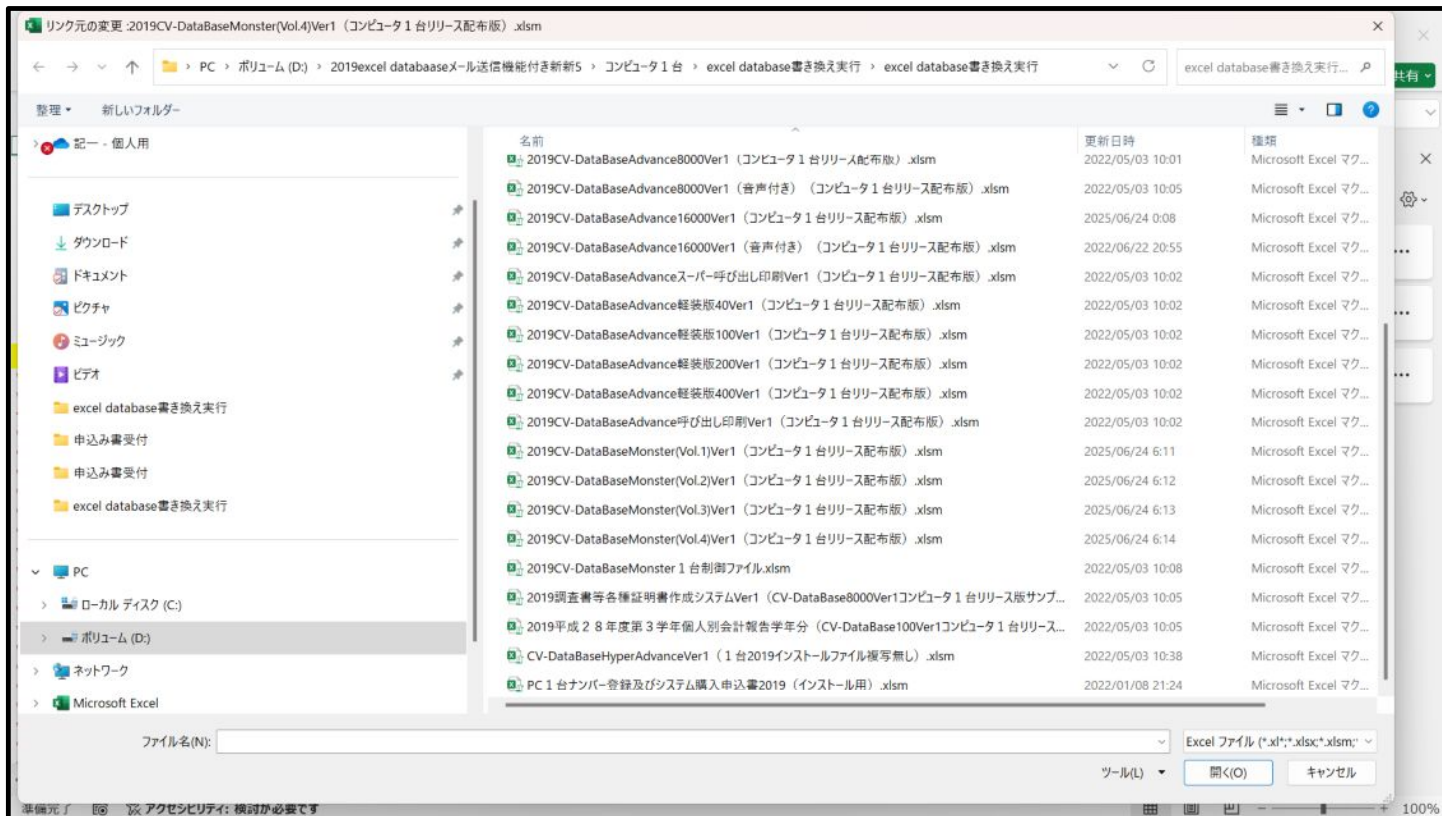


を表示させ、この表示の左下側の **閲覧** をクリックしてファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版)」
が開かれているフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行
¥excel database 書き換え実行」
である次の[図 1 0 2]の画面を表示させます。

【図 1 0 2】



そして、上の【図 1 0 2】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xism

の部分をダブルクリックします。

その結果、ブックのリンク



はこのまま全く変化しませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

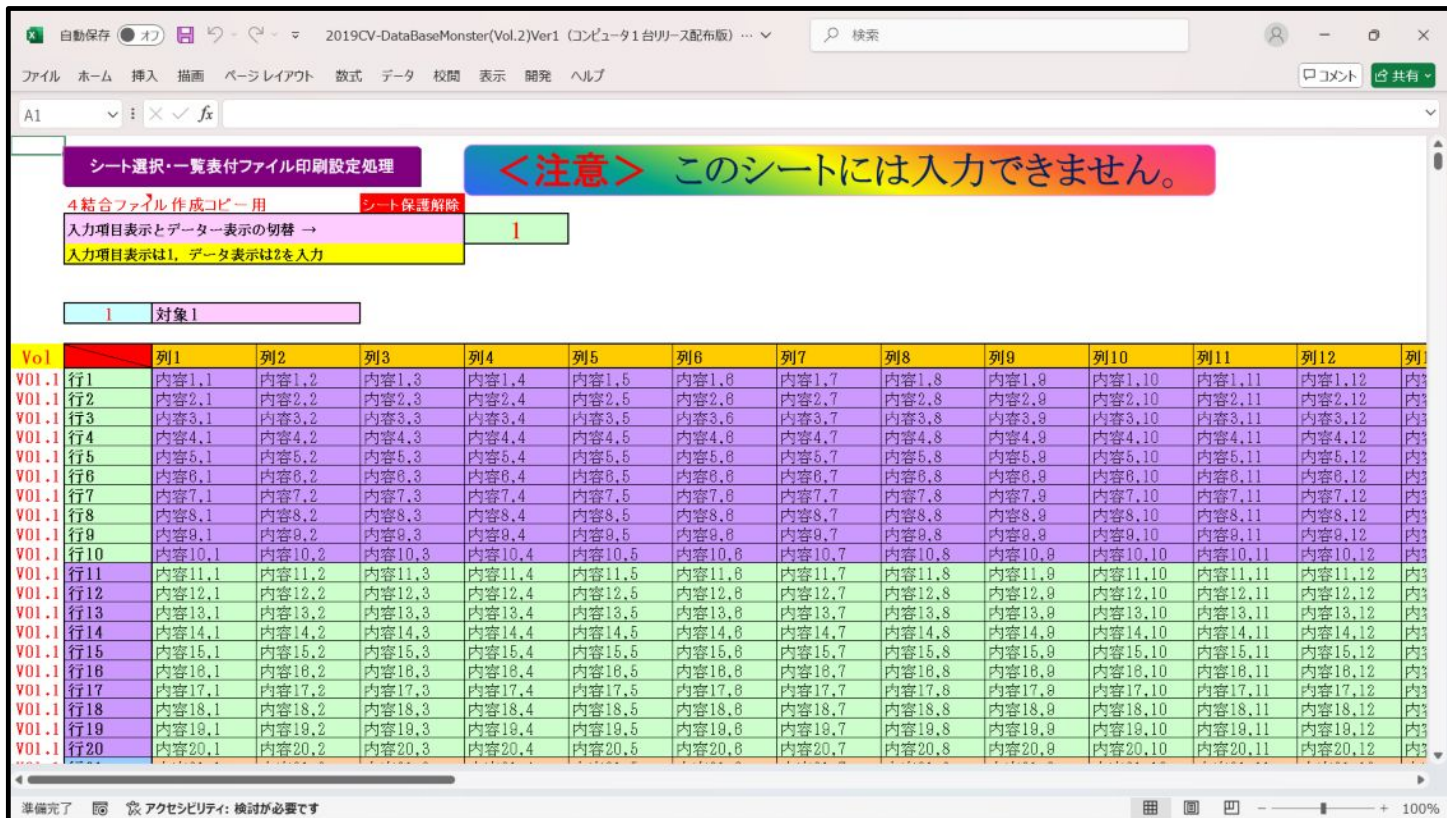
と変化します。

以上でファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xism」のリンクの編集は完了となります。

ただし、このファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」の画面は次の【図 1 0 3】のようになっています。

【図 1 0 3】



シート「4 結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されたままですので、上の【図 1 0 3】の画面」でセル

4 結合ファイルの部分をダブルクリックしての保護をしておきましょう。

それでは次にファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」

のリンクの編集を行います。

ファイル「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xslm」の

処理呼び出しボタン

を

クリックしユーザーフォーム「処理・シート選択」を開きタブ **CV-DataBaseMonsterの選択** を選択すると次の【図 1 0 4】の画面になります。

[図 1 0 4]



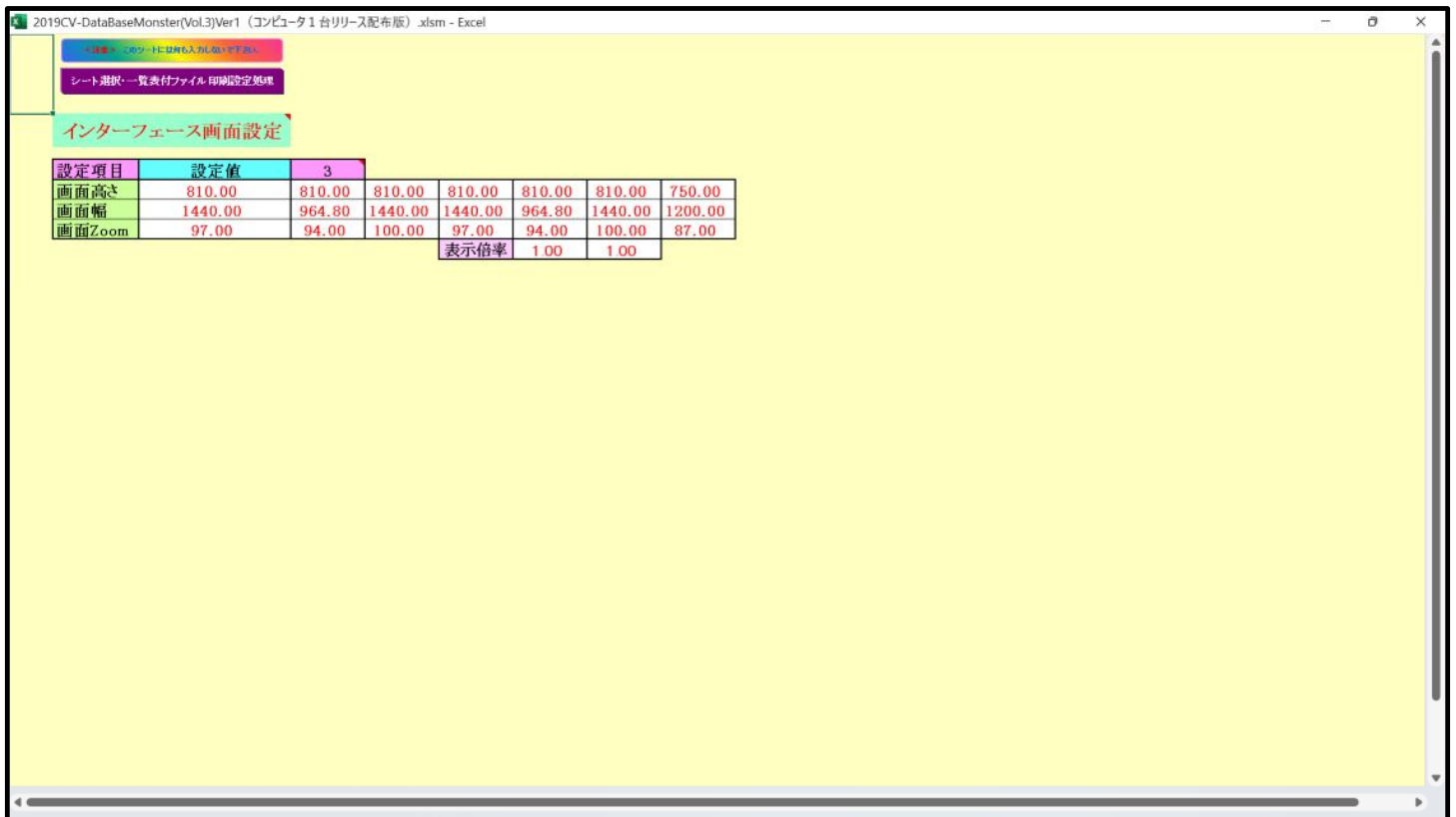
上の[図 1 0 4]の画面のコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm の選択

をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm」
が選択されて次の[図 1 0 5]の画面になります。

[図 1 0 5]



ここで上の[図 1 0 5]の画面のボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付きファイル設定印刷」が表示され次の[図 1 0 6]の画面になります。

[図 1 0 6]



4 結合ファイル 作成コピー 用

そして[図 1 0 6]の画面の Command ボタン

をクリックすると

シート「4 結合ファイル作成コピー用」が選択されて次の[図 1 0 7]の画面になります。

[図 1 0 7]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

4 結合ファイル 作成コピー 用

シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 →

入力項目表示は1、データ表示は2を入力

1

1 対象1

Vo1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
VO1.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
VO1.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
VO1.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
VO1.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
VO1.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
VO1.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
VO1.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
VO1.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
VO1.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
VO1.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
VO1.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
VO1.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
VO1.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
VO1.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
VO1.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
VO1.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
VO1.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
VO1.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
VO1.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
VO1.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
VO1.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
VO1.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
VO1.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
VO1.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
VO1.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
VO1.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12
VO1.1	行27	内容27.1	内容27.2	内容27.3	内容27.4	内容27.5	内容27.6	内容27.7	内容27.8	内容27.9	内容27.10	内容27.11	内容27.12

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 1 0 7]の画面のボタン

をクリックすると、再び

次の[図 1 0 8]の画面になります。

【図 1 0 8】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 CV-DataBaseMonster制御 キャンセル システム終了

標準画面表示

上の【図 1 0 8】の画面のコマンドボタンをクリックすると、次の【図 1 0 9】の画面のように全画面表示から標準画面と変化します。

【図 1 0 9】

自動保存 ● オフ 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) ... 検索

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデーター表示の切替 → 1

入力項目表示は1, データー表示は2を入力

1 対象1

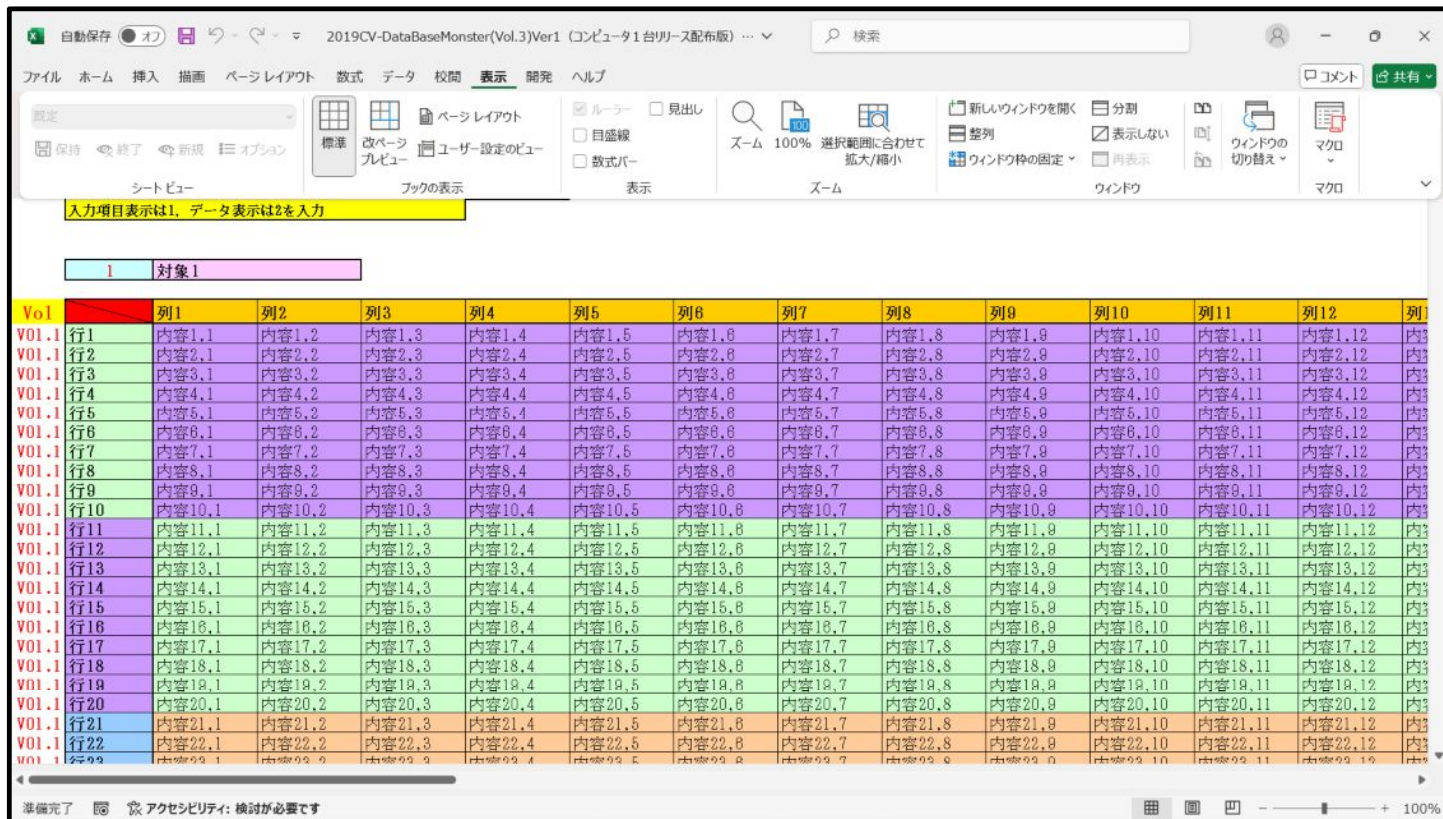
Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
Vol1.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
Vol1.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
Vol1.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
Vol1.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
Vol1.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
Vol1.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
Vol1.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
Vol1.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
Vol1.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
Vol1.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
Vol1.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
Vol1.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
Vol1.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
Vol1.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
Vol1.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
Vol1.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
Vol1.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
Vol1.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
Vol1.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
Vol1.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
Vol1.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
Vol1.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 100%

上の[図 1 0 9]の画面のセル **シート保護解除** をダブルクリックしてシートの保護を解除し、 **表示** をクリッ

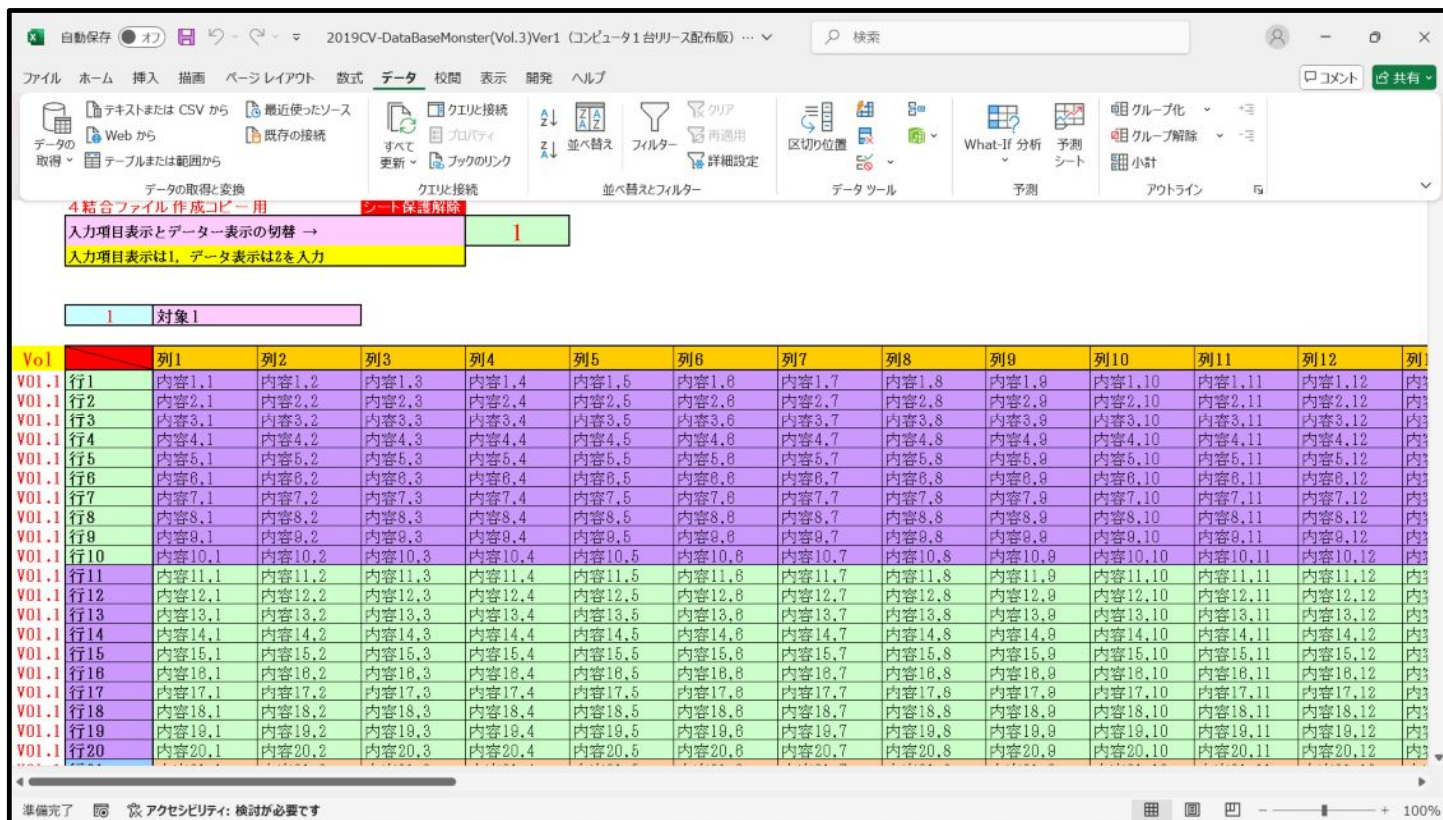
クして次の[図 1 1 0]の画面の ☐ 数式バー にチェックを入れて ☒ 数式バー とします。

[図 1 1 0]



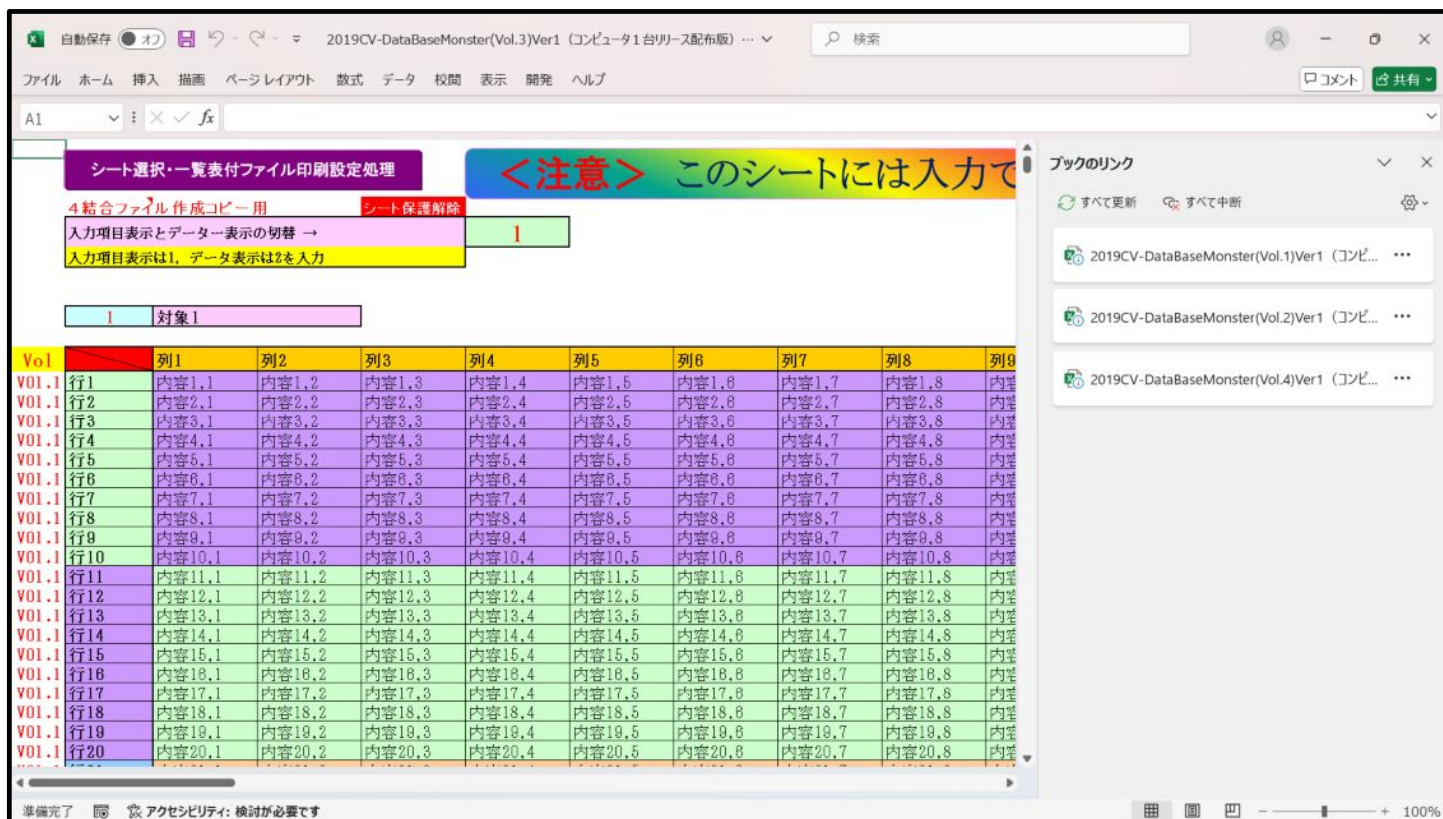
そして更に、上の[図 1 1 0]の画面の **データ** をクリックして次の[図 1 1 1]の画面のようにします。

【図 1 1 1】



そして上の【図 1 1 1】画面の **ブックのリンク** をクリックすると次の【図 1 1 2】の画面のようになり、ようやくブックのリンクの編集の準部が完了します。

【図 1 1 2】



上の【図 1 1 2】の画面の右側にブックのリンクが表示されていますが、この部分を拡大表示すると

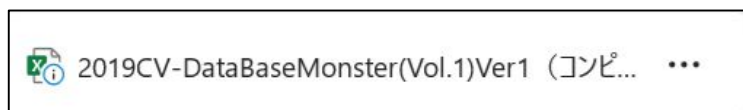


となります。

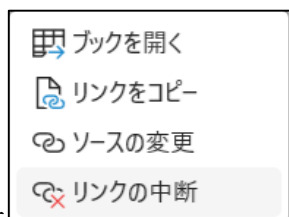
それでは早速ファイル

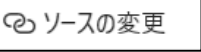
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
のリンクの編集を行います。

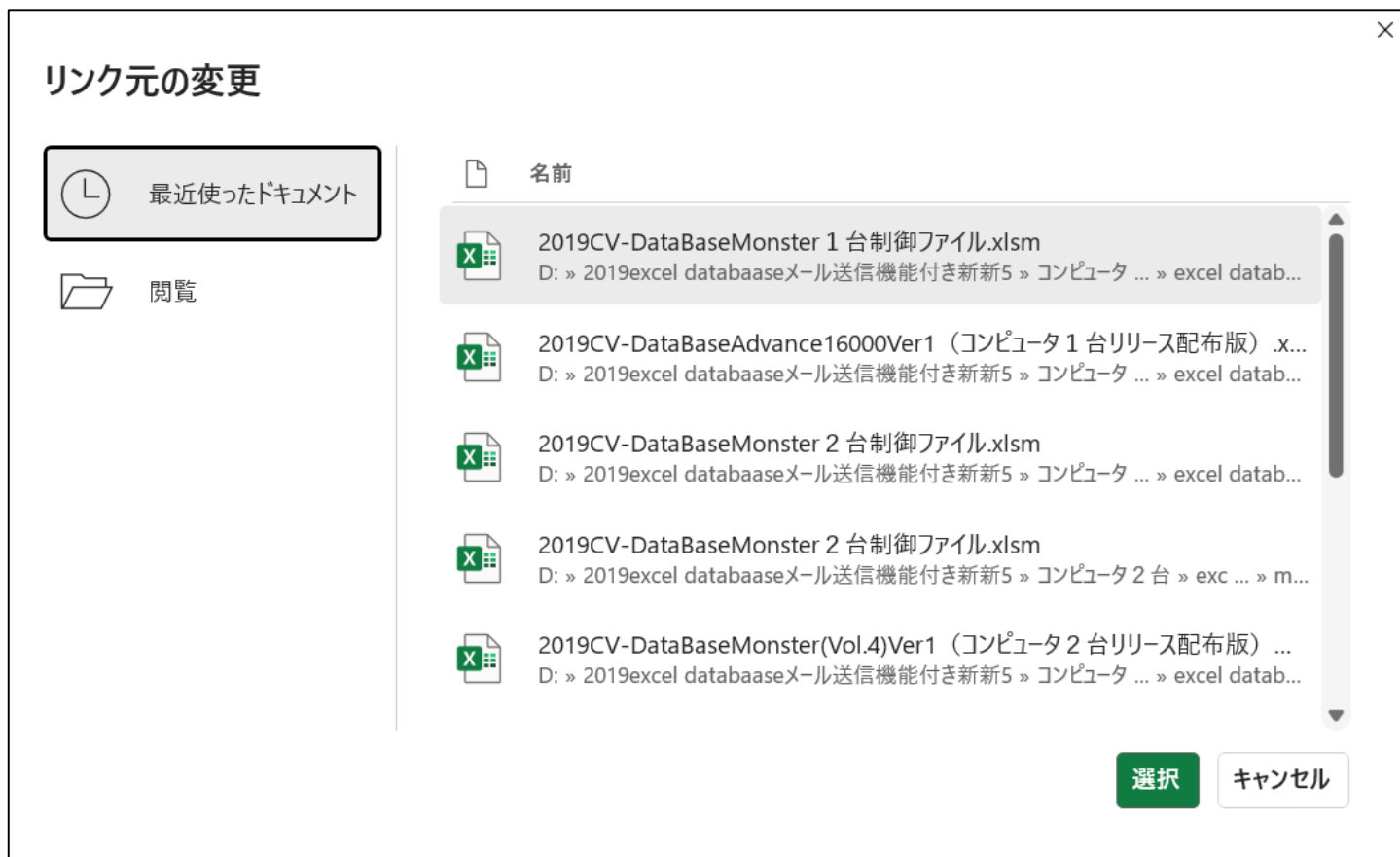
[図 1 1 2]の画面の右側のブックのリンクの



の部分の右側の  の部分をクリックすると



メニューが表示されます。このメニューのうち  **ソースの変更** を選択すると次の画面が表示されます。



上の画面の左下側の

部分をクリックすると次の[図 1 1 3]の画面のようになり、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

とリンクする 3 個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

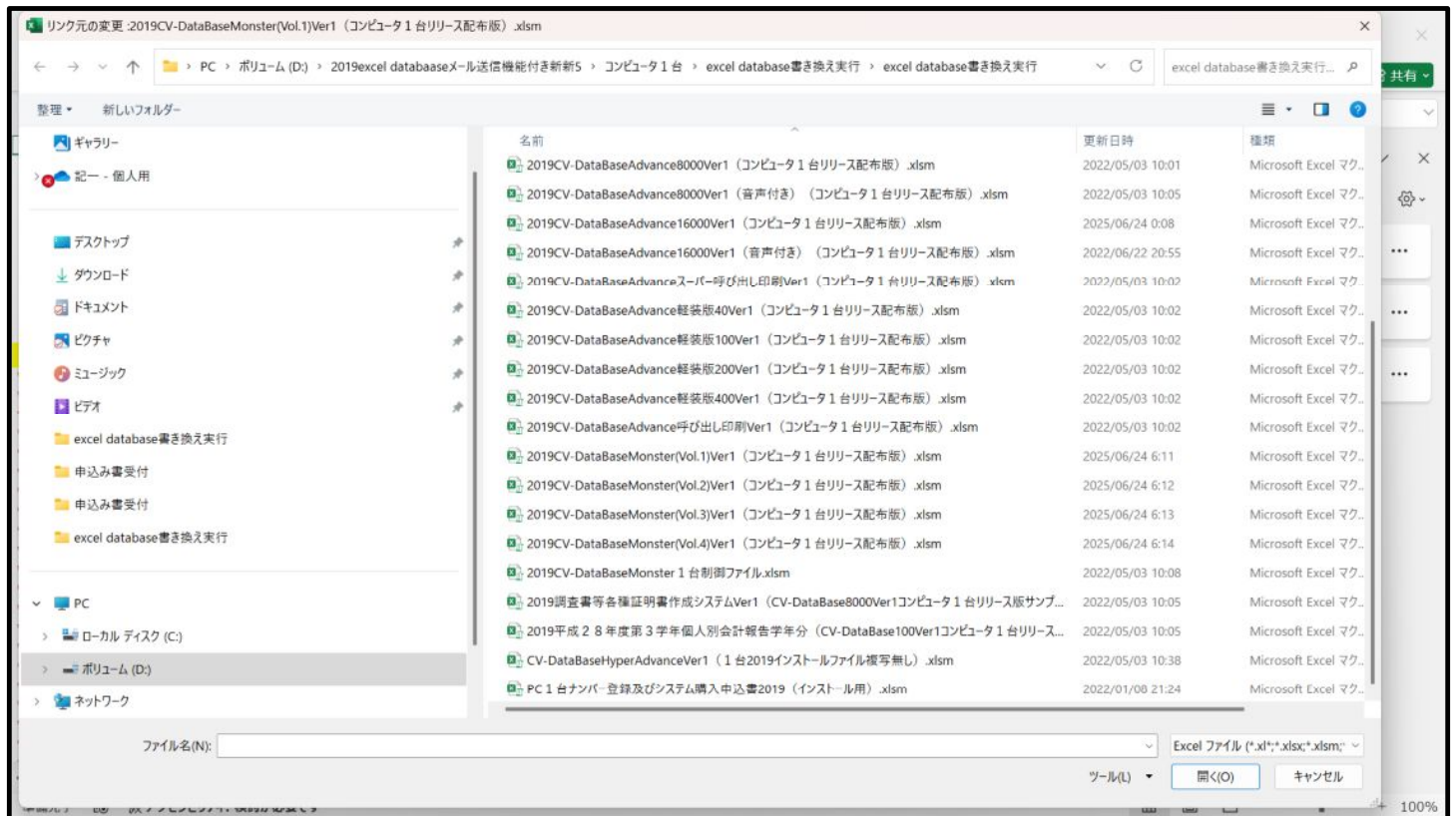
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のフォルダーを選択してリンクが行えるようになります。これら 4 個のファイルはいずれもフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行 ¥excel database 書き換え実行」

の中にあり、このフォルダーから呼び出して開いており、このフォルダーの中のファイルにリンクする必要がある、このフォルダーが表示されている状況です。

【図 1 1 3】



上の【図 1 1 2】の画面でファイル

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版).xlsm

をダブルクリックするとブックのリンク



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

次に

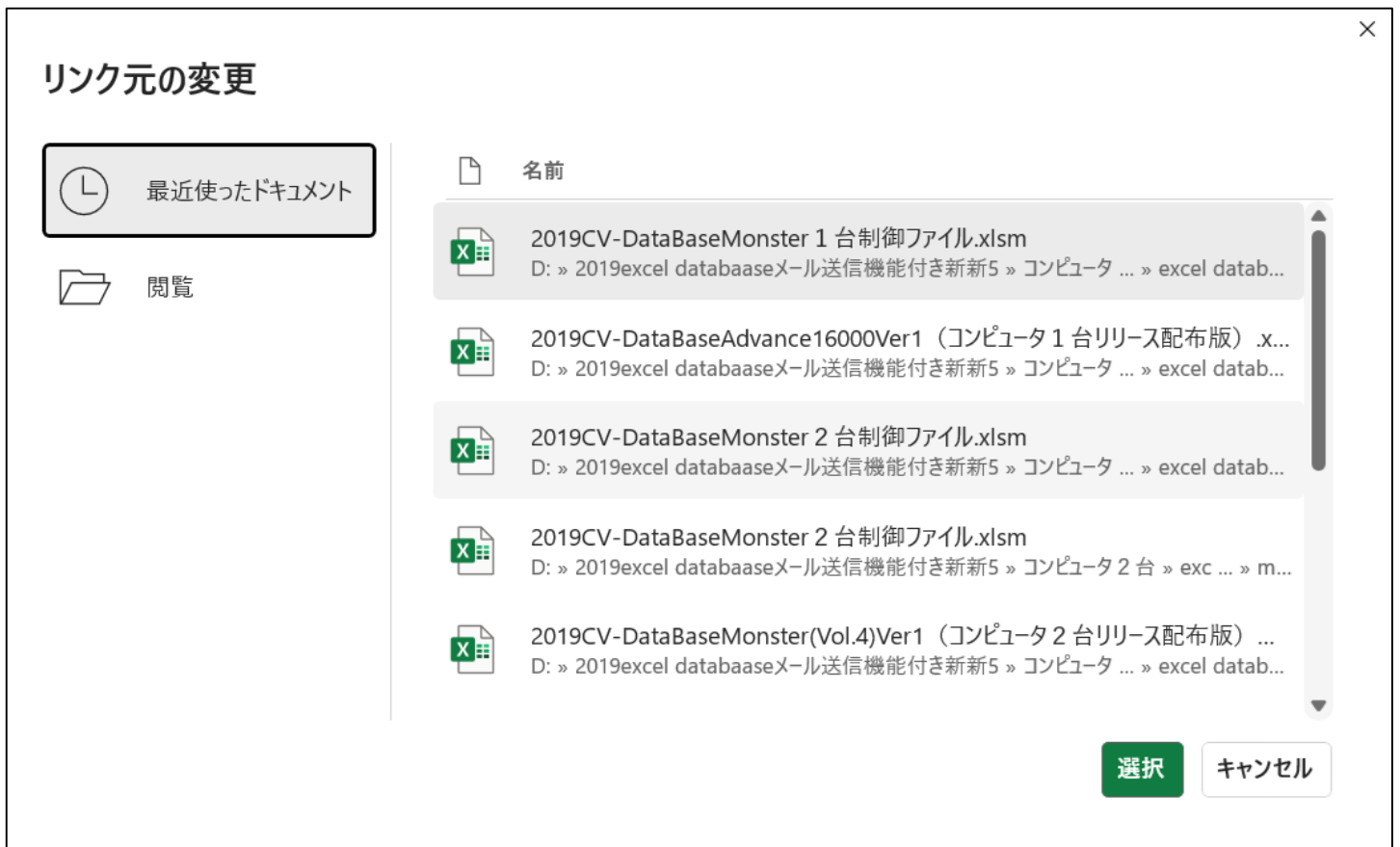
2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピ...

- ブックを開く
- リンクをコピー
- ソースの変更
- リンクの中断

の部分で...をクリックするとメニューが表示され、このメニューで

ソースの変更

を選択すると



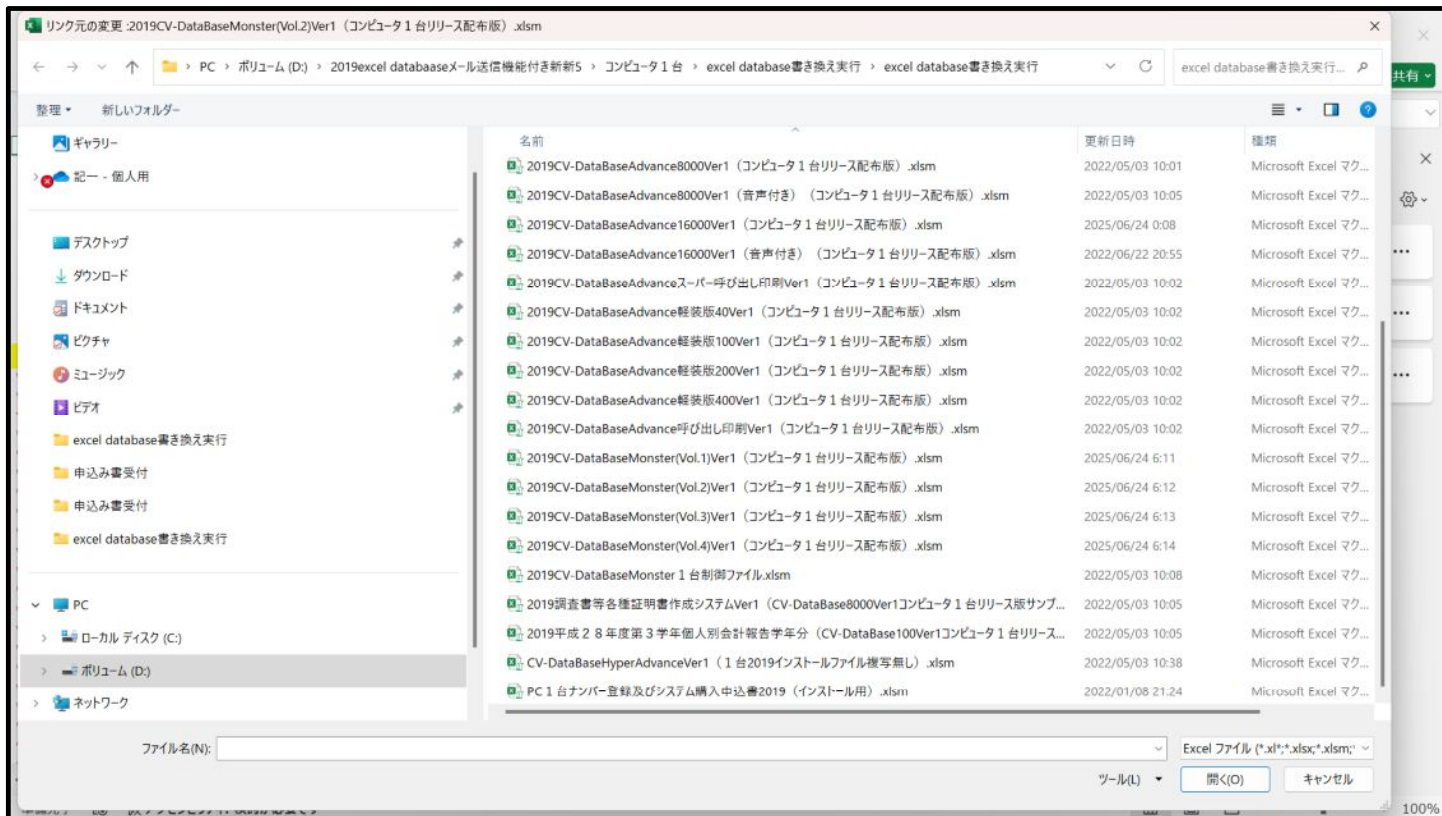
閲覧

が表示されます。そして上の左下側の「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」のフォルダー

「D:\2019excel databaase メール送信機能付き新新 5\コンピュータ 1 台\excel database 書き換え実行\excel database 書き換え実行」

である[図 1 1 4]の画面が表示されます。

【図 1 1 4】



そして上の【図 1 1 3】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm

をダブルクリックするとブックのリンク



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピ... ..

そして次に

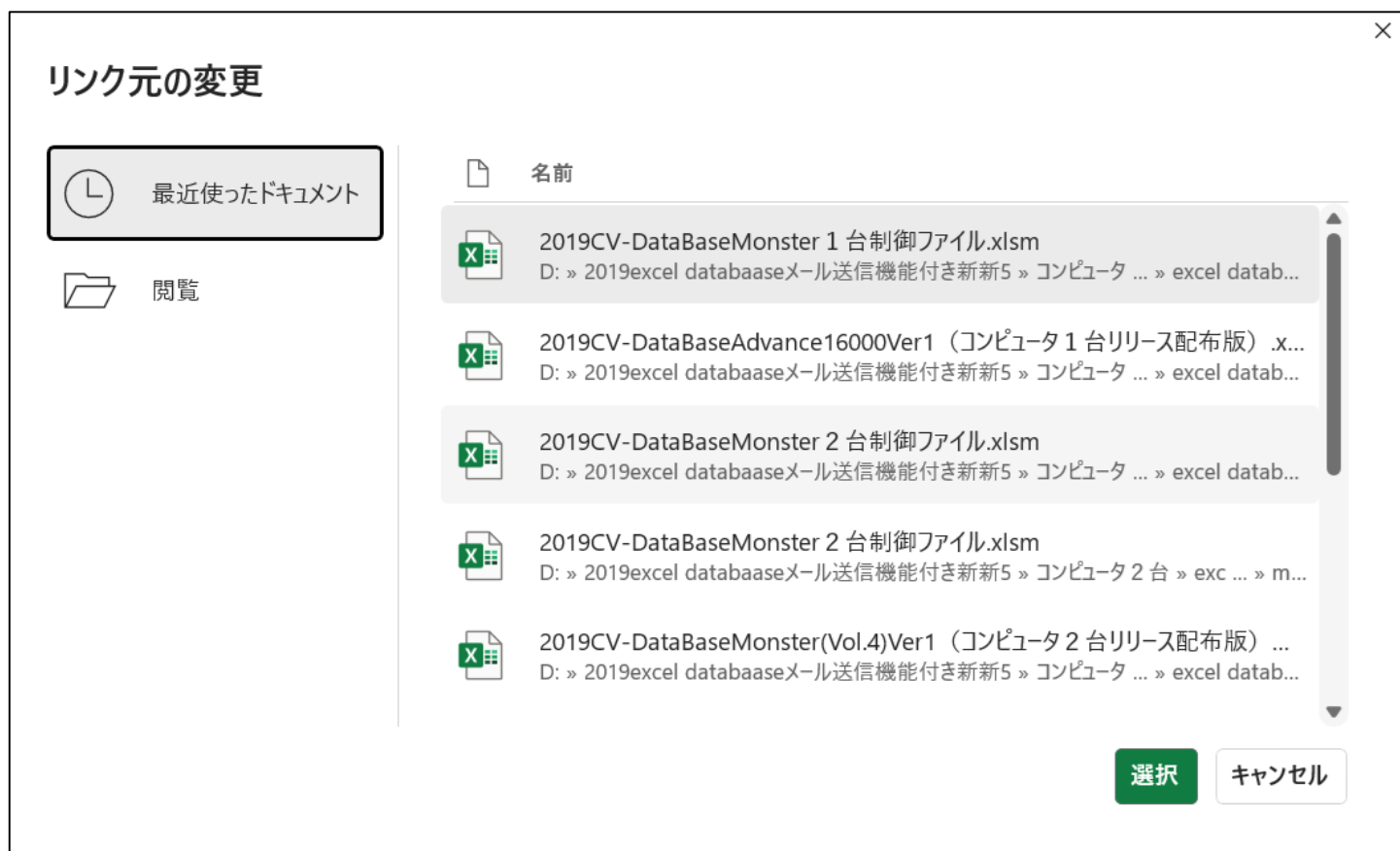
の部分で



の部分をクリック

- ブックを開く
- リンクをコピー
- ソースの変更
- リンクの中断

してメニューを表示させ、このメニューのソースの変更を選択し、

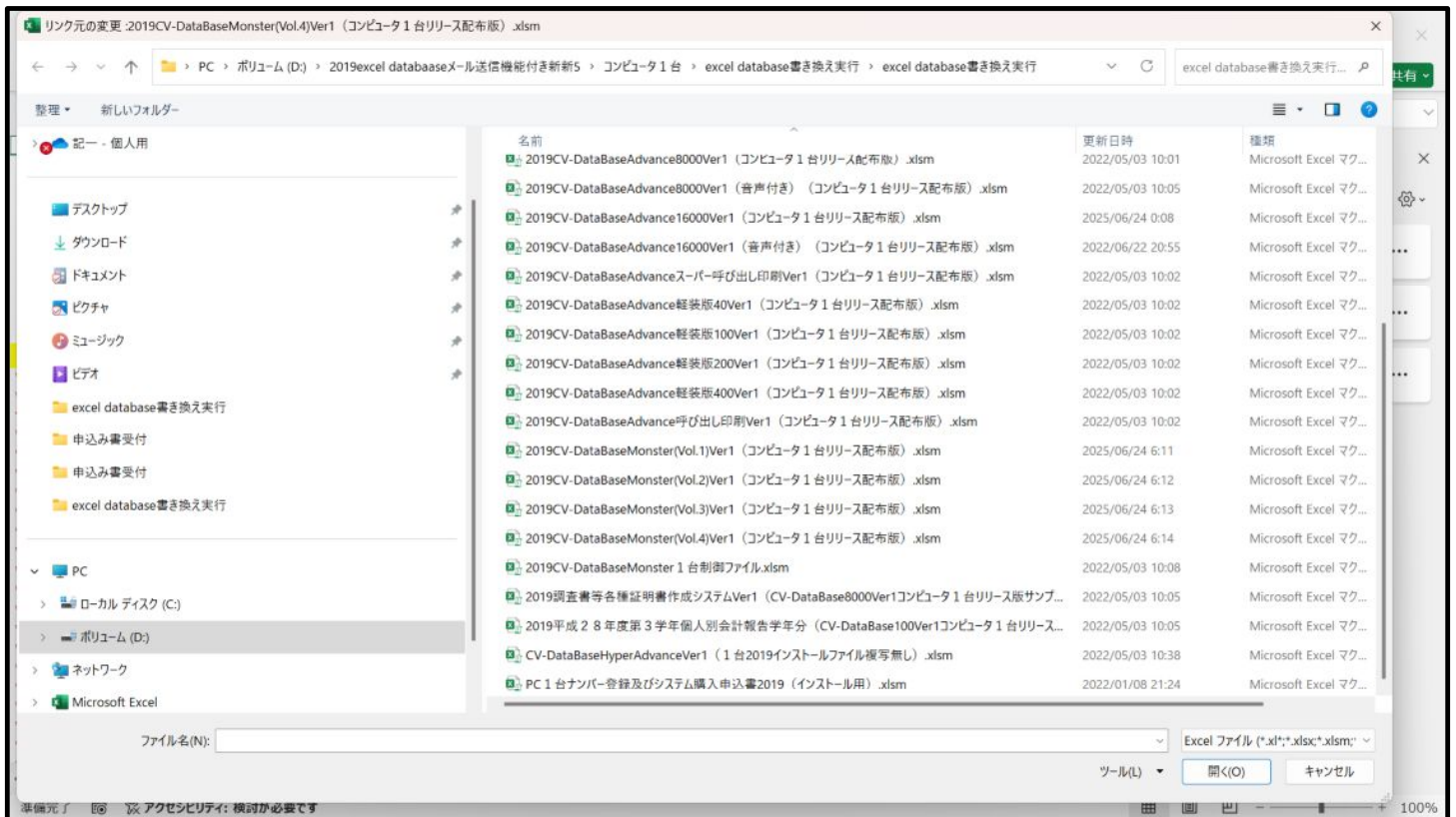


を表示させ、この表示の左下側の閲覧の部分をクリックすると開かれているファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版)」
のフォルダー

「D:\¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行
¥excel database 書き換え実行」
である次の[図 1 1 5]の画面が表示されます。

【図 1 1 5】



そして、上の【図 1 1 4】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm

の部分をダブルクリックします。

その結果、ブックのリンク



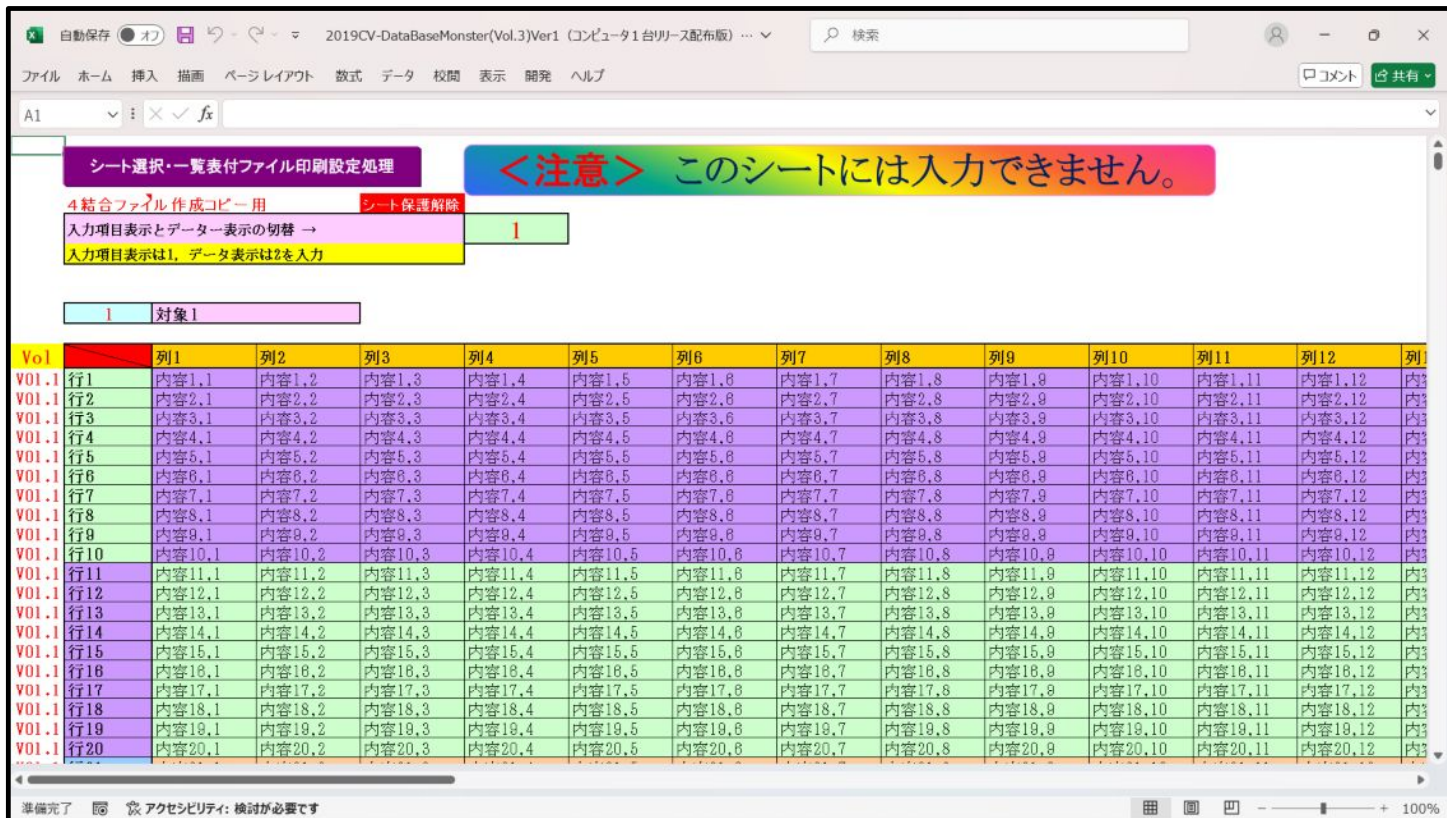
はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

以上でファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」
のリンクの編集は完了となります。

ただし、このファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」の画面の【図 1 1 6】は次のようになっています。

【図 1 1 6】



シート「4 結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されたままですので、上の【図 1 1 6】の画面」でセル

4 結合ファイルの部分をダブルクリックしての保護をしておきましょう。

最後にファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
のリンクの編集を行います。

ファイル「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm」の

処理呼び出しボタンを

クリックしユーザーフォーム「処理・シート選択」を開きタブ **CV-DataBaseMonsterの選択** を選択すると次の【図 1 1 7】の画面になります。

【図 1 1 7】



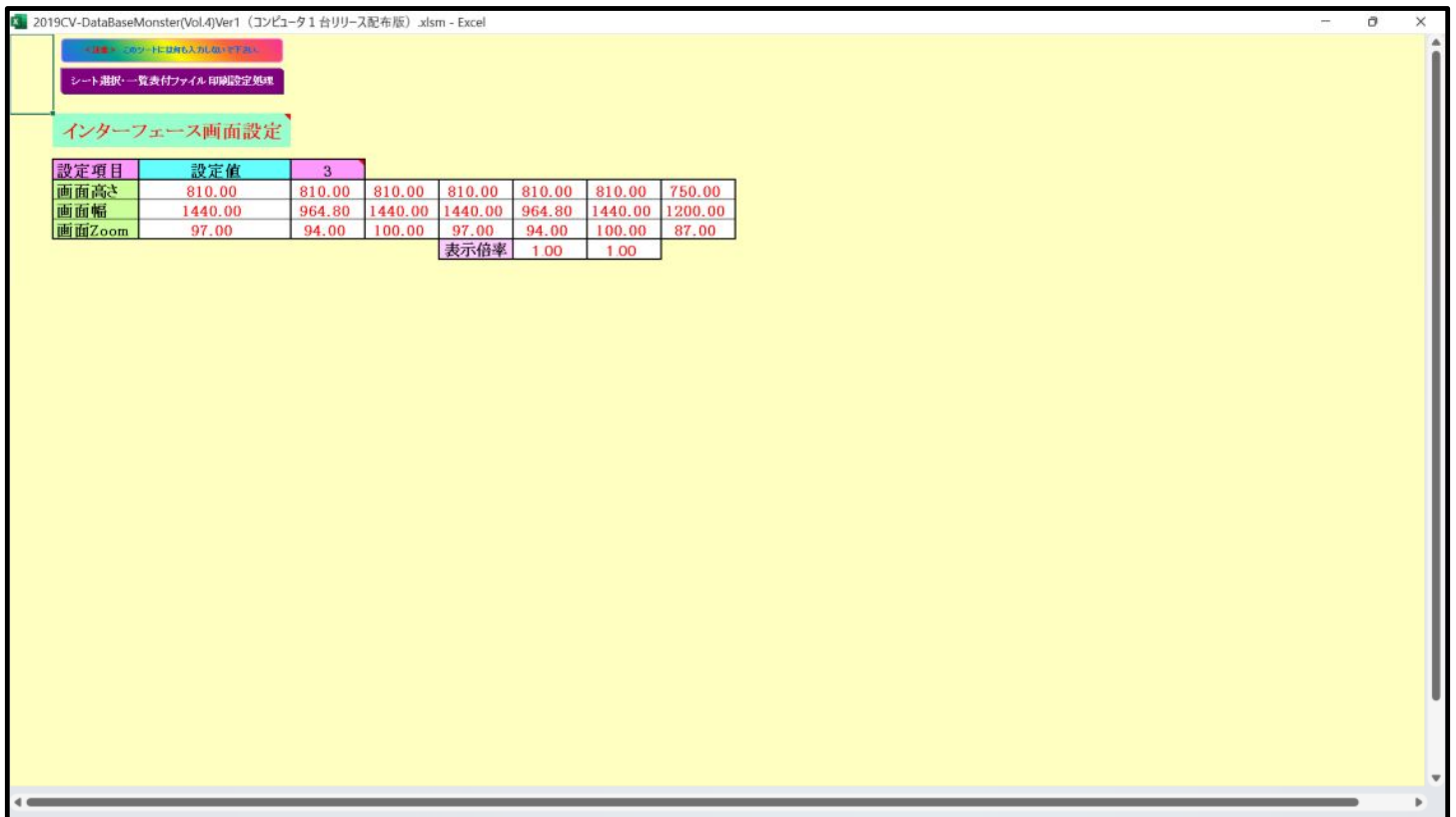
上の【図 1 1 7】の画面のコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm の選択

をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsm」
が選択されて次の【図 1 1 8】の画面になります。

[図 1 1 8]



ここで上の[図 1 1 8]の画面のボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付きファイル設定印刷」が表示され次の[図 1 1 9]の画面になります。

[図 1 1 9]



4 結合ファイル 作成コピー用

そして上の[図 1 1 9]の画面のコマンドボタン

をクリック

するとシート「4 結合ファイル作成コピー用」が選択されて次の[図 1 2 0]の画面になります。

[図 1 2 0]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4 結合ファイル 作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 → 1

入力項目表示は1、データ表示は2を入力

1 対象1

Vo1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
VO1.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
VO1.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
VO1.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
VO1.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
VO1.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
VO1.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
VO1.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
VO1.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
VO1.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
VO1.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
VO1.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
VO1.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
VO1.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
VO1.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
VO1.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
VO1.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
VO1.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
VO1.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
VO1.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
VO1.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
VO1.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
VO1.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
VO1.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
VO1.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
VO1.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
VO1.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12
VO1.1	行27	内容27.1	内容27.2	内容27.3	内容27.4	内容27.5	内容27.6	内容27.7	内容27.8	内容27.9	内容27.10	内容27.11	内容27.12

上の[図 1 2 0]の画面のボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックすると、再び次の[図 1 2 1]の画面

になります。

〔図 1 2 1〕

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

標準画面表示

上の〔図 1 2 1〕の画面のコマンドボタンをクリックすると、次の〔図 1 2 2〕の画面のように全画面表示から標準画面と変化します。

〔図 1 2 2〕

自動保存 ● オフ 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) ... 検索

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 → 1

入力項目表示は1, データ表示は2を入力

1	対象1
---	-----

Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
Vol.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
Vol.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
Vol.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
Vol.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
Vol.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
Vol.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
Vol.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
Vol.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
Vol.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
Vol.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
Vol.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
Vol.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
Vol.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
Vol.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
Vol.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
Vol.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
Vol.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
Vol.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
Vol.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
Vol.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
Vol.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
Vol.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12

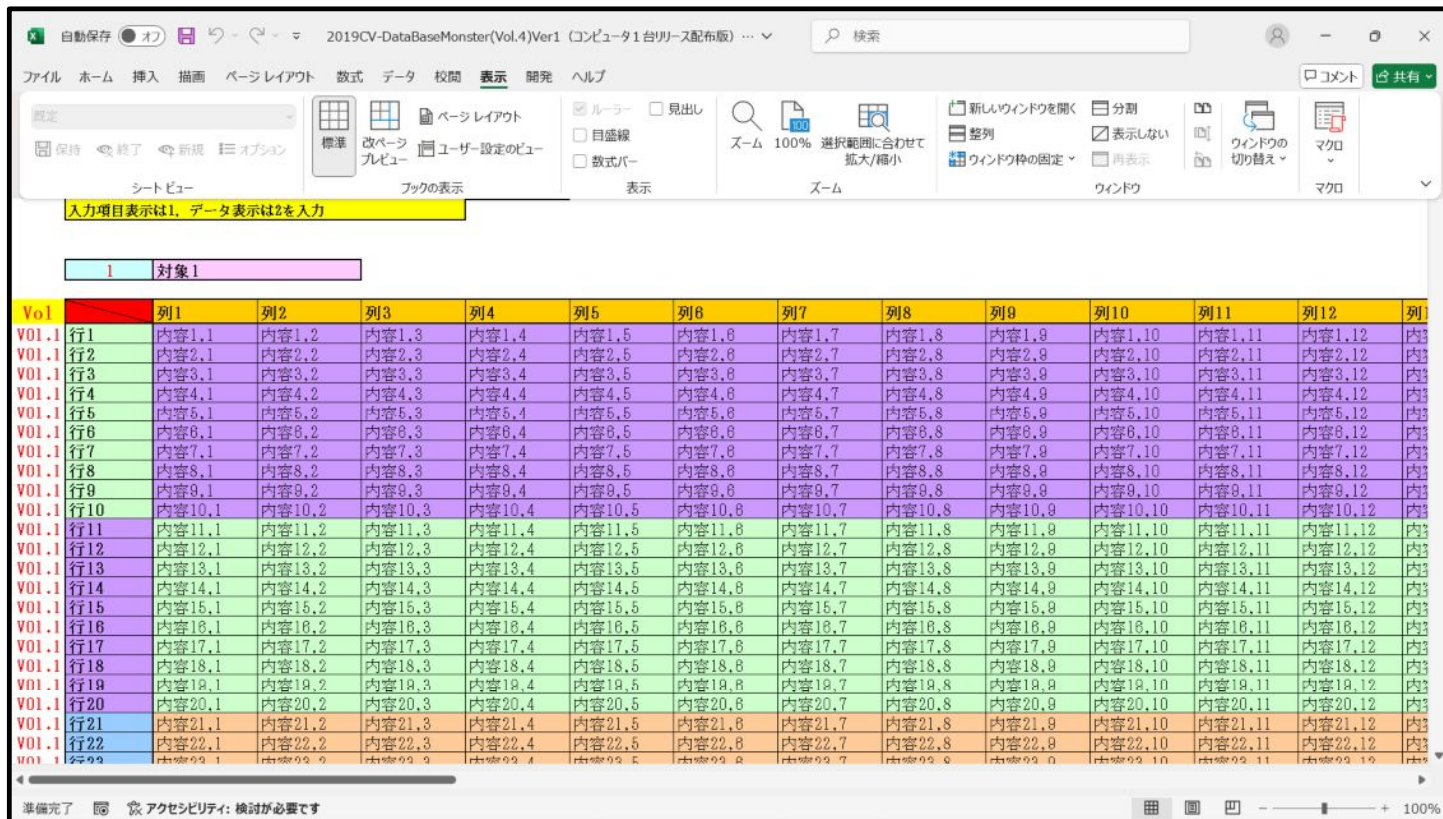
準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

上の[図 1 2 2]の画面のセル **シート保護解除** をダブルクリックしてシートの保護を解除し、 **表示** をクリッ

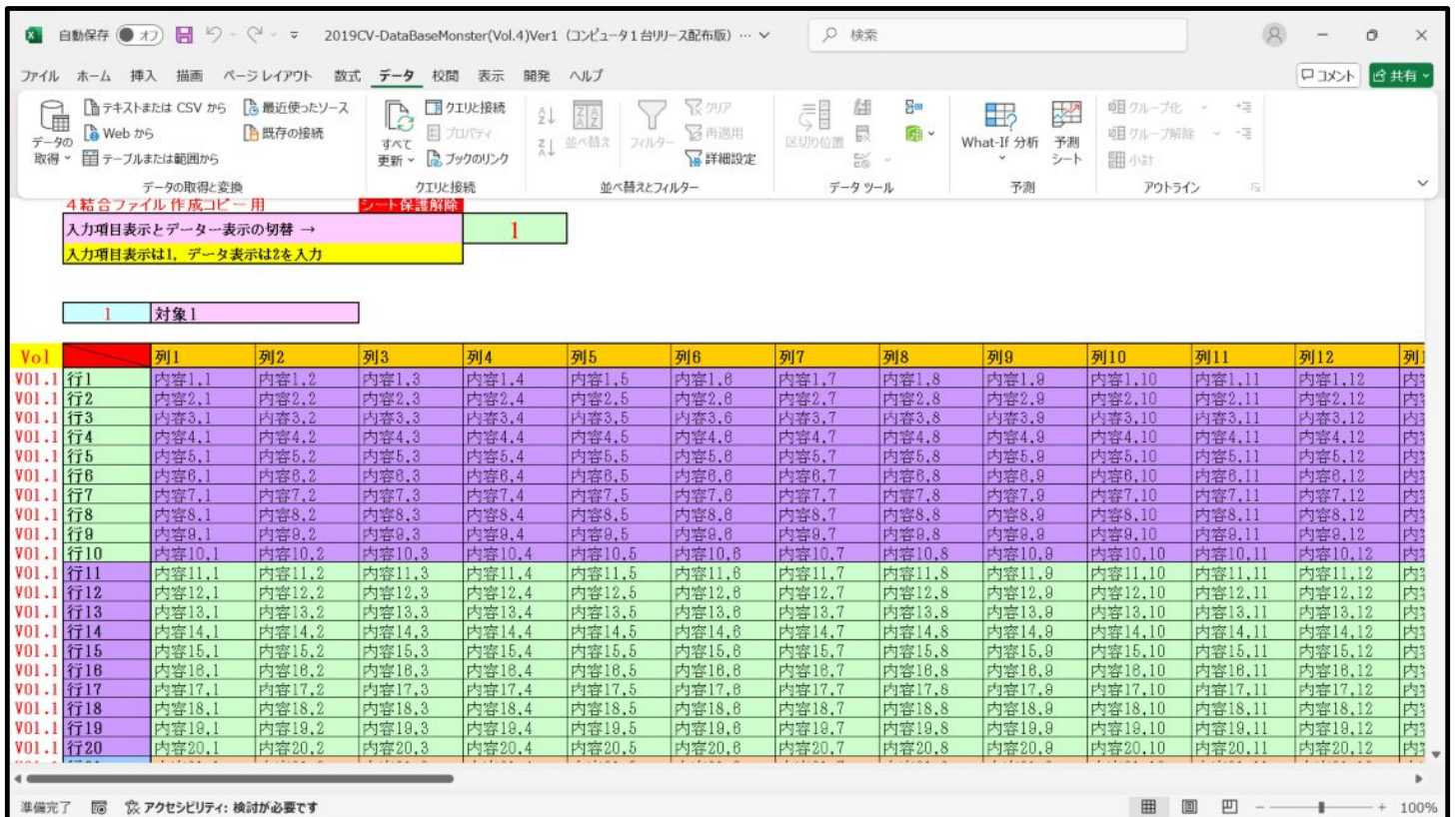
クして次の[図 1 2 3]の画面の ☐ 数式バー にチェックを入れて ☒ 数式バー とします。

[図 1 2 3]



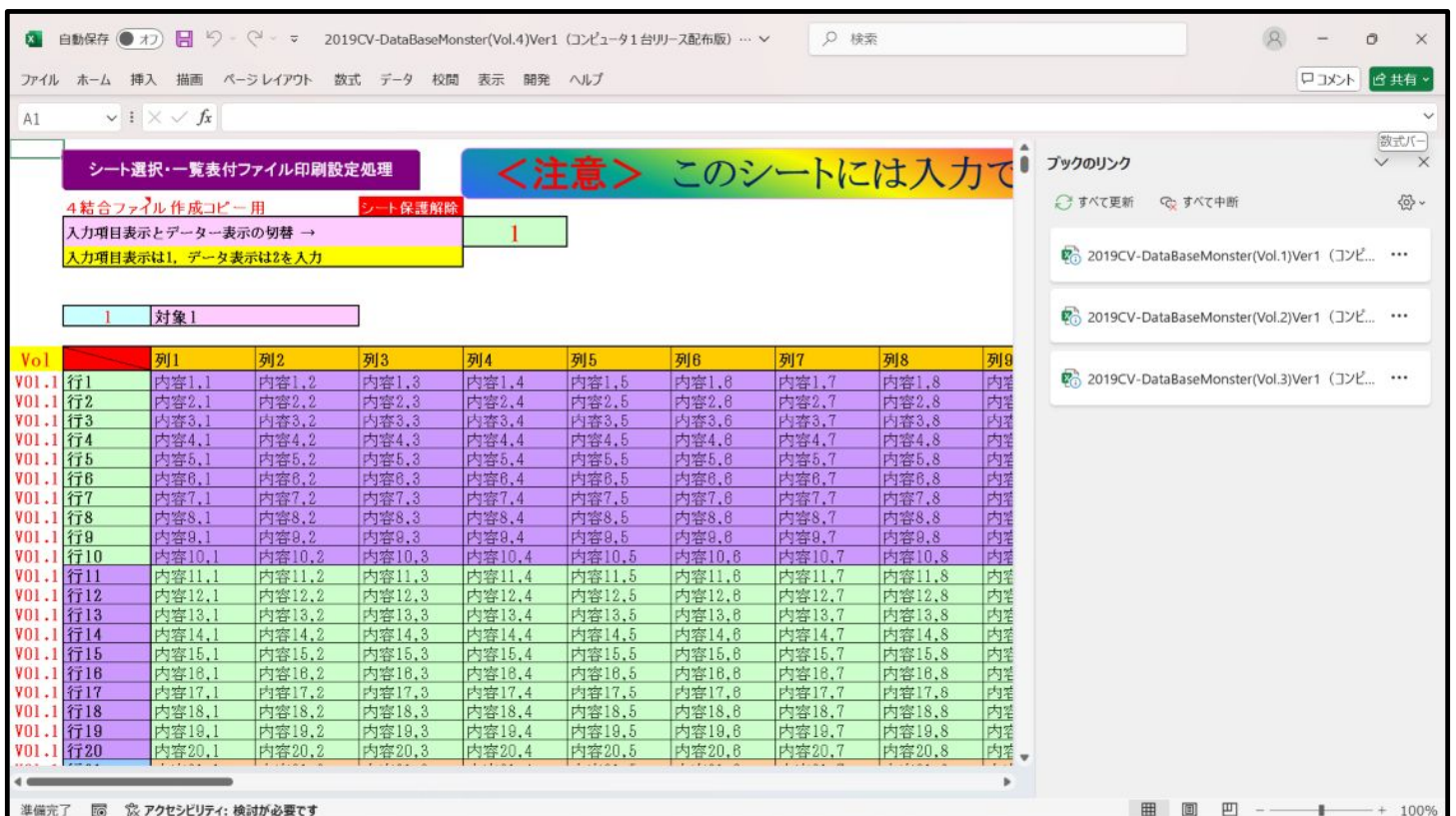
そして更に、上の[図 1 2 3]の画面の **データ** をクリックして次の[図 1 2 4]の画面のようにします。

【図 1 2 4】



そして上の画面の **ブックのリンク** をクリックすると次の【図 1 2 5】の画面のようになり、ようやくブックのリンクの編集の準部が完了します。

【図 1 2 5】



上の【図 1 2 5】の画面の右側にブックのリンクが表示されていますが、この部分を拡大表示すると

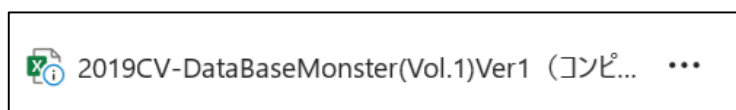


となります。

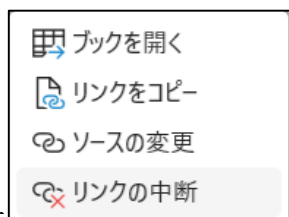
それでは早速ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
のリンクの編集を行います。

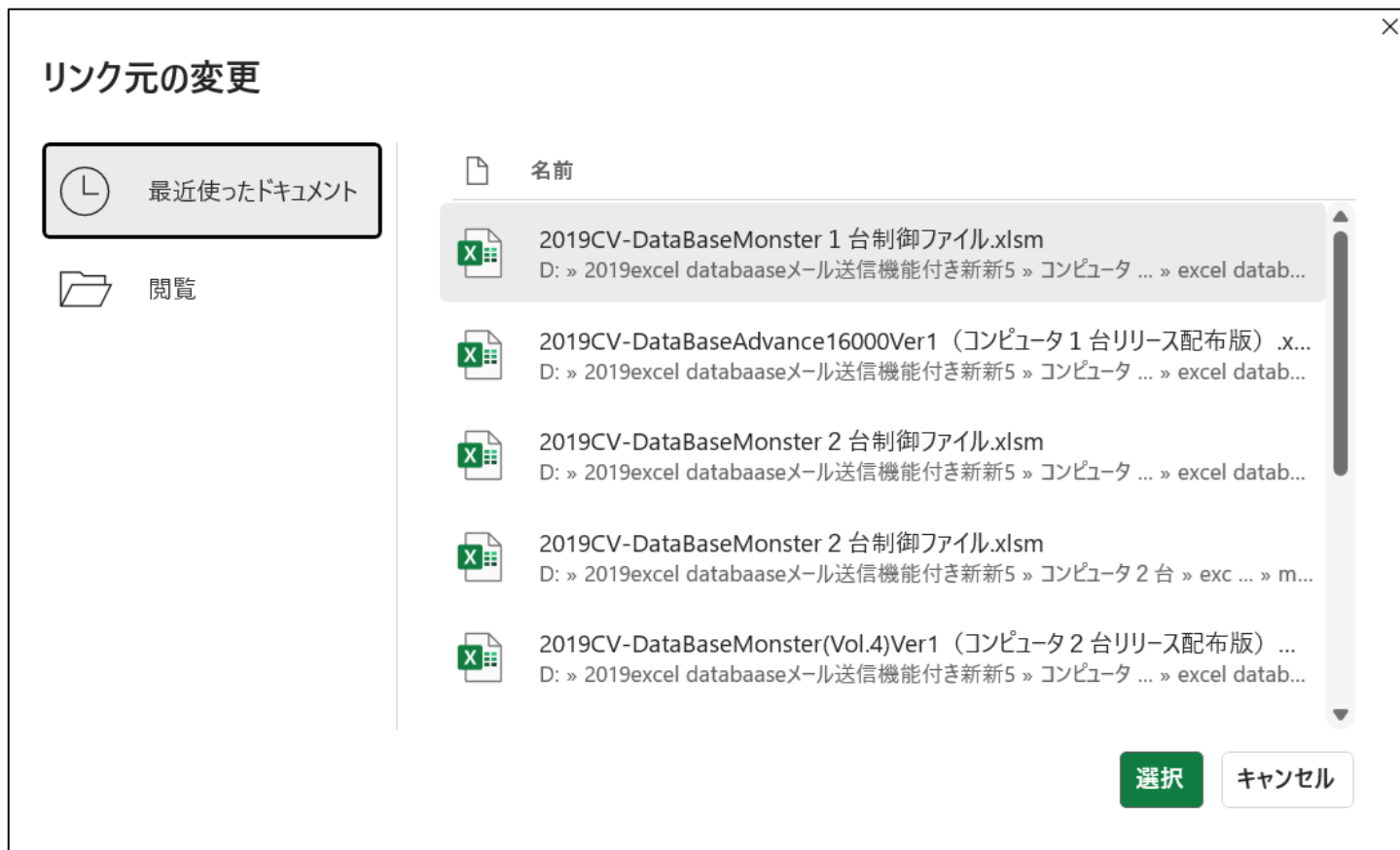
[図 1 2 5]の画面の右側のブックのリンクの



の部分の右側の...の部分をクリックすると



メニューが表示されます。このメニューのうちソースの変更を選択すると次の画面が表示されます。



上の画面の左下側の

の部分をクリックすると次の[図 1 2 6]の画面のようになり、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

とリンクする 3 個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

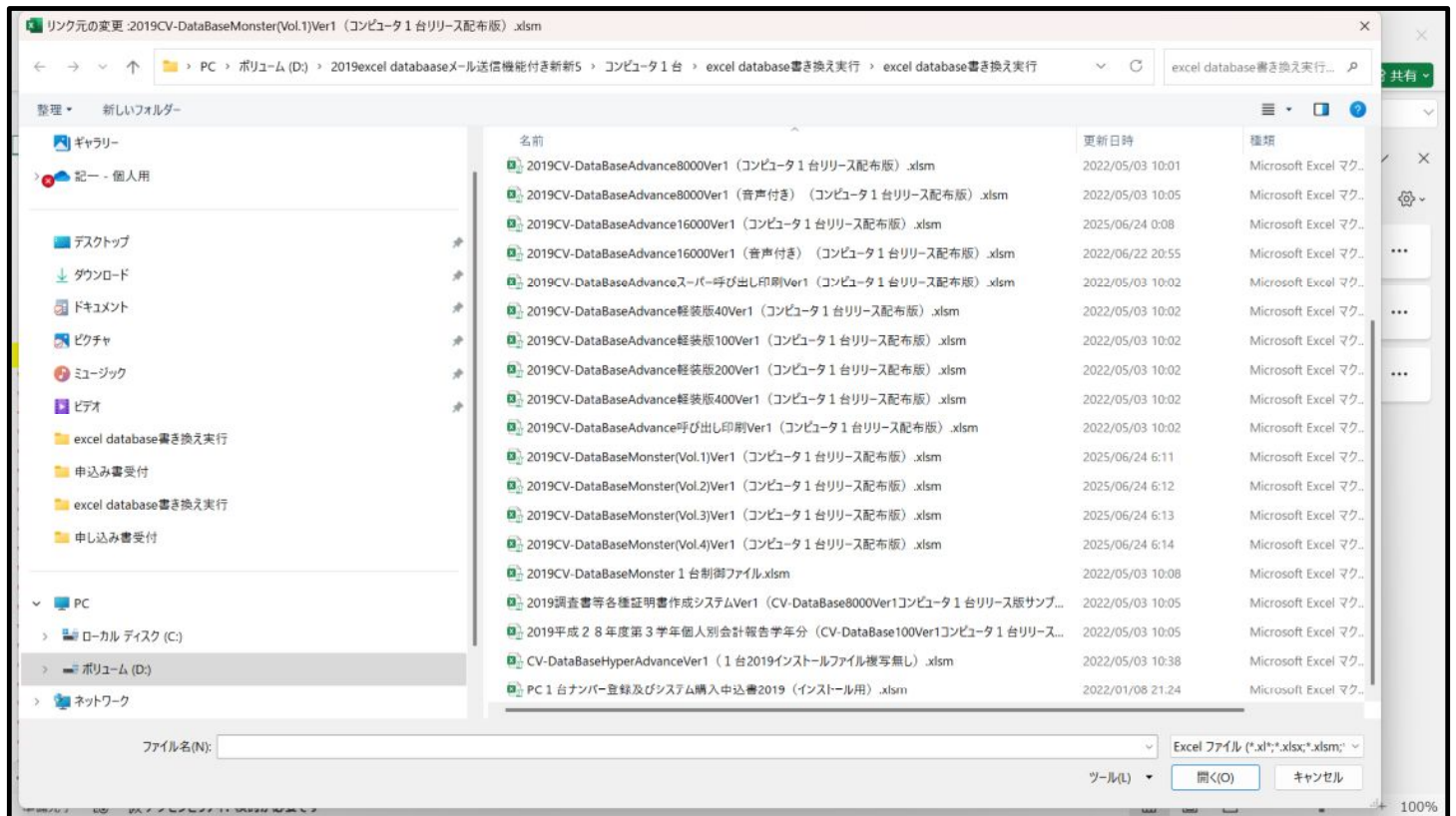
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のフォルダーを選択してリンクが行えるようになります。これら 4 個のファイルはいずれもフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行 ¥excel database 書き換え実行」

の中にあり、このフォルダーから呼び出して開いており、このフォルダーの中のファイルにリンクする必要があります。このフォルダーが表示されている状況です。

【図 1 2 6】



上の【図 1 2 6】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm

をダブルクリックするとブック



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピ... ..

次に

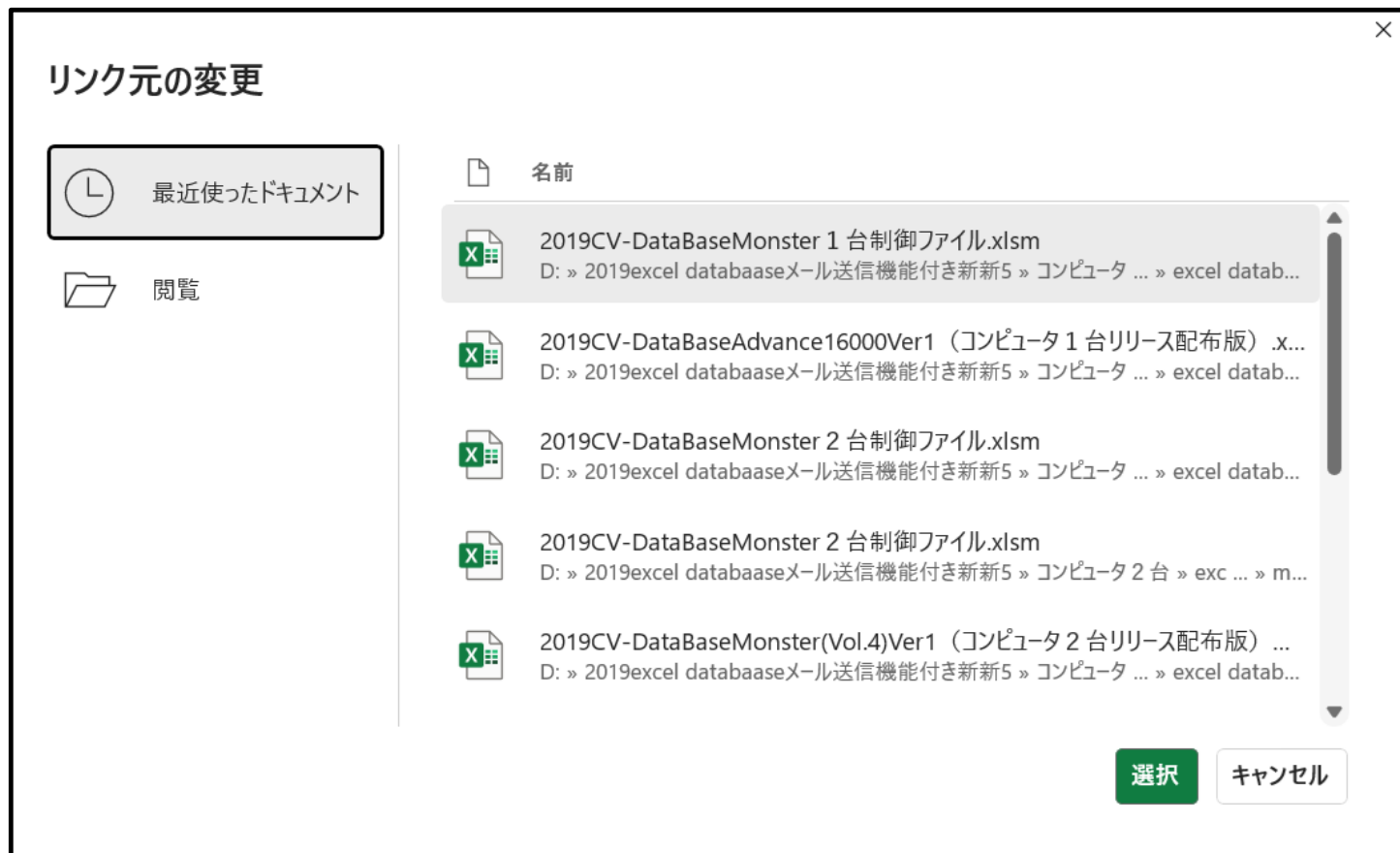
の部分で



をクリックすると

- ブックを開く
- リンクをコピー
- ソースの変更
- リンクの中断

メニューが表示され、このメニューでソースの変更を選択すると

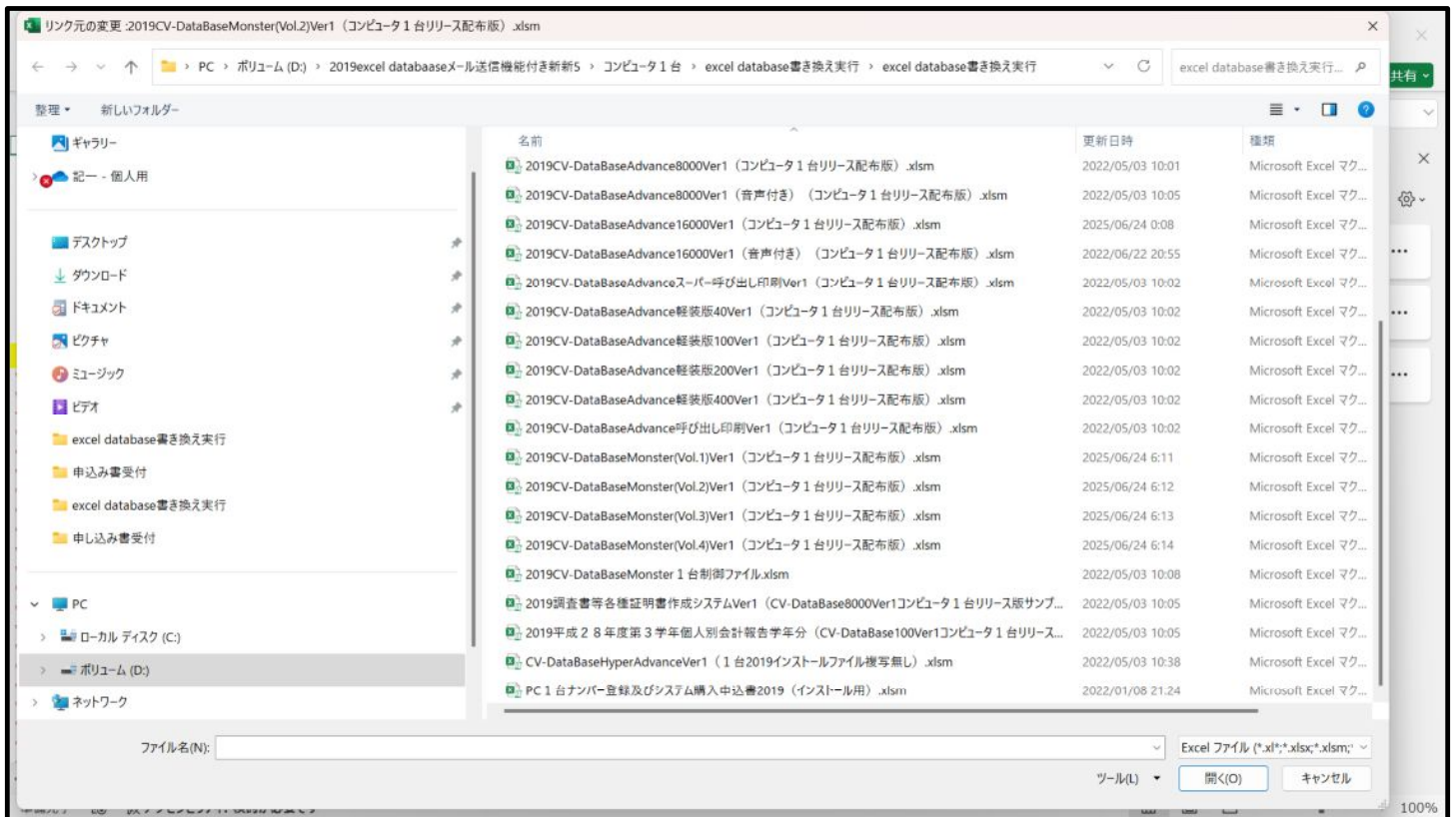


が表示されます。そして上の左側の閲覧の部分をクリックすると開かれているふぁいる

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsxm」
のフォルダー

「D:\¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行
¥excel database 書き換え実行」
である[図 1 2 7]の画面が表示されます。

【図 1 2 7】



そして上の【図 1 2 6】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xism

をダブルクリックするとブックのリンク



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

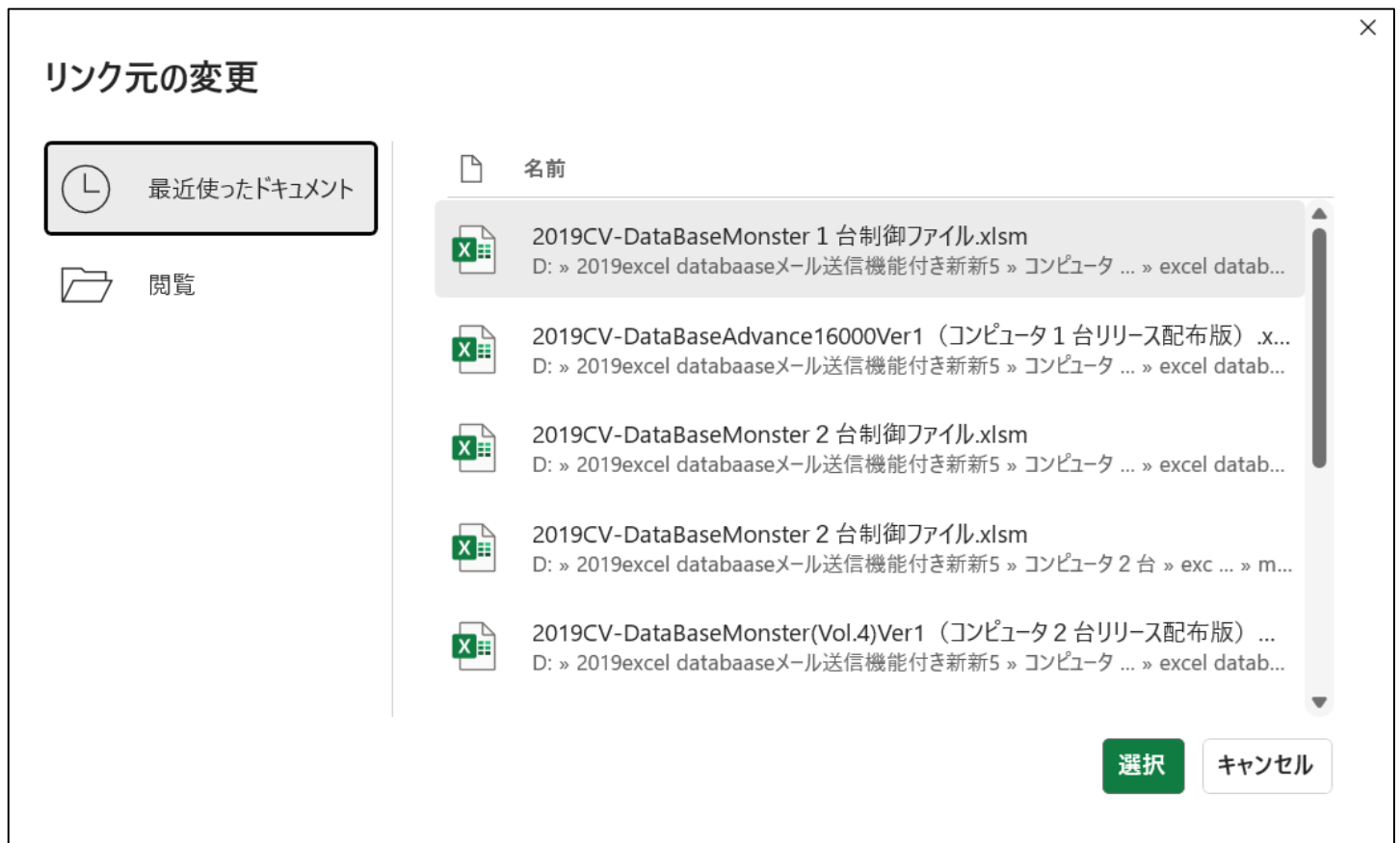
 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピ... ...

そして次に最後に

の部分で  の部分を

- 🔗 プックを開く
- 📄 リンクをコピー
- 🔄 ソースの変更
- 🔗× リンクの中断

クリックしてメニューを表示させ、このメニューの **🔄 ソースの変更** を選択し、

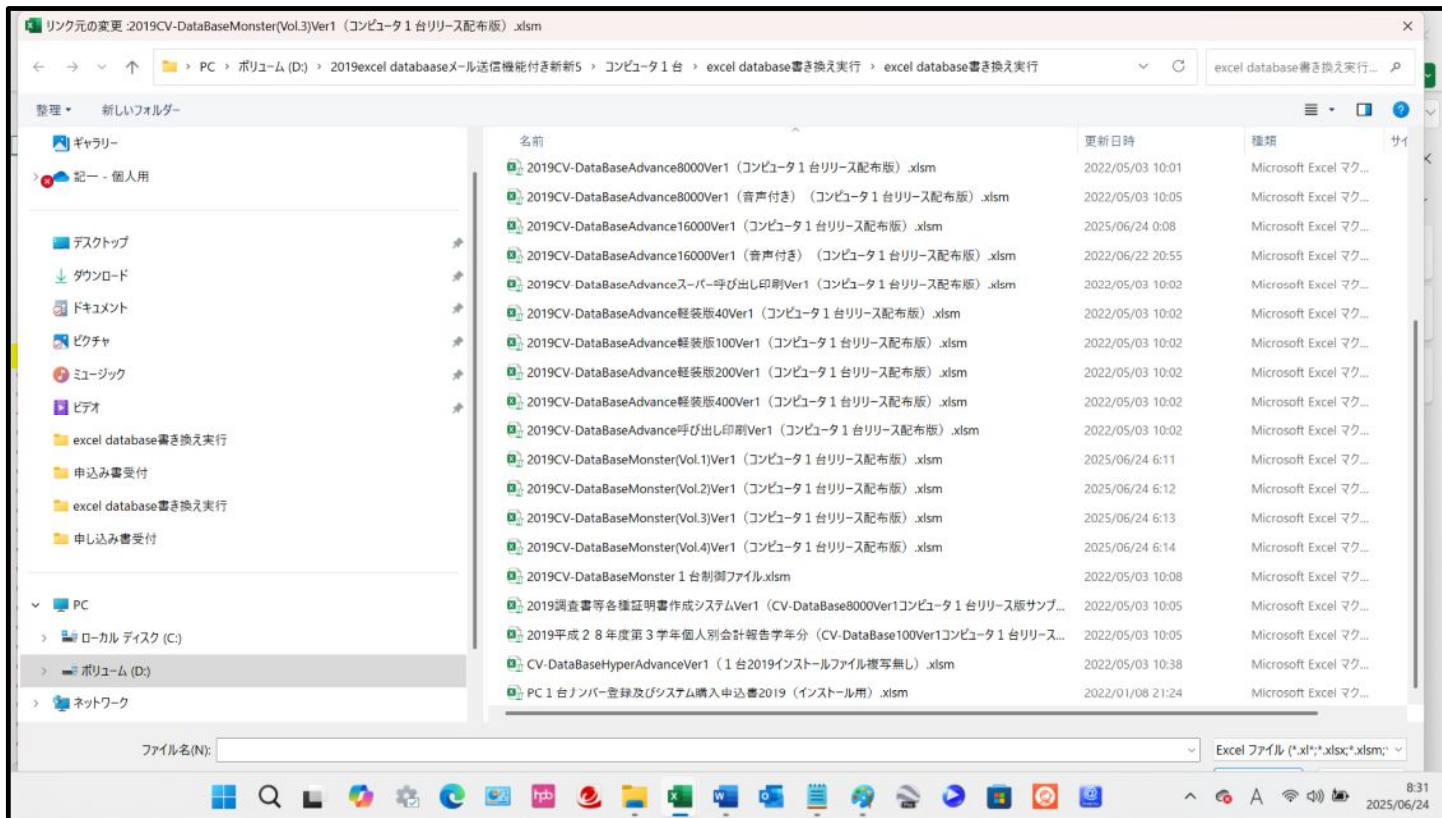


を表示させ、この表示の左下側の **📄 閲覧** をクリックして開いているファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」のフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行 ¥excel database 書き換え実行」である次の[図 1 2 8]の画面を表示させます。

【図 1 2 8】



そして、上の【図 1 2 7】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xism

の部分をダブルクリックします。

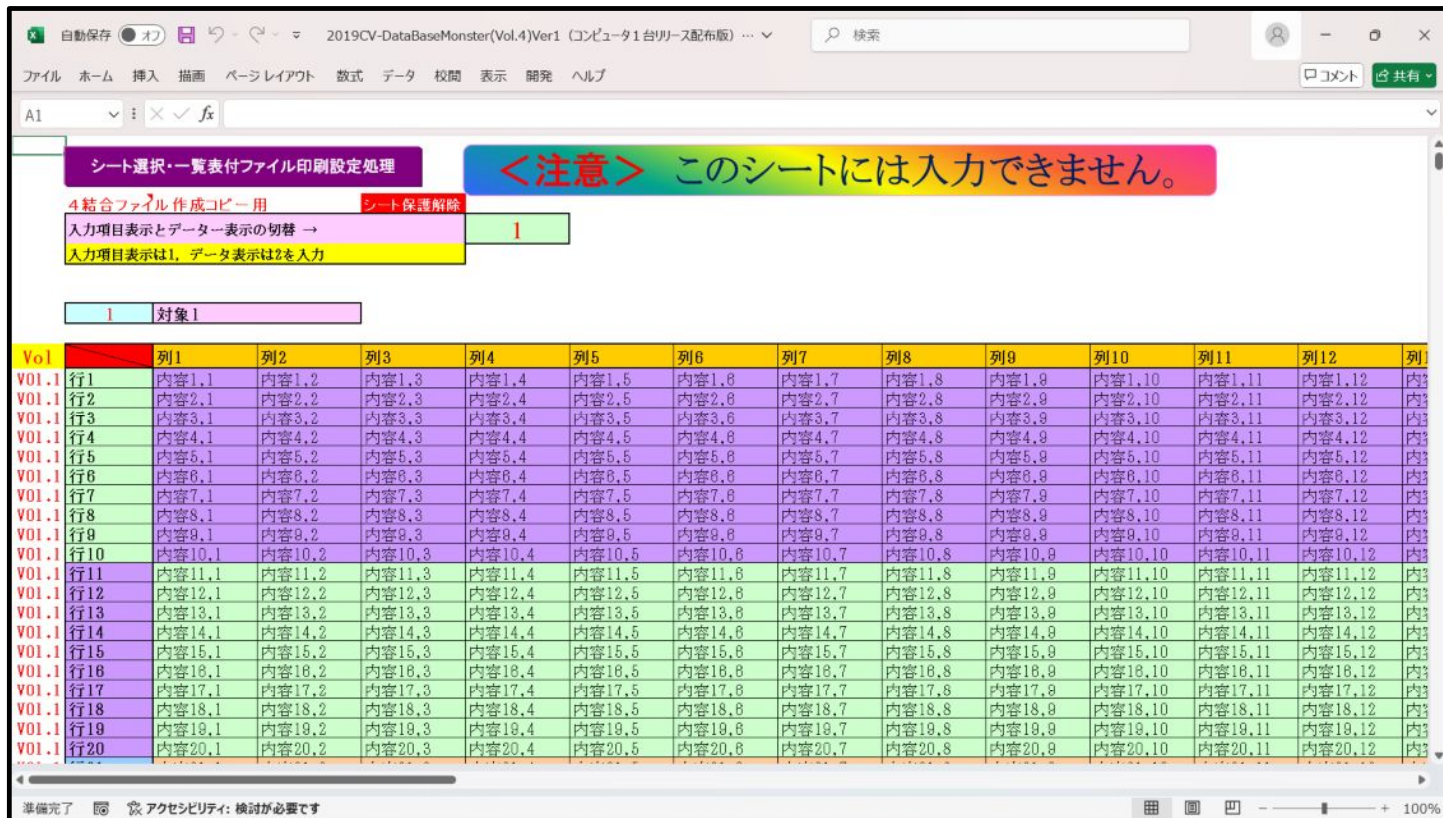
その結果、ブックのリンク



はこのまま見かけ上全く変化はありませんが、リンク元の変更は正常に行われています。

ただし、このファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」の画面の【図 1 2 9】は次のようになっています。

[図 1 2 9]



シート「4 結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されたままですので、[図 1 2 9 の画面] でセル

4 結合ファイルの部分をダブルクリックしての保護をしておきましょう。

これでファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
のリンクの編集は完了となります。

以上で

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
の 4 つのファイルのリンクの編集の説明は終わりとなります。

(2) Microsoft Office Excel 2021 6 4 ビット版または Microsoft Office Excel 2019 6 4 ビット版または Microsoft Office Excel 2016 6 4 ビット版で開いて編集した場合のリンクの編集

Microsoft Office Excel 2021 6 4 ビット版、Microsoft Office Excel 2019 6 4 ビット版、
Microsoft Office Excel 2016 6 4 ビット版のどの Microsoft Office Excel を用いてリンクの編集しても
画面の表示等については全く同じですので、ここでは Microsoft Office Excel 2019 6 4 ビット版を用いて
リンクの編集する場合について説明させていただきます。

次の[図 1 3 0]はファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
のシート「4結合ファイル作成コピー用」の画面で、シート「4結合ファイル作成コピー用」は3個のファイル
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

とシート関数によってリンクされています。

【図 1 3 0】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xism - Excel												
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理												
<注意> このシートには入力できません。												
4結合ファイル作成コピー用												
シート保護解除												
入力項目表示とデータ表示の切替 →												
1												
入力項目表示は1, データ表示は2を入力												
1 対象1												
▼01.1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12
▼01.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11
▼01.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11
▼01.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11
▼01.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11
▼01.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11
▼01.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11
▼01.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11
▼01.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11
▼01.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11
▼01.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11
▼01.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11
▼01.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11
▼01.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11
▼01.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11
▼01.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11
▼01.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11
▼01.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11
▼01.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11
▼01.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11
▼01.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11
▼01.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11
▼01.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11
▼01.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11
▼01.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11
▼01.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11
▼01.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の【図 1 3 0】の画面のシートでコマンドボタン

を

クリックすると次の【図 1 3 1】の画面が表示されますが、この画面でコマンドボタン

標準画面表示

をクリックすると、全画面が終了されシート「4結合ファイル作

成コピー用」はその下の【図 1 3 2】の画面のようになります。

【図 1 3 1】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 CV-DataBaseMonster制御 キャンセル システム終了

【図 1 3 2】

自動保存 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リソース配布版) .xslm

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 → 1

入力項目表示は1, データ表示は2を入力

1 対象1

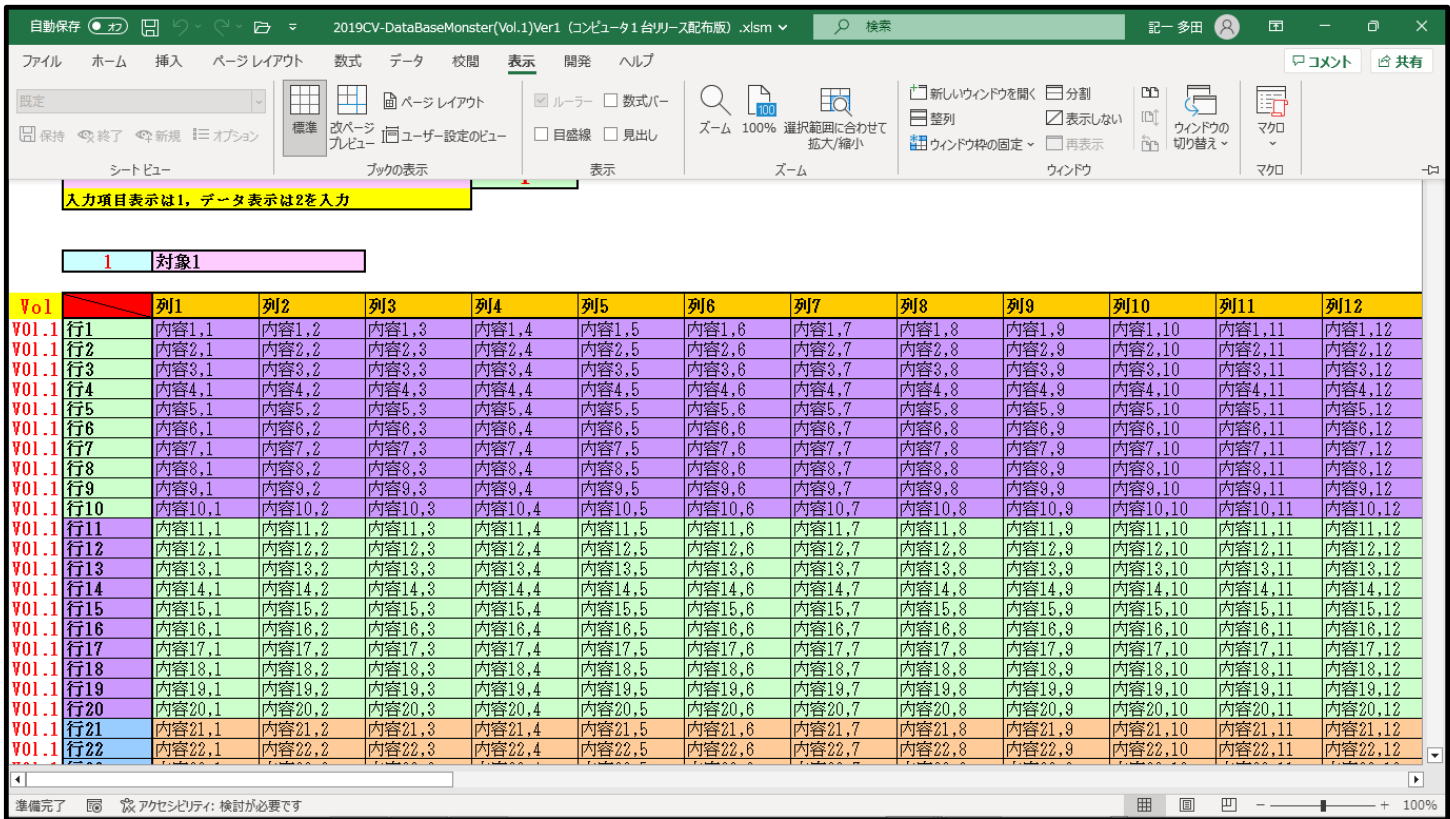
Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	
V01.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
V01.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
V01.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
V01.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
V01.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
V01.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
V01.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
V01.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
V01.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
V01.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
V01.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
V01.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
V01.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
V01.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
V01.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
V01.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
V01.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
V01.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
V01.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
V01.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
V01.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
V01.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 100%

シート「4結合ファイル作成コピー用」を上図の状態にし、タブ「表示」を選択し、「数式バー」のようにチェックを入れ、「シート保護解除」のセルを選択しダブルクリックするとシート「4結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されてリンクの編集が可能となります。シート「4結合ファイル作成コピー用」をこのようにリンクの編集が可

能な状態にしたのが下の[図 1 3 3]です。

[図 1 3 3]

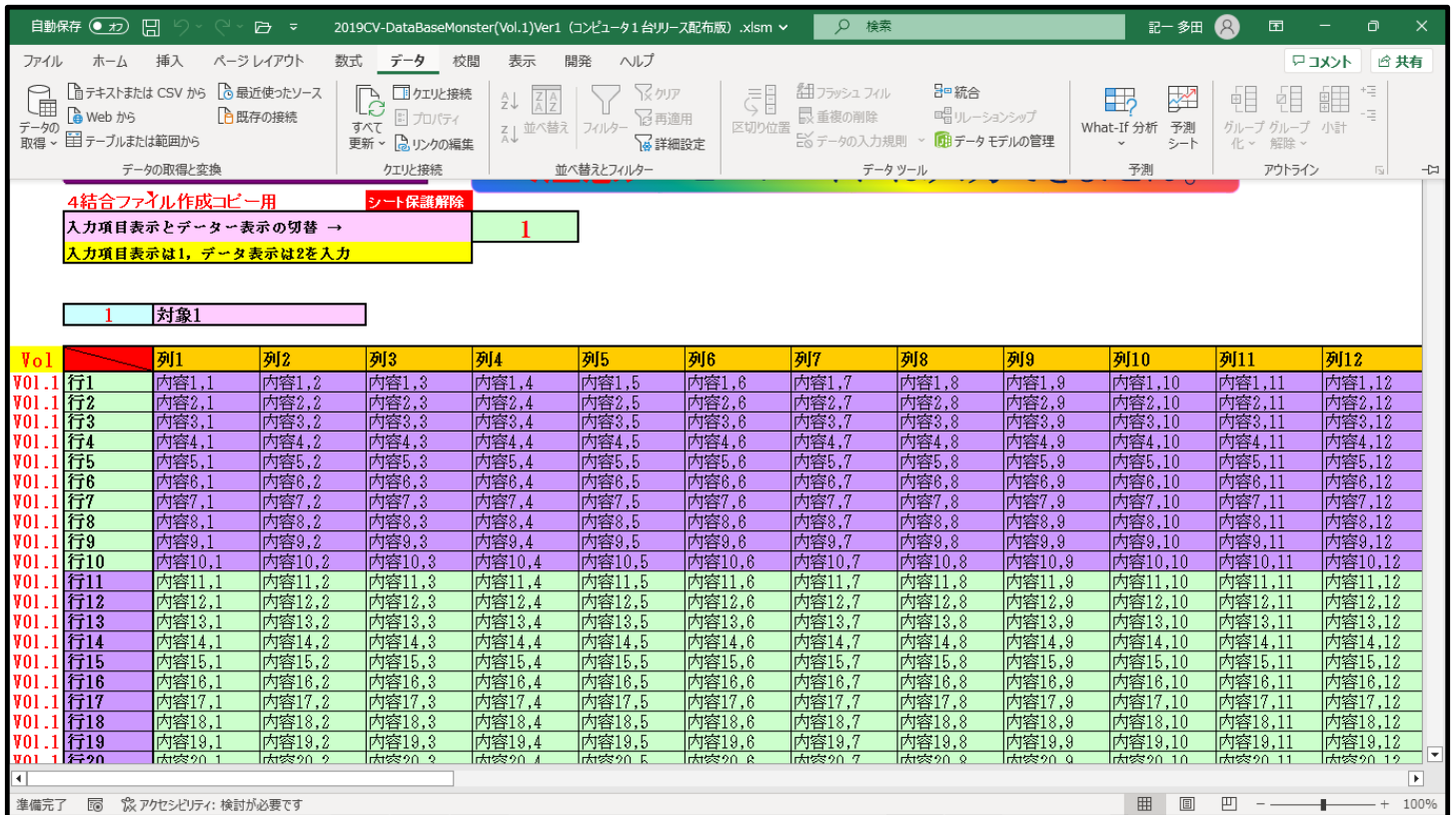


上の[図133]の画面で、A 列 12 行から A 列 1611 行のセルに「VOL.1」、「VOL.2」、「VOL.3」、「VOL.4」がそれぞれ 400 個ずつ入力されています。そして、
「VOL.1」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx」の入力シートのデーターを参照する関数が入力されなければなりません。また、
「VOL.2」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx」をリンク元にする関数が、
「VOL.3」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx」をリンク元にする関数が、
「VOL.4」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx」をリンク元にする関数が、それぞれ入力されなければなりません。

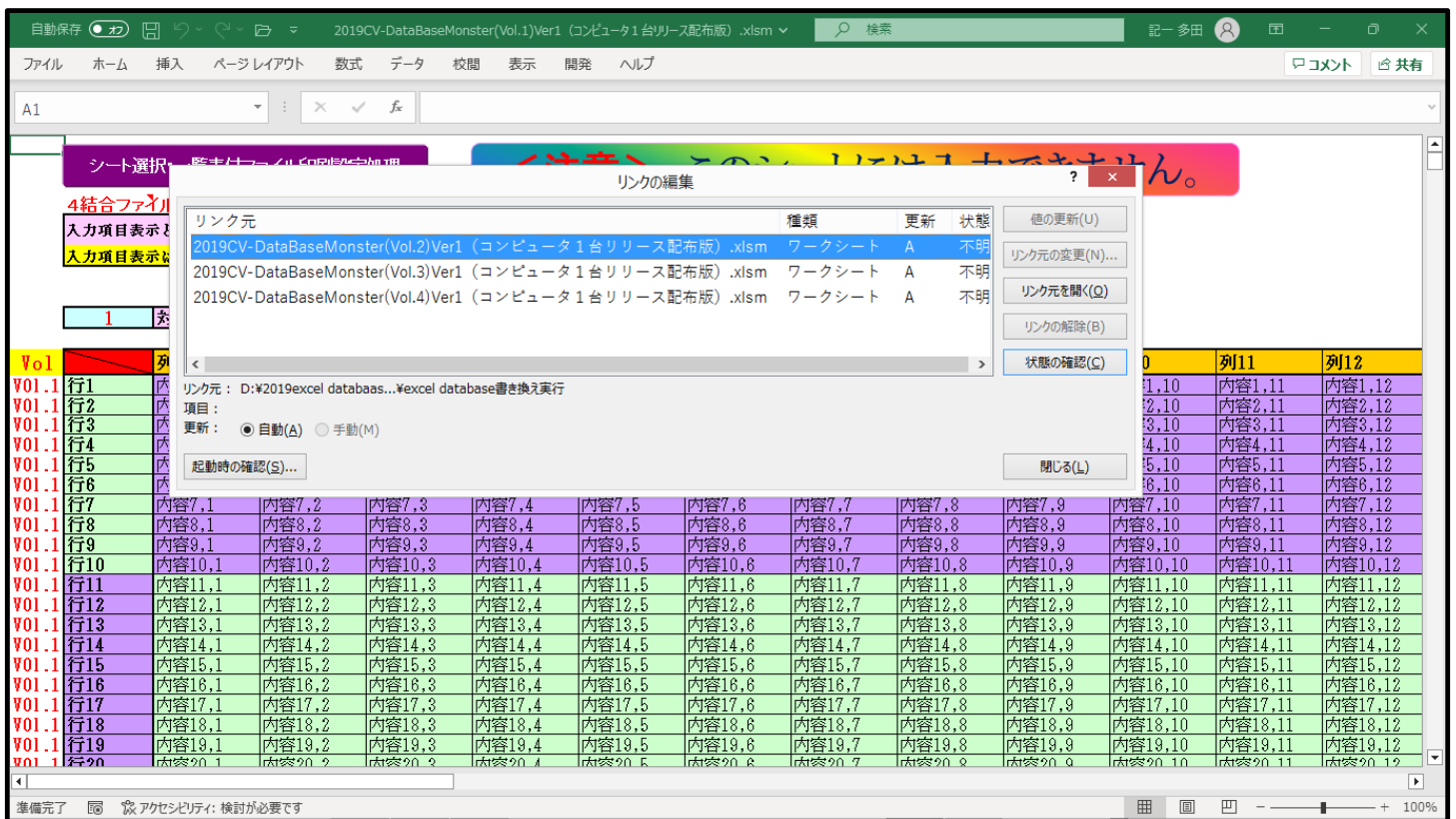
上の[図133]の画面において **データ** を選択すると次の[図134]の画面のようになりますが、更に[図134]の画面で **リンクの編集** をクリックするとその下の[図135]の画面になり、リンクの編集が可能となります。

下の[図135] の画面は、あくまでもこのマニュアル編集者がマニュアル作成のためにおこなった場合のものであって、システムのユーザーがおこなう場合には、この画面と異なったものになる場合もあります。以下の説明では、リンク元の状況が下の[図135] の画面のようになっていることを仮定して話を進めてまいりますのでご了解ください。

【図 1 3 4】



【図 1 3 5】



上の【図 1 3 5】のリンク編集ウィンドウのリンク元の部分を見易くすると次のようになります。

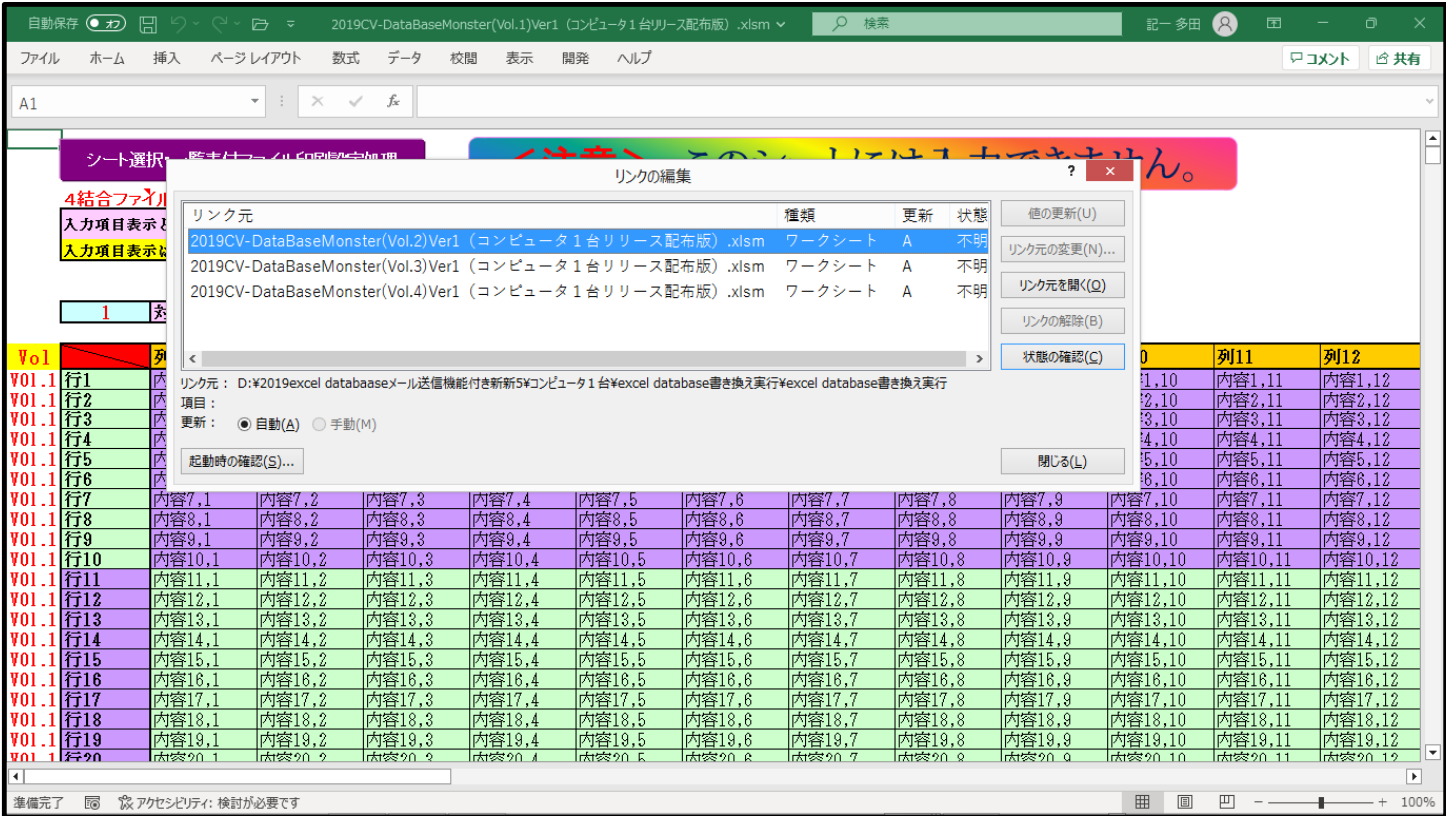
リンク元	種類	更新	状態	値の更新(U)
2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx	ワークシート	A	不明	リンク元の変更(N)...
2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx	ワークシート	A	不明	リンク元を開く(O)
2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx	ワークシート	A	不明	リンクの解除(B)
				状態の確認(C)

まず、次の[図 1 3 6]の画面のように

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xlsx	ワークシート	A
--	--------	---

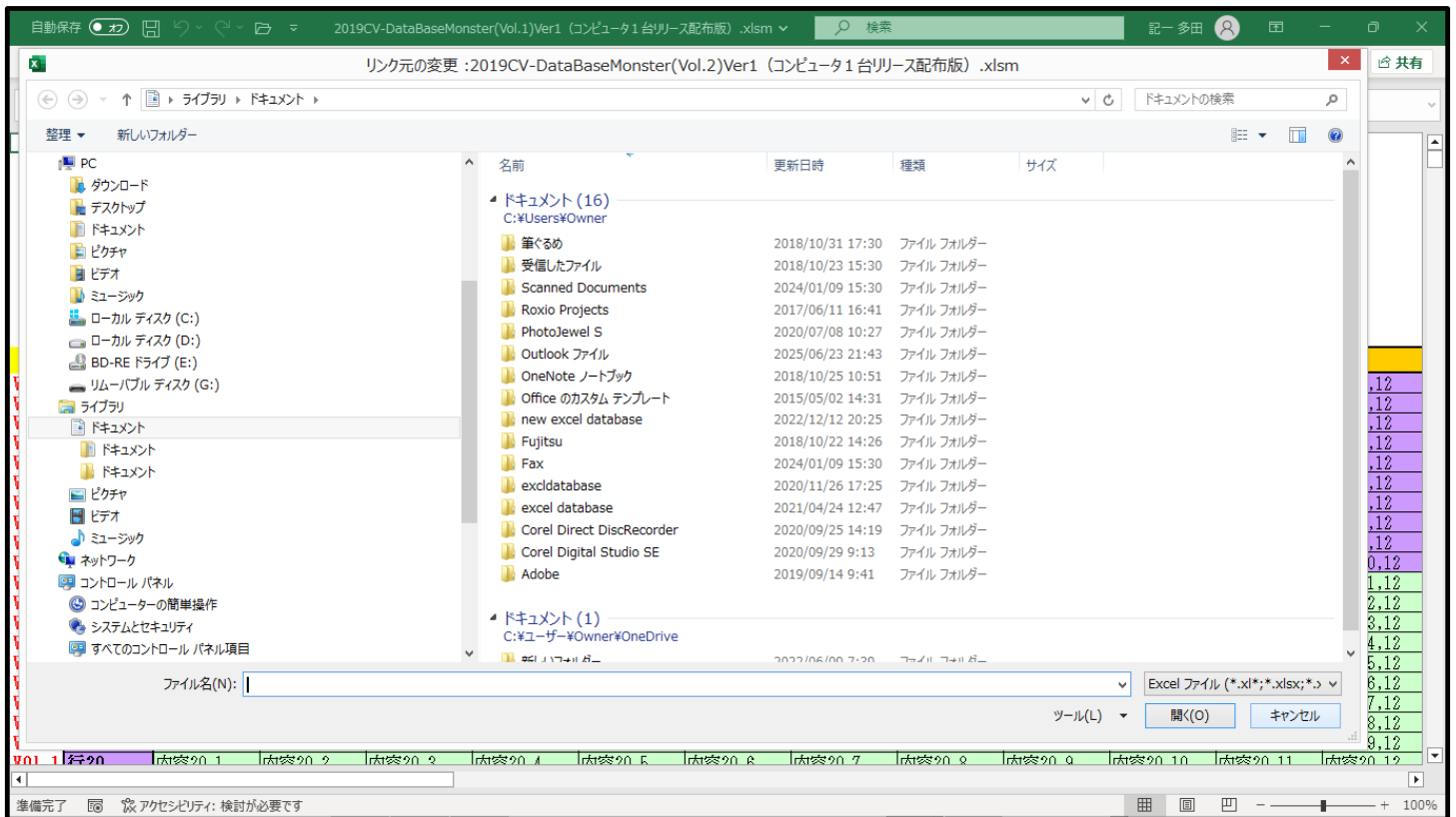
を選択します。

[図 1 3 6]



上の[図 1 3 6]の画面の **リンク元の変更(N)...** クリックすると次の[図 1 3 7]の画面のようになり、リンク元のファイルを選択・変更することができる状態になります。

【図 1 3 7】



いま、ここで開いているファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のフォルダーは

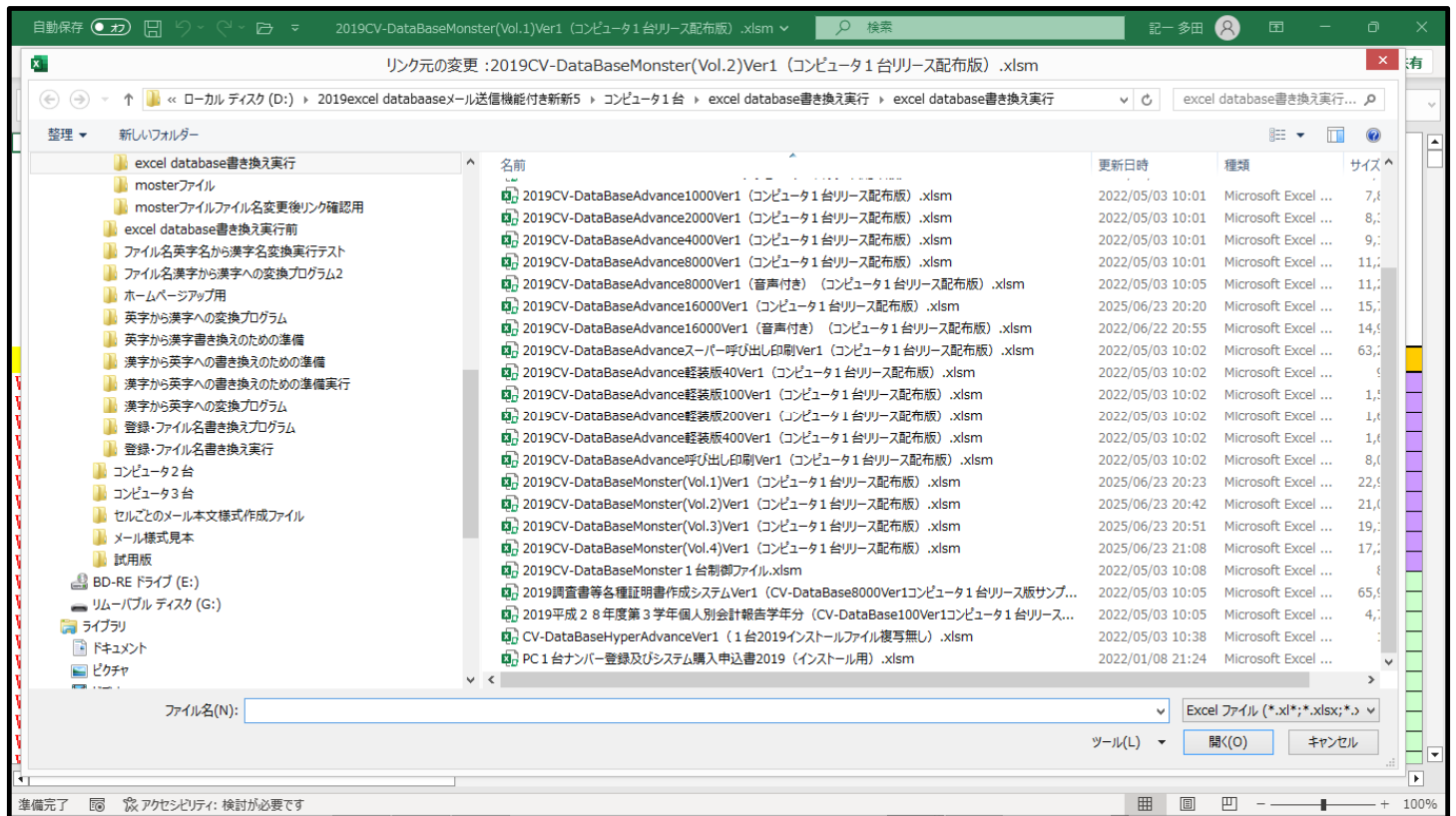
「D:\2019excel databaase メール送信機能付き新新 5\コンピュータ 1 台\excel database 書き換え実行
Excel database 書き換え実行」

となっていますので、上の【図 1 3 7】の状態からフォルダー

「D:\2019excel databaase メール送信機能付き新新 5\コンピュータ 1 台\excel database 書き換え実行
Excel database 書き換え実行」

を選択すると次の【図 1 3 8】の画面になります。ただし、【図 1 3 8】の画面は、わかりやすくするためウィンドウの枠を広げ、また、ファイル名の部分をも広げています。

【図 1 3 8】



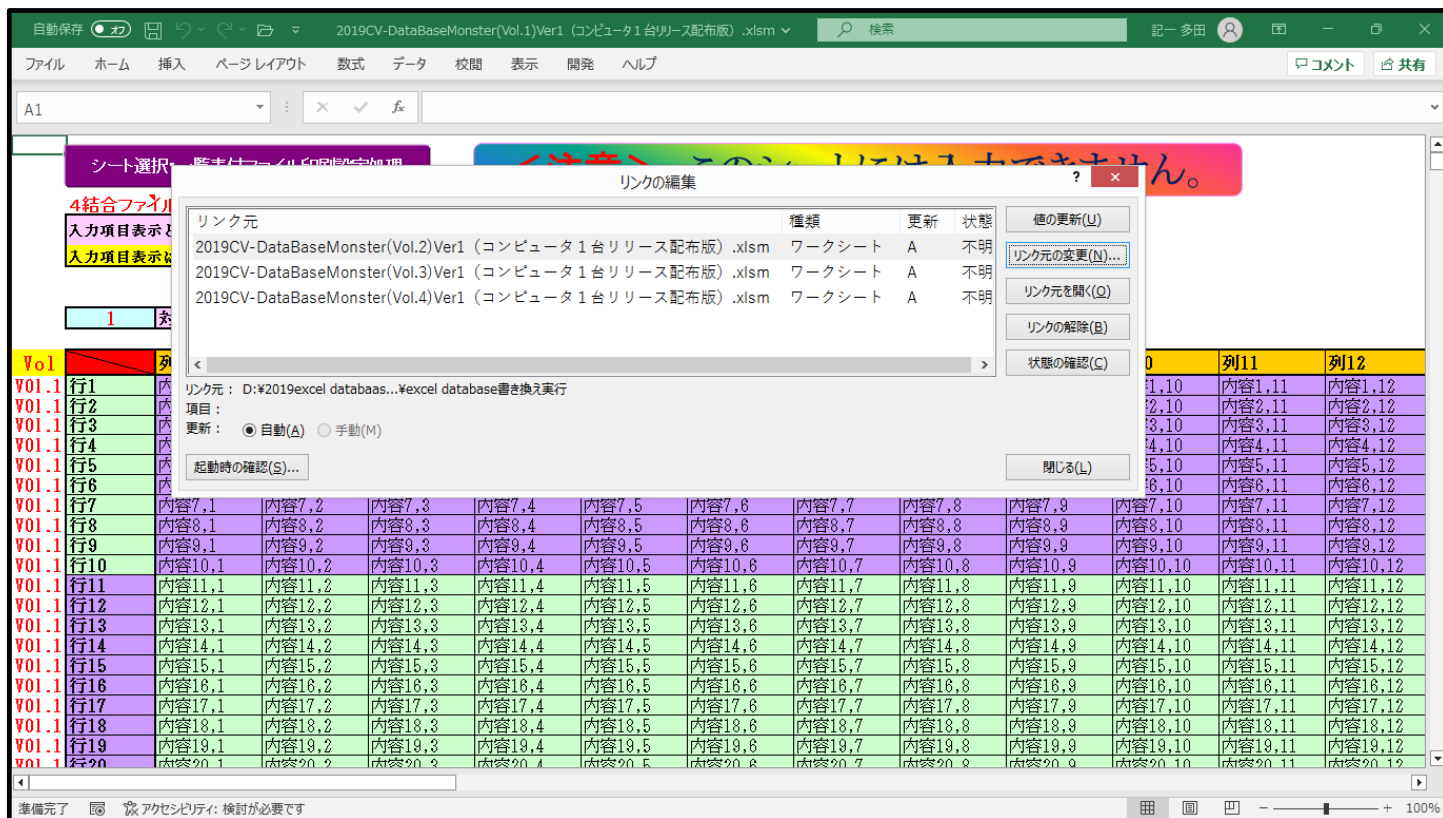
上の【図 1 3 8】の画面でファイル

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm

OK

をクリックして選択し、**OK**をクリックするとリンク元の変更が開始されます。
リンク元の変更が終了したら次の【図 1 3 9】の画面のようになり、次のリンク元が選択できるようになります。

【図 1 3 9】

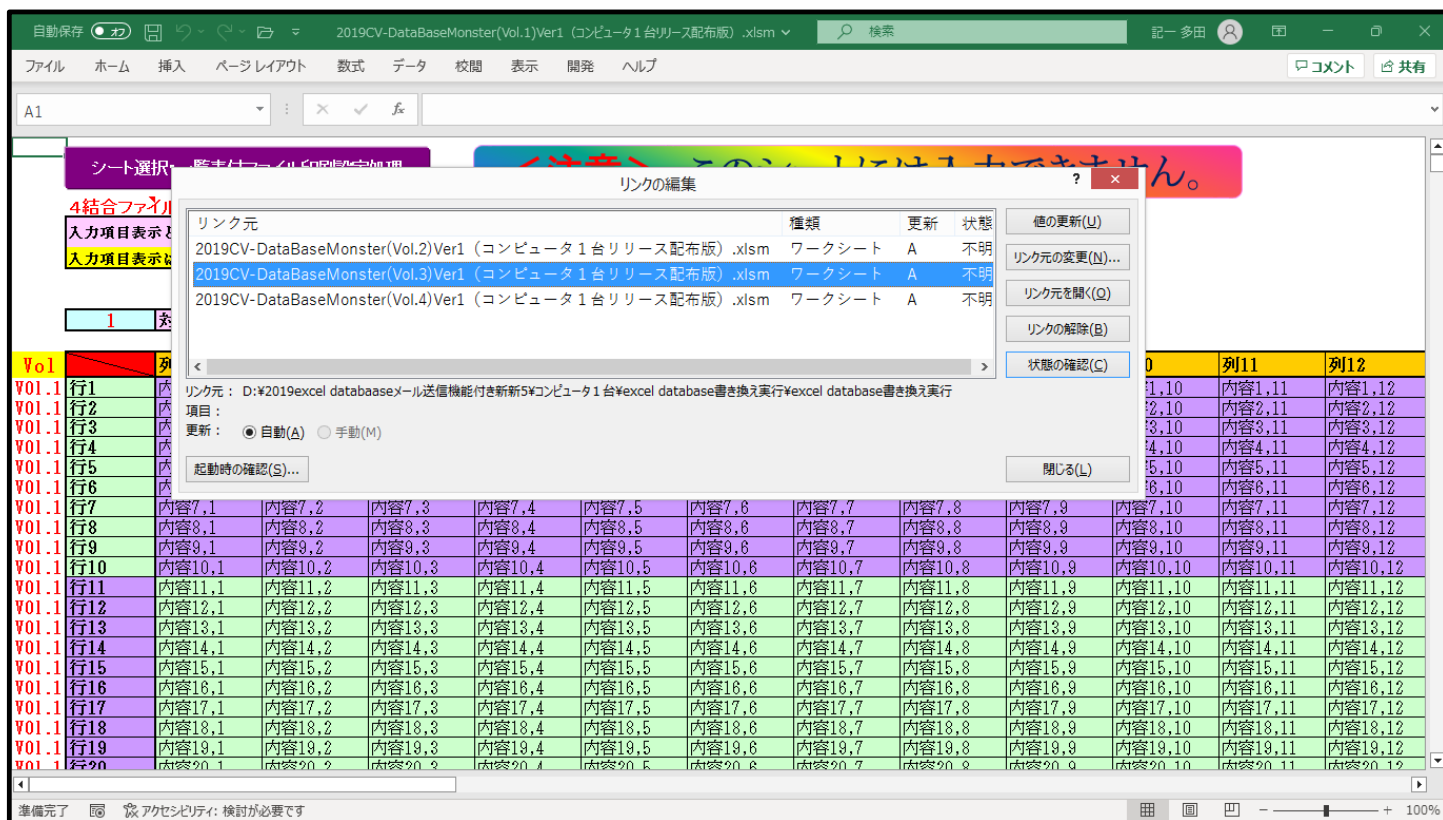


次に上の【図 1 3 9】の画面で

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm ワークシート A

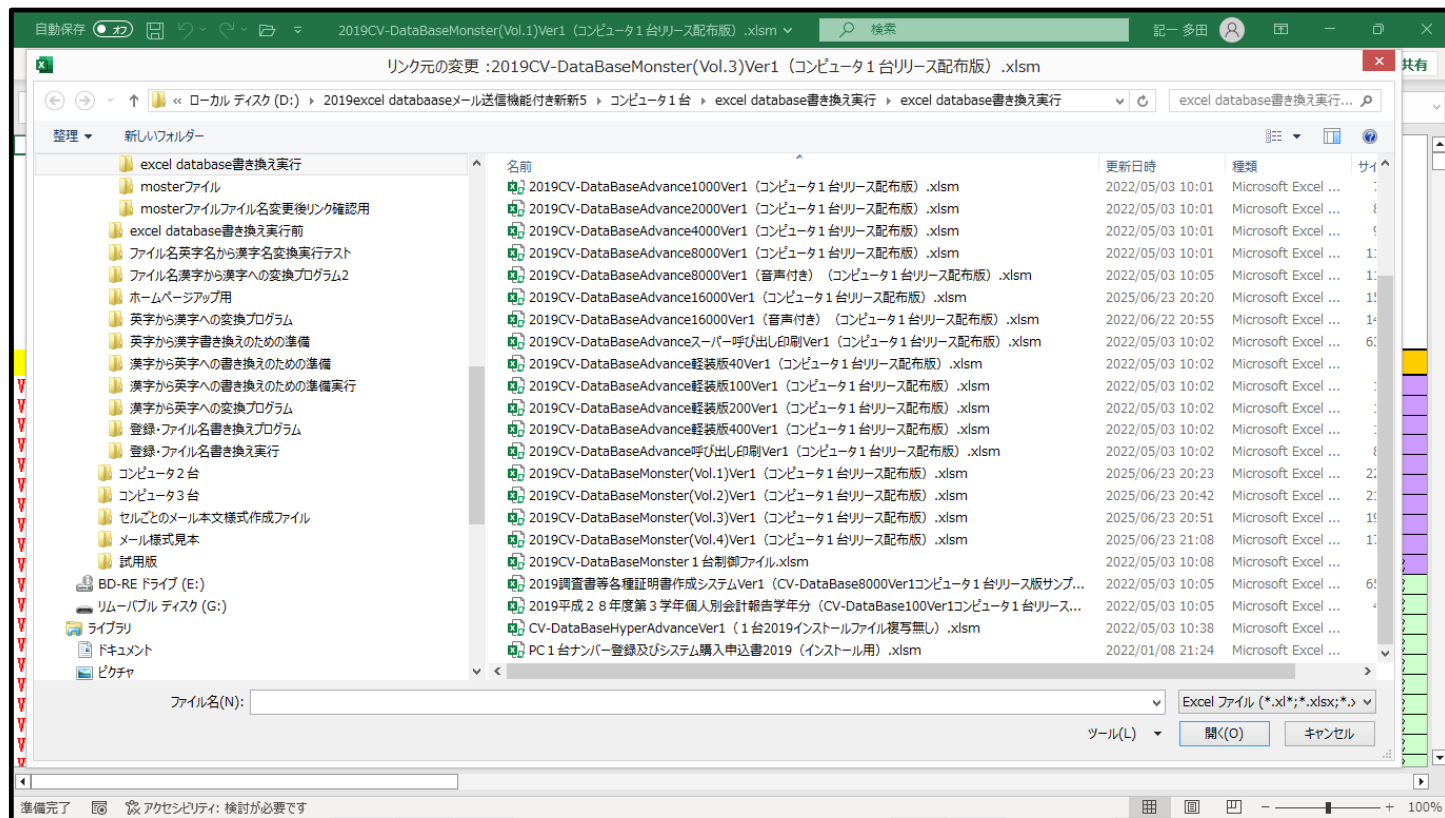
の部分をクリックして選択して次の【図 1 4 0】の画面のようにします。

【図 1 4 0】



そして、上の[図 1 4 0]の画面で **リンク元の変更(N)...** の部分をクリックすると、いま開いているファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」のリンク元のフォルダー「D:\2019excel database メール送信機能付き新新 5\コンピュータ 1 台\excel database 書き換え実行\excel database 書き換え実行」が表示されるので、画面を下側にスクロールすると次の[図 1 4 1]の画面になります。

[図 1 4 1]

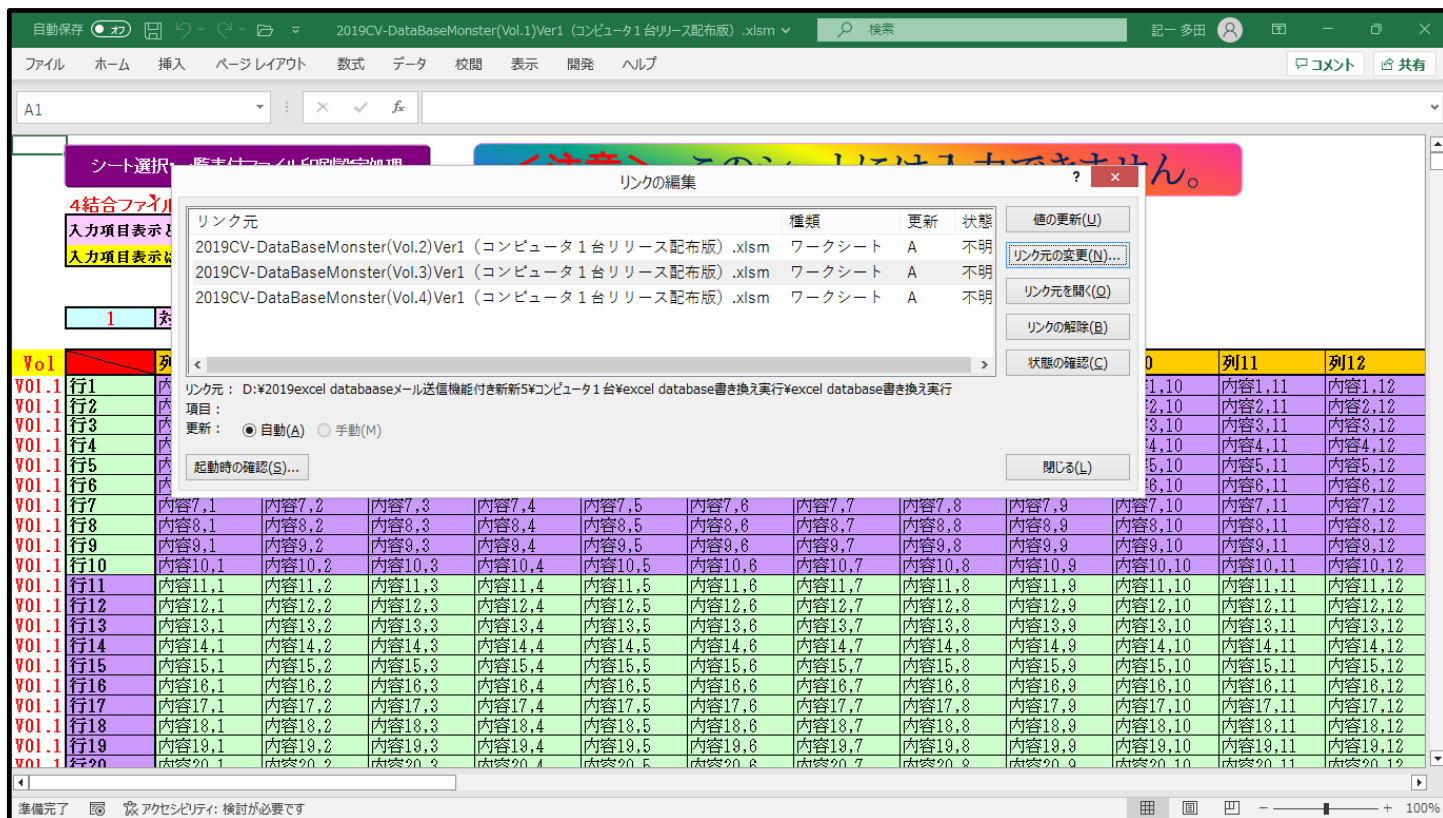


そして、上の[図 1 4 1]の画面の右側でファイル

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm

をクリックして選択し、 **OK** ボタンをクリックするとリンク元の変更が開始されます。そして、リンク元の変更が終了すると次の[図 1 4 2]の画面のようになり、次のリンク元が選択できるようになります。

【図 1 4 2】

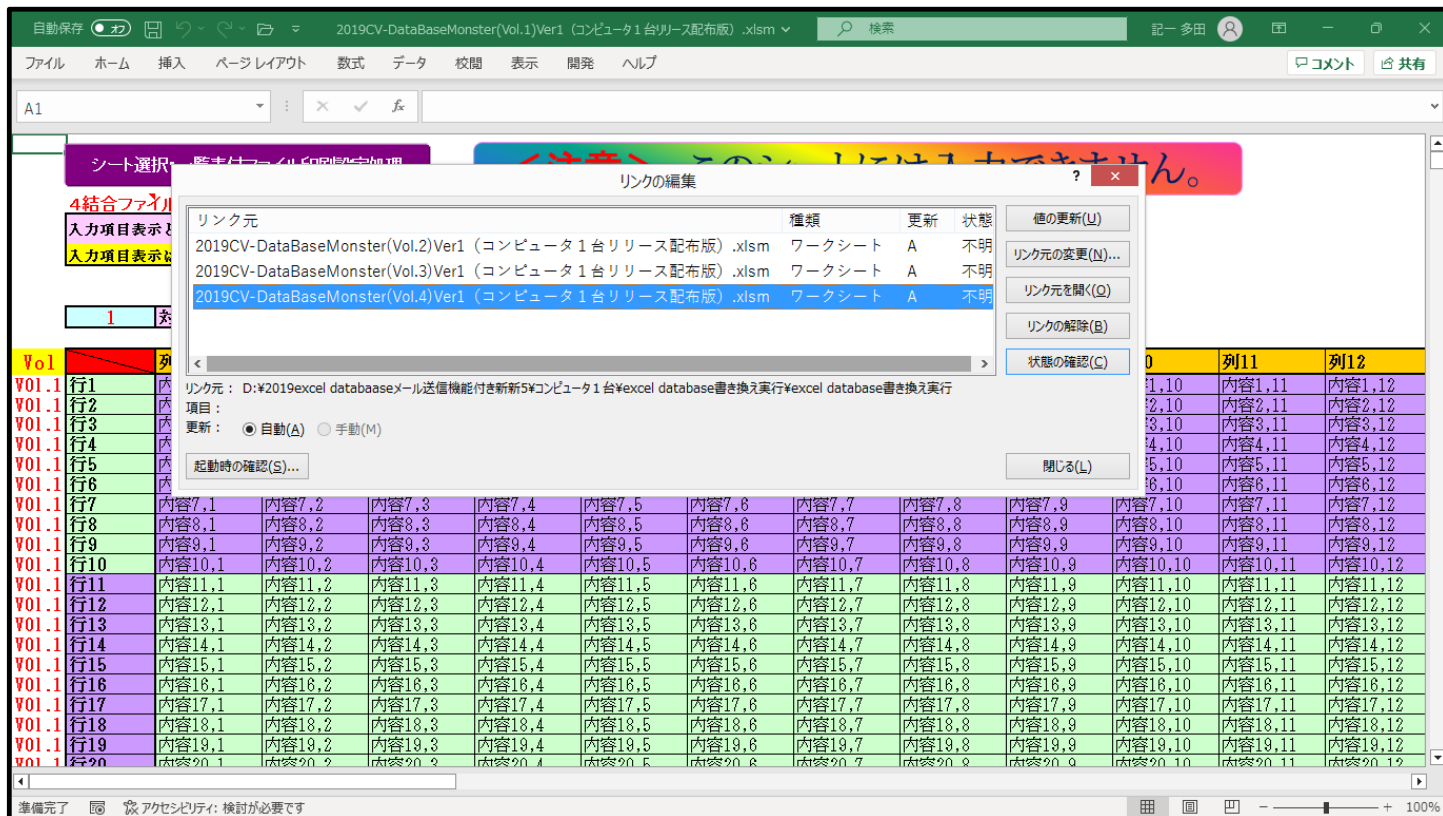


そして、最後に上の【図 1 4 2】の画面で

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm ワークシート A

の部分をクリックして選択し、次の【図 1 4 3】の画面ようにします。

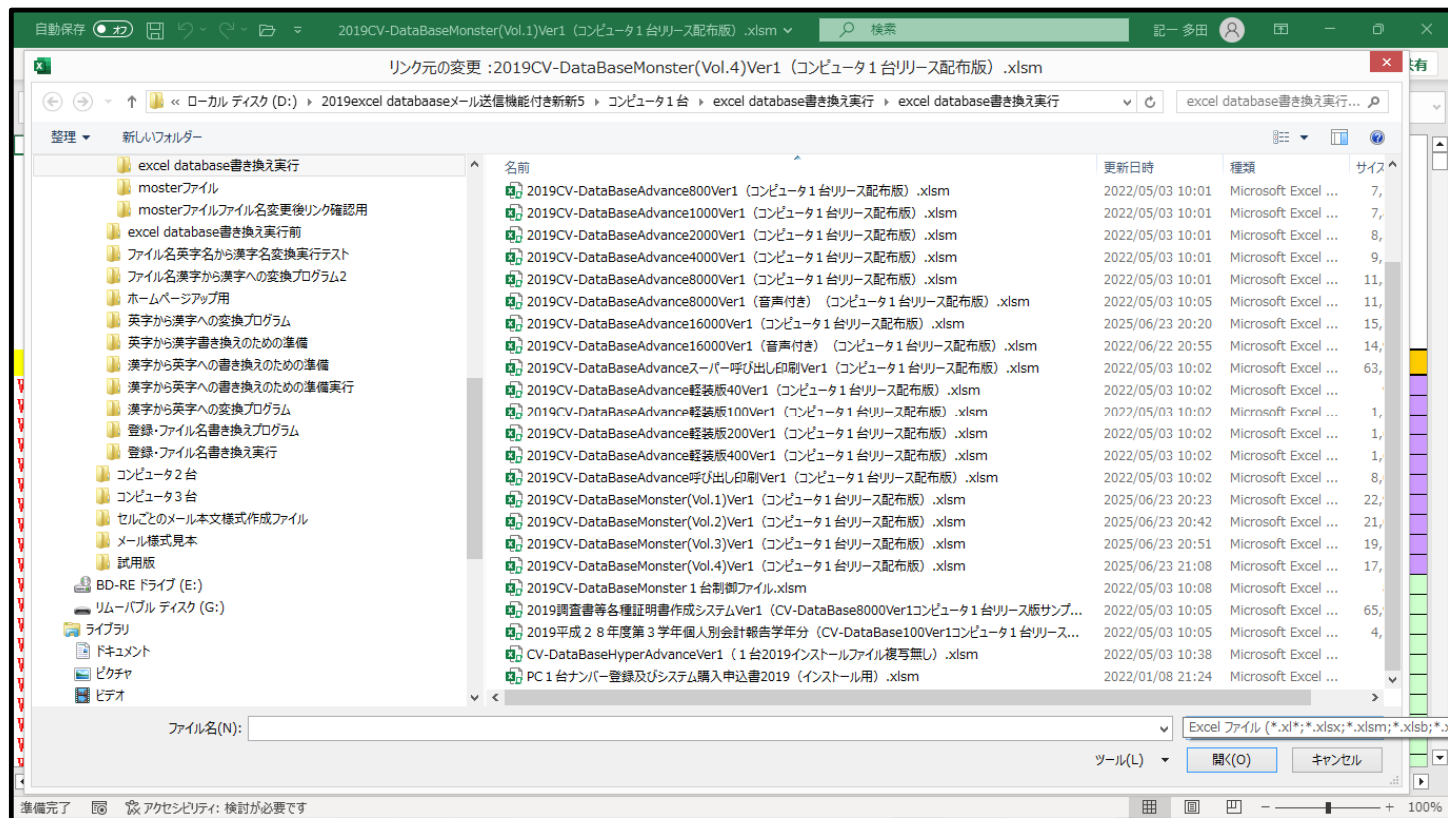
【図 1 4 3】



そしたら、上の[図 1 4 3]の画面の **リンク元の変更(N)...** をクリックすると、いま開いているファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsx」のリンク元のフォルダー

「D:\2019excel database メール送信機能付き新新 5\コンピュータ 1 台\excel database 書き換え実行\excel database 書き換え実行」が表示されるので、画面を下側にスクロールすると次の[図 1 4 4]の画面になります。

[図 1 4 4]

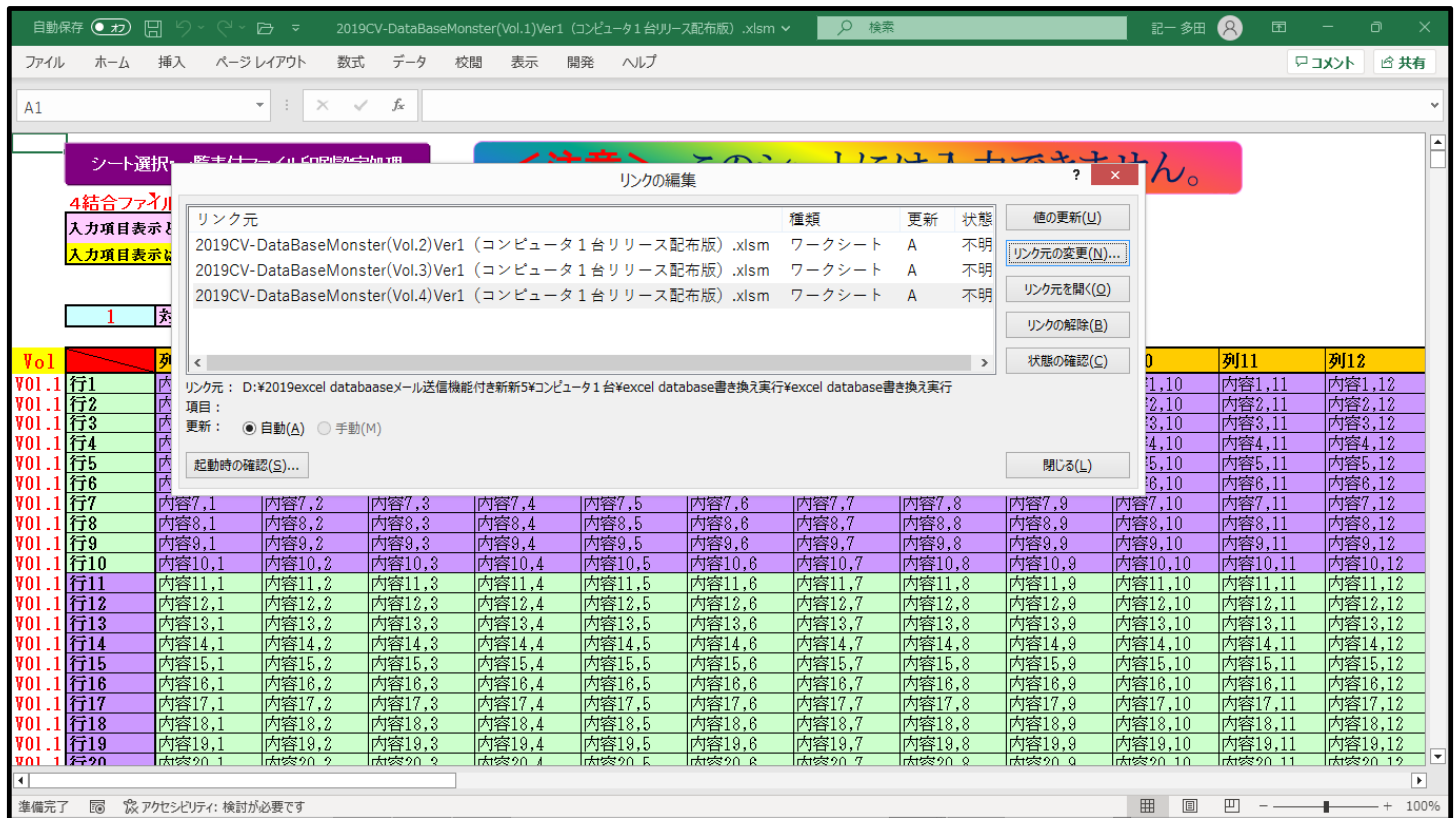


そしたら上の[図 1 4 4]の画面の右側でファイル

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsx

をクリックして選択した後 **OK** ボタンをクリックするとリンク元の変更が開始され、終了すると次の[図 1 4 5]の画面のようになります。

【図 1 4 5】



これで、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」
のリンクの編集は完了となります。

なお、リンクの編集変更が済んだら上の【1 4 5】の画面のボタン **閉じる(L)** をクリックしてリンクの
編集画面を閉じ、下の【図 1 4 6】のようにし、セル **4結合ファイ** の部分を選択してダブルクリックし、必ずシ
ートを保護してください。

【図 1 4 6】

列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12
内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12

以上でファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」
 のワークシート「4 結合ファイル作成コピー用」でのリンク元の変更完了となりますが、引き続き、
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」
 のそれぞれについても同様に、「4 結合ファイル作成コピー用」でリンク元の変更を必ずおこなってください。
 その際、

リンク編集ウィンドウの画面のリンク元の表示が

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」
 等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

を選択してリンク元を変更し、

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

を選択し、

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

を選択し、

「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

等となっている場合は、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

を選択して、それぞれリンク元を変更する必要があります。

なお、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xslm」

[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.2\)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.3\)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.4\)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」](#)
の4個のファイル全てのリンク元を全て変更して閉じた後、これら4個のファイルと
[ファイル「20192019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm.xlsm」](#)
を一括して他の同じルダーにまとめてコピーしても、
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.1\)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.2\)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.3\)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.4\)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」](#)
のリンクは正常に保たれており、また新たにリンク元を変更することなく、そのまま使用することができます。
ただ、これら4個のファイルのいずれかのファイル名を変更した場合は、他のファイルのファイル名も全て変更してください。

6. 2019版1台セット製品登録書き換え後の

「2019CV-DataBaseMonsterVer1（コンピュータ1台リリース配布版）」のセット
ファイルのファイル名変更について

5個のファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「20192019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm.xlsm」

はセットのファイルで、必ず1つの同じフォルダーに置く必要があります、1つのフォルダー上にないとマクロの関係でこれらを相互に呼び出すことができなく、正常に作動しなくなります。

これら5個のファイルのうち、

ファイル「20192019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm.xlsm」

のファイル名の変更はできませんが、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」

の4個のファイルについては、いずれもそのファイル名を変更することができます。

これら

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」

の4個のファイルを変更する場合、

Microsoft Office Excel 2024 64ビット版のファイル名変更する場合と

Microsoft Office Excel 2021 64ビット版または Microsoft Office Excel 2019 64ビット版または

Microsoft Office Excel 2016 64ビット版のファイル名変更する場合とでは画像等の状況が若干異なりますのでそれぞれ2つのケースに分けて説明いたします。

(1) Microsoft Office Excel 2024 64ビット版のファイル名変更

ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」

のファイル名を変更し、ファイル名を

ファイル

「2024CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）成績処理システム1.xlsm」

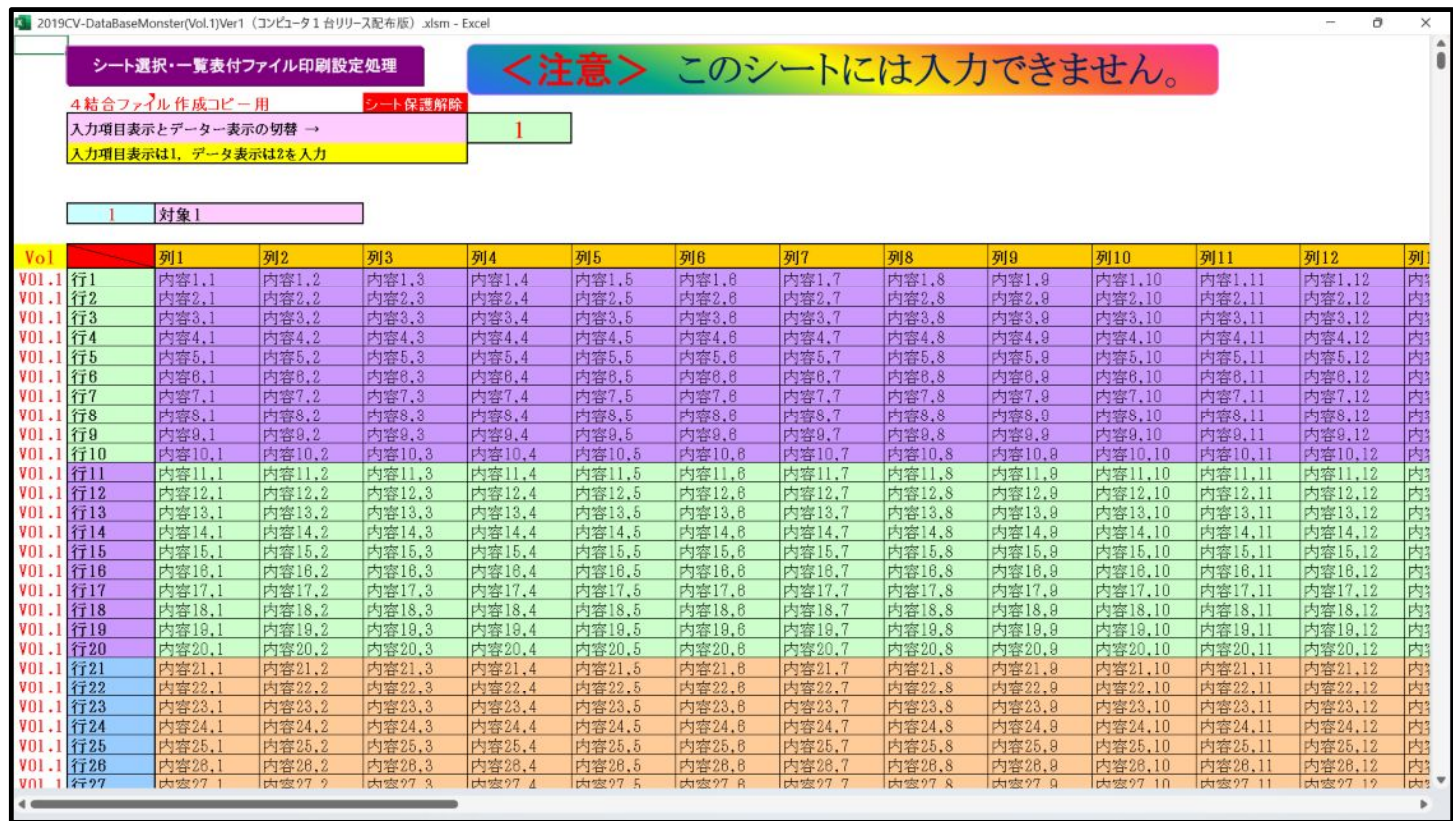
と変更してみます。

まず、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ1台リリース配布版）.xlsm」

のワークシート「4 結合ファイル作成コピー用」が選択されて、次の[図 1 4 7]の画面になっていたとします。

[図 1 4 7]



この場合全画面表示になっていますので、上の[図 1 4 7] の画面のコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 をクリックしてユーザーフォームを立ち上げると次の [図 1 4 8]の画面が表示されます。

[図 1 4 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 CV-DataBaseMonster制御 キャンセル システム終了

標準画面表示

上の[図 1 4 8]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図 1 4 9]の画面のようになります。

[図 1 4 9]

自動保存 [OFF] 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) ...

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデーター表示の切替 →

入力項目表示は1, データー表示は2を入力

1 対象1

Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
VO1.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
VO1.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
VO1.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
VO1.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
VO1.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
VO1.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
VO1.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
VO1.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
VO1.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
VO1.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
VO1.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
VO1.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
VO1.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
VO1.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
VO1.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
VO1.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
VO1.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
VO1.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
VO1.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
VO1.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
VO1.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
VO1.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
VO1.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

ファイル

ここで、上の[図 1 4 9]の画面の左上の[ファイル]をクリックすると、下の[図 1 5 0]の画面のようになります。

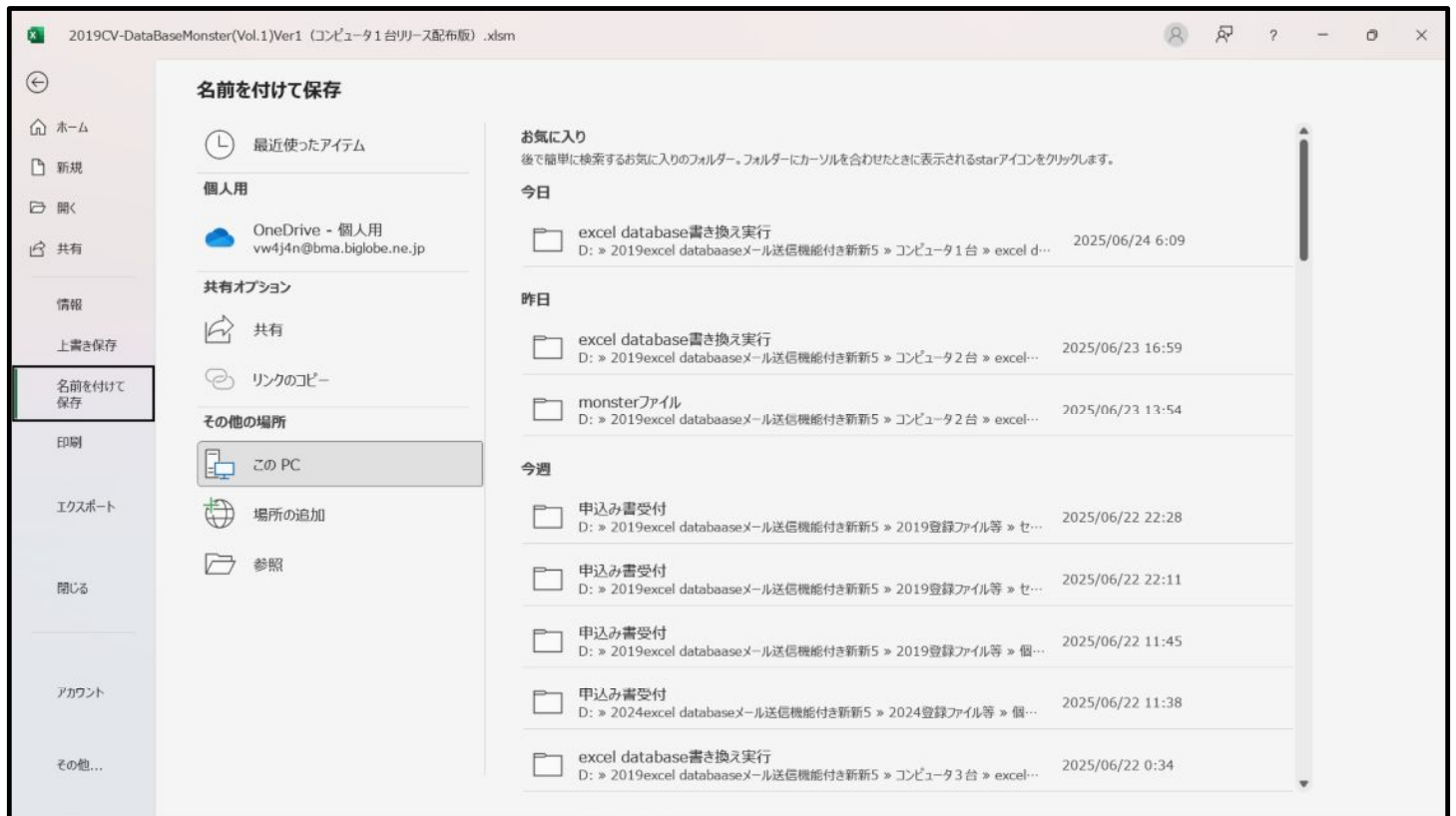
[図 1 5 0]



名前を付けて
保存

上の[図 1 5 0]の画面の左側のメニュー[名前を付けて保存]を選択すると、下の[図 1 5 1]画面になります。

【図 1 5 1】

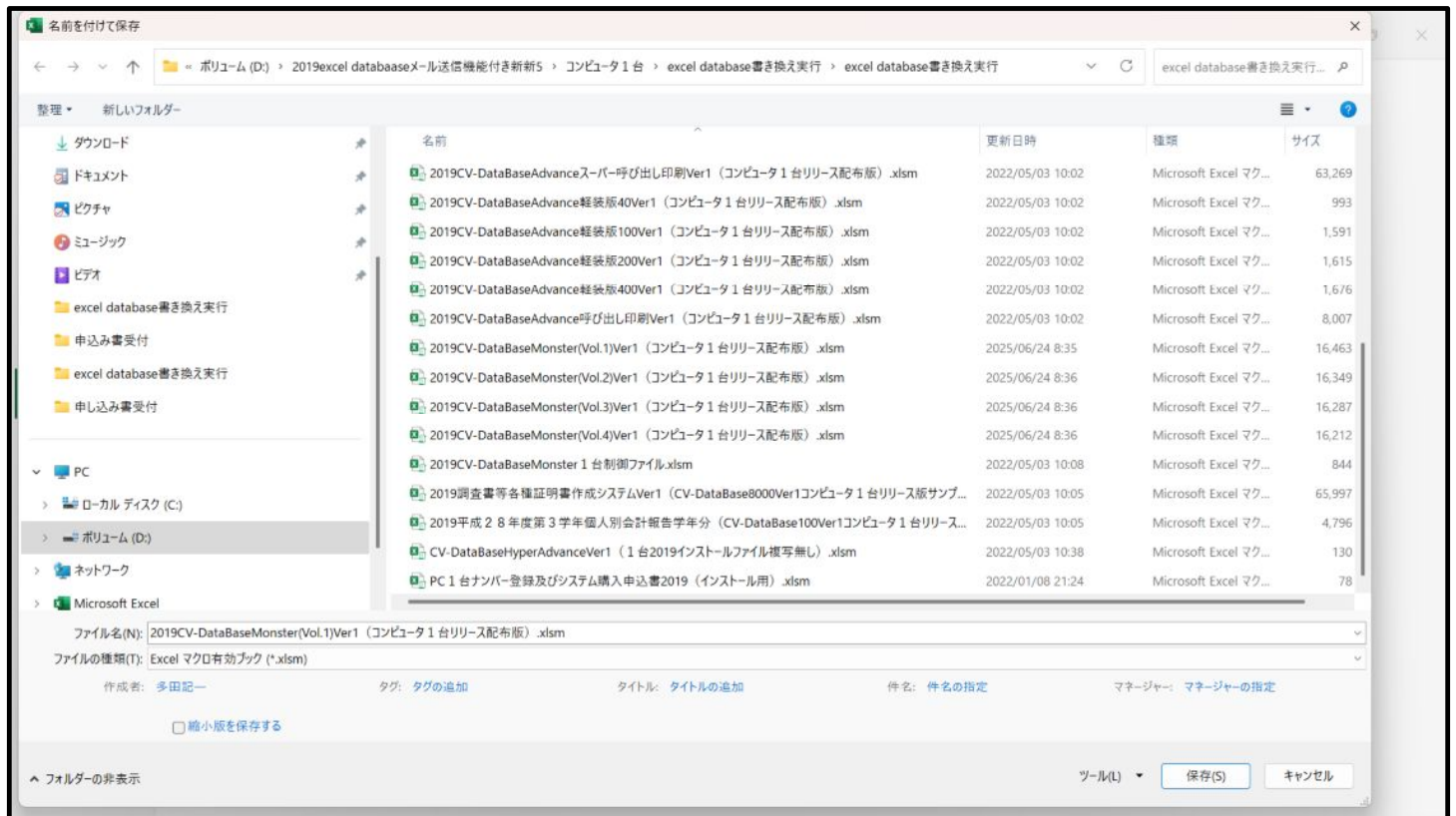


上の【図 1 5 1】の画面の左下側の

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xslm」
のフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行
¥excel database 書き換え実行」
が表示されて次の【図 1 5 2】の画面になります。

【図 1 5 2】



上の【図 1 5 2】の画面でファイル名を

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版).xslm」

から

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) 成績処理.xslm」

に書き換え、下側の **保存(S)** をクリックすると保存が開始されます。保存が終了すると、保存したファイルのワークシート「無地画面」が選択されて、下の【図 1 5 3】の画面ようになります。

[図 1 5 3]



更にここで、上の[図 1 5 3]の画面であるワークシート「無地画面」の任意のセルをダブルクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」が起動し、下の[図 1 5 4]の画面が表示されます。

[図 1 5 4]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

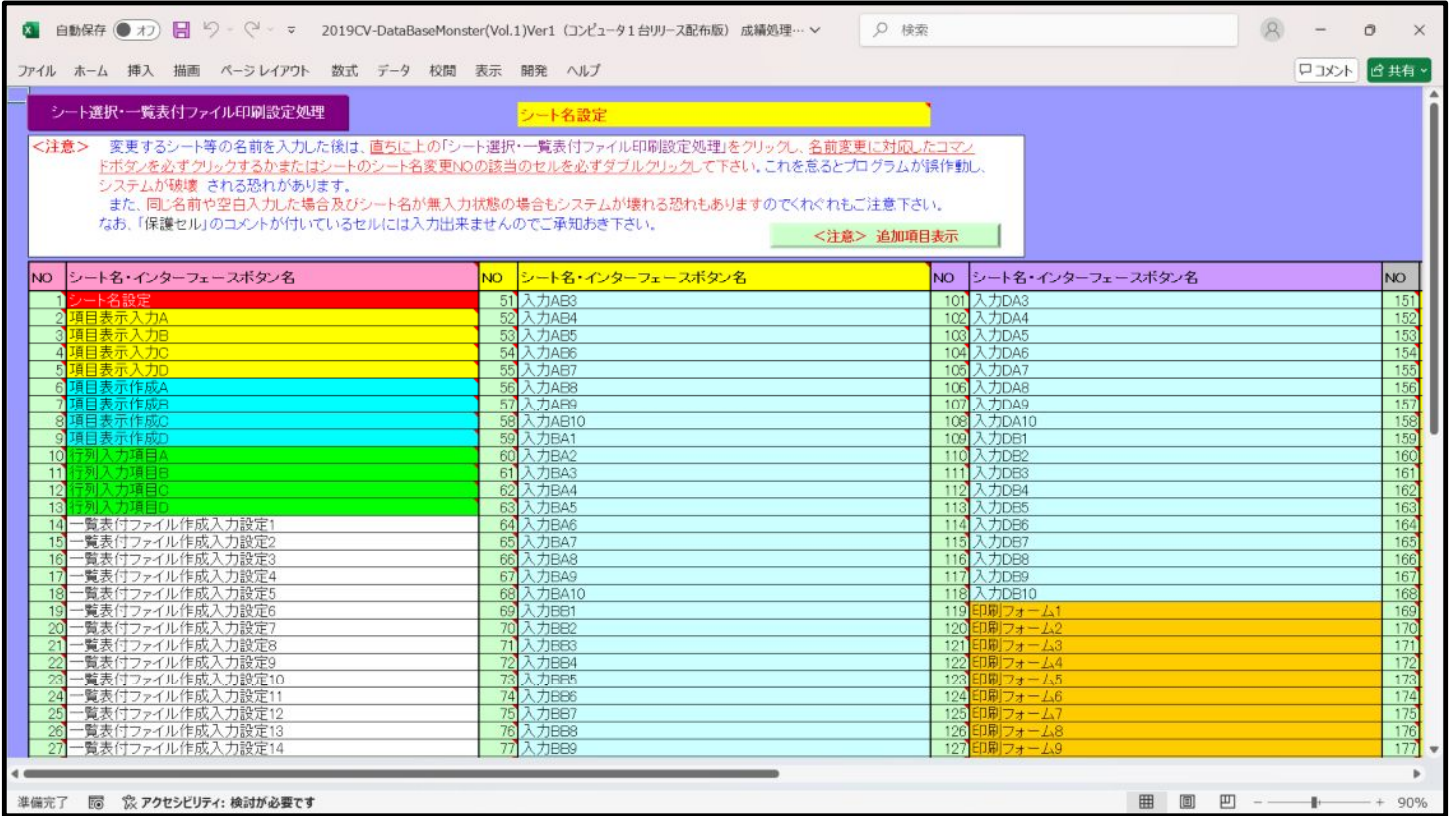
シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

次に、上の[図 1 5 4]の画面でコマンドボタン **シート名設定** をクリックし、

ワークシート「シート名設定」を選択すると次の[図 1 5 5]の画面となります。

[図 1 5 5]



ここで、上の[図 1 5 5]の画面におけるコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリック

して、再びユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を起動させると次の[図 1 5 6]の画面になります。

【図 1 5 6】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

そして、ここで必ずやっていただきたいことは、上の【図 1 5 6】の画面の下側にあるコマンドボタン

CV-DataBaseMonster制御

をクリックしてファイル

「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm」を選択していただきたいということです。これを怠ると、以後、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm」を用いて変更後のファイルを含めて、現在開かれている

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理」のセットファイルと呼び出したり、一旦

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理」のセットファイルを保存して閉じて、再びファイル

「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」を用いて

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理」のセットファイルを開いたり呼び出す等の処理ができなくなります。

上でファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」のファイル名を変更し、

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理.xlsm」とするやり方を説明しましたが、他の 3 つのファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」

のファイル名を変更する場合は、上で説明させていただいたファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」

のファイル名を変更し、

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理.xlsm」

とするプロセスを、ファイル名を変更する各ファイルでおこなっていただきたいと思います。

なおこの場合、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」
 のファイル名も変更して

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) 成績処理.xlsm」
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) 成績処理.xlsm」
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) 成績処理.xlsm」
 としておくとうろしいかと思ひます。

(2) Microsoft Office Excel 2021 64ビット版または Microsoft Office Excel 2019 64ビット版または Microsoft Office Excel 2016 64ビット版のファイル名変更

ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のファイル名を変更し、ファイル名をファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) 成績処理
 システム 1.xlsm」

と変更してみます。まず、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のワークシート「4 結合ファイル作成コピー用」が選択されて、次の[図 1 5 7]の画面になっていたとします。

[図 1 5 7]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用

シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 →

1

入力項目表示は1、データ表示は2を入力

1 対象1

Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	
Vol.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
Vol.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
Vol.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
Vol.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
Vol.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
Vol.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
Vol.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
Vol.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
Vol.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
Vol.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
Vol.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
Vol.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
Vol.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
Vol.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
Vol.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
Vol.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
Vol.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
Vol.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
Vol.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
Vol.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
Vol.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
Vol.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
Vol.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
Vol.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
Vol.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
Vol.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12

この場合全画面表示になっていますので、上の[図 1 5 7] の画面のコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックしてユーザーフォームを立ち上げると次の

[図 1 5 8]の画面が表示されます。

[図 1 5 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択・処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BABB選択 | 入力シートCA、CB、DA、DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

標準画面表示

上の[図 1 5 8]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図 1 5 9]の画面のようになります。

[図 1 5 9]

自動保存 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) .xism

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

A1

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 → 1

入力項目表示は1、データ表示は2を入力

1 対象1

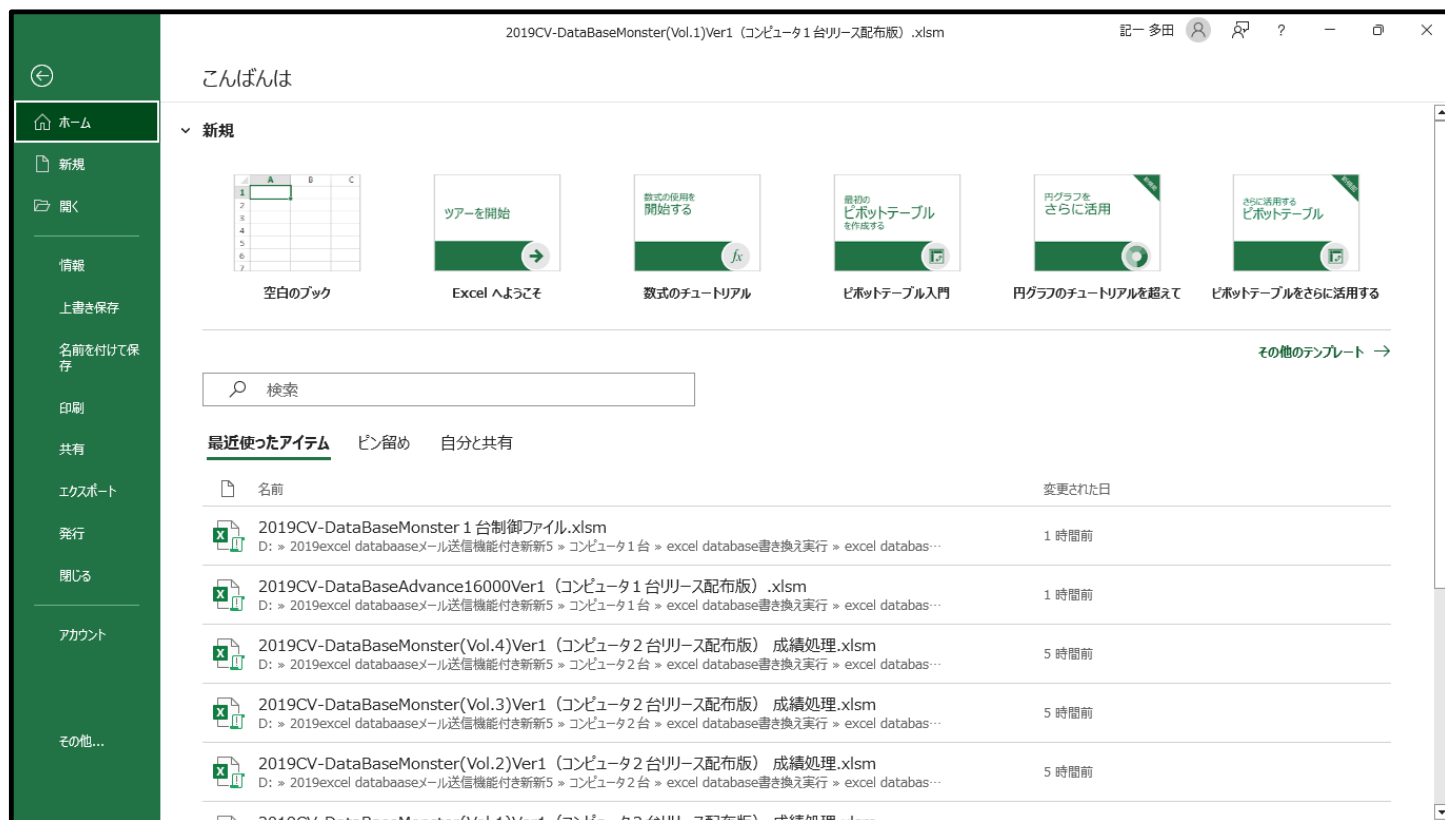
Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	
Vol.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
Vol.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
Vol.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
Vol.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
Vol.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
Vol.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
Vol.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
Vol.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
Vol.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
Vol.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
Vol.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
Vol.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
Vol.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
Vol.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
Vol.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
Vol.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
Vol.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
Vol.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
Vol.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
Vol.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

ファイル

ここで、上の[図 1 5 9]の画面の左上の[ファイル]をクリックすると、下の[図 1 6 0]の画面のようになります。

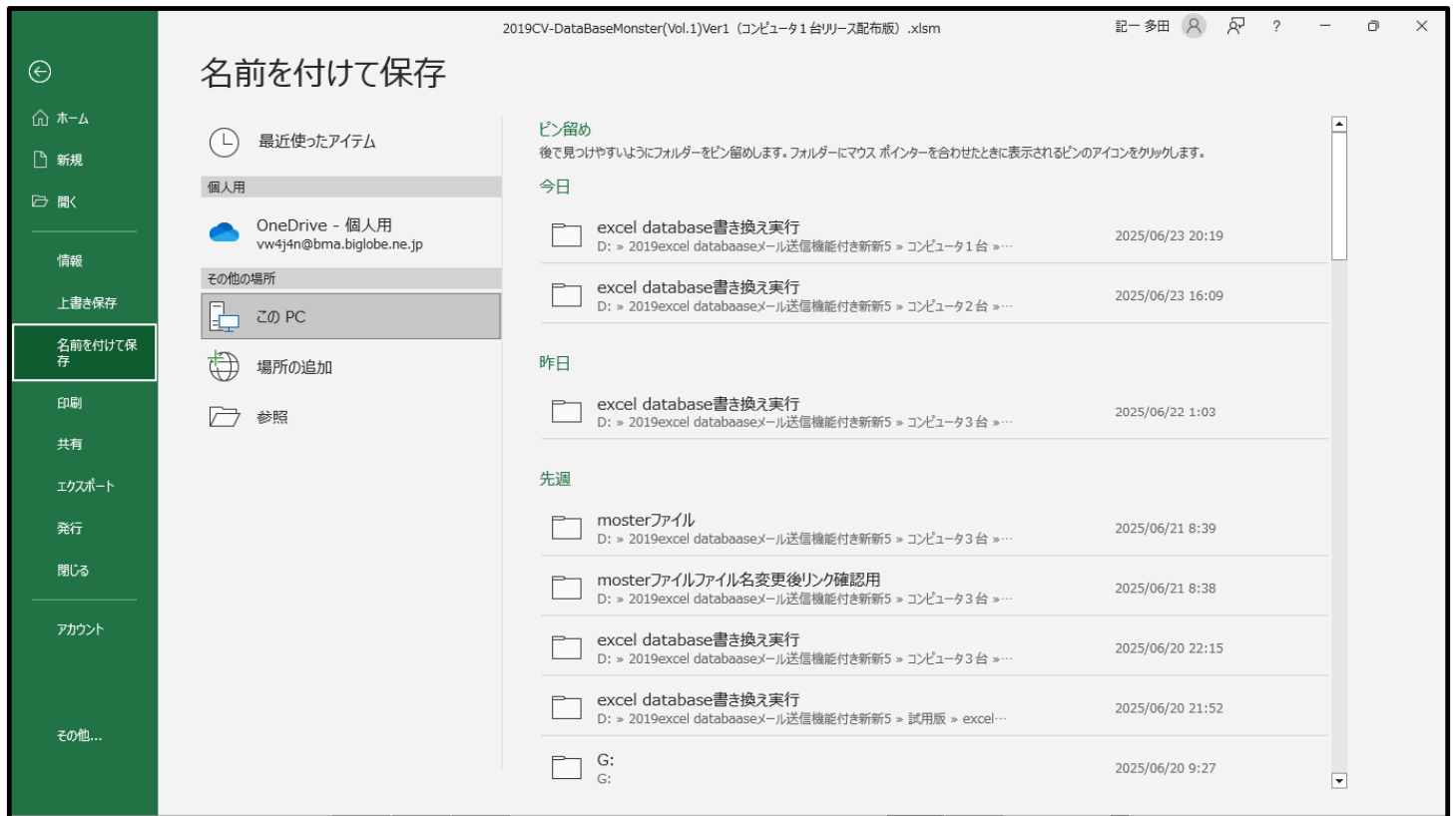
[図 1 6 0]



名前を付けて保存

上の[図 1 6 0]の画面の左側のメニュー[名前を付けて保存]を選択すると、下の[図 1 6 1]画面になります。

【図 1 6 1】



上の【図 1 6 1】の画面の左下側の

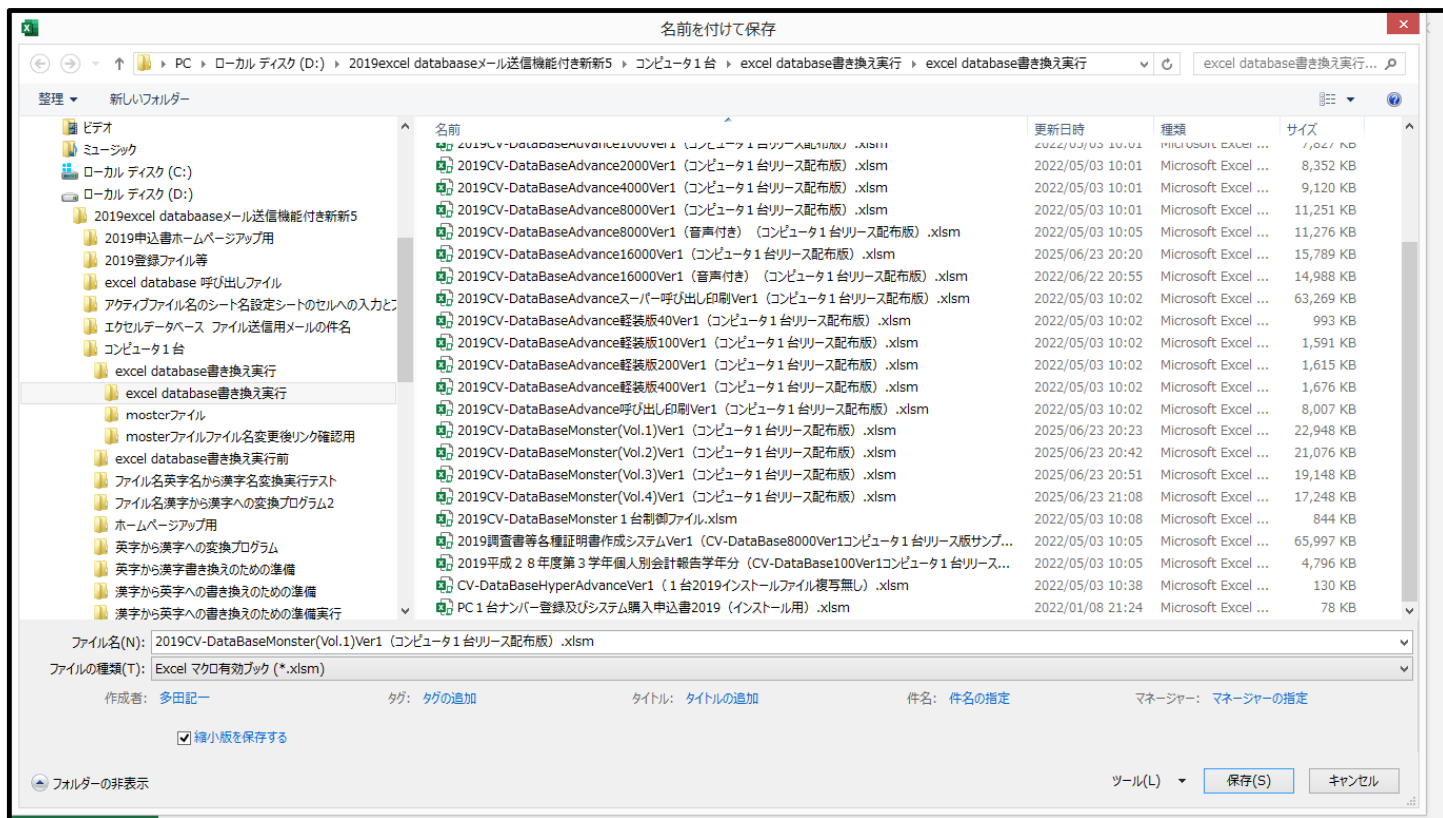
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のフォルダー

「D:¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥コンピュータ 1 台¥excel database 書き換え実行 ¥excel database 書き換え実行」

が表示されて次の【図 1 6 2】の画面になります。

【図 1 6 2】



上の【図 1 6 2】の画面でファイル名を

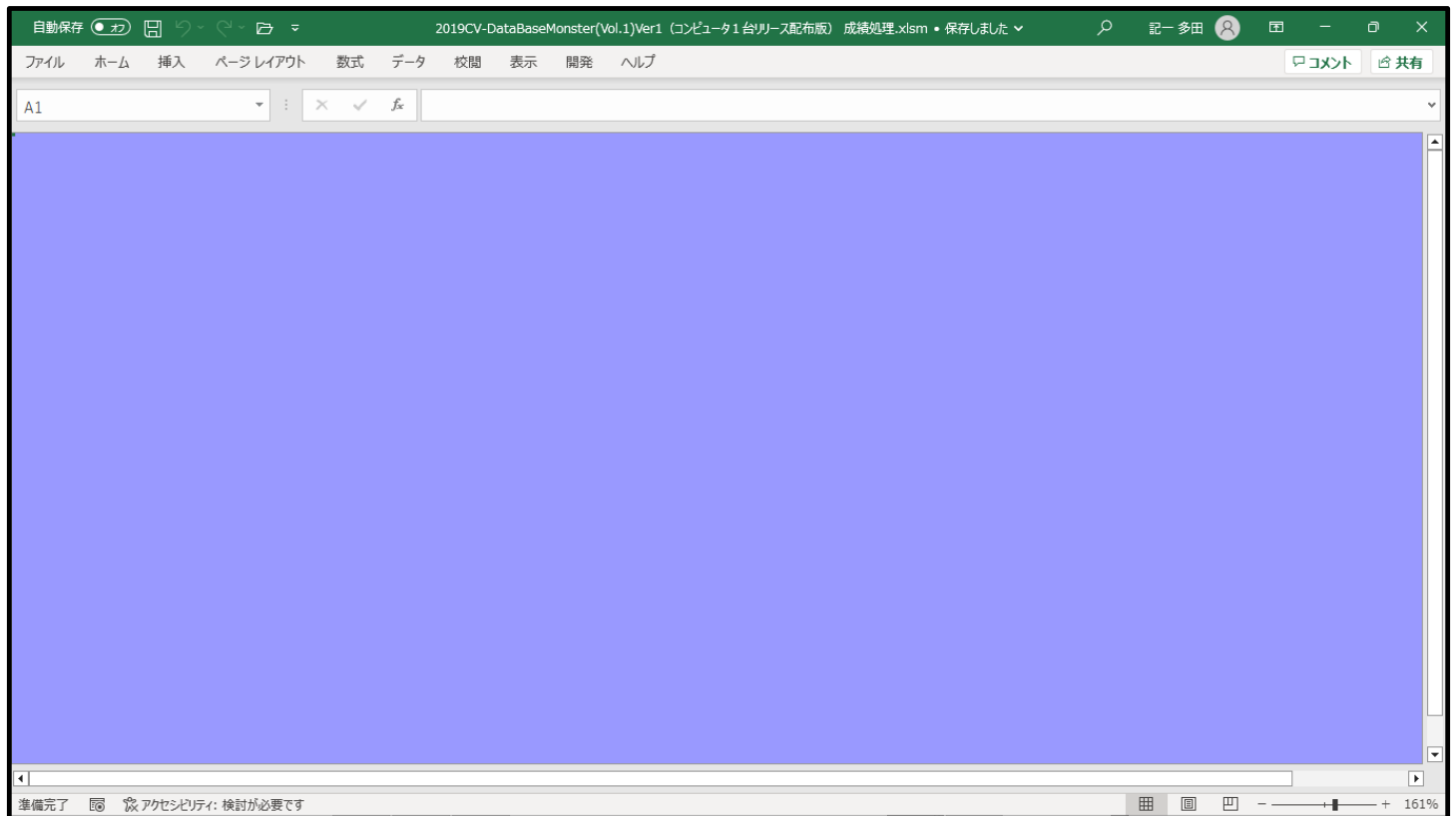
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版).xslm」

から

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ1台リリース配布版) 成績処理.xslm」

に書き換え、下側の **保存(S)** をクリックすると保存が開始されます。保存が終了すると、保存したファイルのワークシート「無地画面」が選択されて、下の【図 1 6 3】の画面ようになります。

【図 1 6 3】



更にここで、上の【図 1 6 3】の画面であるワークシート「無地画面」の任意のセルをダブルクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」が起動し、下の【図 1 6 4】の画面が表示されます。

【図 1 6 4】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ

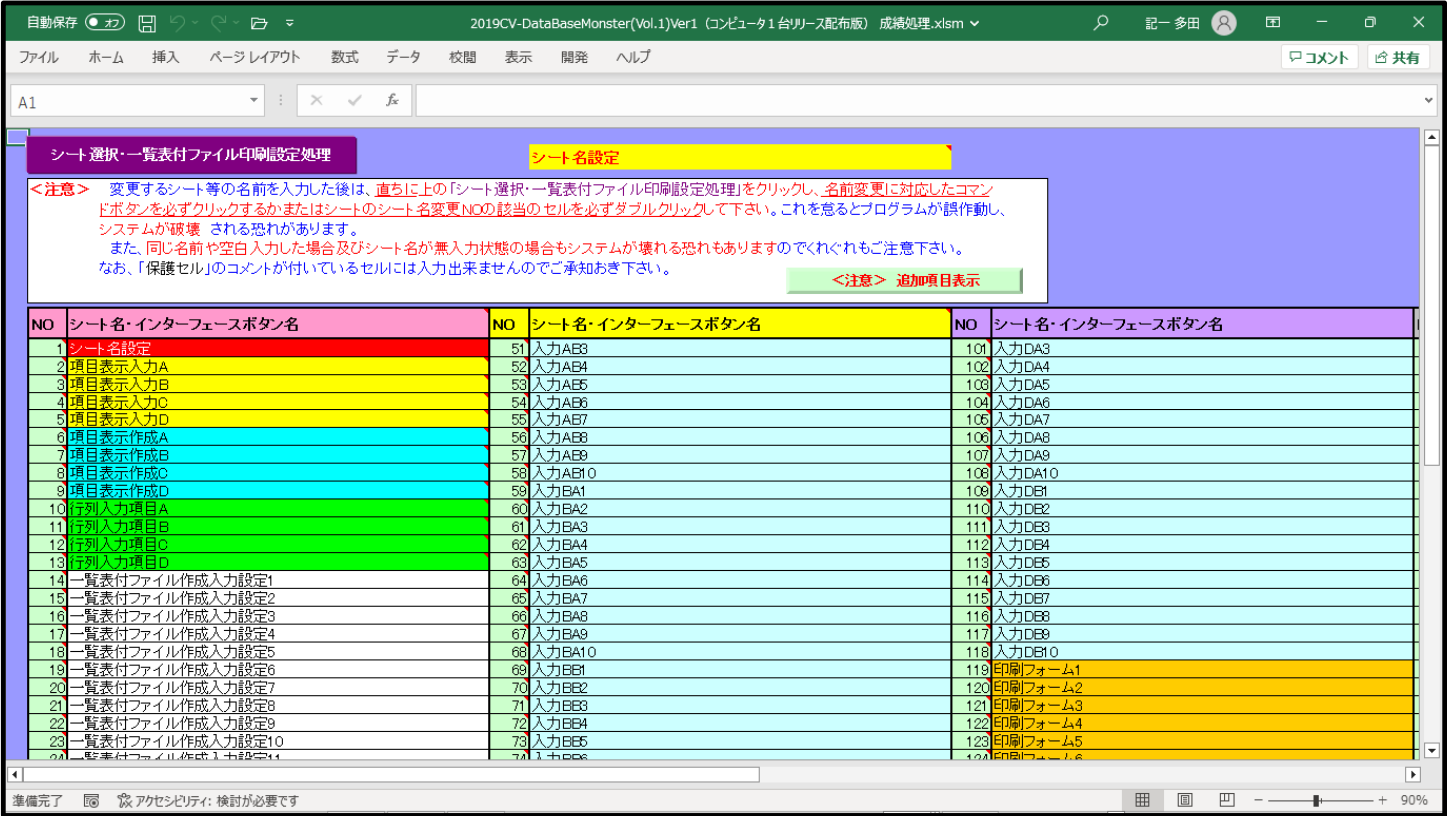
シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

次に、上の【図 1 6 4】の画面でコマンドボタン **シート名設定** をクリックし、

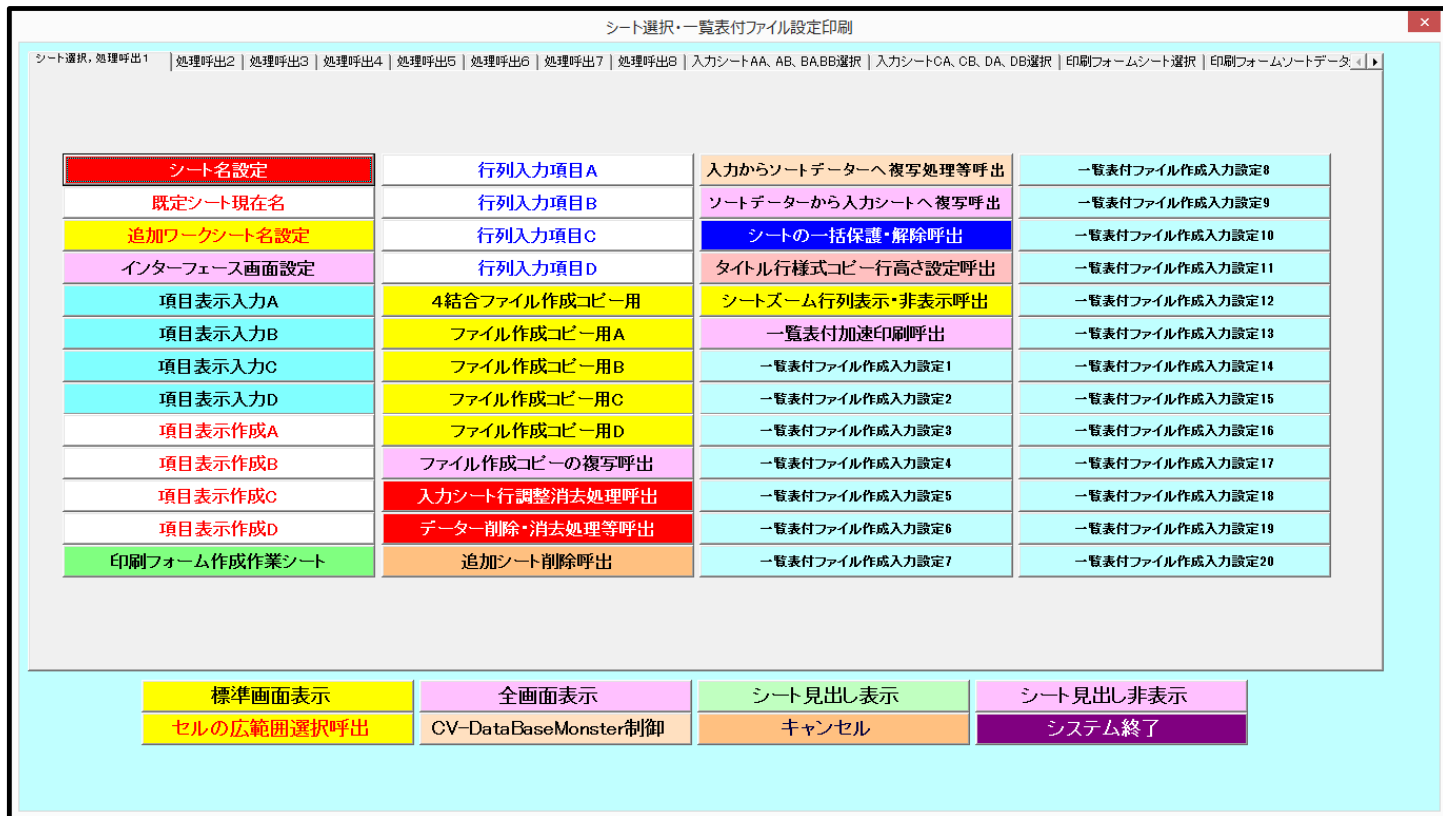
ワークシート「シート名設定」を選択すると次の[図 1 6 5]の画面となります。

[図 1 6 5]



ここで、上の[図 1 6 5]の画面におけるコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックして、再びユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を起動させると次の[図 1 6 6]の画面になります。

〔図 1 6 6〕



そして、ここで必ずやっていただきたいことは、上の〔図 1 6 6〕の画面の下側にあるコマンドボタン

CV-DataBaseMonster制御

をクリックしてファイル

「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm」
 を選択していただきたいということです。これを怠ると、以後、ファイル
 「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm」
 を用いて変更後のファイルを含めて、現在開かれている
 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理」
 のセットファイルと呼び出したり、一旦
 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理」
 のセットファイルを保存して閉じても、再びファイル
 「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」
 を用いて
 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理」
 のセットファイルを開いたり呼び出す等の処理ができなくなります。
 上でファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」
 のファイル名を変更し、
 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理.xlsm」
 とするやり方を説明しましたが、他の 3 つのファイル
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」
 のファイル名を変更する場合は、上で説明させていただいたファイル
 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」
 のファイル名を変更し、
 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理.xlsm」
 とするプロセスを、ファイル名を変更する各ファイルでおこなっていただきたいと思います。
 なおこの場合、
 ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）.xlsm」
のファイル名も変更して
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1（コンピュータ 1 台リリース配布版）成績処理.xlsm」
としておくとうよろしいかと思ひます。

7. 2019版1台セット製品登録書き換え後の
「2019CV-DataBaseMonsterVer1（コンピュータ 1 台リリース配布版）」のセット
ファイルのファイル名変更後のファイルの保存について

登録書き換え後の「2019CV-DataBaseMonsterVer1（コンピュータ 1 台リリース配布版）」のセット
ファイルのファイル名変更後のファイルの保存する際
ご注意いただきたい点を述べさせていただきます。
ファイルを閉じ、保存する場合のことです。ファイルを閉じ、保存する場合、必ずファイル「2019CV-
DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」を介しておこなってください。この際の具体的な操作を示し
ます。
「2019CVDataBaseMonsterVer1（コンピュータ 1 台リリース配布版）」のセットファイルの4個のうちのどの

ファイルのどのシート各ワークシートにも、コマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** が配置
されており、このコマンドボタンをクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設
定」が起動し、次の[図 1 6 7]のような画面になります。ただし、この画面はタブ「シート選択・処理呼出 1」
が選択されている状況です。

[図 1 6 7]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出 1 | 処理呼出 2 | 処理呼出 3 | 処理呼出 4 | 処理呼出 5 | 処理呼出 6 | 処理呼出 7 | 処理呼出 8 | 入力シート AA, AB, BA, BB 選択 | 入力シート CA, CB, DA, DB 選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ |

シート名設定	行列入力項目 A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 8
既定シート現在名	行列入力項目 B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 9
追加ワークシート名設定	行列入力項目 C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 10
インターフェース画面設定	行列入力項目 D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 11
項目表示入力 A	4 結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 12
項目表示入力 B	ファイル作成コピー用 A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 13
項目表示入力 C	ファイル作成コピー用 B	一覧表付ファイル作成入力設定 1	一覧表付ファイル作成入力設定 14
項目表示入力 D	ファイル作成コピー用 C	一覧表付ファイル作成入力設定 2	一覧表付ファイル作成入力設定 15
項目表示作成 A	ファイル作成コピー用 D	一覧表付ファイル作成入力設定 3	一覧表付ファイル作成入力設定 16
項目表示作成 B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 4	一覧表付ファイル作成入力設定 17
項目表示作成 C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 5	一覧表付ファイル作成入力設定 18
項目表示作成 D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 6	一覧表付ファイル作成入力設定 19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定 7	一覧表付ファイル作成入力設定 20

標準画面表示
セルの広範囲選択呼出

全画面表示
CV-DataBaseMonster制御

シート見出し表示
キャンセル

シート見出し非表示
システム終了

CV-DataBaseMonster制御

上の[図 1 6 7]の画面のコマンドボタン **CV-DataBaseMonster制御** をクリックすると、
ファイル

「2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」
のワークシート「呼出ファイル」が表示され、次の[図 1 6 8]の画面のようになります。

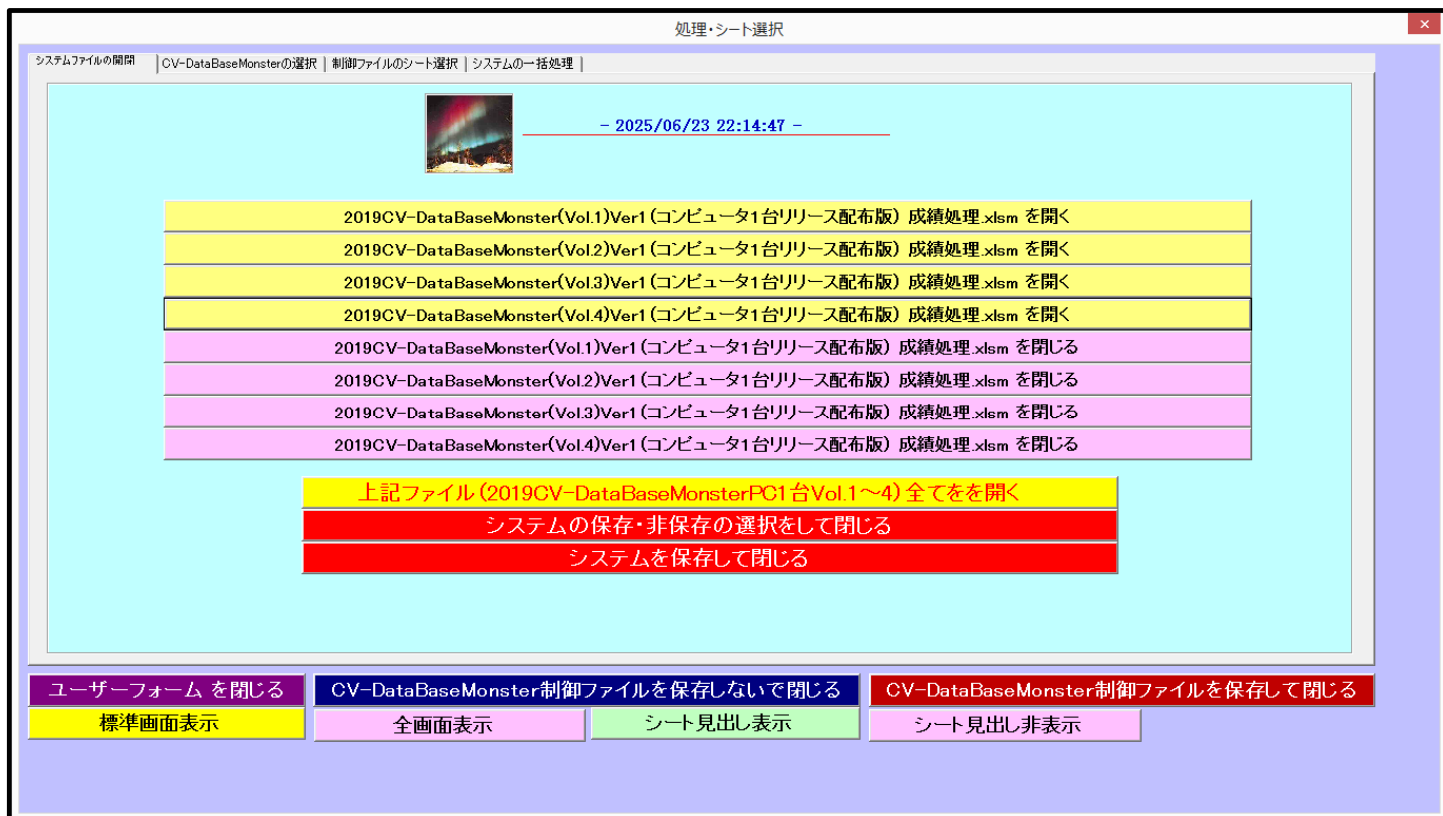
[図 1 6 8]

2019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5号コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版)成績処理.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5号コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版)成績処理.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5号コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版)成績処理.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5号コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1(コンピュータ1台リリース配布版)成績処理.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新5号コンピュータ1台 #excel database書き換え実行#excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster1台制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonsterPC1台	

処理呼び出しボタン

この画面のコマンドボタン
をクリックするとユーザーフォーム「シート選択処理」が起動し、次の[図 1 6 9]の画面のようになります。
ただし、[図 1 6 9]の画面ではタブ「システムファイルの開閉」が選択されています。

[図 1 6 9]



「2019CVDataBaseMonsterVer1 (コンピュータ 1 台リリース配布版)」のセットファイルのいずれかのファイルの名前を変更して閉じる場合は、上の[図 1 6 9]の画面でコマンド

ボタン **システムを保存して閉じる** をクリックして、すべての

「2019CVDataBaseMonsterVer1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) 成績処理」のセットファイルを保存して閉じてください。

なお、保存後はファイル名を変更した元のファイルは削除してフォルダー内を整理しておきましょう。

最後にご注意いただきたいことは、マクロの関係で、

ファイル「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」のファイル名は絶対に変更しないでください。

5 個のファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「20192019CV-DataBaseMonster 1 台制御ファイル.xlsm.xlsm」

あるいは、上側の 4 個のファイル名を変更した後、相互間に設定したマクロが正常に機能しなくなるからです。

なお、ファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 (コンピュータ 1 台リリース配布版) .xlsm」

のいずれかのファイル名を変更した場合には、他のファイルについてもファイル名を変更してください。